| 科目名 | 自主社会活動 | |
|--------|-----------------------|---------|
| 担当教員名 | 松永 修一 | |
| ナンバリング | KKe249 | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-キャリア教育 | |
| 学 年 | | ク ラ ス |
| 開講期 | | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | | 単位数 |
| 資格関係 | | |

科目の性格

学内外での以下にあげるような条件に合う経験にもとづく学びに対して単位として認める科目であるため、このための定時の授業は行わない。しかし、事前・事後のレクチャーならびに打ち合わせ、活動日誌・レポートの作成・提出、報告会での発表は、単位認定に必要な条件である。

科目の概要

学生が学内外における社会的な活動を35時間以上、無償で行い、それについて活動日誌・レポートを作成・提出し、かつ、学内の報告会で発表した場合に、担任など担当教員が評価して1単位を与える。

活動の場と内容は、学外においては、地域活性化のプロジェクト、社会福祉施設、児童館などの教育施設の活動、NGO・NPO、国際NGOなどが行うイベントのサポートなど様々なボランティア活動、学内については、留学生支援ボランティアなどである。

学修目標

学生が自らの意志で参加したプロジェクトやその他の社会的な活動に参加して、大学の授業内の体験では経験できないことからの気づきや学びの獲得を目標とする。

内容

学内、学外における無償の利他的なプロジェクトへの参加、社会的活動などを、以下の3つの条件に合わせて行うこと。

35時間以上の活動であり、活動を通したゴール設定がなされている。 (活動先に評価を依頼)

その内容、自分自身が学んだこと、提案などについて活動日誌・レポートを作成し、提出すること。

学内の発表会で報告すること。

履修に際して、事前・事後のレクチャーと打ち合わせを行う。

活動日誌・レポート: 所定の書式に沿ってまとめる。構成・フォーマット、提出先、発表会の日程などについては、就職支援課に確認すること。

評価

活動受け入れ先の責任者(または担当者)から提出してもらう評価、本人が作成する活動日誌・レポートの内容、口頭発表にもとづいて,総合的な評価を行い、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】活動やプロジェクトの概要を理解し、その活動から何を体験し学びに結び付けられるかを考え、目標設定を行う。体験によるリスクについて考え、その回避法や管理について明確にし報告する。

【事後学修】活動の概要と学びについての報告をまとめ、発表報告会を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

個々に応じて説明を行う。

| 科目名 | 社会人入門 | | |
|--------|------------------------|---------|----|
| 担当教員名 | 松永 修一 | | |
| ナンバリング | KKe145 | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (K)-共通科目-キャリア教育 | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | | | |

科目の性格

アクティブラーニングによる参加型授業。共感と発見を目指し、自らのアクションを促す。

科目の概要

即戦力の人材がもとめられている現在、専門知識と同時に、様々な問題を解決する力や、実行力、協調性などの「社会人と しての基礎力」を学生に身につけてもらうための授業。

学修目標(=到達目標)

豊かな人生とは何かを考え、実践、学び続ける力を身につけることを目標とする。

内容

- 1回 幸せについて考える
- 2回 社会人基礎力養成(前に踏み出す力)
- 3回 社会人基礎力養成(考え抜く力)
- 4回 社会人基礎力養成(チームで働く力)
- 5回 ソーシャルスキル・マナーを考える
- 6回 ストレスマネージメントを考える
- 7回 ライフデザインを考える
- 8回 ライフデザインワークショップ(モデルを探す)
- 9回 ライフデザインワークショップ(イメージから実践へ)
- 10回 情報サービスとリテラシー
- 11回 ソーシャルメディア活用術
- 12回 FPによるマネー講座
- 13回 FPによるマネー講座
- 14回 演習
- 15回 振り返り

評価

課題を基に総合的に評価します。 授業への参加意欲25%、授業ごとに提出する振り返りシート35%、提出物40%で 総合して評価する。

授業外学習

【事前予習】1週間のなかでの気づきの言語化、PDCAサイクル化

【事後学修】振り返りの言語化

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に説明します。

ハングル 科目名 担当教員名 チョ Ł ナンバリング KKc127 科 人間生活学部 (K)-共通科目-ハングル 年 ク ラ ス OAクラス 開講期 通年 必修・選択の別 選必 授業形態 位 呆育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭 許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国 高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

韓国の文化や社会のトレンドを理解し、文化の多様性を理解した上でグローバル社会で活躍できる資質と能力を身につける

科目の概要

前期はハングルの文字や発音を学習しながら、基本的な文法を使って簡単な会話にチャレンジしてみる。後期は動詞の活用 形を学び日記や短文を書く練習を行う。また実践的な会話トレーニングを多く行うことで、基本的なコミュニケーションの 力を身につける。

学修目標(=到達目標)

「ハングル」の文字・発音・文法を知り、ドラマやK-POPを通じて韓国の様々な文化に触れる。

「韓国語能力試験(TOPIK・」「ハングル能力試験4・5級」レベルの理解力を目標とする。

| 内容 | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 挨拶1(ハングルの仕組み) 挨拶2 (自己紹介) |
| 2 | 空港1(場所の表現・韓国の地図) 空港2(何処ですか) |
| 3 | 韓国の文化教室(衣・食・住・教育・若者などについて) |
| 4 | 食堂1(指示代名詞・何ですか)食堂2(注文してみましょう) |
| 5 | ゼミ1(日韓比較文化について) |
| 6 | 買い物1(漢数字・値段・日にち) 買い物2(買い物をしてみましょう!) |
| 7 | ゲーム(単語・数字のゲーム) 前期復習 |
| 8 | 映画鑑賞『7番房の奇跡』 |
| 9 | カフェ1(~したい、~したくない) カフェ2(固有数字・助数字) |
| 10 | エンタテイメント1・2 (時刻の表現・過去形) |
| 11 | ゼミ2(日韓比較文化について) |
| 12 | エステ1・2(理由と希望の表現) |
| 13 | 友達の家1(敬語の表現) 友達の家2(未来意志の表現) |
| 14 | ハングルで手紙と日記を書いてみましょう。後期復習 |
| 15 | 映画鑑賞『建築学概論』 |

評価

授業への取り組みと参加50%、定期試験50%で総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】テキストの「単語と表現」をノートに書いてくる。

【事後学修】練習問題を解いてみる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】チョ ヒ・身につく韓国語(みにつくハングル)・株式会社アップフロントブックス

【推薦書】韓国語教育財団「韓国語能力試験過去問題集 TOPIK 1」

ハングル能力検定協会「ハングル能力試験過去問題集5・4級」

【参考図書】

| 科目名 | ハングル | | | | |
|--------|--|----------------------------|----------------------|----------------------|--|
| 担当教員名 | チョ ヒ | | | | |
| ナンバリング | KKc127 | | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-ハングル・ | | | | |
| 学 年 | 1 | ク | ラ | ス | OBクラス |
| 開講期 | 通年 | 必修· | 選択 | の別 | 選必 |
| 授業形態 | | 単 | 位 | 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/幼稚園教 許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状 | 文諭一種免許 (保健)/中 大(保健体育 | Ŧ状 / □学校) / 高 | 養護教諭 教諭一種 等学校教 | 一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/ 諭一種免許状(保健体育) |

科目の性格

ハングルだけを勉強するのではなく、韓国の文化や社会、トレンドなどを理解し、文化の多様性を理解したうえで、グローバル社会で活躍するこのできる資質と能力を身につける。

科目の概要

前期は、ハングルの文字や発音を学習しながら、基本的な文法を使って簡単な会話をしてみる。後期は、動詞の活動形を習い、日記や手紙を書く練習を行う。また、実践的な会話のトレーニングを多く行うことで、基本的なコミュニケーションの力を身につける。

学修目標(=到達目標)

「ハングル」の文字・発音・基本的な文法を知り、韓国語の簡単な日常会話を習得し、ドラマや音楽を通じて、韓国語の様々な文化に触れる。

「韓国語能力試験TOPIK 1」「ハングル能力試験5・4級」

| 内容 | |
|----|------------------------------------|
| 1 | 挨拶1(ハングルの仕組み) 挨拶2(自己紹介・文字入門) |
| 2 | 空港1(場所の表現・韓国の地図)空港2(何処ですか) |
| 3 | 日韓の比較(衣・食・住・教育・若者など) |
| 4 | 食堂1(指示代名詞・何ですか) 食堂2(注文してみましょう) |
| 5 | ゼミ1 (日韓比較文化について1) |
| 6 | 買い物1(漢数字・値段・日にち) 買い物2(買い物をしてみましょう) |
| 7 | ゲーム(単語・数字のゲーム) 前期復習 |
| 8 | 映画鑑賞『7番房の奇跡』 |
| 9 | カフェ1(~したい、~したくない) カフェ2(固有数字・助数詞) |
| 10 | エンタテイメント1・2 (時刻の表現・過去形) |
| 11 | ゼミ2(日韓比較文化について2) |
| 12 | エステ1・2(理由と希望の表現) |
| 13 | 友達の家1(敬語の表現)友達の家2(未来意志の表現) |
| 14 | ハングルで手紙と日記を書いてみましょう。後期復習 |
| 15 | 映画鑑賞『建築学概論』 |

評価

授業への取り組みと参加50%、定期試験50%で総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】テキストの「単語と表現」を読んでくる。

【事後学修】練習問題を解いてみる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】チョ ヒ・身につく韓国語(みにつくはんぐる)・株式会社アップフロントブックス

【推薦書】韓国語教育財団「韓国語能力試験過去問題集 TOPIK 1」

ハングル能力検定協会「ハングル能力試験過去問題集5・4級」

【参考図書】

フランス語 目 名 科 担当教員名 大原 知子 KKc125 ナンバリング 科 人間生活学部(K)-共通科目-フランス語 年 クラス OAクラス 開 講 期 通年 必修・選択の別 選必 授業形態 位

−種免許状

收諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校 −種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

種免許状/栄養教諭一種的許状(保健)/中学校教訓

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

R育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 幼稚園教諭

科目の性格

資格関係

EUの公用語の一つ、フランス語を基礎から学びます。同時にフランス語を通してその奥にあるフランス文化や背景となる ヨーロッパ文化の歴史などに触れます。またインターネットで現代のフランス社会にも目を向け、語学と文化の両面から日 本とヨーロッパの相互理解を深めることができるようになることが期待できます。

科目の概要

教科書を通して、平易なフランス語の文章から、語彙や文法を学習し、同時にフランスの若者の日常生活を扱ったビデオ教 材を通して簡単な会話表現を習得していきます。またフランスやパリを背景とした映画や教養ビデを鑑賞し、フランス文化 にも触れると同時に、仏訳された日本のアニメを鑑賞して、こちらからの意志表示の表現も学びます。

学修目標(=到達目標)

前期は現在形まで学び、簡単な日常表現の会話ができるように、そして後期は過去形から入り、会話を主体として、簡単な 文が読めたり書けるようになったりするのが目標です。日常会話に必要な最低限度の単語を覚え、口頭のテストを受けます (これは失敗しても何度も受けられる)。辞書は必ず持って出席してください。復習として仏検5級、4級の問題も扱いま すので、皆さんも、ぜひ受験してみてください。

内容

【第1回】alphabet/つづり字記号,フランス語の音,テスト用基本単語プリント配布【第2回】挨拶と自己紹介 文法 動詞?treとavoir/職業他

【第3-4回】「何が好き?」第一群規則動詞 名詞の性と数/最近のフランス,否定文の作り方 不定冠詞と定冠詞,地理

【第5-6回】「紹介・家族は?家は?」動詞「venjr」否定文,形容詞の性と数/疑問文/所有形容詞

【第7-8回】「何をする?どこに行く?」動詞aller/faire 指示形容詞/前置詞と定冠詞の縮約形/フラン

ス文化1,疑問詞/人称代名詞の強勢形/近接未来と近接過去 不規則動詞(aller/venir他)の応用

【第9回】「どんな授業が好き?」疑問形容詞/比較級/命令法【第10回】「カフェで」部分冠詞/非人称表現;天気,

月・数(序数)フランス文化2

【第11-12回】何時に待合せ?:疑問形容詞/人称代名詞(間接目的補語)最上級/暦,代名動詞、疑問形容詞、il fautの表現

【第13-14回】「誕生日おめでとう」vouloir/pouvoir/devoir(欲求,可能,義務を示す動詞

)不規則変化の動詞/社会問題.フランス語版もののけ姫鑑賞

【第15回】もののけ姫からよく使う表現を学ぶ。復習とまとめ

【第16-17回】「昨日何をした?」過去時制1)複合過去1(avoir+過去分詞)/社会問題1.過去時制1)複

合過去2(?tre+過去分詞)洋服屋で

【第18回】複合過去時制の応用 JacquesPr?vertの詩【第19回】「君が好き」補語人称代名詞(直接目的語と間接目的語)

【第20回】「病院で」(過去時制2)半過去時制/関係代名詞/中性代名詞1)en【第21回】「食事に呼ばれる」強

調構文/受動態/internet用語/中性代名詞2) v

【第22-23回】「何になりたい?」単純未来/観光 ジェロンディフ(~しながら)【第24回】「パリ観光」ノート ルダム寺院とセーヌ川/感嘆文

【第25-26回】日本語表現からフランス語表現へ(ハウルの動く城を鑑賞)

【第27回】後期復習 Jacques Pr?vertの詩を通して【第28-29回】教科書から平易なフランス文を

、ネットから仏誌の見出しを読む,フランス語叙法について(直説法・条件法他)【第30回】まとめと復習

評価

単語テスト20点+授業の取り組みへの姿勢10点+テスト70点(合計100点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】この科目では60時間以上の授業外学習を行うこと。各回の授業で扱う項目について、テキストの該当箇所を 読み、理解できた点とできなかった点を明らかにして授業を受けること。

【事後学修】授業中に指示した練習問題を解き、翌週の授業中にレポートで提出すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】パリの街角で 荻野文隆 荻野ISABELLE 両風堂 2015

フランス語 目 名 科 担当教員名 大原 知子 KKc125 ナンバリング 科 人間生活学部(K)-共通科目-フランス語 年 クラス OBクラス 開 講 期 通年 必修・選択の別 選必 授業形態 位

資格関係

保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種<mark>兒</mark> 許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/ 高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

EUの公用語の一つ、フランス語を基礎から学びます。同時にフランス語を通してその奥にあるフランス文化や背景となる ヨーロッパ文化の歴史などに触れます。またインターネットで現代のフランス社会にも目を向け、語学と文化の両面から日本とヨーロッパの相互理解を深めることができるようになることが期待できます。

科目の概要

教科書を通して、平易なフランス語の文章から、語彙や文法を学習し、同時にフランスの若者の日常生活を扱ったビデオ教材を通して簡単な会話表現を習得していきます。またフランスやパリを背景とした映画や教養ビデを鑑賞し、フランス文化にも触れると同時に、仏訳された日本のアニメを鑑賞して、こちらからの意志表示の表現も学びます。

学修目標(=到達目標)

前期は現在形まで学び、簡単な日常表現の会話ができるように、そして後期は過去形から入り、会話を主体として、簡単な 文が読めたり書けるようになったりするのが目標です。日常会話に必要な最低限度の単語を覚え、口頭のテストを受けます (これは失敗しても何度も受けられる)。辞書は必ず持って出席してください。復習として仏検 5 級、 4 級の問題も扱いま すので、皆さんも、ぜひ受験してみてください。

内容

【第1回】alphabet/つづり字記号,フランス語の音,テスト用基本単語プリント配布【第2回】挨拶と自己紹介文法 動詞?treとavoir/職業他

【第3-4回】「何が好き?」第一群規則動詞 名詞の性と数/最近のフランス,否定文の作り方 不定冠詞と定冠詞,地理

【第5-6回】「紹介・家族は?家は?」動詞「venjr」否定文,形容詞の性と数/疑問文/所有形容詞

【第7-8回】「何をする?どこに行く?」動詞aller/faire 指示形容詞/前置詞と定冠詞の縮約形/フラン

ス文化1.疑問詞/人称代名詞の強勢形/近接未来と近接過去 不規則動詞(aller/venir他)の応用

【第9回】「どんな授業が好き?」疑問形容詞/比較級/命令法【第10回】「カフェで」部分冠詞/非人称表現;天気,

月・数(序数)フランス文化2

【第11-12回】何時に待合せ?:疑問形容詞/人称代名詞(間接目的補語)最上級/暦,代名動詞、疑問形容詞、il fautの表現

【第13-14回】「誕生日おめでとう」vouloir/pouvoir/devoir(欲求,可能,義務を示す動詞

)不規則変化の動詞/社会問題.フランス語版もののけ姫鑑賞

【第15回】もののけ姫からよく使う表現を学ぶ。復習とまとめ

【第16-17回】「昨日何をした?」過去時制1)複合過去1(avoir+過去分詞)/社会問題1.過去時制1)複

合過去2(?tre+過去分詞)洋服屋で

【第18回】複合過去時制の応用 JacquesPr?vertの詩【第19回】「君が好き」補語人称代名詞(直接目的語と間接目的語)

【第20回】「病院で」(過去時制2)半過去時制/関係代名詞/中性代名詞1)en【第21回】「食事に呼ばれる」強

調構文/受動態/internet用語/中性代名詞2) y

【第22-23回】「何になりたい?」単純未来/観光 ジェロンディフ(~しながら)【第24回】「パリ観光」ノートルダム寺院とセーヌ川/感嘆文

【第25-26回】日本語表現からフランス語表現へ(ハウルの動く城を鑑賞)

【第27回】後期復習 Jacques Pr?vertの詩を通して【第28-29回】教科書から平易なフランス文を

、ネットから仏誌の見出しを読む,フランス語叙法について(直説法・条件法他)【第30回】まとめと復習

評価

単語テスト20点+授業の取り組みへの姿勢10点+テスト70点(合計100点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】この科目では60時間以上の授業外学習を行うこと。各回の授業で扱う項目について、テキストの該当箇所を 読み、理解できた点とできなかった点を明らかにして授業を受けること。

【事後学修】授業中に指示した練習問題を解き、翌週の授業中にレポートで提出すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】パリの街角で 荻野文隆 荻野ISABELLE 両風堂 2015

| 科目名 | フランス語 | | |
|--------|-----------------------|------------|--|
| 担当教員名 | 大原 知子 | | |
| ナンバリング | KKc225 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-フランス語・ | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | |
| 開講期 | 通年 | 必修・選択の別 選必 | |
| 授業形態 | | 単 位 数 2 | |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

EUの公用語の一つ、フランス語を過去形から学びます。同時にフランス語を通してその奥にあるフランス文化や背景となるヨーロッパ文化の歴史などに触れます。またインターネットで現代のフランス社会にも目を向け、語学と文化の両面から日本とヨーロッパの相互理解を深めることができるようになることが期待できます。

科目の概要

主に仏検問題を通して、語彙や文法を学習・復習し、同時にフランスの若者の日常生活を扱ったビデオ教材を通して少々表現力に富んだ会話表現を習得していきます。またフランスやパリを背景とした映画や教養ビデを鑑賞し、フランス文化にも触れると同時に、仏訳された日本のアニメを鑑賞して、こちらからの意志表示の表現も学びます。

学修目標(=到達目標)

フランス語1の続きとして、ビデオ教材を通して、日常更に豊かな表現ができるようにします。文法の復習や補足としては、仏検4級、3級問題を扱い、この二つの受験準備をします。また、インターネットを通してフランスのサイトに行き、簡単な新聞記事や詩、随筆などが読めるようにします。

内容

【第1-3回】ビデオ(c'est?toi)5課「家族で」/仏検4級から複合過去形の復習、単語テストのプリント配布と説明。仏検4級から過去時制(複合過去)の復習。家族や友人の紹介、疑問文復習と応用、半過去時制を学ぶ。フランス文化について1【第4回】5課まとめ。疑問文の答としての説明文。仏検4級から過去時制を復習【第5-6回】6課「出身は?」国の名前を用い自己紹介(家族、仕事、趣味他)過去時制での疑問文や否定文。出身地の説明(気候や習慣)単純未来形の説明、仏検4,3級問題

【第7回】6課 将来何をしたい?会話中の未来形の復習。感嘆文の作り方【第8-10回】7課「サイズは?」洋装店で。好みの服や色。サイズの説明方法。形容詞、数詞、不規則動詞、現在形の復習。仏検3,4級問題「何が欲しい?」店の種類。仏検3、4級から不規則動詞の復習。部分冠詞の復習。過去形を使い会話。フランス文化について2 【第11-13回】8課「買い物」フランスのイスラム文化「ラマダン」疑問形容詞/人称代名詞(間接目的補語)最上級/暦などの復習と会話での応用。仏検3,4級(条件法の説明と使い方)ilfautの表現。vouloir/pouvoir/devoirを使った会話。接続法。

【第14-15回】ハウルの動く城: フランス語1とは違う部分から時制の復習と聞き取りの練習、よく使う表現を学ぶ。 復習とまとめ

【第16回】8課 市場で買物。数字の復習。仏検(条件法)社会問題1【第17-18回】9課 未来形の会話表現。仏検3級(新聞記事から聞取り)接続法の復習と会話で応用(il faut que...)フランス文化3 Jacques Pr?vertの詩【第19-21回】10課「健康と病気」補語人称代名詞(直接目的語と間接目的語)の復習と会話での応用。嘘や弁解表現。Jacques Pr?vertの詩から時制と法の復習。関係代名詞/中性代名詞(en)の復習と応用。仏検問題、書取りと聞取り。強調構文/受動態の復習。internet用語。中性代名詞の復習(en, y, le他)【第22-24回】11課「バカンスで」「どう思う?」友達の作り方や外国語の学び方を通じ意見や判断表現。前置詞まとめ、ジェロンディフの復習(仏検3,4級から)形容詞(~人の)の復習、g疑問動詞や表現の復習。仏検

を通じ会話聞取りとエッセイ書取り【第25-26回】12課 パリ観光。複合過去時制を使った会話表現。フランス文化4【第27回】後期復習(Jacques Pr?vertの詩)【第28-29回】仏誌を通じ平易な文章を読む。「ハウルの動く城」日本語からフランス語表現へ【第30回】復習とまとめ

評価

単語テスト20点+授業への取り組み姿勢10点+筆記テスト70点(合計100点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】【事前予習】この科目では60時間以上の授業外学習を行うこと。各回の授業で扱う項目について、テキストの該当箇所を読み、理解できた点とできなかった点を明らかにして授業を受けること。

【事後学修】授業中に指示した練習問題を解き、翌週の授業中にレポートで提出すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】パリの街角で 荻野文隆 荻野ISABELL 両風堂 2015

科目名中国語担当教員名池間 里代子、仇 暁芸ナンバリングKKc126学科人間生活学部(K)-共通科目-中国語・学年1クラス OAクラス開講期通年必修・選択の別 選必

授業形態 単位数 2

保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/ 高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本をとりまく諸国の中で、中国は隣国であり文化的経済的な面からも、今後一層交流が盛んになると思われます。この科目では、交流の基礎となる中国語を学びます。

科目の概要

授業では正しい発音をめざします。文法は簡単なものから、徐々に難易度の高いものへと積み重ねていきます。最終的に は中国語検定試験の準4級・4級に合格できる力が付くよう、指導します。

学修目標

- 1.正しい発音でテキストを読めること
- 2. 文法事項が理解できて、簡単な文章が翻訳できること
- 3. 学習した範囲で、中国語を聴いて理解できること
- 4. 最終的には、自分の主張を中国語で表現できること

以上が受講者の最終目標ですが、希望者には検定試験の情報を与えますので、ぜひチャレンジしてみましょう。また、言葉だけでなく背景となる歴史・文化などにも興味を持って下さい。交流の糧となるに違いありません。

内容

第1回中国語とは第16回 復習第2回発音概説第17回 第7課第3回日常会話第18回 第8課

第4回 第1課 第19回 第9課

第5回 第2課 第2回 中国語検定試験過去問題解説

第6回 第3課 第21回 第10課

第7回 中国の文化 第22回 第11課

第8回 第4課 第23回 第12課

第9回 第5課 第24回 リスニング・リーディング

第10回 第6課 第25回 第13課

第11回 リーディング・リスニング 第26回 スピーキング「自己紹介」

第12回 ライティング・スピーキング 第27回 ライティング

第13回 簡体字練習 第28回 基本文型

第14回 総合復習 第29回 総合復習

第15回 総括 第30回 総括

平常点50%、試験50%として総合的に評価し、60%以上を合格とします。

授業外学習

テキストにはCDが付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。一つの課が終わったら「別冊問題集」がありますので、それを仕上げて先生に添削してもらいましょう。ぐっと力が付くはずです。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『中国語はじめの一歩』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス その他、プリント参考資料などを配布します。

中国語 目 名 担当教員名 池間 里代子 ナンバリング KKc126 科 人間生活学部(K)-共通科目-中国語 年 クラス OBクラス 開講期 通年 必修・選択の別 選必 授業形態 位 数

保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種兒子状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本をとりまく諸国の中で、中国は隣国であり文化的経済的な面からも、今後一層交流が盛んになると思われます。この科目では、交流の基礎となる中国語を学びます。

科目の概要

授業では正しい発音をめざします。文法は簡単なものから、徐々に難易度の高いものへと積み重ねていきます。最終的に は中国語検定試験の準4級・4級に合格できる力が付くよう、指導します。

学修目標

- 1.正しい発音でテキストを読めること
- 2. 文法事項が理解できて、簡単な文章が翻訳できること
- 3. 学習した範囲で、中国語を聴いて理解できること
- 4. 最終的には、自分の主張を中国語で表現できること

以上が受講者の最終目標ですが、希望者には検定試験の情報を与えますので、ぜひチャレンジしてみましょう。また、言葉だけでなく背景となる歴史・文化などにも興味を持って下さい。交流の糧となるに違いありません。

内容

第1回中国語とは第16回 復習第2回発音概説第17回 第7課

第3回 日常会話 第18回 第8課

第4回 第1課 第19回 第9課

第6回 第3課 第21回 第10課

第7回 中国の文化 第22回 第11課

第8回 第4課第23回 第12課第9回 第5課第24回 リスニング・リーディング

第10回 第6課 第25回 第13課

第11回 リーディング・リスニング 第26回 スピーキング「自己紹介」

第12回 ライティング・スピーキング 第27回 ライティング

第13回 簡体字練習 第28回 基本文型

第14回 総合復習 第29回 総合復習

第 1 5 回 総括 第 3 0 回 総括

平常点50%、試験50%として総合的に評価し、60%以上を合格とします。

授業外学習

テキストにはCDが付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。一つの課が終わったら「別冊問題集」がありますので、それを仕上げて先生に添削してもらいましょう。ぐっと力が付くはずです。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『中国語はじめの一歩』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス その他、プリント参考資料などを配布します。

| 科目名 | 中国語 | | |
|--------|----------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 飯塚 敏夫 | | |
| ナンバリング | KKc126 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-中国語 · | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 00クラス |
| 開講期 | 通年 | 必修・選択の別 | 選必 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |

資格関係 警

保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免 許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/ 高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本をとりまく諸国の中で、中国は隣国であり文化的経済的な面からも、今後一層交流が盛んになると思われます。この科目では、交流の基礎となる中国語を学びます。

科目の概要

授業では正しい発音をめざします。文法は簡単なものから、徐々に難易度の高いものへと積み重ねていきます。最終的に は中国語検定試験の準4級・4級に合格できる力が付くよう、指導します。

学修目標

- 1.正しい発音でテキストを読めること
- 2. 文法事項が理解できて、簡単な文章が翻訳できること
- 3. 学習した範囲で、中国語を聴いて理解できること
- 4. 最終的には、自分の主張を中国語で表現できること

以上が受講者の最終目標ですが、希望者には検定試験の情報を与えますので、ぜひチャレンジしてみましょう。また、言葉だけでなく背景となる歴史・文化などにも興味を持って下さい。交流の糧となるに違いありません。

第30回 総括

内容

| 第1回 中国語とは | 第16回 復習 |
|------------|--------------------|
| 第2回 発音概説 | 第17回 第7課 |
| 第3回 日常会話 | 第18回 第8課 |
| 第4回 第1課 | 第19回 第9課 |
| 第5回 第2課 | 第20回 中国語検定試験過去問題解説 |
| 第6回 第3課 | 第21回 第10課 |
| 第7回 中国の文化 | 第22回 第11課 |
| 第8回 第4課 | 第23回第12課 |
| 第9回 第5課 | 第24回 リスニング・リーディング |
| 第10回 第6課 | 第25回 第13課 |
| 第11回 第7課 | 第26回 第14課 |
| 第12回 第8課 | 第27回 第15課 |
| 第13回 簡体字練習 | 第28回 第16課 |
| 第14回 総合復習 | 第29回 総合復習 |

第15回 総括

平常点50%、試験50%として総合的に評価し、60%以上を合格とします。

授業外学習

テキストにはCDが付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。一つの課が終わったら「別冊問題集」がありますので、それを仕上げて先生に添削してもらいましょう。ぐっと力が付くはずです。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『しゃべっていいとも中国語 トータル版』陳淑梅・劉光赤 著 【参 考 書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス その他、プリント参考資料などを配布します。

| 科目名 | 中国語 | | |
|--------|-------------------------------------|---------|---|
| 担当教員名 | 飯塚 敏夫 | | |
| ナンバリング | KKc126 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-中国語 · | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | ODクラス |
| 開講期 | 通年 | 必修・選択の別 | 選必 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| | 四方 1 岁均 , 古物兴华地区 (4万年) / 注册 > /上华国地 | TE | 7.5.0 ± 0.10 () 24 ± 0.10 () 7.5.0 ± 0.10 () 24 ± 0.10 () 7.5.0 |

ねらい(科目の性格

科目の概要

学修目標)

科目の性格

資格関係

日本をとりまく諸国の中で、中国は隣国であり文化的経済的な面からも、今後一層交流が盛んになると思われます。この 科目では、交流の基礎となる中国語を学びます。

科目の概要

授業では正しい発音をめざします。文法は簡単なものから、徐々に難易度の高いものへと積み重ねていきます。最終的に は中国語検定試験の準4級・4級に合格できる力が付くよう、指導します。

学修目標

- 1.正しい発音でテキストを読めること
- 2. 文法事項が理解できて、簡単な文章が翻訳できること
- 3. 学習した範囲で、中国語を聴いて理解できること
- 4. 最終的には、自分の主張を中国語で表現できること

以上が受講者の最終目標ですが、希望者には検定試験の情報を与えますので、ぜひチャレンジしてみましょう。また、言 葉だけでなく背景となる歴史・文化などにも興味を持って下さい。交流の糧となるに違いありません。

第30回 総括

内容

| 第1回 中国語とは | 第16回 復習 |
|------------|--------------------|
| 第2回 発音概説 | 第17回 第7課 |
| 第3回 日常会話 | 第18回 第8課 |
| 第4回 第1課 | 第19回 第9課 |
| 第5回 第2課 | 第20回 中国語検定試験過去問題解説 |
| 第6回 第3課 | 第21回 第10課 |
| 第7回 中国の文化 | 第22回 第11課 |
| 第8回 第4課 | 第23回 第12課 |
| 第9回 第5課 | 第24回 リスニング・リーディング |
| 第10回 第6課 | 第25回 第13課 |
| 第11回 第7課 | 第26回 第14課 |
| 第12回 第8課 | 第27回 第15課 |
| 第13回 簡体字練習 | 第28回 第16課 |
| 第14回 総合復習 | 第29回 総合復習 |

第15回 総括

平常点50%、試験50%として総合的に評価し、60%以上を合格とします。

授業外学習

テキストにはCDが付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。一つの課が終わったら「別冊問題集」がありますので、それを仕上げて先生に添削してもらいましょう。ぐっと力が付くはずです。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『しゃべっていいとも中国語 トータル版』陳淑梅・劉光赤 著 【参 考 書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス その他、プリント参考資料などを配布します。

| 科目名 | 中国語 | | |
|--------|----------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 飯塚 敏夫 | | |
| ナンバリング | KKc126 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-中国語 · | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 0Eクラス |
| 開講期 | 通年 | 必修・選択の別 | 選必 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |

資格関係 警

保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種<mark>免</mark> 許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/ 高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本をとりまく諸国の中で、中国は隣国であり文化的経済的な面からも、今後一層交流が盛んになると思われます。この科目では、交流の基礎となる中国語を学びます。

科目の概要

授業では正しい発音をめざします。文法は簡単なものから、徐々に難易度の高いものへと積み重ねていきます。最終的に は中国語検定試験の準4級・4級に合格できる力が付くよう、指導します。

学修目標

- 1.正しい発音でテキストを読めること
- 2. 文法事項が理解できて、簡単な文章が翻訳できること
- 3. 学習した範囲で、中国語を聴いて理解できること
- 4. 最終的には、自分の主張を中国語で表現できること

以上が受講者の最終目標ですが、希望者には検定試験の情報を与えますので、ぜひチャレンジしてみましょう。また、言葉だけでなく背景となる歴史・文化などにも興味を持って下さい。交流の糧となるに違いありません。

第16回 復習

第30回 総括

内容

第1回 中国語とは

| 7 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I | NOT INC |
|---|--------------------|
| 第2回 発音概説 | 第17回 第7課 |
| 第3回 日常会話 | 第18回 第8課 |
| 第4回 第1課 | 第19回 第9課 |
| 第5回 第2課 | 第20回 中国語検定試験過去問題解説 |
| 第6回 第3課 | 第21回 第10課 |
| 第7回 中国の文化 | 第22回 第11課 |
| 第8回 第4課 | 第23回 第12課 |
| 第9回 第5課 | 第24回 リスニング・リーディング |
| 第10回 第6課 | 第25回 第13課 |
| 第11回 第7課 | 第26回 第14課 |
| 第12回 第8課 | 第27回 第15課 |
| 第13回 簡体字練習 | 第28回 第16課 |
| 第14回 総合復習 | 第29回 総合復習 |

第15回 総括

平常点50%、試験50%として総合的に評価し、60%以上を合格とします。

授業外学習

テキストにはCDが付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。一つの課が終わったら「別冊問題集」がありますので、それを仕上げて先生に添削してもらいましょう。ぐっと力が付くはずです。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『しゃべっていいとも中国語 トータル版』陳淑梅・劉光赤 著 【参 考 書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス その他、プリント参考資料などを配布します。

中国語 目 名 担当教員名 山本 賢二 ナンバリング KKc126 科 人間生活学部(K)-共通科目-中国語 年 クラス 0Fクラス 開講期 通年 必修・選択の別 選必 授業形態 位 数

保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二 資格関係 高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) 高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本をとりまく諸国の中で、中国は隣国であり文化的経済的な面からも、今後一層交流が盛んになると思われます。この科目では、交流の基礎となる中国語を学びます。

科目の概要

授業では正しい発音をめざします。文法は簡単なものから、徐々に難易度の高いものへと積み重ねていきます。最終的に は中国語検定試験の準4級・4級に合格できる力が付くよう、指導します。

学修目標

- 1.正しい発音でテキストを読めること
- 2. 文法事項が理解できて、簡単な文章が翻訳できること
- 3. 学習した範囲で、中国語を聴いて理解できること
- 4. 最終的には、自分の主張を中国語で表現できること

以上が受講者の最終目標ですが、希望者には検定試験の情報を与えますので、ぜひチャレンジしてみましょう。また、言葉だけでなく背景となる歴史・文化などにも興味を持って下さい。交流の糧となるに違いありません。

内容

第1回 中国語とは 第16回 復習 第17回 第7課 第2回 発音概説 第3回 日常会話 第18回 第8課 第4回 第1課 第19回 第9課 第5回 第2課 第20回 中国語検定試験過去問題解説 第21回 第10課 第6回 第3課 第7回 中国の文化 第22回 第11課 第8回 第4課 第23回 第12課

 第8回 第4課
 第23回 第12課

 第9回 第5課
 第24回 リスニング・リーディング

 第10回 第6課
 第25回 第13課

第10回 第6課 第25回 第13課

第11回 リーディング・リスニング 第26回 スピーキング「自己紹介」

第12回 ライティング・スピーキング 第27回 ライティング

第13回 簡体字練習 第28回 基本文型

第14回 総合復習 第29回 総合復習

第 1 5 回 総括 第 3 0 回 総括

平常点50%、試験50%として総合的に評価し、60%以上を合格とします。

授業外学習

テキストにはCDが付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。一つの課が終わったら「別冊問題集」がありますので、それを仕上げて先生に添削してもらいましょう。ぐっと力が付くはずです。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『中国語はじめの一歩』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス その他、プリント参考資料などを配布します。

| 科目名 | 中国語 | | |
|--------|----------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 池間 里代子 | | |
| ナンバリング | KKc226 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-中国語 · | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | OAクラス |
| 開講期 | 通年 | 必修・選択の別 | 選必 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉。中国語のステップアップを目指します。

科目の概要

中国語検定試験4級(初級終了レベル)合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します 。適宜プリントによって学習事項のチェックを行ないます。

学修目標

- 1.正しい発音でピンインが読める
- 2.テキストの例文がきちんと理解できる
- 3. 簡体字に習熟する
- 4. 長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。

内容

| 第 1 回 ガイダンス | 第16回 文型の復習 |
|-----------------|------------------|
| 第2回 発音の復習 | 第17回 第7課本文・ポイント |
| 第3回 第1課本文・ポイント | 第18回 第7課トレーニング |
| 第4回 第1課トレーニング | 第19回 第8課本文・ポイント |
| 第5回 第2課本文・ポイント | 第20回 第8課トレーニング |
| 第6回 第2課トレーニング | 第21回 第9課本文・ポイント |
| 第7回 第3課本文・ポイント | 第22回 第9課トレーニング |
| 第8回 第3課トレーニング | 第23回 第10課本文・ポイント |
| 第9回 第4課本文・ポイント | 第24回 第10課トレーニング |
| 第10回 第4課トレーニング | 第25回 第11課本文・ポイント |
| 第11回 第5課本文・ポイント | 第26回 第11課トレーニング |
| 第12回 第5課トレーニング | 第27回 第12課本文・ポイント |
| 第13回 第6課本文・ポイント | 第28回 第12課トレーニング |
| 第14回 第6課トレーニング | 第29回 「メールを出そう!」 |
| 第15回 まとめ | 第30回 まとめ |

評価

平常点(授業への取り組み・課題提出)50%・試験50%の割合で評価し、60%以上を合格とします。

授業外学習

テキストにはCDが付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は学習内容が理解できているかを「問題」を解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト: 尹景春・竹島毅『中国語つぎへの一歩』白水社

その他、プリントや資料などを配布します。

| 科目名 | 中国語 | | |
|--------|----------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 池間 里代子 | | |
| ナンバリング | KKc226 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-中国語 · | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | OBクラス |
| 開講期 | 通年 | 必修・選択の別 | 選必 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉。中国語のステップアップを目指します。

科目の概要

中国語検定試験4級(初級終了レベル)合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します 。適宜プリントによって学習事項のチェックを行ないます。

学修目標

- 1.正しい発音でピンインが読める
- 2.テキストの例文がきちんと理解できる
- 3. 簡体字に習熟する
- 4. 長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。

内容

| 第1回 ガイダンス | 第16回 文型の復習 |
|-----------------|------------------|
| 第2回 発音の復習 | 第17回 第7課本文・ポイント |
| 第3回 第1課本文・ポイント | 第18回 第7課トレーニング |
| 第4回 第1課トレーニング | 第19回 第8課本文・ポイント |
| 第5回 第2課本文・ポイント | 第20回 第8課トレーニング |
| 第6回 第2課トレーニング | 第21回 第9課本文・ポイント |
| 第7回 第3課本文・ポイント | 第22回 第9課トレーニング |
| 第8回 第3課トレーニング | 第23回 第10課本文・ポイント |
| 第9回 第4課本文・ポイント | 第24回 第10課トレーニング |
| 第10回 第4課トレーニング | 第25回 第11課本文・ポイント |
| 第11回 第5課本文・ポイント | 第26回 第11課トレーニング |
| 第12回 第5課トレーニング | 第27回 第12課本文・ポイント |
| 第13回 第6課本文・ポイント | 第28回 第12課トレーニング |
| 第14回 第6課トレーニング | 第29回 「メールを出そう!」 |
| 第15回 まとめ | 第30回 まとめ |

評価

授業外学習

テキストにはCDが付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は学習内容が理解できているかを「問題」を解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト: 尹景春・竹島毅『中国語つぎへの一歩』白水社

その他、プリントや資料などを配布します。

| 科目名 | 地球のしくみと災害 | |
|--------|------------------------|----------------------|
| 担当教員名 | 清水 誠 | |
| ナンバリング | KKa120 | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-人間と自然を学 | <i>v</i> 5 1, |
| 学 年 | | ク ラ ス 1Aクラス |
| 開講期 | | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格 | |

科目の性格

科目の概要

我が国は、災害大国である。講義の前半では、地球の構造、地震や火山噴火の発生メカニズム、大気の性質や振る舞いについて学ぶ。続いて、災害の発生原因を知り、災害を最小限にするための軽減策について考える。

学修目標(=到達目標)

- ・地球のつくりとそこでおこる現象について説明できる。
- ・災害が私たちの生活する社会に及ぼす影響について理解する。
- ・災害とどのように向き合っていくかを考える力を身につける。

| 内容 | |
|----|------------|
| 1 | オリエンテーション |
| 2 | 天気の変化 |
| 3 | 日本の気象 |
| 4 | 台風と災害 |
| 5 | 豪雨と災害 |
| 6 | 地球の形と内部構造 |
| 7 | 地球の仕組みと変動 |
| 8 | 火山噴火のメカニズム |
| 9 | 火山噴火と噴出物 |
| 10 | 火山噴火と災害 |
| 11 | 地震の発生の仕組み |
| 12 | 日本の地震 |
| 13 | 地震と災害 |
| 14 | 津波と災害 |
| 15 | まとめ |

評価

レポート30点、筆記試験70点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】1時間程度、シラバスにある内容を書籍等で予習しておく。

【事後学修】1時間程度、講義内容についての復習と不明な点を書籍等で解決する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】プリント配布

【推薦書】講義の中で紹介する

【参考図書】講義の中で紹介する

| 科目名 | 地球のしくみと災害 | | |
|--------|-------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 清水 誠 | | |
| ナンバリング | KKa120 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-人間と自然を学売 | 3î | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開講期 | | 必修・選択の別 | |
| 授業形態 | | 単位数 | |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

科目の概要

我が国は、災害大国である。講義の前半では、地球の構造、地震や火山噴火の発生メカニズム、大気の性質や振る舞いについて学ぶ。続いて、災害の発生原因を知り、災害を最小限にするための軽減策について考える。

学修目標(=到達目標)

- ・地球のつくりとそこでおこる現象について説明できる。
- ・災害が私たちの生活する社会に及ぼす影響について理解する。
- ・災害とどのように向き合っていくかを考える力を身につける。

| 内容 | |
|----|------------|
| 1 | オリエンテーション |
| 2 | 天気の変化 |
| 3 | 日本の気象 |
| 4 | 台風と災害 |
| 5 | 豪雨と災害 |
| 6 | 地球の形と内部構造 |
| 7 | 地球の仕組みと変動 |
| 8 | 火山噴火のメカニズム |
| 9 | 火山噴火と噴出物 |
| 10 | 火山噴火と災害 |
| 11 | 地震の発生の仕組み |
| 12 | 日本の地震 |
| 13 | 地震と災害 |
| 14 | 津波と災害 |
| 15 | まとめ |

評価

レポート30点、筆記試験70とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】1時間程度、シラバスにある内容を書籍等で予習しておく。

【事後学修】1時間程度、講義内容についての復習と不明な点を書籍等で解決する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】プリント配布

【推薦書】講義の中で紹介する

【参考図書】講義の中で紹介する

| 科目名 | 原子のエネルギーとわたしたち |
|--------|-------------------------|
| 担当教員名 | 秋庭 悦子 |
| ナンバリング | KKa121 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-人間と自然を学ぶ |
| 学 年 | ク ラ ス 1Aクラス |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格 |

科目の性格

原子のエネルギーについて、安全とリスク、社会の経済活動、環境問題、国際社会との関係性など多面的な視点で捉え、これからの暮らしや社会の在り方、エネルギー教育の必要性などについて考える。

科目の概要

原子のエネルギーの利用と私たちの暮らしや社会の関わりを捉える。福島第一原子力発電所事故後のエネルギー利用の現状と様々な課題を踏まえて、将来のエネルギーについて考える。また、放射線の基礎知識を学び、医療や農業など暮らしに身近な放射線利用について理解する。

学修目標(=到達目標)

- 1.暮らしとエネルギーのかかわりを理解する。
- 2. 原子のエネルギー利用のメリットとリスクを理解する。
- 3. グローバルな視点でエネルギーを考えることができる。
- 4.放射線の基本知識を身につけ、冷静に放射線影響を判断できるようにする。

| 内容 | |
|----|-------------------|
| 1 | はじめに |
| 2 | 私たちの暮らしとエネルギーの関わり |
| 3 | 日本のエネルギー事情 |
| 4 | 世界のエネルギー事情 |
| 5 | 地球温暖化問題とエネルギー |
| 6 | 再生可能エネルギーのメリットと課題 |
| 7 | 原子力発電の仕組みとリサイクル |
| 8 | 福島第一原子力発電所の事故について |
| 9 | 放射線の基礎知識 |
| 10 | 食と放射線 |
| 11 | 放射線の利用について |
| 12 | 原子力発電と廃棄物 |
| 13 | 地層処分についてのワークショップ |
| 14 | これからの暮らしとエネルギー |
| 15 | まとめ |

評価

授業への参加20%、授業中の提出物30%、最終レポート提出50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】前回の学習内容を復習しておく

【事後学修】今回の学習内容について再度見直し、疑問点を解消しておく

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用しない

【推薦書】教室で紹介する

【参考図書】教室で紹介する

| 科目名 | 原子のエネルギーとわたしたち | | | | |
|--------|-------------------------|--|--|--|--|
| 担当教員名 | 秋庭 悦子 | | | | |
| ナンバリング | ナンバリング KKa121 | | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-人間と自然を学ぶ | | | | |
| 学年 | ク ラ ス 2Aクラス | | | | |
| 開講期 | 必修・選択の別 | | | | |
| 授業形態 | 単位数 | | | | |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

原子のエネルギーについて、安全とリスク、社会の経済活動、環境問題、国際社会との関係性など多面的な視点で捉え、これからの暮らしや社会の在り方、エネルギー教育の必要性などについて考える。

科目の概要

原子のエネルギーの利用と私たちの暮らしや社会の関わりを捉える。福島第一原子力発電所事故後のエネルギー利用の現状と様々な課題を踏まえて、将来のエネルギーについて考える。また、放射線の基礎知識を学び、医療や農業など暮らしに身近な放射線利用について理解する。

学修目標(=到達目標)

- 1.暮らしとエネルギーのかかわりを理解する。
- 2. 原子のエネルギー利用のメリットとリスクを理解する。
- 3. グローバルな視点でエネルギーを考えることができる。
- 4.放射線の基本知識を身につけ、冷静に放射線影響を判断できるようにする。

| 内容 | 为容 | | | |
|----|-------------------|--|--|--|
| 1 | はじめに | | | |
| 2 | 私たちの暮らしとエネルギーの関わり | | | |
| 3 | 日本のエネルギー事情 | | | |
| 4 | 世界のエネルギー事情 | | | |
| 5 | 地球温暖化問題とエネルギー | | | |
| 6 | 再生可能エネルギーのメリットと課題 | | | |
| 7 | 原子力発電の仕組みとリサイクル | | | |
| 8 | 福島第一原子力発電所の事故について | | | |
| 9 | 放射線の基礎知識 | | | |
| 10 | 食と放射線 | | | |
| 11 | 放射線の利用について | | | |
| 12 | 原子力発電と廃棄物 | | | |
| 13 | 地層処分についてのワークショップ | | | |
| 14 | これからの暮らしとエネルギー | | | |
| 15 | まとめ | | | |

授業への参加20%、授業中の提出物30%、最終レポート提出50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】前回の学習内容を復習しておく

【事後学修】今回の学習内容について再度見直し、疑問点を解消しておく

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用しない

【推薦書】教室で紹介する

【参考図書】教室で紹介する

 科目名
 地球環境の保全と生活

 担当教員名
 田総恵子

 ナンバリング KKa117
 KKa117

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-人間と自然を学ぶ

 学 年 1
 クラス 1Aクラス

 開講期前期
 必修・選択の別選必,選択

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

共通科目「人間と自然を学ぶ」群科目として、地球環境問題の様々な側面について考える。

地球環境問題は、身近な生活環境の悪化を原因として発生した問題である。しかし、その改善策を考える際は、単に生活環境を改善して、人間にとって住みやすい環境を作りなおすという視点だけでなく、地球の健康、つまりエコシステム(生態系)という視点から見ても望ましい策を考えるという動きが始まっている。この講義では、既に行われている具体的な対策について検討するとともに、エコシステムに注目する行動の基礎になった環境倫理学の視点も紹介して、生態系を重視する環境保護政策のあり方について考える。

環境問題の多様性を理解し、「環境学」の基礎を学ぶ。

| 内容 | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 地球環境問題をどう捉えるか |
| 2 | 環境を考える4つの視点(1):市場優先派と制度重視派 |
| 3 | 環境を考える4つの視点(2):生態系優先派と緑の社会正義派 |
| 4 | 環境保護対策の考え方 |
| 5 | 国際協力体制の始まり |
| 6 | 国際協力体制の発展 |
| 7 | 環境問題における国際対立 |
| 8 | 環境問題と経済格差 |
| 9 | 環境問題とジェンダー |
| 10 | 環境問題と民主主義 |
| 11 | 環境NGO |
| 12 | 環境倫理学 |
| 13 | 生態系を守る環境保護政策 |
| 14 | 環境学への視座 |
| 15 | まとめ |

評価

レポート(60%)、試験(40%)で総合評価。再試験は行わない。

授業外学習

【事前予習】新聞・ニュース等で、環境関連の出来事について情報を集める。

【事後学修】授業で説明された政治経済社会的背景を踏まえて、集めた情報を整理する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】関礼子他 『環境の社会学』有斐閣アルマ 2009年

【推薦書】京都大学地球環境学研究会 『地球環境学へのアプローチ』丸善2008年; 東京商工会議所編『eco検定公式テキスト』日本能率協会 2011年

【参考図書】ヴァンダナ・シヴァ 『生物多様性の危機』 明石書店 2003 年

 科目名
 地球環境の保全と生活

 担当教員名
 田総 恵子

 ナンバリング
 KKa117

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-人間と自然を学ぶ

 学年1
 クラス 2Aクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選択,選必

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

共通科目「人間と自然を学ぶ」群科目として、地球環境問題の様々な側面について考える。

地球環境問題は、身近な生活環境の悪化を原因として発生した問題である。しかし、その改善策を考える際は、単に生活環境を改善して、人間にとって住みやすい環境を作りなおすという視点だけでなく、地球の健康、つまりエコシステム(生態系)という視点から見ても望ましい策を考えるという動きが始まっている。この講義では、既に行われている具体的な対策について検討するとともに、エコシステムに注目する行動の基礎になった環境倫理学の視点も紹介して、生態系を重視する環境保護政策のあり方について考える。

環境問題の多様性を理解し、「環境学」の基礎を学ぶ。

| 内容 | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 地球環境問題をどう捉えるか |
| 2 | 環境を考える4つの視点(1):市場優先派と制度重視派 |
| 3 | 環境を考える4つの視点(2):生態系優先派と緑の社会正義派 |
| 4 | 環境保護対策の考え方 |
| 5 | 国際協力体制の始まり |
| 6 | 国際協力体制の発展 |
| 7 | 環境問題における国際対立 |
| 8 | 環境問題と経済格差 |
| 9 | 環境問題とジェンダー |
| 10 | 環境問題と民主主義 |
| 11 | 環境NGO |
| 12 | 環境倫理学 |
| 13 | 生態系を守る環境保護政策 |
| 14 | 環境学への視座 |
| 15 | まとめ |

評価

レポート(60%)、試験(40%)で総合評価。再試験は行わない。

授業外学習

【事前予習】新聞・ニュース等で、環境関連の出来事について情報を集める。

【事後学修】授業で説明された政治経済社会的背景を踏まえて、集めた情報を整理する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】関礼子他 『環境の社会学』有斐閣アルマ 2009年

【推薦書】京都大学地球環境学研究会 『地球環境学へのアプローチ』丸善2008年; 東京商工会議所編『eco検定公式テキスト』日本能率協会 2011年

【参考図書】ヴァンダナ・シヴァ 『生物多様性の危機』 明石書店 2003 年

| 科目名 | 宇宙ともののなりたち | | | |
|--------|-------------------------|---------|-------|--|
| 担当教員名 | 名 北原 俊一 | | | |
| ナンバリング | 「リング KKa118 | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-人間と自然を学ぶ | | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 1Aクラス | |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 | |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 | |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の「人間と自然を学ぶ」科目群のひとつである。宇宙規模で人間と自然の関係を学ぶ。

科目の概要

近隣の惑星の環境を学ぶことにより、改めて生物が存在可能な地球の自然環境を見直す。この地球環境は宇宙の長い歴史のなかで生まれてきたことを理解する。この宇宙全体には「始まり」があり、人間が誕生するまでに長い時間と、多くのできごとがあったことを学ぶ。

学修目標(=到達目標)

太陽系の他の天体を知ることにより、地球が生命の存在に適した星であることを理解する。

宇宙誕生から人類が生まれてくるまでの歴史を理解する。

| 内容 | 内容 | | | |
|----|---------------|--|--|--|
| 1 | 宇宙の始まり | | | |
| 2 | 地球の近隣惑星,火星 | | | |
| 3 | 地球の近隣惑星,金星 | | | |
| 4 | 地球の衛星,月 | | | |
| 5 | 地球と太陽 | | | |
| 6 | 木星と土星 | | | |
| 7 | 太陽系外縁天体 | | | |
| 8 | 彗星と地球 | | | |
| 9 | 恒星の世界,小さな星の最期 | | | |
| 10 | 大きな星の最期 | | | |
| 11 | 星屑と私たちの関係 | | | |
| 12 | 恒星の誕生 | | | |
| 13 | プラックホールと銀河系 | | | |
| 14 | 銀河宇宙 | | | |
| 15 | まとめ | | | |

評価

授業への参加度10%、授業中の提出物20%、筆記試験70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を復習しておく。

【事後学修】今回の学習内容について再度見直し、疑問点を解消しておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用しない

【参考図書】教室で紹介する

 料目名
 宇宙ともののなりたち

 担当教員名
 北原 俊一

 ナンバリング
 KKa118

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-人間と自然を学ぶ

 学年1
 クラス 2Aクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業形態
 単位数 2

 資格関係保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の「人間と自然を学ぶ」科目群のひとつである。宇宙規模で人間と自然の関係を学ぶ。

科目の概要

近隣の惑星の環境を学ぶことにより、改めて生物が存在可能な地球の自然環境を見直す。この地球環境は宇宙の長い歴史のなかで生まれてきたことを理解する。この宇宙全体には「始まり」があり、人間が誕生するまでに長い時間と、多くのできごとがあったことを学ぶ。

学修目標(=到達目標)

太陽系の他の天体を知ることにより、地球が生命の存在に適した星であることを理解する。

宇宙誕生から人類が生まれてくるまでの歴史を理解する。

| 内容 | |
|----|---------------|
| 1 | 宇宙の始まり |
| 2 | 地球の近隣惑星,火星 |
| 3 | 地球の近隣惑星,金星 |
| 4 | 地球の衛星,月 |
| 5 | 地球と太陽 |
| 6 | 木星と土星 |
| 7 | 太陽系外縁天体 |
| 8 | 彗星と地球 |
| 9 | 恒星の世界,小さな星の最期 |
| 10 | 大きな星の最期 |
| 11 | 星屑と私たちの関係 |
| 12 | 恒星の誕生 |
| 13 | プラックホールと銀河系 |
| 14 | 銀河宇宙 |
| 15 | まとめ |

評価

授業への参加度10%、授業中の提出物20%、筆記試験70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を復習しておく。

【事後学修】今回の学習内容について再度見直し、疑問点を解消しておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用しない

【参考図書】教室で紹介する

 料 目 名
 生物の多様性と倫理

 担当教員名
 渋谷 治美

 ナンバリング KKa119
 KKa119

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-人間と自然を学ぶ

 学 年 1
 クラス 1Aクラス

 開 講 期 前期
 必修・選択の別 選択,選必

 授業 形態
 単 位 数 2

 資 格 関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:「人間とは何か」を考える素地の一つとして、様々な角度・話題・切り口から現代生物学の知見を学ぶ。「倫理」とは主に社会的な行動規範を意味する。ところで人間は生物の一種である。では人間の行動様式と人間以外の生物、とくに人間以外の動物たちの生存様式とを比較してみると、どこが共通していて、どこが異なるのか。毎回異なった切り口から検討し、「人間とは何か」を考えるきっかけを得る。

科目の概要:前半の10回ほどは、生物進化論の一般的な知見を学ぶ。各回、一つの仮説を取り上げてその内容を概説したうえで、それを人間の倫理に関連づけて考えてみる。後半の5回ほどば、現代人類学の最新の知見を学び、それを人間の倫理、社会の在り方に関連づけて考えてみる。

学修目標(=到達目標):宇宙論と並んで、現代生物学の研究の進み具合は目を見張るほどである。それらのうち、「人間とは何か」を考えるのにつながるような知見について易しく解説されるので、それを基にして、人間についてこれまでとは違った角度から「哲学する」きっかけを得る。

| 内容 | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 地球上の38億年の生物進化史生命は地球上だけ? |
| 2 | ダーウィンの進化論 『創世記』は古いか? |
| 3 | 遺伝子の発見と機構 放射能は敵か? |
| 4 | 遺伝情報の先天性と発生の後天性 氏か育ちか? |
| 5 | 真核細胞と共生説 生物の基本は連帯か? |
| 6 | 「利己的な遺伝子」 利己的な人間ほど生物らしい? |
| 7 | ESS(進化論的にいって安定した戦略) 嘘を何回許せるか? |
| 8 | 平衡多型 学級崩壊もこれで説明される? |
| 9 | 非特殊性の法則 切り札はなるべく切らない? |
| 10 | 直立二足歩行 いいことばかりか? |
| 11 | 難産と早産 悪いことばかりか? |
| 12 | 幼形成熟 老人も赤ちゃんだ! |
| 13 | 便宜主義 強い方に味方するのが正解? |
| 14 | 狩猟仮説 ヴェジタリアンは滅ぶ? |
| 15 | まとめ 人間は生物を超えられるか? |

評価

毎回短い感想を書いてもらう(3×15=45点)。最後にレポートを提出してもらう(55点)。総合評価60点以上を合格とする。ただし出席が12回以上でないと単位認定されない。

授業外学習

【事前準備】NHK「ダーウィンがやってきた!」を観て、動物について考える。

【事後学修】講義と照らしながらNHK「ダーウィンがやってきた!」を観る。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】なし。

【推薦書】そのつど推薦する。

【参考図書】メイナード・スミス『生物学のすすめ』紀伊國屋書店、木村資生『生物進化を考える』岩波新書、海部陽介『 人類がたどってきた道』NHKブックス

 生物の多様性と倫理

 担当教員名
 渋谷 治美

 ナンバリング
 KKa119

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-人間と自然を学ぶ

 学 年 1
 クラス 2Aクラス

 開 講 期 後期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業 形態
 単 位 数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:「人間とは何か」を考える素地の一つとして、様々な角度・話題・切り口から現代生物学の知見を学ぶ。「倫理」とは主に社会的な行動規範を意味する。ところで人間は生物の一種である。では人間の行動様式と人間以外の生物、とくに人間以外の動物たちの生存様式とを比較してみると、どこが共通していて、どこが異なるのか。毎回異なった切り口から検討し、「人間とは何か」を考えるきっかけを得る。

科目の概要:前半の10回ほどは、生物進化論の一般的な知見を学ぶ。各回、一つの仮説を取り上げてその内容を概説したうえで、それを人間の倫理に関連づけて考えてみる。後半の5回ほどば、現代人類学の最新の知見を学び、それを人間の倫理、社会の在り方に関連づけて考えてみる。

学修目標(=到達目標):宇宙論と並んで、現代生物学の研究の進み具合は目を見張るほどである。それらのうち、「人間とは何か」を考えるのにつながるような知見について易しく解説されるので、それを基にして、人間についてこれまでとは違った角度から「哲学する」きっかけを得る。

| 内容 | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 地球上の38億年の生物進化史 生命は地球上だけ? |
| 2 | ダーウィンの進化論 『創世記』は古いか? |
| 3 | 遺伝子の発見と機構 放射能は敵か? |
| 4 | 遺伝情報の先天性と発生の後天性 氏か育ちか? |
| 5 | 真核細胞と共生説 生物の基本は連帯か? |
| 6 | 「利己的な遺伝子」 利己的な人間ほど生物らしい? |
| 7 | ESS(進化論的にいって安定した戦略) 嘘を何回許せるか? |
| 8 | 平衡多型 学級崩壊もこれで説明される? |
| 9 | 非特殊性の法則 切り札はなるべく切らない? |
| 10 | 直立二足歩行 いいことばかりか? |
| 11 | 難産と早産 悪いことばかりか? |
| 12 | 幼形成熟 老人も赤ちゃんだ! |
| 13 | 便宜主義 強い方に味方するのが正解? |
| 14 | 狩猟仮説 ヴェジタリアンは滅ぶ? |
| 15 | まとめ 人間は生物を超えられるか? |

評価

毎回短い感想を書いてもらう(3×15=45点)。最後にレポートを提出してもらう(55点)。総合評価60点以上を合格とする。ただし出席が12回以上でないと単位認定されない。

授業外学習

【事前準備】NHK「ダーウィンがやってきた!」を観て、動物について考える。

【事後学修】講義と照らしながらNHK「ダーウィンがやってきた!」を観る。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】なし。

【推薦書】そのつど推薦する。

【参考図書】メイナード・スミス『生物学のすすめ』紀伊國屋書店、木村資生『生物進化を考える』岩波新書、海部陽介『 人類がたどってきた道』NHKブックス

| 科目名 | 健康と運動 | | | |
|--------|-------------------------|---------|--------|--|
| 担当教員名 | 飯田 路佳 | | | |
| ナンバリング | パリング KKa122 | | | |
| 学科 | 人間生活学部(K)-共通科目-人間と自然を学ぶ | | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | 1Aクラス | |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修*,選必 | |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 | |
| 資格関係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:十文字学の講義科目である。こころとからだを通じ、「健康」とは何かについて、実感を持って、感じ、考える授業である。

科目の概要:「世の中にたちてかひある人と生きなむ」と謳われているように、世の中に出て社会的な役割を十分に果たすためには、各自の心身へのたえまない洞察と働きかけが必要となる。本授業では、体育科学の最新の研究成果をベースとして、その洞察と働きかけに関する知見を提供する。授業を通して運動の今日的な意義や健康のあり方についての教養を深め、女性としてしなやかに日々を過ごすための素地を整える。

学修目標:生涯を健康でこころ豊かに過ごせるように、「健康」「運動」「身体活動」「こころ」「からだ」「感覚」などをキーワードに、総合的に理解を深める。

- 1.「自分を知る」ことで、自分への気づきを深める。
- 2.「自ら考える」ことの必要性を理解し、自分なりの魅力的な女性とは何か、自分らしさを探るヒントとする。
- 3.「情報を得る」ことの重要性を知り、教養への興味を深める。
- 4.「実践に移す」ことで、自分の変化が顕われることを知る。
- 5.「他人の考え」を知ることで、世の中には様々な考え方があり、その中での自分の軸を探る。

内容

身近におこる様々な健康に関する問題を取り上げ、生涯を"生き生きと輝く心とからだ"で生き抜くためにはどうしたらよいか、グループワークなどを通じてともに考え、論じ合う。特に、女性の生き方が、いかに将来の生活に大きく影響するか、その役割と健康な家庭生活の重要性を理解する。またそのために、「自分を知る」ことを授業の根底に流れる目標として、女性である自分に対する理解をより深め、行動し実践して行くことをめざす。(注:遅刻は厳禁。15分以上遅れた場合は欠席とする。)

| 1 | 健康とは(運動の効果と影響) |
|----|----------------------------------|
| 2 | こころの健康(私たちが健康を感じて行くために) |
| 3 | からだの各部位とデータ (血圧・心拍数等の解説) |
| 4 | 測定値の検証 (トレーニングの原則と効果) |
| 5 | エネルギー所要量と運動の仕組み (W-up、C-dnの必要性) |
| 6 | 運動と栄養(自分の食生活を振り返って) |
| 7 | 女性のからだと運動(健康づくりのプログラム) |
| 8 | 女性のからだと運動(有酸素運動とレジスタンス運動) |
| 9 | リプロダクティブヘルス1(月経、妊娠、人工妊娠中絶) |
| 10 | リプロダクティブヘルス 2 (避妊とSTD-HIV/AIDS他) |
| 11 | 内側と外側 |
| 12 | 依存症(喫煙、アルコール、携帯、その他) |
| 13 | これまでとこれから (人生設計) |
| 14 | 危機管理(その予防と対処法) |

15 まとめ

評価

毎回授業終了時にその日のまとめを必ず提出する。

平常点50%、学習態度および毎回のリアクションペーパー提出10%、課題提出(3回)15%、最終レポート提出25%とし、総合的に評価し,6割以上を合格とする.

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し、授業で扱う内容の前提となる事項に関連する資料に目を通し、レディネスを高める。 【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

基本的にはプリントを配布し、参考資料は授業内で適宜指示する。

 科目名
 健康と運動

 担当教員名
 平田 智秋

 ナンバリング
 KKa122

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-人間と自然を学ぶ

 学年1
 クラス 2Aクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 必修*、選必

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格/健康運動実践指導者

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

十文字学の中にある体育科目です。自分の身体を鍛え、身体的体力、精神的体力を高めることで、4年間の学園生活を充実 させる素地を整えます。

施設の制限や授業内容の制約もあるので,履修人数を35名に制限します。

科目の概要

サブアリーナのトレーニングエリアで、授業前半はトレーニング方法に関する講義、授業後半は実際のトレーニングを行います。15回の授業を通じた身体の変化を計測し、身体と気持ちの変容を体感します。

学修目標(=到達目標)

- ・健康を高め、維持するためのトレーニング理論を理解する
- ・トレーニングの実践を通じて、自分に合ったトレーニングを継続できるようになる
- ・新座市民ロードレース大会に参加し,一般女子の部で10.55kmを完走する

内容

予定講義内容

- ・カロリー計算とウェイトコントロール
- ・マシントレーニングとフリーウェイト
- ・筋肉の発達
- ・トレーニングと栄養
- ・ 有酸素運動と無酸素運動

予定実技内容

- ・トレーニングマシンの使用方法
- ・トレッドミルの安全な利用
- ・フリーウェイト1:上半身の種目
- ・フリーウェイト2:下半身の種目
- ・フリーウェイト3:背中・肩の種目
- ・速歩から、心地よいペースでの長いジョギング

講義と実技とを組み合わせ、授業を展開します。

毎年1月に開催される新座市民ロードレースに参加し,10.55kmの完走を目指します。

平常点50%、毎回の提出エッセイを50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】日々の身体状態を記録する

【事後学修】授業での内容を実践・継続し、その効果を吟味する

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【参考図書】Michael Matthews. Thinner Leaner Stronger. Createspace.

| 科目名 | 健康と運動 | | | |
|--------|-------------------------|---------|----------|--|
| 担当教員名 | 飯田 路佳 | | | |
| ナンバリング | リング KKa122 | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-人間と自然を学ぶ | | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 2Bクラス | |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修 * ,選必 | |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 | |
| 資格関係 | 資格関係 保育士資格/健康運動実践指導者 | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:十文字学の講義科目である。こころとからだを通じ、「健康」とは何かについて、実感を持って、感じ、考える授業である。

科目の概要:「世の中にたちてかひある人と生きなむ」と謳われているように、世の中に出て社会的な役割を十分に果たすためには、各自の心身へのたえまない洞察と働きかけが必要となる。本授業では、体育科学の最新の研究成果をベースとして、その洞察と働きかけに関する知見を提供する。授業を通して運動の今日的な意義や健康のあり方についての教養を深め、女性としてしなやかに日々を過ごすための素地を整える。

学修目標:生涯を健康でこころ豊かに過ごせるように、「健康」「運動」「身体活動」「こころ」「からだ」「感覚」などをキーワードに、総合的に理解を深める。

- 1.「自分を知る」ことで、自分への気づきを深める。
- 2.「自ら考える」ことの必要性を理解し、自分なりの魅力的な女性とは何か、自分らしさを探るヒントとする。
- 3.「情報を得る」ことの重要性を知り、教養への興味を深める。
- 4.「実践に移す」ことで、自分の変化が顕われることを知る。
- 5.「他人の考え」を知ることで、世の中には様々な考え方があり、その中での自分の軸を探る。

内容

身近におこる様々な健康に関する問題を取り上げ、生涯を"生き生きと輝く心とからだ"で生き抜くためにはどうしたらよいか、グループワークなどを通じてともに考え、論じ合う。特に、女性の生き方が、いかに将来の生活に大きく影響するか、その役割と健康な家庭生活の重要性を理解する。またそのために、「自分を知る」ことを授業の根底に流れる目標として、女性である自分に対する理解をより深め、行動し実践して行くことをめざす。(注:遅刻は厳禁。15分以上遅れた場合は欠席とする。)

| 1 | 健康とは(運動の効果と影響) |
|----|----------------------------------|
| 2 | こころの健康(私たちが健康を感じて行くために) |
| 3 | からだの各部位とデータ (血圧・心拍数等の解説) |
| 4 | 測定値の検証 (トレーニングの原則と効果) |
| 5 | エネルギー所要量と運動の仕組み (W-up、C-dnの必要性) |
| 6 | 運動と栄養(自分の食生活を振り返って) |
| 7 | 女性のからだと運動(健康づくりのプログラム) |
| 8 | 女性のからだと運動(有酸素運動とレジスタンス運動) |
| 9 | リプロダクティブヘルス1(月経、妊娠、人工妊娠中絶) |
| 10 | リプロダクティブヘルス 2 (避妊とSTD-HIV/AIDS他) |
| 11 | 内側と外側 |
| 12 | 依存症(喫煙、アルコール、携帯、その他) |
| 13 | これまでとこれから (人生設計) |
| 14 | 危機管理(その予防と対処法) |

15 まとめ

評価

毎回授業終了時にその日のまとめを必ず提出する。

平常点50%、学習態度および毎回のリアクションペーパー提出10%、課題提出(3回)15%、最終レポート提出25%とし、総合的に評価し,6割以上を合格とする.

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し、授業で扱う内容の前提となる事項に関連する資料に目を通し、レディネスを高める。 【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

基本的にはプリントを配布し、参考資料は授業内で適宜指示する。

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 名倉 秀子、栗崎 純一、志村 二三夫、田中 茂 他

 ナンバリング
 KKa001

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学年
 1

 月期
 前期

 必修・選択の別
 必修・

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

│ 自己紹介,仲間とのコミュニケーションを図る

科目の性格

この科目は高等学校の生徒から、大学の学生へと円滑に移行するための必要な勉強を各学科の先生方とともに学ぶために 設定されました。特に本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さ んが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあうことにな ります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。 そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追及する態度、基本的な学習技法・技能(テキストの読み方、ノートの取り方・まとめ方、レポート作成、文献調査等)、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について、学生の主体的な活動を通して学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、 自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追及しあう態度を身につける こと、などがねらいです。

内容

| 2 | 大学・学部・学科の特徴,食物栄養学科で取得できる資格 |
|----|---|
| 3 | 大学組織の活用法 |
| 4 | 4年間のカリキュラムの組み立て |
| 5 | 大学授業への受講技能(ノートの取り方,まとめ方,試験勉強) |
| 6 | 実験や実習に関して(動物実験教育訓練、レポート作成に関する技法等) |
| 7 | 社会人基礎力 (PROG) テストの実施 |
| 8 | 図書・情報センター 図書館(図書館本館・図書館分室)の紹介と活用法 |
| 9 | SPI性格検査の実施 |
| 10 | 大学生活の情報交換,先輩からのアドバイス |
| 11 | テキストの読み方・書き方(説明的文章の読み方・要約のまとめ方・論理的文章の書き方) |
| 12 | 社会人基礎力 (PROG) テストについての説明 |
| 13 | 食・栄養・健康の地域活動 |
| 14 | 食・栄養・健康の地域活動 |
| 15 | SPI性格検査についての説明.まとめ |
| | |

平常点(50点)および課題に対するレポート(50点)を評価し,60点以上を合格とする.

授業外学習

【事前準備】配布される資料やシラバス等を読んでおく.

【事後学修】内容についてまとめる.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】必要に応じて授業で連絡する。また、「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布予定。

【推薦書】授業で紹介する。

【参考図書】授業の中で紹介する。

| 科目名 | 入門ゼミナール | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 風間 文明 | | |
| ナンバリング | KKa001 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | , | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | CBクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要:

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能(Study Skill)の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標:

- 1.大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
- 2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
- 3 . 基本的な < Study Skill > を理解する。
- 4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A.アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

- B. Study Skillトレーニング
 - (1)大学授業への受講技能(ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
 - (2)テキストの読み方(説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
 - (3) 資料収集とその整理に関する技法(KJ法、資料のファイリング法)
 - (4)レポート作成に関する技法(文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
 - (5)報告・発表に関する技法(プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
 - (6)話し合いに関する技法(バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1)図書・情報センター図書館(図書館本館・図書館分室)の紹介と活用法
- (2)就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため, 以下の内容から1~2のトピックについて話を伺う(計画中)

(1)地域子育て支援:新座子育てネットワーク(予定)の方に,現状の課題などを伺う

- (2)教育支援:市内中学校の現役スタッフの方に,中学生が抱える心の問題などを伺う
- (3)障がい者支援:地域の障がい者支援施設の方に,支援の実際を伺い理解を深める

発表とレポート提出(60点)および平常点(40点)によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える

【事後学修】ゼミの内容を復習し,要点を復習しておく

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 池田 まさみ

 ナンバリング KKa001
 KKa001

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学 年 1
 クラス CCクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要:

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能(Study Skill)の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標:

- 1.大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
- 2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
- 3 . 基本的な < Study Skill > を理解する。
- 4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A.アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

- B. Study Skillトレーニング
 - (1)大学授業への受講技能(ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
 - (2)テキストの読み方(説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
 - (3)資料収集とその整理に関する技法(KJ法、資料のファイリング法)
 - (4)レポート作成に関する技法(文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
 - (5)報告・発表に関する技法(プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
 - (6)話し合いに関する技法(バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1)図書・情報センター図書館(図書館本館・図書館分室)の紹介と活用法
- (2)就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため, 以下の内容から1~2のトピックについて話を伺う(計画中)

(1)地域子育て支援:新座子育てネットワーク(予定)の方に,現状の課題などを伺う

- (2)教育支援:市内中学校の現役スタッフの方に,中学生が抱える心の問題などを伺う
- (3)障がい者支援:地域の障がい者支援施設の方に,支援の実際を伺い理解を深める

発表とレポート提出(60点)および平常点(40点)によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える

【事後学修】ゼミの内容を復習し,要点を復習しておく

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 布施 晴美

 ナンバリング
 KKa001

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学年
 1

 クラス
 CDクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要:

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能(Study Skill)の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標:

- 1.大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
- 2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
- 3 . 基本的な < Study Skill > を理解する。
- 4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A.アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

- B. Study Skillトレーニング
 - (1)大学授業への受講技能(ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
 - (2)テキストの読み方(説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
 - (3)資料収集とその整理に関する技法(KJ法、資料のファイリング法)
 - (4)レポート作成に関する技法(文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
 - (5)報告・発表に関する技法(プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
 - (6)話し合いに関する技法(バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1)図書・情報センター図書館(図書館本館・図書館分室)の紹介と活用法
- (2)就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため, 以下の内容から1~2のトピックについて話を伺う(計画中)

(1)地域子育て支援:新座子育てネットワーク(予定)の方に,現状の課題などを伺う

- (2)教育支援:市内中学校の現役スタッフの方に,中学生が抱える心の問題などを伺う
- (3)障がい者支援:地域の障がい者支援施設の方に,支援の実際を伺い理解を深める

発表とレポート提出(60点)および平常点(40点)によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える

【事後学修】ゼミの内容を復習し,要点を復習しておく

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 東畑 開人

 ナンバリング
 KKa001

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学年
 1

 月期期
 必修・選択の別

 必修・選択の別
 必修・

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要:

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能(Study Skill)の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標:

- 1.大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
- 2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
- 3 . 基本的な < Study Skill > を理解する。
- 4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A.アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

- B. Study Skillトレーニング
 - (1)大学授業への受講技能(ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
 - (2)テキストの読み方(説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
 - (3)資料収集とその整理に関する技法(KJ法、資料のファイリング法)
 - (4)レポート作成に関する技法(文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
 - (5)報告・発表に関する技法(プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
 - (6)話し合いに関する技法(バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1)図書・情報センター図書館(図書館本館・図書館分室)の紹介と活用法
- (2)就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため, 以下の内容から1~2のトピックについて話を伺う(計画中)

(1)地域子育て支援:新座子育てネットワーク(予定)の方に,現状の課題などを伺う

- (2)教育支援:市内中学校の現役スタッフの方に,中学生が抱える心の問題などを伺う
- (3)障がい者支援:地域の障がい者支援施設の方に,支援の実際を伺い理解を深める

発表とレポート提出(60点)および平常点(40点)によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える

【事後学修】ゼミの内容を復習し,要点を復習しておく

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 柏葉 修治

 ナンバリング
 KKa001

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学 年 1
 クラス CFクラス

 開講期
 前期

 必修・選択の別
 必修*

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要:

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能(Study Skill)の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標:

- 1.大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
- 2.大学の資源を有効に活用する術を得る。
- 3 . 基本的な < Study Skill > を理解する。
- 4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A.アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

- B. Study Skillトレーニング
 - (1)大学授業への受講技能(ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
 - (2)テキストの読み方(説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
 - (3)資料収集とその整理に関する技法(KJ法、資料のファイリング法)
 - (4)レポート作成に関する技法(文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
 - (5)報告・発表に関する技法(プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
 - (6)話し合いに関する技法(バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1)図書・情報センター図書館(図書館本館・図書館分室)の紹介と活用法
- (2)就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため, 以下の内容から1~2のトピックについて話を伺う(計画中)

(1)地域子育て支援:新座子育てネットワーク(予定)の方に,現状の課題などを伺う

- (2)教育支援:市内中学校の現役スタッフの方に,中学生が抱える心の問題などを伺う
- (3)障がい者支援:地域の障がい者支援施設の方に,支援の実際を伺い理解を深める

発表とレポート提出(60点)および平常点(40点)によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える

【事後学修】ゼミの内容を復習し,要点を復習しておく

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

| 科目名 | 入門ゼミナール | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 齋藤 千景 | | |
| ナンバリング | KKa001 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | CGクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要:

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能(Study Skill)の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標:

- 1.大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
- 2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
- 3 . 基本的な < Study Skill > を理解する。
- 4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A.アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

- B. Study Skillトレーニング
 - (1)大学授業への受講技能(ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
 - (2)テキストの読み方(説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
 - (3) 資料収集とその整理に関する技法(KJ法、資料のファイリング法)
 - (4)レポート作成に関する技法(文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
 - (5)報告・発表に関する技法(プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
 - (6)話し合いに関する技法(バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1)図書・情報センター図書館(図書館本館・図書館分室)の紹介と活用法
- (2)就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため, 以下の内容から1~2のトピックについて話を伺う(計画中)

(1)地域子育て支援:新座子育てネットワーク(予定)の方に,現状の課題などを伺う

- (2)教育支援:市内中学校の現役スタッフの方に,中学生が抱える心の問題などを伺う
- (3)障がい者支援:地域の障がい者支援施設の方に,支援の実際を伺い理解を深める

発表とレポート提出(60点)および平常点(40点)によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える

【事後学修】ゼミの内容を復習し,要点を復習しておく

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

| 科目名 | 入門ゼミナール | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 岡上 直子、冨山 哲也 | | |
| ナンバリング | KKa001 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | , | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | BBクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するための必要な勉強を学科の先生方とともに学ぶために設定されました。特に、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会となります。これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習等の科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修すること等、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

各教室に分かれて、担任の先生方と相談しながら勉強を進めます。

週により、学科全員が集まって勉強したり、個別で勉強したりします。

| 1 ガイダンス 2 アイスブレイク活動(学生生活や履修方法等に関する相談) 3 自分の力を知る - 測定(キャリアセンタ による授業) 4 アカデミック・ライティング 5 アカデミック・ライティング 6 アカデミック・ライティング 7 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) 8 情報収集 (図書館ガイダンス) 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 ブレゼンテーションの発表 | | により、子村主員が集よりて勉強したり、個別で勉強したりしより。 |
|---|----|----------------------------------|
| 3 自分の力を知る - 測定(キャリアセンタ による授業) 4 アカデミック・ライティング 5 アカデミック・ライティング 6 アカデミック・ライティング 7 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) 8 情報収集 (図書館ガイダンス) 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ポランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 1 | ガイダンス |
| 4アカデミック・ライティング5アカデミック・ライティング6アカデミック・ライティング7自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業)8情報収集 (図書館ガイダンス)9情報収集 (図書館ガイダンス)10ワークショップ グループディスカッション11ワークショップ グループディスカッション12ボランティア・インターンシップ活動について13プレゼンテーションの技法14プレゼンテーションの作成 | 2 | アイスプレイク活動(学生生活や履修方法等に関する相談) |
| 5 アカデミック・ライティング 6 アカデミック・ライティング 7 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) 8 情報収集 (図書館ガイダンス) 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 3 | 自分の力を知る - 測定(キャリアセンタ による授業) |
| 6 アカデミック・ライティング 7 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) 8 情報収集 (図書館ガイダンス) 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 4 | アカデミック・ライティング |
| 7自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業)8情報収集 (図書館ガイダンス)9情報収集 (図書館ガイダンス)10ワークショップ グループディスカッション11ワークショップ グループディスカッション12ボランティア・インターンシップ活動について13プレゼンテーションの技法14プレゼンテーションの作成 | 5 | アカデミック・ライティング |
| 8 情報収集 (図書館ガイダンス) 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 6 | アカデミック・ライティング |
| 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 7 | 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) |
| 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 8 | 情報収集 (図書館ガイダンス) |
| 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 9 | 情報収集 (図書館ガイダンス) |
| 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 10 | ワークショップ グループディスカッション |
| 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 11 | ワークショップ グループディスカッション |
| 14 プレゼンテーションの作成 | 12 | ボランティア・インターンシップ活動について |
| | 13 | プレゼンテーションの技法 |
| 15 プレゼンテーションの発表 | 14 | プレゼンテーションの作成 |
| | 15 | プレゼンテーションの発表 |

講義の内外で作成するミニレポート(3割)、口頭発表(3割)、平常点(4割)を総合し、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備えます。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめます。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組みます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【参考図書】教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

| 科目名 | 入門ゼミナール | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 清水 玲子、岩井 雄一、宮川 保之 | | |
| ナンバリング | KKa001 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | , | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | BCクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目は高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するための必要な勉強を学科の先生方とともに学ぶために設定されました。特に、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会となります。これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習等の科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修すること等、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

各教室に分かれて、担任の先生方と相談しながら勉強を進めます。

週により、学科全員が集まって勉強したり、個別で勉強したりします。

| 1 ガイダンス 2 アイスブレイク活動(学生生活や履修方法等に関する相談) 3 自分の力を知る - 測定(キャリアセンタ による授業) 4 アカデミック・ライティング 5 アカデミック・ライティング 6 アカデミック・ライティング 7 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) 8 情報収集 (図書館ガイダンス) 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 ブレゼンテーションの発表 | | により、子村主員が集よりて勉強したり、個別で勉強したりしより。 |
|---|----|----------------------------------|
| 3 自分の力を知る - 測定(キャリアセンタ による授業) 4 アカデミック・ライティング 5 アカデミック・ライティング 6 アカデミック・ライティング 7 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) 8 情報収集 (図書館ガイダンス) 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ポランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 1 | ガイダンス |
| 4アカデミック・ライティング5アカデミック・ライティング6アカデミック・ライティング7自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業)8情報収集 (図書館ガイダンス)9情報収集 (図書館ガイダンス)10ワークショップ グループディスカッション11ワークショップ グループディスカッション12ボランティア・インターンシップ活動について13プレゼンテーションの技法14プレゼンテーションの作成 | 2 | アイスプレイク活動(学生生活や履修方法等に関する相談) |
| 5 アカデミック・ライティング 6 アカデミック・ライティング 7 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) 8 情報収集 (図書館ガイダンス) 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 3 | 自分の力を知る - 測定(キャリアセンタ による授業) |
| 6 アカデミック・ライティング 7 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) 8 情報収集 (図書館ガイダンス) 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 4 | アカデミック・ライティング |
| 7自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業)8情報収集 (図書館ガイダンス)9情報収集 (図書館ガイダンス)10ワークショップ グループディスカッション11ワークショップ グループディスカッション12ボランティア・インターンシップ活動について13プレゼンテーションの技法14プレゼンテーションの作成 | 5 | アカデミック・ライティング |
| 8 情報収集 (図書館ガイダンス) 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 6 | アカデミック・ライティング |
| 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 7 | 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) |
| 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 8 | 情報収集 (図書館ガイダンス) |
| 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 9 | 情報収集 (図書館ガイダンス) |
| 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 10 | ワークショップ グループディスカッション |
| 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 11 | ワークショップ グループディスカッション |
| 14 プレゼンテーションの作成 | 12 | ボランティア・インターンシップ活動について |
| | 13 | プレゼンテーションの技法 |
| 15 プレゼンテーションの発表 | 14 | プレゼンテーションの作成 |
| | 15 | プレゼンテーションの発表 |

評価

講義の内外で作成するミニレポート(3割)、口頭発表(3割)、平常点(4割)を総合し、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備えます。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめます。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組みます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【参考図書】教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

| 科目名 | 入門ゼミナール | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 綾井 桜子、日出間 均 | | |
| ナンバリング | KKa001 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | , | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | BDクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目は高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するための必要な勉強を学科の先生方とともに学ぶために設定されました。特に、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会となります。これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習等の科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修すること等、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

各教室に分かれて、担任の先生方と相談しながら勉強を進めます。

週により、学科全員が集まって勉強したり、個別で勉強したりします。

| 1 ガイダンス 2 アイスブレイク活動(学生生活や履修方法等に関する相談) 3 自分の力を知る - 測定(キャリアセンタ による授業) 4 アカデミック・ライティング 5 アカデミック・ライティング 6 アカデミック・ライティング 7 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) 8 情報収集 (図書館ガイダンス) 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 ブレゼンテーションの発表 | | により、子村主員が集よりて勉強したり、個別で勉強したりしより。 |
|---|----|----------------------------------|
| 3 自分の力を知る - 測定(キャリアセンタ による授業) 4 アカデミック・ライティング 5 アカデミック・ライティング 6 アカデミック・ライティング 7 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) 8 情報収集 (図書館ガイダンス) 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ポランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 1 | ガイダンス |
| 4アカデミック・ライティング5アカデミック・ライティング6アカデミック・ライティング7自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業)8情報収集 (図書館ガイダンス)9情報収集 (図書館ガイダンス)10ワークショップ グループディスカッション11ワークショップ グループディスカッション12ボランティア・インターンシップ活動について13プレゼンテーションの技法14プレゼンテーションの作成 | 2 | アイスプレイク活動(学生生活や履修方法等に関する相談) |
| 5 アカデミック・ライティング 6 アカデミック・ライティング 7 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) 8 情報収集 (図書館ガイダンス) 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 3 | 自分の力を知る - 測定(キャリアセンタ による授業) |
| 6 アカデミック・ライティング 7 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) 8 情報収集 (図書館ガイダンス) 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 4 | アカデミック・ライティング |
| 7自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業)8情報収集 (図書館ガイダンス)9情報収集 (図書館ガイダンス)10ワークショップ グループディスカッション11ワークショップ グループディスカッション12ボランティア・インターンシップ活動について13プレゼンテーションの技法14プレゼンテーションの作成 | 5 | アカデミック・ライティング |
| 8 情報収集 (図書館ガイダンス) 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 6 | アカデミック・ライティング |
| 9 情報収集 (図書館ガイダンス) 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 7 | 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) |
| 10 ワークショップ グループディスカッション 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 8 | 情報収集 (図書館ガイダンス) |
| 11 ワークショップ グループディスカッション 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 9 | 情報収集 (図書館ガイダンス) |
| 12 ボランティア・インターンシップ活動について 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 10 | ワークショップ グループディスカッション |
| 13 プレゼンテーションの技法 14 プレゼンテーションの作成 | 11 | ワークショップ グループディスカッション |
| 14 プレゼンテーションの作成 | 12 | ボランティア・インターンシップ活動について |
| | 13 | プレゼンテーションの技法 |
| 15 プレゼンテーションの発表 | 14 | プレゼンテーションの作成 |
| | 15 | プレゼンテーションの発表 |

評価

講義の内外で作成するミニレポート(3割)、口頭発表(3割)、平常点(4割)を総合し、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備えます。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめます。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組みます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【参考図書】教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

| 科目名 | 入門ゼミナール | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 山本 悟、吉川 知夫 | | |
| ナンバリング | KKa001 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | BEクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目は高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するための必要な勉強を学科の先生方とともに学ぶために設定されました。特に、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会となります。これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習等の科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修すること等、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

各教室に分かれて、担任の先生方と相談しながら勉強を進めます。

週により、学科全員が集まって勉強したり、個別で勉強したりします。

| 週 | により、学科全員が集まって勉強したり、個別で勉強したりします。 |
|----|----------------------------------|
| 1 | ガイダンス |
| 2 | アイスプレイク活動(学生生活や履修方法等に関する相談) |
| 3 | 自分の力を知る - 測定(キャリアセンタ による授業) |
| 4 | アカデミック・ライティング |
| 5 | アカデミック・ライティング |
| 6 | アカデミック・ライティング |
| 7 | 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) |
| 8 | 情報収集 (図書館ガイダンス) |
| 9 | 情報収集 (図書館ガイダンス) |
| 10 | ワークショップ グループディスカッション |
| 11 | ワークショップ グループディスカッション |
| 12 | ボランティア・インターンシップ活動について |
| 13 | プレゼンテーションの技法 |
| 14 | プレゼンテーションの作成 |
| 15 | プレゼンテーションの発表 |

評価

講義の内外で作成するミニレポート(3割)、口頭発表(3割)、平常点(4割)を総合し、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備えます。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめます。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組みます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【参考図書】教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 山下 倫実

 ナンバリング
 KKa001

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学年1
 クラス CHクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要:

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能(Study Skill)の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標:

- 1.大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
- 2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
- 3 . 基本的な < Study Skill > を理解する。
- 4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A.アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

- B. Study Skillトレーニング
 - (1)大学授業への受講技能(ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
 - (2)テキストの読み方(説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
 - (3)資料収集とその整理に関する技法(KJ法、資料のファイリング法)
 - (4)レポート作成に関する技法(文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
 - (5)報告・発表に関する技法(プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
 - (6)話し合いに関する技法(バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1)図書・情報センター図書館(図書館本館・図書館分室)の紹介と活用法
- (2)就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ
- D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ
 - ~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため, 以下の内容から1~2のトピックについて話を伺う(計画中)
 - (1)地域子育て支援:新座子育てネットワーク(予定)の方に,現状の課題などを伺う

- (2)教育支援:市内中学校の現役スタッフの方に,中学生が抱える心の問題などを伺う
- (3)障がい者支援:地域の障がい者支援施設の方に,支援の実際を伺い理解を深める

評価

発表とレポート提出(60点)および平常点(40点)によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える

【事後学修】ゼミの内容を復習し,要点を復習しておく

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 線井 雅康、伊藤 恵子

 ナンバリング
 KKa001

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学年1
 クラス CJクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要:

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能(Study Skill)の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標:

- 1.大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
- 2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
- 3 . 基本的な < Study Skill > を理解する。
- 4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A.アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

- B. Study Skillトレーニング
 - (1)大学授業への受講技能(ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
 - (2)テキストの読み方(説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
 - (3)資料収集とその整理に関する技法(KJ法、資料のファイリング法)
 - (4)レポート作成に関する技法(文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
 - (5)報告・発表に関する技法(プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
 - (6)話し合いに関する技法(バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1)図書・情報センター図書館(図書館本館・図書館分室)の紹介と活用法
- (2)就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため, 以下の内容から1~2のトピックについて話を伺う(計画中)

(1)地域子育て支援:新座子育てネットワーク(予定)の方に,現状の課題などを伺う

- (2)教育支援:市内中学校の現役スタッフの方に,中学生が抱える心の問題などを伺う
- (3)障がい者支援:地域の障がい者支援施設の方に,支援の実際を伺い理解を深める

評価

発表とレポート提出(60点)および平常点(40点)によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える

【事後学修】ゼミの内容を復習し,要点を復習しておく

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 鈴木 雅子

 ナンバリング
 KKa001

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学年1
 クラス CKクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要:

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能(Study Skill)の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標:

- 1.大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
- 2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
- 3 . 基本的な < Study Skill > を理解する。
- 4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A.アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

- B. Study Skillトレーニング
 - (1)大学授業への受講技能(ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
 - (2)テキストの読み方(説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
 - (3)資料収集とその整理に関する技法(KJ法、資料のファイリング法)
 - (4)レポート作成に関する技法(文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
 - (5)報告・発表に関する技法(プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
 - (6)話し合いに関する技法(バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1)図書・情報センター図書館(図書館本館・図書館分室)の紹介と活用法
- (2)就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため, 以下の内容から1~2のトピックについて話を伺う(計画中)

(1)地域子育て支援:新座子育てネットワーク(予定)の方に,現状の課題などを伺う

- (2)教育支援:市内中学校の現役スタッフの方に,中学生が抱える心の問題などを伺う
- (3)障がい者支援:地域の障がい者支援施設の方に,支援の実際を伺い理解を深める

評価

発表とレポート提出(60点)および平常点(40点)によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える

【事後学修】ゼミの内容を復習し,要点を復習しておく

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

| 科目名 | 入門ゼミナール | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 藤本 正徳 | | |
| ナンバリング | リング KKa001 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | HAクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

学習の仕方(スタディ・スキルズ)を学び、大学での学業生活をより豊かに過ごせるようにすることを目的にしている。また,大学での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを高めていくこともねらいとしている。 なお、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。

科目の概要

高校までは、どちらかというと受動的で「教わること」が多かったが、大学では自分で学習し、自分から求める「自立型の学習」を求められる。本授業では、高校での学びから大学での学びにスムーズに移行できるように、知的活動への動機づけを高め,本学が立地する地域について学修すること、レポートや口頭でのプレゼンテーション及びディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てること、「地域に貢献する」学生を育てることを具体的なねらいとしている。

学修目標

グループでの作業を通じて、大学や地域社会について主体的に学び、コミュニケーション能力を高め、かつプレゼンテーションの能力を高めていくことを目標としている。

内容

| 1 | Webによる履修登録と学内のシステム利用 |
|----|---|
| 2 | ワークショップ:グループデイスカッション |
| 3 | 自分の力を知る(1)ー測定(就職支援課による授業) |
| 4 | 心と体の健康管理(健康管理センターによる授業) |
| 5 | 情報を収集する(1)(図書館ガイダンス) |
| 6 | 情報を収集する(2)インターネットによる情報収集、リストの作成 |
| 7 | スタデイ・スキルズ:ノート・テイキング、リーデイング |
| 8 | アカデミック・ライテイング(1)レポートの作成、脚注、参考文献など |
| 9 | アカデミック・ライテイング(2)表やグラフを使用したレポート |
| 10 | 自分の力を知る(2) - 測定結果の解説(就職支援課による授業) |
| 11 | プレゼンテーション技法(1)プレゼンテーションとは、レジュメの作り方 |
| 12 | プレゼンテーション技法(2):パワーポイントの作成 |
| 13 | プレゼンテーション作成(1)新座市観光ガイド作り~インターネット情報収集グループワーク |
| 14 | プレゼンテーション作成(2)新座市観光ガイド作り~ P P T 作成グループワーク |
| 15 | プレゼンテーション:新座市観光ガイドの発表 |

評価

毎回の授業時の課題40%、プレゼンテーション60%で100点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】事前ン位指示された課題について準備する

【事後学修】課題の完成と提出により学習内容をしっかりと身に付ける

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】特に使用しない.「地域を学ぶ」テキストは教室で配布予定

【推薦書】

【参考図書】

| 科目名 | 入門ゼミナール | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 大友 由紀子 | | |
| ナンバリング | KKa001 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | , | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | HBクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

学習の仕方(スタディ・スキルズ)を学び、大学での学業生活をより豊かに過ごせるようにすることを目的にしている。また,大学での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを高めていくこともねらいとしている。 なお、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。

科目の概要

高校までは、どちらかというと受動的で「教わること」が多かったが、大学では自分で学習し、自分から求める「自立型の学習」を求められる。本授業では、高校での学びから大学での学びにスムーズに移行できるように、知的活動への動機づけを高め、本学が立地する地域について学修すること、レポートや口頭でのプレゼンテーション及びディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てること、「地域に貢献する」学生を育てることを具体的なねらいとしている。

学修目標

グループでの作業を通じて、大学や地域社会について主体的に学び、コミュニケーション能力を高め、かつプレゼンテーションの能力を高めていくことを目標としている。

| 内容 | |
|----|---|
| 1 | Webによる履修登録と学内のシステム利用 |
| 2 | ワークショップ:グループディスカッション |
| 3 | 自分の力を知る(1) 測定 (就職支援課による授業) |
| 4 | 心と身体の健康管理 (健康管理センターによる授業) |
| 5 | 情報を収集する(1)(図書館ガイダンス) |
| 6 | 情報を収集する(2)インターネットによる情報収集、リストの作成 |
| 7 | スタディ・スキルズ:ノート・テイキング、リーディング |
| 8 | アカデミック・ライティング(1):レポートの作成、脚注、参考文献など |
| 9 | アカデミック・ライティング(2):表やグラフを使用したレポート |
| 10 | 自分の力を知る(2) 測定結果の解説 (就職支援課による授業) |
| 11 | プレゼンテーションの技法(1):プレゼンテーションとは、レジュメの作り方 |
| 12 | プレゼンテーションの技法(2):パワーポイントの作成 |
| 13 | プレゼンテーションの作成(1):新座市観光ガイド作り~インターネットからの情報収集 |
| 14 | プレゼンテーションの作成(2):新座市観光ガイド作り~パワーポイント作成 |
| 15 | プレゼンテーション:新座市観光ガイドの発表 |

評価

毎回の授業時の課題(40%)、プレゼンテーション(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】事前に指示された課題について準備する。

【事後学修】課題の完成と提出により学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に使用しない。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定。

入門ゼミナール 目 名 科 担当教員名 阿部 史 ナンバリング KKa001 科 人間生活学部 (K)-共通科目-入門ゼミナール 年 1 クラス HCクラス 開 講 期 前期 必修・選択の別 必修* 授業形態 単 位 数 資格関係 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学習の仕方(スタディ・スキルズ)を学び、大学での学業生活をより豊かに過ごせるようにすることを目的にしている。また,大学での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを高めていくこともねらいとしている。 なお、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となる。

科目の概要

高校までは、どちらかというと受動的で「教わること」が多かったが、大学では自分で学習し、自分から求める「自立型の学習」を求められる。本授業では、高校での学びから大学での学びにスムーズに移行できるように、知的活動への動機づけを高め、本学が立地する地域について学ぶこと、レポートや口頭でのプレゼンテーション及びディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てること、「地域に貢献する」学生を育てることを具体的なねらいとしている。

学修目標

グループでの作業を通じて,大学や地域社会について主体的に学び,コミュニケーション能力を高め、かつプレゼンテーションの能力を高めていくことを目標としている。

内容

- 第1回 Webによる履修登録と学内のシステム利用
- 第2回 ワークショップ:グループディスカッション
- 第3回 自分の力を知る(1) 測定 (就職支援課による授業)
- 第4回 心と身体の健康管理 (健康管理センターによる授業)
- 第5回 情報を収集する(1)(図書館ガイダンス)
- 第6回 情報を収集する(2)インターネットによる情報収集、リストの作成
- 第7回 スタディ・スキルズ:ノート・テイキング、リーディング
- 第8回 アカデミック・ライティング(1):レポートの作成、脚注、参考文献など
- 第9回 アカデミック・ライティング(2):表やグラフを使用したレポート
- 第10回 自分の力を知る(2) 測定結果の解説 (就職支援課による授業)
- 第11回 プレゼンテーションの技法(1):プレゼンテーションとは、レジュメの作り方
- 第12回 プレゼンテーションの技法(2):パワーポイントの作成
- 第13回 プレゼンテーションの作成(1):新座市観光ガイド作り~インターネットからの情報収集についてのグループ ワーク
- 第14回 プレゼンテーションの作成(2):新座市観光ガイド作り~情報収集を基にしたパワーポイント作成のグループ ワーク
- 第15回 プレゼンテーション:新座市観光ガイドの発表

評価

毎回の授業時の課題(40%)、プレゼンテーション(60%)で100点とし、総合評価が60点以上を合格点とする。

授業外学習

【事前準備】事前に指示された課題について準備する

【事後学修】課題の完成と提出により学習内容をしっかり身につける

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】特に使用しない。『地域を学ぶ』のテキストは、教室で配布する予定。

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 安達 一寿、川口 英俊、鈴木 弘貴、佐々木 亮太

 ナンバリング
 KKa001

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学 年 1
 クラス JAクラス

 開講期前期前期 必修・選択の別 必修・
 必修・選択の別 必修*

 授業形態
 単位数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、大学の学生へと円滑に移行するための必要な学修方法を学ぶために設定する。新入生の皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあう。また特に、地域を志向する観点から、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会ともする。

科目の概要

大学では、開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとなっている。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要である。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学ぶ。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、が目標である。

| 内容 | |
|----|----------------------------|
| 1 | オリエンテーション、大学での学び |
| 2 | 能動的に学ぶ - アクティブ・ラーニング (1) |
| 3 | 能動的に学ぶ - アクティブ・ラーニング (2) |
| 4 | 自分自身を知る(診断テスト) |
| 5 | 講義とノートのとり方 |
| 6 | 情報収集の方法 |
| 7 | リーディングスキルを身につける(1) |
| 8 | リーディングスキルを身につける(2) |
| 9 | ライティングスキルを身につける(1) |
| 10 | ライティングスキルを身につける(2) |
| 11 | ディスカッションスキルを身につける(1) |
| 12 | ディスカッションスキルを身につける(2) |
| 13 | 地域の特徴を知る |
| 14 | 地域の課題を知る |
| 15 | まとめ |

評価

課題・レポート(全部で100点満点)を課し、60点以上を合格とする。

課題・レポートは、授業時に提出を求める。

授業外学習

【事前予習】各テーマの該当箇所を教科書で予習のこと。

【事後学修】テーマ毎に課題・レポートを課すので、それを実施すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】中澤務・森貴史・本村康哲編、『知のナヴィゲーター』、くろしお出版、1800円 十文字学園女子大学編、『地域を学ぶ-新座市』(予定)

【推薦書】松本茂・河野哲也、『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』、玉川大学出版部、 1470円

| 科目名 | 入門ゼミナール | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | KKa001 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | JBクラス |
| 開講期 | | 必修・選択の別 | |
| 授業形態 | | 単 位 数 | |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目は、大学の学生へと円滑に移行するための必要な学修方法を学ぶために設定する。新入生の皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあう。また特に、地域を志向する観点から、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会ともする。

科目の概要

大学では、開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとなっている。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要である。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学ぶ。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、が目標である。

| 内容 | |
|----|----------------------------|
| 1 | オリエンテーション、大学での学び |
| 2 | 能動的に学ぶ - アクティブ・ラーニング (1) |
| 3 | 能動的に学ぶ - アクティブ・ラーニング (2) |
| 4 | 自分自身を知る(診断テスト) |
| 5 | 講義とノートのとり方 |
| 6 | 情報収集の方法 |
| 7 | リーディングスキルを身につける(1) |
| 8 | リーディングスキルを身につける(2) |
| 9 | ライティングスキルを身につける(1) |
| 10 | ライティングスキルを身につける(2) |
| 11 | ディスカッションスキルを身につける(1) |
| 12 | ディスカッションスキルを身につける(2) |
| 13 | 地域の特徴を知る |
| 14 | 地域の課題を知る |
| 15 | まとめ |

評価

課題・レポート(全部で100点満点)を課し、60点以上を合格とする。

課題・レポートは、授業時に提出を求める。

授業外学習

【事前予習】各テーマの該当箇所を教科書で予習のこと。

【事後学修】テーマ毎に課題・レポートを課すので、それを実施すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】中澤務・森貴史・本村康哲編、『知のナヴィゲーター』、くろしお出版、1800円 十文字学園女子大学編、『地域を学ぶ - 新座市』(予定)

【推薦書】松本茂・河野哲也、『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』、玉川大学出版部、 1470円

| 科目名 | 入門ゼミナール | | | |
|--------|------------------------|-------|-----|-------|
| 担当教員名 | | | | |
| ナンバリング | KKa001 | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | | | |
| 学 年 | | ク ラ | ス | JCクラス |
| 開講期 | | 必修・選択 | 代の別 | |
| 授業形態 | | 単位 | 数 | |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | |

科目の性格

この科目は、大学の学生へと円滑に移行するための必要な学修方法を学ぶために設定する。新入生の皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあう。また特に、地域を志向する観点から、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会ともする。

科目の概要

大学では、開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとなっている。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要である。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学ぶ。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、が目標である。

| 内容 | |
|----|----------------------------|
| 1 | オリエンテーション、大学での学び |
| 2 | 能動的に学ぶ - アクティブ・ラーニング (1) |
| 3 | 能動的に学ぶ - アクティブ・ラーニング (2) |
| 4 | 自分自身を知る(診断テスト) |
| 5 | 講義とノートのとり方 |
| 6 | 情報収集の方法 |
| 7 | リーディングスキルを身につける(1) |
| 8 | リーディングスキルを身につける(2) |
| 9 | ライティングスキルを身につける(1) |
| 10 | ライティングスキルを身につける(2) |
| 11 | ディスカッションスキルを身につける(1) |
| 12 | ディスカッションスキルを身につける(2) |
| 13 | 地域の特徴を知る |
| 14 | 地域の課題を知る |
| 15 | まとめ |

評価

課題・レポート(全部で100点満点)を課し、60点以上を合格とする。

課題・レポートは、授業時に提出を求める。

授業外学習

【事前予習】各テーマの該当箇所を教科書で予習のこと。

【事後学修】テーマ毎に課題・レポートを課すので、それを実施すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】中澤務・森貴史・本村康哲編、『知のナヴィゲーター』、くろしお出版、1800円 十文字学園女子大学編、『地域を学ぶ - 新座市』(予定)

【推薦書】松本茂・河野哲也、『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』、玉川大学出版部、 1470円

| 科目名 | 入門ゼミナール | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 狩野 浩二、増田 吉史、阿子島 茂美 | | |
| ナンバリング | KKa001 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | , | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | BFクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目は高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するための必要な勉強を学科の先生方とともに学ぶために設定されました。特に、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会となります。これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習等の科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修すること等、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

各教室に分かれて、担任の先生方と相談しながら勉強を進めます。

週により、学科全員が集まって勉強したり、個別で勉強したりします。

| - 旭 | により、学科全員が集まって勉強したり、個別で勉強したりします。 |
|-----|----------------------------------|
| 1 | ガイダンス |
| 2 | アイスプレイク活動(学生生活や履修方法等に関する相談) |
| 3 | 自分の力を知る - 測定(キャリアセンタ による授業) |
| 4 | アカデミック・ライティング |
| 5 | アカデミック・ライティング |
| 6 | アカデミック・ライティング |
| 7 | 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) |
| 8 | 情報収集 (図書館ガイダンス) |
| 9 | 情報収集 (図書館ガイダンス) |
| 10 | ワークショップ グループディスカッション |
| 11 | ワークショップ グループディスカッション |
| 12 | ボランティア・インターンシップ活動について |
| 13 | プレゼンテーションの技法 |
| 14 | プレゼンテーションの作成 |
| 15 | プレゼンテーションの発表 |

評価

講義の内外で作成するミニレポート(3割)、口頭発表(3割)、平常点(4割)を総合し、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備えます。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめます。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組みます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【参考図書】教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 赤間 恵都子、樋口 一貴

 ナンバリング KKa001
 KKa001

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学 年 1
 クラス GAクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*

 授業形態
 単位数 2

 資格関係 保育土資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するために必要なことを、各学科の先生方とともに学ぶために 設定された科目です。また、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会ともなります。入学したばかりの皆さん が仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、学科全員で学んだり、少人数のクラ スで学び合ったりします。

科目の概要

大学生活4年間で修得すべきアカデミックスキルと、地域社会の中で確かな人間関係を築き上げ、自己実現するのに必要な ソーシャルスキルの基礎を身につけます。ノートテイクやレポートの書き方などの指導の他、アクティヴラーニングやワー クショップを多く取り入れ、学生同士で互いに学び合います。また、芸術文化分野の講師による体験講座を実施したり、新 座市について深く調査し発表したりと、様々な内容の授業を通して本学科における学びの視野を広めます。

学修目標(=到達目標)

大学生活に必要な基本的スキルを身につけると共に、各自がそれぞれの学習目標を設定し、それを実現するための学習計画を立てて、4年間の大学生活を有意義に過ごす姿勢を確立することを学修目標とします。また、新座市についての知識を得て、「地域に貢献する」学生としての意識を高めます。

内容

| 1 | ガイダンス |
|----|------------------|
| 2 | ノートテイクの方法 |
| 3 | アクティヴ・ラーニング |
| 4 | アクティヴ・ラーニング |
| 5 | クラス別ワークショップ |
| 6 | 情報収集 図書館の使い方 |
| 7 | 特別講師による講座 |
| 8 | 情報収集 インターネットの使い方 |
| 9 | 特別講師による講座 |
| 10 | レポートの書き方 |
| 11 | 新座を学ぶワークショップ |
| 12 | 新座を学ぶワークショップ |
| 13 | 新座を学ぶワークショップ |
| 14 | 新座を学ぶワークショップ |
| 15 | まとめ |

授業への取り組み方40%、リアクションペーパーの内容60%とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】当日の学習内容を確認し、必要に応じて資料収集等の事前準備をします。

【事後学修】学習した内容を整理し、ノートにまとめます。また、課外学習課題に取り組みます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

【推薦書・参考書】授業で適宜紹介します。

入門ゼミナール 科目名 担当教員名 加藤 暁子、好本 惠 ナンバリング KKa001 科 人間生活学部 (K)-共通科目-入門ゼミナール 年 1 学 クラス GBクラス 開 講 期 前期 必修・選択の別 必修* 授業形態 単 位 数 資格関係 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するために必要なことを、各学科の先生方とともに学ぶために 設定された科目です。また、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会ともなります。入学したばかりの皆さん が仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、学科全員で学んだり、少人数のクラ スで学び合ったりします。

科目の概要

大学生活4年間で修得すべきアカデミックスキルと、地域社会の中で確かな人間関係を築き上げ、自己実現するのに必要な ソーシャルスキルの基礎を身につけます。ノートテイクやレポートの書き方などの指導の他、アクティヴラーニングやワー クショップを多く取り入れ、学生同士で互いに学び合います。また、芸術文化分野の講師による体験講座を実施したり、新 座市について深く調査し発表したりと、様々な内容の授業を通して本学科における学びの視野を広めます。

学修目標(=到達目標)

大学生活に必要な基本的スキルを身につけると共に、各自がそれぞれの学習目標を設定し、それを実現するための学習計画を立てて、4年間の大学生活を有意義に過ごす姿勢を確立することを学修目標とします。また、新座市についての知識を得て、「地域に貢献する」学生としての意識を高めます。

| 内容 | 内容 | | | |
|----|------------------|--|--|--|
| 1 | ガイダンス | | | |
| 2 | ノートテイクの方法 | | | |
| 3 | アクティヴ・ラーニング | | | |
| 4 | アクティヴ・ラーニング | | | |
| 5 | クラス別ワークショップ | | | |
| 6 | 情報収集 図書館の使い方 | | | |
| 7 | 特別講師による講座 | | | |
| 8 | 情報収集 インターネットの使い方 | | | |
| 9 | 特別講師による講座 | | | |
| 10 | レポートの書き方 | | | |
| 11 | 新座を学ぶワークショップ | | | |
| 12 | 新座を学ぶワークショップ | | | |
| 13 | 新座を学ぶワークショップ | | | |
| 14 | 新座を学ぶワークショップ | | | |
| 15 | まとめ | | | |

評価

授業への取り組み方40%、リアクションペーパーの内容60%とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】当日の学習内容を確認し、必要に応じて資料収集等の事前準備をします。

【事後学修】学習した内容を整理し、ノートにまとめます。また、課外学習課題に取り組みます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

【推薦書・参考書】授業で適宜紹介します。

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 松永 修一、星野 祐子

 ナンバリング
 KKa001

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学 年 1
 クラス GCクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するために必要なことを、各学科の先生方とともに学ぶために 設定された科目です。また、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会ともなります。入学したばかりの皆さん が仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、学科全員で学んだり、少人数のクラ スで学び合ったりします。

科目の概要

大学生活4年間で修得すべきアカデミックスキルと、地域社会の中で確かな人間関係を築き上げ、自己実現するのに必要な ソーシャルスキルの基礎を身につけます。ノートテイクやレポートの書き方などの指導の他、アクティヴラーニングやワー クショップを多く取り入れ、学生同士で互いに学び合います。また、芸術文化分野の講師による体験講座を実施したり、新 座市について深く調査し発表したりと、様々な内容の授業を通して本学科における学びの視野を広めます。

学修目標(=到達目標)

大学生活に必要な基本的スキルを身につけると共に、各自がそれぞれの学習目標を設定し、それを実現するための学習計画を立てて、4年間の大学生活を有意義に過ごす姿勢を確立することを学修目標とします。また、新座市についての知識を得て、「地域に貢献する」学生としての意識を高めます。

| 内容 | 内容 | | | |
|----|------------------|--|--|--|
| 1 | ガイダンス | | | |
| 2 | ノートテイクの方法 | | | |
| 3 | アクティヴ・ラーニング | | | |
| 4 | アクティヴ・ラーニング | | | |
| 5 | クラス別ワークショップ | | | |
| 6 | 情報収集 図書館の使い方 | | | |
| 7 | 特別講師による講座 | | | |
| 8 | 情報収集 インターネットの使い方 | | | |
| 9 | 特別講師による講座 | | | |
| 10 | レポートの書き方 | | | |
| 11 | 新座を学ぶワークショップ | | | |
| 12 | 新座を学ぶワークショップ | | | |
| 13 | 新座を学ぶワークショップ | | | |
| 14 | 新座を学ぶワークショップ | | | |
| 15 | まとめ | | | |

評価

授業への取り組み方40%、リアクションペーパーの内容60%とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】当日の学習内容を確認し、必要に応じて資料収集等の事前準備をします。

【事後学修】学習した内容を整理し、ノートにまとめます。また、課外学習課題に取り組みます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

【推薦書・参考書】授業で適宜紹介します。

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 池川 繁樹、徳野 裕子、木村 靖子、高橋 京子 他

 ナンバリング KKa001
 KKa001

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学 年 1
 クラス EAクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

大学の学生として必要な勉強を各学科の教員と共に学ぶために設定されました。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。

特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聞きながら自ら疑問を持ち追求する態度を身につけ、大学で必要となる勉強の方法について学修します。また、本学が立地する地域についても深く学びます。

学修目標(=到達目標)

- 1. 自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること。
- 2. 自ら課題を設定し、解決する能力を身につける。
- 3.コミュニケーション能力を高める。

| 内容 | 内容 | | | |
|----|---------------------|--|--|--|
| 1 | 大学における学び | | | |
| 2 | 学生生活における心構えとマナー | | | |
| 3 | 4年間のカリキュラムと履修について | | | |
| 4 | 資格について | | | |
| 5 | 実験実習における心構え | | | |
| 6 | ノートの取りかた、レポートの書き方 | | | |
| 7 | 社会人基礎力 (PROGの実施) | | | |
| 8 | 大学施設の活用法 | | | |
| 9 | 仲間とコミュニケーションを図る | | | |
| 10 | 大学のある新座を知る | | | |
| 11 | SPI試験の実施 | | | |
| 12 | 社会人基礎力 (PROGの評価と解説) | | | |
| 13 | 地域と栄養士 その1 | | | |
| 14 | 地域と栄養士 その2 | | | |
| 15 | まとめ | | | |

評価

課題に対するレポート(50点)、平常点(50点)などを総合し、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】配布資料やシラバス等を十分に読んで授業に臨む。

【事後学修】学修した内容をノートやレポートに整理する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】授業の中で指示する。「地域で学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

【推薦書】授業で紹介する。

【参考図書】授業で紹介する。

| 科目名 | 入門ゼミナール | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 平田 智久 | | |
| ナンバリング | KKa001 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | , | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | AAクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を 、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす る。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定です。

| 科目名 | 入門ゼミナール | | | | |
|--------|-------------------------|-----|----|----|-------|
| 担当教員名 | 金勝 裕子 | | | | |
| ナンバリング | KKa001 | | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (K)-共通科目-入門ゼミナール | | | | |
| 学年 | 1 | ク | ラ | ス | ABクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・ | 選択 | の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 | 位 | 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 入門ゼミナール | | | | |
|--------|------------------------|-----|----|-----|-------|
| 担当教員名 | 上垣内 伸子 | | | | |
| ナンバリング | KKa001 | | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | | | | |
| 学年 | 1 | ク | ラ | ス | ACクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・ | 選扎 | マの別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 | 位 | 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 入門ゼミナール | | | |
|--------|------------------------|------|------|-------|
| 担当教員名 | 大宮 明子 | | | |
| ナンバリング | KKa001 | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | , | | |
| 学年 | 1 | クき | ラ ス | ADクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・i | 選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単(| 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 入門ゼミナール | | | |
|--------|-------------------------|------|------------|-------|
| 担当教員名 | 向井 美穂 | | | |
| ナンバリング | KKa001 | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (K)-共通科目-入門ゼミナール | | | |
| 学年 | 1 | ク ラ | ラ ス | AEクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選 | 選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単位 | 2 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 入門ゼミナール | | | | |
|--------|------------------------|-----|-----|-----|-------|
| 担当教員名 | 長田 瑞恵 | | | | |
| ナンバリング | KKa001 | | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | | | | |
| 学年 | 1 | ク | ラ | ス | AFクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・ | ・選打 | マの別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 | 位 | 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 入門ゼミナール | | | |
|--------|------------------------|-----|------|-------|
| 担当教員名 | 野口 隆子 | | | |
| ナンバリング | KKa001 | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | | | |
| 学年 | 1 | ク | ラ ス | AGクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・ | 選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 | 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 入門ゼミナール | | | | |
|--------|-------------------------|-----|----|----|-------|
| 担当教員名 | 横井 紘子 | | | | |
| ナンバリング | KKa001 | | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (K)-共通科目-入門ゼミナール | | | | |
| 学年 | 1 | ク | ラ | ス | AHクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修· | 選択 | で別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 | 位 | 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 入門ゼミナール | | | |
|--------|----------------------------|------|-----|-------|
| 担当教員名 | 鈴木 晴子 | | | |
| ナンバリング | KKa001 | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (K) -共通科目-入門ゼミナール | | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ | ス | AJクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選 | 択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 | 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 入門ゼミナール | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 山田 陽子 | | |
| ナンバリング | KKa001 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | , | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | AKクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 入門ゼミナール | | | |
|--------|------------------------|------|-----|-------|
| 担当教員名 | 潮谷 恵美 | | | |
| ナンバリング | KKa001 | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | , | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ | ス | ALクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選 | 択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単位 | 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 入門ゼミナール | | | |
|--------|------------------------|------|-----|-------|
| 担当教員名 | 鈴木 康弘 | | | |
| ナンバリング | KKa001 | | | |
| 学科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ | ス | AMクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選 | 択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 | 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 入門ゼミナール | | | | |
|--------|------------------------|-----|----|-----|-------|
| 担当教員名 | 宮野 周 | | | | |
| ナンバリング | KKa001 | | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | , | | | |
| 学年 | 1 | ク | ラ | ス | ANクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・ | 選択 | マの別 | 必修 * |
| 授業形態 | | 単 | 位 | 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 入門ゼミナール | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 薮崎 伸一郎 | | |
| ナンバリング | KKa001 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | , | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | APクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 入門ゼミナール | | | |
|--------|-------------------------|-------|----|-------|
| 担当教員名 | 宮里 暁美 | | | |
| ナンバリング | KKa001 | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (K)-共通科目-入門ゼミナール | | | |
| 学年 | 1 | ク ラ | ス | ARクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択 | の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単位 | 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 入門ゼミナール | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 渡邊 孝枝 | | |
| ナンバリング | KKa001 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | , | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | ATクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 入門ゼミナール | | | |
|--------|------------------------|------|------------|-------|
| 担当教員名 | 加藤 則子 | | | |
| ナンバリング | KKa001 | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | | | |
| 学年 | 1 | クラ | ラ ス | AUクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選 | 選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単位 | 2 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | |

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、 レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め,名簿作り,グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを 設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を 発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

このような実体験の積み重ねが、教育(保育)者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成に つながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネット などを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 宮城 道子

 ナンバリング
 KKa001

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学 年 1
 クラス DAクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:大学では自らが学び、求めるという自律的、自発的な学習が不可欠である。本授業では、大学における学生 生活の基礎となる、基本的学習に関して学ぶ。少人数で担当教員とのコミュニケーションが密であることも本授業の特徴で ある。

科目の概要:講義・演習(ディスカッション、グループワーク等)を通じて行う。なお、テーマによってクラス合同の授業を行うこともある。

学修目標(=到達目標):1)4年間の学習の目標とそのプロセスがわかる。

- 2)4年間にわたる学習を深める方法がわかる。
- 3) 福祉の学びをふまえて地域に貢献できる力を身につける

内容

1. 学生としてのライフスタイルの確立及び学習の目標を獲得

大学、学部、学科、コースを理解する。

大学組織の活用法を理解する。

自分の個性・特徴を理解する。

自己確立へ向けて目標を立てる。

学習・生活の計画を立てる。

- 2.情報の収集、整理、理解
 - ノートテイキング、文書読解練習、大学図書館の利用方法、インターネットの活用などについて学ぶ。
- 3.情報の検討、分析、発信

意見(主張)の出し合いと練り上げ、討論・議論の練習、レポートの作成その発表等を行う。

4.グループワーク

共同での問題解決と体験学習を踏まえ、福祉を学ぶ者としての自覚と他者理解を深めるとともに、各自の目的意識を明確 化する。

5.地域貢献の方法を学ぶ

新座市の福祉の現状について学び、ボランティア等の活動に取り組めるようにする。

評価

授業への取り組み(40点)、小レポート(30点)、期末課題(30点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】事前に示された課題について準備する。

【事後学修】課題の自己学習と提出により、学習内容を振り返り、身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】川村匡由・川村岳人「改訂:レポート&卒論の書き方」中央法規

【推薦書】学習技術研究会編「知へのステップ」くろしお出版 田中共子編「よくわかる学びの技法」ミネルヴァ書房

【参考図書】「地域で学ぶ」テキストは、授業中配布予定

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 福田 智雄

 ナンバリング KKa001
 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学 年 1
 クラス DBクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*

 授業形態
 単位数 2

 資格関係 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:大学では自らが学び、求めるという自律的、自発的な学習が不可欠である。本授業では、大学における学生 生活の基礎となる、基本的学習に関して学ぶ。少人数で担当教員とのコミュニケーションが密であることも本授業の特徴で ある。

科目の概要:講義・演習(ディスカッション、グループワーク等)を通じて行う。なお、テーマによってクラス合同の授業を行うこともある。

学修目標(=到達目標):1)4年間の学習の目標とそのプロセスがわかる。

- 2)4年間にわたる学習を深める方法がわかる。
- 3)福祉の学びをふまえて地域に貢献できる力を身につける

内容

1. 学生としてのライフスタイルの確立及び学習の目標を獲得

大学、学部、学科、コースを理解する。

大学組織の活用法を理解する。

自分の個性・特徴を理解する。

自己確立へ向けて目標を立てる。

学習・生活の計画を立てる。

2.情報の収集、整理、理解

ノートテイキング、文書読解練習、大学図書館の利用方法、インターネットの活用などについて学ぶ。

3.情報の検討、分析、発信

意見(主張)の出し合いと練り上げ、討論・議論の練習、レポートの作成その発表等を行う。

4.グループワーク

共同での問題解決と体験学習を踏まえ、福祉を学ぶ者としての自覚と他者理解を深めるとともに、各自の目的意識を明確 化する。

5.地域貢献の方法を学ぶ

新座市の福祉の現状について学び、ボランティア等の活動に取り組めるようにする。

評価

授業への取り組み(40点)、小レポート(30点)、期末課題(30点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】事前に示された課題について準備する。

【事後学修】課題の自己学習と提出により、学習内容を振り返り、身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】川村匡由・川村岳人「改訂:レポート&卒論の書き方」中央法規

【推薦書】学習技術研究会編「知へのステップ」くろしお出版 田中共子編「よくわかる学びの技法」ミネルヴァ書房

【参考図書】「地域で学ぶ」テキストは、授業中配布予定

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 大山 博幸

 ナンバリング KKa001
 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学 年 1
 クラス DDクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*

 授業形態
 単位数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:大学では自らが学び、求めるという自律的、自発的な学習が不可欠である。本授業では、大学における学生 生活の基礎となる、基本的学習に関して学ぶ。少人数で担当教員とのコミュニケーションが密であることも本授業の特徴で ある。

科目の概要:講義・演習(ディスカッション、グループワーク等)を通じて行う。なお、テーマによってクラス合同の授業を行うこともある。

学修目標(=到達目標):1)4年間の学習の目標とそのプロセスがわかる。

- 2)4年間にわたる学習を深める方法がわかる。
- 3) 福祉の学びをふまえて地域に貢献できる力を身につける

内容

1.学生としてのライフスタイルの確立及び学習の目標を獲得

大学、学部、学科、コースを理解する。

大学組織の活用法を理解する。

自分の個性・特徴を理解する。

自己確立へ向けて目標を立てる。

学習・生活の計画を立てる。

2.情報の収集、整理、理解

ノートテイキング、文書読解練習、大学図書館の利用方法、インターネットの活用などについて学ぶ。

3.情報の検討、分析、発信

意見(主張)の出し合いと練り上げ、討論・議論の練習、レポートの作成その発表等を行う。

4.グループワーク

共同での問題解決と体験学習を踏まえ、福祉を学ぶ者としての自覚と他者理解を深めるとともに、各自の目的意識を明確 化する。

5.地域貢献の方法を学ぶ

新座市の福祉の現状について学び、ボランティア等の活動に取り組めるようにする。

評価

授業への取り組み(40点)、小レポート(30点)、期末課題(30点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】事前に示された課題について準備する。

【事後学修】課題の自己学習と提出により、学習内容を振り返り、身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】川村匡由・川村岳人「改訂:レポート&卒論の書き方」中央法規

【推薦書】学習技術研究会編「知へのステップ」くろしお出版 田中共子編「よくわかる学びの技法」ミネルヴァ書房

【参考図書】「地域で学ぶ」テキストは、授業中配布予定

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 山口 由美

 ナンバリング
 KKa001

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学年1
 クラス

 原講期前期
 必修・選択の別

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:大学では自らが学び、求めるという自律的、自発的な学習が不可欠である。本授業では、大学における学生 生活の基礎となる、基本的学習に関して学ぶ。少人数で担当教員とのコミュニケーションが密であることも本授業の特徴で ある。

科目の概要:講義・演習(ディスカッション、グループワーク等)を通じて行う。なお、テーマによってクラス合同の授業を行うこともある。

学修目標(=到達目標):1)4年間の学習の目標とそのプロセスがわかる。

- 2)4年間にわたる学習を深める方法がわかる。
- 3) 福祉の学びをふまえて地域に貢献できる力を身につける

内容

1.学生としてのライフスタイルの確立及び学習の目標を獲得

大学、学部、学科、コースを理解する。

大学組織の活用法を理解する。

自分の個性・特徴を理解する。

自己確立へ向けて目標を立てる。

学習・生活の計画を立てる。

2.情報の収集、整理、理解

ノートテイキング、文書読解練習、大学図書館の利用方法、インターネットの活用などについて学ぶ。

3.情報の検討、分析、発信

意見(主張)の出し合いと練り上げ、討論・議論の練習、レポートの作成その発表等を行う。

4.グループワーク

共同での問題解決と体験学習を踏まえ、福祉を学ぶ者としての自覚と他者理解を深めるとともに、各自の目的意識を明確 化する。

5.地域貢献の方法を学ぶ

新座市の福祉の現状について学び、ボランティア等の活動に取り組めるようにする。

評価

授業への取り組み(40点)、小レポート(30点)、期末課題(30点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】事前に示された課題について準備する。

【事後学修】課題の自己学習と提出により、学習内容を振り返り、身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】川村匡由・川村岳人「改訂:レポート&卒論の書き方」中央法規

【推薦書】学習技術研究会編「知へのステップ」くろしお出版 田中共子編「よくわかる学びの技法」ミネルヴァ書房

【参考図書】「地域で学ぶ」テキストは、授業中配布予定

 科目名
 入門ゼミナール

 担当教員名
 平田 智秋

 ナンバリング
 KKa001

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール

 学 年 1
 クラス CAクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要:

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能(Study Skill)の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標:

- 1.大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
- 2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
- 3 . 基本的な < Study Skill > を理解する。
- 4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A.アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

- B. Study Skillトレーニング
 - (1)大学授業への受講技能(ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
 - (2)テキストの読み方(説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
 - (3)資料収集とその整理に関する技法(KJ法、資料のファイリング法)
 - (4)レポート作成に関する技法(文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
 - (5)報告・発表に関する技法(プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
 - (6)話し合いに関する技法(バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1)図書・情報センター図書館(図書館本館・図書館分室)の紹介と活用法
- (2)就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ
- D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ
 - ~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため, 以下の内容から1~2のトピックについて話を伺う(計画中)
 - (1)地域子育て支援:新座子育てネットワーク(予定)の方に,現状の課題などを伺う

- (2)教育支援:市内中学校の現役スタッフの方に,中学生が抱える心の問題などを伺う
- (3)障がい者支援:地域の障がい者支援施設の方に,支援の実際を伺い理解を深める

評価

発表とレポート提出(60点)および平常点(40点)によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える

【事後学修】ゼミの内容を復習し,要点を復習しておく

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

| 科目名 | 入門ゼミナール | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 津吹 卓、松岡 敬明、星野 敦子 | | |
| ナンバリング | KKa001 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-入門ゼミナール | , | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | BAクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するための必要な勉強を学科の先生方とともに学ぶために設定されました。特に、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会となります。これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあうことになります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習等の科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、 自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修すること等、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

各教室に分かれて、担任の先生方と相談しながら勉強を進めます。

週により、学科全員が集まって勉強したり、個別で勉強したりします。

| | により、字科全員が集まって勉強したり、個別で勉強したりします。 |
|----|----------------------------------|
| 1 | ガイダンス |
| 2 | アイスプレイク活動(学生生活や履修方法等に関する相談) |
| 3 | 自分の力を知る - 測定(キャリアセンタ による授業) |
| 4 | アカデミック・ライティング |
| 5 | アカデミック・ライティング |
| 6 | アカデミック・ライティング |
| 7 | 自分の力を知る - 測定結果の解説(キャリアセンタ による授業) |
| 8 | 情報収集 (図書館ガイダンス) |
| 9 | 情報収集 (図書館ガイダンス) |
| 10 | ワークショップ グループディスカッション |
| 11 | ワークショップ グループディスカッション |
| 12 | ボランティア・インターンシップ活動について |
| 13 | プレゼンテーションの技法 |
| 14 | プレゼンテーションの作成 |
| 15 | プレゼンテーションの発表 |

評価

講義の内外で作成するミニレポート(3割)、口頭発表(3割)、平常点(4割)を総合し、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備えます。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめます。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組みます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【参考図書】教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

 科目名
 地域で学ぶ

 担当教員名
 星野 敦子、石野 榮一、安達 一寿

 ナンバリング
 KKa102

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目・地域で学ぶ

 学 年 1
 クラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の共通科目である。地域連携科目として位置づけられる。

科目の概要

新座市の特徴について、「少子化、高齢化対策」「観光都市としてのあり方」などの地域課題から学び、自らなにができるのかを模索して行くための授業である。実際に、地域で活躍している方たちの講義を聞いて、課題解決のための糸口を探る。

学修目標(=到達目標)

新座における地域課題の現状について理解する。地域における社会活動を始めるための動機を明確化する。

| 内容 | |
|----|--|
| 1 | ガイダンス |
| 2 | ゲスト講師による講義(新座のこれから)市制のあり方と課題 |
| 3 | ゲスト講師による講義(新座の産業)新座市商工会 |
| 4 | ゲスト講師による講義(新座の産業)新座市商工会 |
| 5 | グループワーク 討議・プレゼン作成 |
| 6 | ゲスト講師による講義(新座の環境)谷合宜明氏 |
| 7 | ゲスト講師による講義(新座の環境)荻原 浩氏 |
| 8 | ゲスト講師による講義(酒造り・さつまいもプロジェクト)荻原耕之進氏 |
| 9 | ゲスト講師による講義(新座で活躍する女性たち)河合美津子氏 三矢美代子氏 小宮光絵氏 |
| 10 | グループワーク 討議・プレゼン作成 |
| 11 | ゲスト講師による講義(情報発信の方法)一之瀬要氏 |
| 12 | ゲスト講師による講義(情報発信の方法) 石橋啓一郎氏 |
| 13 | ゲスト講師による講義(観光都市のあり方など)石山努氏 |
| 14 | グループワーク 討議・プレゼン作成 |
| 15 | まとめ(発表) |

評価

授業への取り組みと毎時間ごとの課題を30%、プレゼンによる発表を70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】新座市のホームページをみて疑問点をあげておく

【事後学修】新座市における社会活動への参加

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】特にありません 授業で必要に応じて指示します

【推薦書】

【参考図書】

| 科目名 | 情報とネットワーク社会 |
|--------|-------------------------|
| 担当教員名 | 深澤進 |
| ナンバリング | KKa116 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-地域と社会を学ぶ |
| 学 年 | ク ラ ス 1Aクラス |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報) |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

教養科目

科目の概要

ネットワーク社会においては、流通する情報の量が膨大なものとなっているといわれることがあるが、そもそも情報とは何であって、それはどのように伝達されてきたのだろうか。さまざまなメディアを多角的に検討することを通してこの問題を 考察する。、

学修目標(=到達目標)

現代社会において、受講者それぞれが情報とどう関わればよいのかについて理解し、判断できるようになることを目標とする。

| 内容 | 内容 | |
|----|---------------------|--|
| 1 | ガイダンス | |
| 2 | 情報化社会とは何か | |
| 3 | マーシャル・マクルーハンのメディア論 | |
| 4 | グローバル・ヴィレッジの概念 | |
| 5 | グローバル・ヴィレッジと地域社会(1) | |
| 6 | グローバル・ヴィレッジと地域社会(2) | |
| 7 | 情報とメディア | |
| 8 | 電話とネットワーク社会 | |
| 9 | ラジオとネットワーク社会 | |
| 10 | 映像メディアとネットワーク社会(1) | |
| 11 | 映像メディアとネットワーク社会(2) | |
| 12 | インターネットとネットワーク社会 | |
| 13 | インターネットと情報倫理 | |
| 14 | 情報管理とネットワーク社会 | |
| 15 | まとめ | |

評価

授業への参加度20%、筆記試験80%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】

授業内容のテーマについて興味の持った点を、事前に調べておくとよい。

【事後学修】

授業中取ったノートの内容を確認し、復習をすること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

使用しない

【推薦書】

駒谷昇一・山川修・中西通雄・北上始・佐々木整・湯瀬裕昭 共著 『情報とネットワーク社会』 オーム社

【参考図書】

教室で紹介する

| 科目名 | 情報とネットワーク社会 |
|--------|-------------------------|
| 担当教員名 | 深澤 進 |
| ナンバリング | KKa116 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-地域と社会を学ぶ |
| 学 年 | ク ラ ス 2Aクラス |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報) |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

教養科目

科目の概要

ネットワーク社会においては、流通する情報の量が膨大なものとなっているといわれることがあるが、そもそも情報とは何であって、それはどのように伝達されてきたのだろうか。さまざまなメディアを多角的に検討することを通してこの問題を 考察する。、

学修目標(=到達目標)

現代社会において、受講者それぞれが情報とどう関わればよいのかについて理解し、判断できるようになることを目標とする。

| 内容 | 内容 | |
|----|---------------------|--|
| 1 | ガイダンス | |
| 2 | 情報化社会とは何か | |
| 3 | マーシャル・マクルーハンのメディア論 | |
| 4 | グローバル・ヴィレッジの概念 | |
| 5 | グローバル・ヴィレッジと地域社会(1) | |
| 6 | グローバル・ヴィレッジと地域社会(2) | |
| 7 | 情報とメディア | |
| 8 | 電話とネットワーク社会 | |
| 9 | ラジオとネットワーク社会 | |
| 10 | 映像メディアとネットワーク社会(1) | |
| 11 | 映像メディアとネットワーク社会(2) | |
| 12 | インターネットとネットワーク社会 | |
| 13 | インターネットと情報倫理 | |
| 14 | 情報管理とネットワーク社会 | |
| 15 | まとめ | |

評価

授業への参加度20%、筆記試験80%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】

授業内容のテーマについて興味の持った点を、事前に調べておくとよい。

【事後学修】

授業中取ったノートの内容を確認し、復習をすること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

使用しない

【推薦書】

駒谷昇一・山川修・中西通雄・北上始・佐々木整・湯瀬裕昭 共著 『情報とネットワーク社会』 オーム社

【参考図書】

教室で紹介する

 科目名
 埼玉の地理・歴史・文化

 担当教員名
 狩野 浩二、星野 敦子、松永 修一

 ナンバリング
 KKa111

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-地域と社会を学ぶ

 学 年 1
 クラス 1Aクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業形態
 単位数 2

 資格関係保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、学生の皆さんの自主的な学修態度を形成すること、自ら学び、自ら表現する学生を育てることを目指しています。「入門ゼミナール」等で学んだ埼玉や新座周辺の歴史、地理、文化を基盤として、様々な分野の学生たちがともに学ぶことにより、人間的な交流のすばらしさを実感してもらいます。平成23(2011)年度~平成26(2014)年度入学生から開講される共通科目【十文字学】の中の、「新座から学ぶ」と同時に開講します(平成22年度以前入学生は「経営経済学基礎」と同時開講です)。

埼玉や新座に関する歴史・地理・文化についての最新情報をゲスト講師から伺う前半と、受講生同士がグループを作って、プロジェクト研究をする後半とで構成します。終盤には、グループでのプロジェクト研究の成果を発表する機会をつくります。

受講生同士が人間的な交流を深めること、埼玉や新座の地理・歴史・文化について疑問に思ったことを課題として、グループごとに研究を深め、発表すること、学生としての研究的な態度を身につけること、将来埼玉や新座周辺などの地域で活躍できる人材を育てること、などが目標です

内容

【留意点】

平成22(2010)年度以前に入学した学生は、「経営経済学基礎」として受講することが出来ます。

平成23(2011)年度~平成26(2014)年度までに入学した学生は、十文字学(共通教育)「新座から学ぶ」

として履修登録します。

【内容】

大学が立地する埼玉県新座市とその周辺を教材とし、プロジェクト研究を行います。

講義の前半部分では、新座市教育委員会生涯学習スポーツ課学芸員の斯波治さんに来ていただく予定です。

中盤からは、前半の講義を参考にしながら、グループごとに埼玉の地理・歴史・文化についての疑問点、研究課題を決めて活動します。

4名程度のグループを無作為に作って、活動します。

後半では、グループごとのプロジェクト研究結果の発表会を行います。

グループ内のメンバーで協力し、埼玉県や新座市に対しての提言をまとめてもらいます。

学生の皆さんが、新鮮な目で新座市やその周辺地域を眺め、課題を発見し、その解決方法を提案します。

発表会では、前半部分でゲストとしてきていただいた方にも参加していただく予定です。

みなさんは、新座や埼玉を覗き窓にして、日本や世界、宇宙へとひろがる課題を発見し、研究することになります。 仲間とともに楽しい勉強空間を創り上げましょう。

評価

毎回の課題(20%)、最終プレゼンテーション(80%)とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】埼玉や新座周辺などの地域に関する歴史、地理、文化に関する文献、資料を読む。

【事後学修】講義中に取り扱った内容に関する文献や資料を探し、課題を深めてみる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しません。

推薦書は適宜講義中に説明します。

 科目名
 埼玉の地理・歴史・文化

 担当教員名
 狩野 浩二、星野 敦子、松永 修一

 ナンバリング
 KKa111

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-地域と社会を学ぶ

 学年1
 クラス 2Aクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業形態
 単位数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、学生の皆さんの自主的な学修態度を形成すること、自ら学び、自ら表現する学生を育てることを目指しています。「入門ゼミナール」等で学んだ埼玉や新座周辺の歴史、地理、文化を基盤として、様々な分野の学生たちがともに学ぶことにより、人間的な交流のすばらしさを実感してもらいます。平成23(2011)年度~平成26(2014)年度入学生から開講される共通科目【十文字学】の中の、「新座から学ぶ」と同時に開講します(平成22年度以前入学生は「経営経済学基礎」と同時開講です)。

埼玉や新座に関する歴史・地理・文化についての最新情報をゲスト講師から伺う前半と、受講生同士がグループを作って、プロジェクト研究をする後半とで構成します。終盤には、グループでのプロジェクト研究の成果を発表する機会をつくります。

受講生同士が人間的な交流を深めること、埼玉や新座の地理・歴史・文化について疑問に思ったことを課題として、グループごとに研究を深め、発表すること、学生としての研究的な態度を身につけること、将来埼玉や新座周辺などの地域で活躍できる人材を育てること、などが目標です

内容

【留意点】

平成22(2010)年度以前に入学した学生は、「経営経済学基礎」として受講することが出来ます。

平成23(2011)年度~平成26(2014)年度までに入学した学生は、十文字学(共通教育)「新座から学ぶ」

として履修登録します。

【内容】

大学が立地する埼玉県新座市とその周辺を教材とし、プロジェクト研究を行います。

講義の前半部分では、新座市教育委員会生涯学習スポーツ課学芸員の斯波治さんに来ていただく予定です。

中盤からは、前半の講義を参考にしながら、グループごとに埼玉の地理・歴史・文化についての疑問点、研究課題を決めて活動します。

4名程度のグループを無作為に作って、活動します。

後半では、グループごとのプロジェクト研究結果の発表会を行います。

グループ内のメンバーで協力し、埼玉県や新座市に対しての提言をまとめてもらいます。

学生の皆さんが、新鮮な目で新座市やその周辺地域を眺め、課題を発見し、その解決方法を提案します。

発表会では、前半部分でゲストとしてきていただいた方にも参加していただく予定です。

みなさんは、新座や埼玉を覗き窓にして、日本や世界、宇宙へとひろがる課題を発見し、研究することになります。 仲間とともに楽しい勉強空間を創り上げましょう。

評価

毎回の課題(20%)、最終プレゼンテーション(80%)とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】埼玉や新座周辺などの地域に関する歴史、地理、文化に関する文献、資料を読む。

【事後学修】講義中に取り扱った内容に関する文献や資料を探し、課題を深めてみる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しません。

推薦書は適宜講義中に説明します。

 科目名
 現代社会と教育

 担当教員名
 吉川 知夫、綾井 桜子、岡上 直子

 ナンバリング
 KKa112

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-地域と社会を学ぶ

 学 年 1
 クラス 1Aクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 選択,選必

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:現代社会における教育課題を多角的に学び、理解します。また、教育学を学ぶ基礎的な知識とともに、地域 の教育の現状と課題について理解を深めます。

科目の概要:高度情報化、高度消費化、グローバル化社会と形容される現代社会において、教育はかつてない複雑な問題を呈しています。本講義では、学力問題や幼児教育、特別支援教育などについて、地域における現状をふまえて課題を多角的にとらえ、学びます。

学修目標(=到達目標)

- 1)現代社会における教育課題について、多角的に理解する。
- 2)地域における教育課題を理解し、課題解決に向けた自分なりの考えをまとめる。

| 内容 | |
|----|--|
| 1 | 学力問題とは - その PISA・全国学力・学習状況調査について(綾井桜子) |
| 2 | 学力問題とは - その PISA・全国学力・学習状況調査について(綾井桜子) |
| 3 | 現代の子どもと規範・モラル・教育(綾井桜子) |
| 4 | 現代の子どもにみる自尊心の低下・教育(綾井桜子) |
| 5 | グローバリズム・文化の共存・教育(綾井桜子) |
| 6 | 子どもを取り巻く社会の変化と子どもの遊び(岡上直子) |
| 7 | 子どもの遊びと学び(岡上直子) |
| 8 | 幼児期の教育(岡上直子) |
| 9 | 子育て支援と親育ち(岡上直子) |
| 10 | 地域に開かれた学校(岡上直子) |
| 11 | 特別支援教育の現状 特別支援教育制度の理解(吉川知夫) |
| 12 | 特別支援教育の現状 障害の理解と関係機関の連携(吉川知夫) |
| 13 | 地域の小中学校における特別支援教育の現状と課題(吉川知夫) |
| 14 | 新座市における特別支援教育の現状と課題(吉川知夫) |
| 15 | まとめ(吉川知夫) |

評価

授業時に行う小テスト40点、課題レポート40点、授業への参加態度20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業内容に関する教育的な課題を調べておくこと。

【事後学修】授業で扱った教育課題を整理し、自分の地域の現状について理解すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】特に指定しない。授業時に必要な資料を配布する。

【参考図書】授業時に指示する。

 科目名
 現代社会と教育

 担当教員名
 吉川 知夫、綾井 桜子、岡上 直子

 ナンバリング
 KKa112

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-地域と社会を学ぶ

 学 年 1
 クラス 2Aクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選択,選必

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:現代社会における教育課題を多角的に学び、理解します。また、教育学を学ぶ基礎的な知識とともに、地域 の教育の現状と課題について理解を深めます。

科目の概要:高度情報化、高度消費化、グローバル化社会と形容される現代社会において、教育はかつてない複雑な問題を呈しています。本講義では、学力問題や幼児教育、特別支援教育などについて、地域における現状をふまえて課題を多角的にとらえ、学びます。

学修目標(=到達目標)

- 1)現代社会における教育課題について、多角的に理解する。
- 2)地域における教育課題を理解し、課題解決に向けた自分なりの考えをまとめる。

| 内容 | |
|----|--|
| 1 | 学力問題とは - その PISA・全国学力・学習状況調査について(綾井桜子) |
| 2 | 学力問題とは - その PISA・全国学力・学習状況調査について(綾井桜子) |
| 3 | 現代の子どもと規範・モラル・教育(綾井桜子) |
| 4 | 現代の子どもにみる自尊心の低下・教育(綾井桜子) |
| 5 | グローバリズム・文化の共存・教育(綾井桜子) |
| 6 | 子どもを取り巻く社会の変化と子どもの遊び(岡上直子) |
| 7 | 子どもの遊びと学び(岡上直子) |
| 8 | 幼児期の教育(岡上直子) |
| 9 | 子育て支援と親育ち(岡上直子) |
| 10 | 地域に開かれた学校(岡上直子) |
| 11 | 特別支援教育の現状 特別支援教育制度の理解(吉川知夫) |
| 12 | 特別支援教育の現状 障害の理解と関係機関の連携(吉川知夫) |
| 13 | 地域の小中学校における特別支援教育の現状と課題(吉川知夫) |
| 14 | 新座市における特別支援教育の現状と課題(吉川知夫) |
| 15 | まとめ(吉川知夫) |

評価

授業時に行う小テスト40点、課題レポート40点、授業への参加態度20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業内容に関する教育的な課題を調べておくこと。

【事後学修】授業で扱った教育課題を整理し、自分の地域の現状について理解すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】特に指定しない。授業時に必要な資料を配布する。

【参考図書】授業時に指示する。

科 目 名 現代社会と福祉

担当教員名 宮城 道子、野島 靖子、角田 真二

ナンバリング KKa113

・ 科 人間生活学部(K)-共通科目-地域と社会を学ぶ

開 講 期 前期 必修・選択の別 選択,選必

授業形態 単位数 2

資格関係 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目、十文字学、地域と社会を学ぶに位置づく選択科目。

「地(知)の拠点整備事業」における「地域志向科目」。

教員によるオムニバス講義。

科目の概要

少子高齢化、雇用、貧困、孤立、医療、介護、子育て等、現代社会が抱える福祉課題は、多様で深刻である。その現状、要因、対策等を学び、解決のための自助・共助・公助の取り組みを理解することによって、一人ひとりの生活者の視点から解決の可能性を検討する。市民・社会人としての生活のリテラシーを高めることによって、現代社会における福祉を創造する力を育むことをめざす。

学修目標(=到達目標)

- ・現代社会の福祉課題について、理解する
- ・自助・共助・公助の取り組みを理解する
- ・具体的な地域において、課題を設定し、解決方法を検討する力を得る

内容

第1週(角田) オリエンテーション 科目のねらいと学習方法を理解する

第2~5週(角田)現代社会におけるユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインの概論

高次認知機能からの新座市のユニバーサルデザインの考察

視覚機能からの新座市のユニバーサルデザインの考察

聴覚機能からの新座市のユニバーサルデザインの考察

第6~10週(宮城)地域における多様性と持続性

コミュニティの理論と現代社会への応用

コミュニティを構成する諸集団と家族・世帯

地域の福祉課題に取り組む団体

公共セクター・民間セクター・非営利セクターの特性

コミュニティビジネス・エコマネーの事例検討(新座市を含む)

第11~14週(野島)高齢者福祉の現状と課題

高齢者とは

少子高齢社会 高齢者を取り巻く課題 高齢者介護の現状と課題 新座市における高齢者サービス

第15週(野島)まとめと講評

評価

教員ごとの課題の評価 (30点 $\times 3$)、最後にとりまとめの評価 (10点)とし、その総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】第1週オリエンテーションで、各教員ごとの事前学習課題を示す。

【事後学修】各教員の講義の終わりに発展的学習のための参考文献・資料等を示す。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】なし

【推薦書】各教員ごとに授業中に示す

【参考図書】

科 目 名 現代社会と福祉

担当教員名 宮城 道子、野島 靖子、角田 真二

ナンバリング KKa113

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-地域と社会を学ぶ

学 年 1 2Aクラス

開講期 後期 必修・選択の別 選必,選択

授業形態 単位数 2

資格関係 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目、十文字学、地域と社会を学ぶに位置づく選択科目。

「地(知)の拠点整備事業」における「地域志向科目」。

教員によるオムニバス講義。

科目の概要

少子高齢化、雇用、貧困、孤立、医療、介護、子育て等、現代社会が抱える福祉課題は、多様で深刻である。その現状、要因、対策等を学び、解決のための自助・共助・公助の取り組みを理解することによって、一人ひとりの生活者の視点から解決の可能性を検討する。市民・社会人としての生活のリテラシーを高めることによって、現代社会における福祉を創造する力を育むことをめざす。

学修目標(=到達目標)

- ・現代社会の福祉課題について、理解する
- ・自助・共助・公助の取り組みを理解する
- ・具体的な地域において、課題を設定し、解決方法を検討する力を得る

内容

第1週(角田) オリエンテーション 科目のねらいと学習方法を理解する

第2~5週(角田)現代社会におけるユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインの概論

高次認知機能からの新座市のユニバーサルデザインの考察

視覚機能からの新座市のユニバーサルデザインの考察

聴覚機能からの新座市のユニバーサルデザインの考察

第6~10週(宮城)地域における多様性と持続性

コミュニティの理論と現代社会への応用

コミュニティを構成する諸集団と家族・世帯

地域の福祉課題に取り組む団体

公共セクター・民間セクター・非営利セクターの特性

コミュニティビジネス・エコマネーの事例検討(新座市を含む)

第11~14週(野島)高齢者福祉の現状と課題

高齢者とは

少子高齢社会 高齢者を取り巻く課題 高齢者介護の現状と課題 新座市における高齢者サービス

第15週(野島)まとめと講評

評価

教員ごとの課題の評価 (30点 $\times 3$)、最後にとりまとめの評価 (10点)とし、その総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】第1週オリエンテーションで、各教員ごとの事前学習課題を示す。

【事後学修】各教員の講義の終わりに発展的学習のための参考文献・資料等を示す。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】なし

【推薦書】各教員ごとに授業中に示す

【参考図書】

 科目名
 現代社会とグローバリゼーション

 担当教員名
 福岡 賢昌、落合 真裕、シーラ クリフ

 ナンバリング
 KKa114

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-地域と社会を学ぶ

 学 年 1
 クラス 1Aクラス

 開 講 期 前期
 必修・選択の別 選択,選必

 授業 形態
 単 位 数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

・十文字学の一つで、複数教員によるオムニバス授業。講義とディスカッションを通して、現代社会の様相をグローバルな 視点から理解する。

科目の概要

・様々な分野においてグローバル化が加速している。本講義では、主にビジネス、ファッション、演劇、言語等の分野から、現代社会の様相を理解し、グローバル化とはいったい何なのか、地域に及ぼす影響は何か、そして、私たちはこのような現代社会の中でどのように生きていけば良いのか、等について深く考え、探求していく。

学修目標(=到達目標)

・現代社会において、グローバルとローカルは相反する概念ではなく、共存するものであることを理解するとともに、現在 及び将来において、変化する社会において自分が輝ける場所や立ち位置を考えるヒントとすること。

内容

[担当]

福岡 賢昌:1~4回、11~15回

シーラ クリフ:8~10回(日本語での授業)

落合 真裕:5回~7回

| /8 11 | 유미·VII / II |
|-------|-----------------------------------|
| 1 | 講義概要の説明 |
| 2 | グル バル社会と日本 |
| 3 | グローバル化とリンガフランカ |
| 4 | 超国家組織(EU、ASEAN等) |
| 5 | グローバルな視点から見る演劇 (1) |
| 6 | グローバルな視点から見る演劇 (2) |
| 7 | グローバルな視点から見る演劇(3) |
| 8 | Fashion across cultures ~地域から海外へ~ |
| 9 | Kimono across cultures ~地域から海外へ~ |
| 10 | Reading society through clothing |
| 11 | 企業のグローバル化 |
| 12 | ビジネスと異文化コミュニケーション |
| 13 | グローバル化と地域 |
| 14 | グローバル化とキャリア形成 |
| 15 | 総括 |

評価

授業への参加度(発言等による貢献等)<20%>、リアクションペーパー<30%>、期末試験<50%>。60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】翌週に扱うテーマについて、自分の意見を考えてくること

【事後学修】アサインメント等

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】各教員が提示するハンドアウト。

【推薦書】各教員より授業内で指示。

【参考図書】各教員より授業内で指示。

 科 目 名
 現代社会とグローバリゼーション

 担当教員名
 福岡 賢昌、落合 真裕、シーラ クリフ

 ナンバリング KKa114
 KKa114

 学 年 1
 クラス 2Aクラス

 開 講 期 後期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業 形態
 単 位 数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

・十文字学の一つで、複数教員によるオムニバス授業。講義とディスカッションを通して、現代社会の様相をグローバルな 視点から理解する。

科目の概要

・様々な分野においてグローバル化が加速している。本講義では、主にビジネス、ファッション、演劇、言語等の分野から、現代社会の様相を理解し、グローバル化とはいったい何なのか、地域に及ぼす影響は何か、そして、私たちはこのような現代社会の中でどのように生きていけば良いのか、等について深く考え、探求していく。

学修目標(=到達目標)

・現代社会において、グローバルとローカルは相反する概念ではなく、共存するものであることを理解するとともに、現在 及び将来において、変化する社会において自分が輝ける場所や立ち位置を考えるヒントとすること。

内容

[担当]

福岡 賢昌:1~4回、11~15回

シーラ クリフ:8~10回(日本語での授業)

落合 真裕:5回~7回

| 冷口 | 具作 . 5四~7回 |
|----|-----------------------------------|
| 1 | 講義概要の説明 |
| 2 | グル バル社会と日本 |
| 3 | グローバル化とリンガフランカ |
| 4 | 超国家組織(EU、ASEAN等) |
| 5 | グローバルな視点から見る演劇(1) |
| 6 | グローバルな視点から見る演劇 (2) |
| 7 | グローバルな視点から見る演劇(3) |
| 8 | Fashion across cultures ~地域から海外へ~ |
| 9 | Kimono across cultures ~地域から海外へ~ |
| 10 | Reading society through clothing |
| 11 | 企業のグローバル化 |
| 12 | ビジネスと異文化コミュニケーション |
| 13 | グローバル化と地域 |
| 14 | グローバル化とキャリア形成 |
| 15 | 総括 |

評価

授業への参加度(発言等による貢献等)<20%>、リアクションペーパー<30%>、期末試験<50%>。60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】翌週に扱うテーマについて、自分の意見を考えてくること

【事後学修】アサインメント等

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】各教員が提示するハンドアウト。

【推薦書】各教員より授業内で指示。

【参考図書】各教員より授業内で指示。

↓ 目 名 くらしのなかの日本国憲法

担当教員名 片居木 英人

ナンバリング KKa115

学 科 人間生活学部 (K)-共通科目-地域と社会を学ぶ

学 年 1 1 1Aクラス

開講期前期 が修・選択の別 選必,選択,必修*

授業形態 単位数 2

保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種 資格 関係 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一种学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健) 一种学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健 本育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある

講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化を目ざし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく

学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。また、新座市の人権に関する条例を学び、住民自治への理解を深める。

内容

授業計画

第1回:主権者教育としての憲法学習の意味

第2回:立憲的意味の憲法(立憲主義)とは何か

第3回:日本国憲法の三大原理-国民主権

第4回:日本国憲法の三大原理-基本的人権の尊重

第5回:日本国憲法の三大原理-平和主義

第6回:基本的人権の種類と内容 - 自由権

第7回:基本的人権の種類と内容-平等権

第8回:基本的人権の種類と内容-社会権

第9回:基本的人権の種類と内容-参政権、請求権

第10回:日本国憲法の構成と意味内容 - 前文、象徴天皇制、第9条と平和保障

第11回:日本国憲法の構成と意味内容 - 国民の権利・義務、三権分立の仕組み

第12回:日本国憲法の構成と意味内容-財政の意味と役割、地方自治

第13回:地域の暮らしと日本国憲法 - 新座市の人権に関する条例を学ぶ

第14回:憲法改正手続、憲法の最高法規性-憲法改正問題への視点

第15回:全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。合格点に満たない場合、再レポートを提出してもらう。

授業外学習

【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所の通読

【事後学修】授業終了時に告げられる今回授業のテキスト箇所の通読・点検・復習

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】片居木・福岡・長野・安達著『日本国憲法へのとびら~いま、主権者に求められること~』法律情報出版 【参考書】授業時、適宜紹介する。

くらしのなかの日本国憲法 目 名 担当教員名 神野 潔 ナンバリング KKa115 科 人間生活学部(K)-共通科目-地域と社会を学ぶ 年 1 ク ラ ス 1Bクラス 開講期 前期 必修・選択の別 必修*,選必,選択 授業形態 一種免許状(情報) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教訓 免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種 /中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語) 体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

資格関係

集団的自衛権の行使や、表現の自由を巡る議論など、一般市民の憲法に対する理解力が問われる社会的状況の中で、市民と して必要な、日本国憲法に関する知識・思考を深めていく。

科目の概要

まず最初に、憲法というもの自体を理解するために、法哲学的・法史学的な視点から、「そもそも憲法とは何か」について 考える。続けて、日本国憲法の個別条文について、いくつかの判例を挙げながら検討し、日本国憲法の基本原理と、その具 体化である各規定の意義を理解する。全体を通して、判例や学説による憲法解釈を紹介するだけでなく、法哲学的・法史学 的・比較法的な視点も重視して、多面的に日本国憲法を捉えていきたい。

学修目標(=到達目標)

憲法の概念について本質的に理解する、 日本国憲法の基本原理と各条文の関係・内容を理解する、 日本国憲法に関わ る諸問題について、知識を深め自分なりの見解を持てること、を到達目標とする。

| 内容 | |
|----|---------------------------|
| 1 | そもそも憲法とは何だろうか (憲法制定史) |
| 2 | 幸福追求権と新しい人権 |
| 3 | 法の下の平等とは何か |
| 4 | 精神的自由権(表現の自由とマスメディア、家永裁判) |
| 5 | 精神的自由権(信教の自由と靖国参拝問題) |
| 6 | 経済的自由権(職業選択の自由と財産権の保障) |
| 7 | 社会権(生存権と教育を受ける権利) |
| 8 | 参政権と選挙制度の諸問題 |
| 9 | 国会 |
| 10 | 内閣 |
| 11 | 裁判所 |
| 12 | 象徴としての天皇 |
| 13 | 平和主義の理想と現実 |
| 14 | 憲法改正問題の現在 |
| 15 | まとめ - 再び、憲法とは何だろうか |

評価

定期試験(70点)と講義内レポート(30点)の合計100点満点で、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】ニュース・新聞に目を通し、憲法問題への関心を高めておく。各回の内容について、必ず予習をして臨むこと

(予習用プリントを、毎回の講義で配布する)。

【事後学修】ノートを整理し、疑問点については、講義内レポートやメールで、積極的に質問すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】特に指定しない(毎回の講義でプリントを配布します)

【推薦書】木村草太『キヨミズ准教授の法学入門』(星海社)、長谷部恭男『憲法と平和を問いなおす』(筑摩書房)・『憲法のimagination』(羽鳥書店)、大石眞・高見勝利・長尾龍一『対談集 憲法史の面白さ』(信山社)

【参考図書】講義内で紹介します

↓ 目 名 くらしのなかの日本国憲法

担当教員名 片居木 英人

ナンバリング KKa115

学 科 人間生活学部 (K)-共通科目-地域と社会を学ぶ

学 年 1 2Aクラス

開講期後期 必修・選択の別 必修*,選択,選必

授業形態 単位数 2

保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種 資格 関係 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一种学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健) 一种学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健 本育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある

講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化を目ざし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく

学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。また、新座市の人権に関する諸条例を学び、住民自治への理解を深める。

内容

授業計画

第1回:主権者教育としての憲法学習の意味

第2回:立憲的意味の憲法(立憲主義)とは何か

第3回:日本国憲法の三大原理 - 国民主権

第4回:日本国憲法の三大原理-基本的人権の尊重

第5回:日本国憲法の三大原理-平和主義

第6回:基本的人権の種類と内容 - 自由権

第7回:基本的人権の種類と内容-平等権

第8回:基本的人権の種類と内容-社会権

第9回:基本的人権の種類と内容-参政権、請求権

第10回:日本国憲法の構成と意味内容 - 前文、象徴天皇制、第9条と平和保障

第11回:日本国憲法の構成と意味内容 - 国民の権利・義務、三権分立の仕組み

第12回:日本国憲法の構成と意味内容-財政の意味と役割、地方自治

第13回:地域の暮らしと日本国憲法 - 新座市の人権に関する条例を学ぶ

第14回:憲法改正手続、憲法の最高法規性-憲法改正問題への視点

第15回:全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。合格点に満たない場合、再レポートを提出してもらう。

授業外学習

【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所の通読

【事後学修】授業終了時に告げられる今回授業のテキスト箇所の通読・点検・復習

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】片居木・福岡・長野・安達著『日本国憲法へのとびら~いま、主権者に求められること~』法律情報出版 【参考書】授業時、適宜紹介する。

くらしのなかの日本国憲法 目 名 担当教員名 神野 潔 ナンバリング KKa115 科 人間生活学部 (K)-共通科目-地域と社会を学ぶ 年 1 クラス 2Bクラス 開講期 後期 必修・選択の別 必修*,選択,選必 授業形態 種免許状(情報) / 中学校教諭一種免許状(英語)/ 幼稚園教訓 免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種 /中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語) 体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

集団的自衛権の行使や、表現の自由を巡る議論など、一般市民の憲法に対する理解力が問われる社会的状況の中で、市民として必要な、日本国憲法に関する知識・思考を深めていく。

科目の概要

まず最初に、憲法というもの自体を理解するために、法哲学的・法史学的な視点から、「そもそも憲法とは何か」について 考える。続けて、日本国憲法の個別条文について、いくつかの判例を挙げながら検討し、日本国憲法の基本原理と、その具 体化である各規定の意義を理解する。全体を通して、判例や学説による憲法解釈を紹介するだけでなく、法哲学的・法史学 的・比較法的な視点も重視して、多面的に日本国憲法を捉えていきたい。

学修目標(=到達目標)

憲法の概念について本質的に理解する、 日本国憲法の基本原理と各条文の関係・内容を理解する、 日本国憲法に関わる諸問題について、知識を深め自分なりの見解を持てること、を到達目標とする。

| 内容 | |
|----|---------------------------|
| 1 | そもそも憲法とは何だろうか (憲法制定史) |
| 2 | 幸福追求権と新しい人権 |
| 3 | 法の下の平等とは何か |
| 4 | 精神的自由権(表現の自由とマスメディア、家永裁判) |
| 5 | 精神的自由権(信教の自由と靖国参拝問題) |
| 6 | 経済的自由権(職業選択の自由と財産権の保障) |
| 7 | 社会権(生存権と教育を受ける権利) |
| 8 | 参政権と選挙制度の諸問題 |
| 9 | 国会 |
| 10 | 内閣 |
| 11 | 裁判所 |
| 12 | 象徴としての天皇 |
| 13 | 平和主義の理想と現実 |
| 14 | 憲法改正問題の現在 |
| 15 | まとめ - 再び、憲法とは何だろうか |

評価

定期試験(70点)と講義内レポート(30点)の合計100点満点で、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】ニュース・新聞に目を通し、憲法問題への関心を高めておく。各回の内容について、必ず予習をして臨むこと

(予習用プリントを、毎回の講義で配布する)。

【事後学修】ノートを整理し、疑問点については、講義内レポートやメールで、積極的に質問すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】特に指定しない(毎回の講義でプリントを配布します)

【推薦書】木村草太『キヨミズ准教授の法学入門』(星海社)、長谷部恭男『憲法と平和を問いなおす』(筑摩書房)・『憲法のimagination』(羽鳥書店)、大石眞・高見勝利・長尾龍一『対談集 憲法史の面白さ』(信山社)

【参考図書】講義内で紹介します

科目名 くらしのなかの日本国憲法

担当教員名 川口 英俊

ナンバリング KKa115

学 科 人間生活学部 (K)-共通科目-地域と社会を学ぶ

学 年 1 20クラス

開 講 期 後期 選択,選必,必修*

授業形態 単位数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

憲法について条文を学ぶのみでなく現実の社会において何が問題となっているか時事問題に目を向けながら憲法について 理解していく。

科目の概要

憲法をめぐる動き・論点を見た上で基本的な内容を概観し、憲法改正や憲法の国家観・民主主義観をを学ぶ。

学修目標(=到達目標)

憲法の基本的知識の習得とそれについて自分の意見を持つ。

内容

- 1.オリエンテーション 日本国憲法とは
- 2.憲法をめぐる動き 憲法改正、集団的自衛権の政府解釈変更、国際貢献と憲法
- 3.憲法をめぐる論点1 18才成人と憲法改正の国民投票、国民主権
- 4.憲法をめぐる論点2 憲法9条と平和主義
- 5. 憲法をめぐる論点3 表現の自由はどこまで許されるか
- 6.憲法について1 人権-生存権、財産権、思想・良心の自由
- 7.憲法について2 平等
- 8.憲法について3 国の仕組み 三権分立-国会・内閣・裁判所
- 9.憲法について4 地方自治 予算、条例
- 10.憲法の歴史 明治憲法、日本国憲法制定史
- 11.外国の憲法 イギリス・アメリカ・フランス・ドイツなど
- 12.日本国憲法は改正されるべきか 護憲派と改憲派、憲法改正をめぐる世論調査、憲法96条
- 13. 国家とは 憲法が想定する国家、地方・地域の自治権、連邦制、道州制、世界の国家と憲法
- 14. 民主主義 立憲主義、選挙制度、参政権、外国人の地方参政権
- 15.まとめ

評価

小試験(70%)、平常点(30%)の総合評価とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】憲法に関連するニュースをフォローする。次回テーマについて基礎知識を得る。

【事後学修】授業の論点について自分の基礎知識・考えをまとめる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 家庭と法 | | |
|---------------------------------|--------|---------|-------|
| 担当教員名 | 阿部 史 | | |
| ナンバリング | KKa105 | | |
| 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-女性の自立・生き方を学ぶ | | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択,選必 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格:

女性の家庭生活および職業生活に関わる法律を取り扱います。具体的には民法家族法(親族・相続)の基礎を学び、働く女性を取り巻く環境と法律・制度との関わりについて検討することになります。

科目の概要:

現代の日本社会においては、個人の価値観が多様化し、それに伴い家族生活も多様化しています。これは夫婦別姓、シングルマザー、離婚の増加に現れている通りです。また、少子高齢化の進行は今までにない新しい家族の問題を生んでいます。子のない夫婦の養子縁組や生殖補助医療で子どもをもつことには、親子についての法的な課題も生じます。認知症で判断力の弱った高齢の親の財産関係については、新しく成年後見制度が設けられました。また、家庭を持ちながら働く上でライフ・ワーク・バランスという考え方も注目されてきています。女性が家庭生活と職業生活を営む上で法律の果たす機能と、課題についても考察します。

学修目標

この授業では、家族法の基礎知識の習得をし、現代の職業人が家族生活を営む上で課題をめぐる法制度状況について理解を 深めることを目的とします。また、知識取得のみならず、適宜事例について検討し、各自が意見を書いたり、演習問題を解 くことを通じて論理的思考力や課題解決力の養成も目指します。

| 内容 | |
|----|-------------|
| 1 | 家族問題と法 |
| 2 | 婚姻と法 |
| 3 | 婚姻と財産 |
| 4 | 離婚と法 |
| 5 | 離婚と財産と子ども |
| 6 | 親子 |
| 7 | 内縁と認知 |
| 8 | 家族法の現代的問題 |
| 9 | 氏と戸籍 |
| 10 | 扶養・成年後見 |
| 11 | 相続 相続人と相続財産 |
| 12 | 相続 法定相続 |
| 13 | 遺言・遺留分 |
| 14 | 働く女性と法 |
| 15 | 総括 |

評価

提出物・受講態度(50点)、ペーパーテスト(50点)を総合して評価します。

100点満点中60点が単位取得の下限です。

授業外学習

【事前予習】課題(授業中指示された課題、資料を読む等)の準備をする

【事後学修】学んだことを踏まえ、家族と法の課題について関心と理解を深める。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 『家族の法[第3版]』 利谷信義 (有斐閣)

【参考図書】『デイリー六法』(三省堂) その他の六法も可

| 科目名 | 家庭と法 | | |
|--------|-------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 阿部 史 | | |
| ナンバリング | KKa105 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-女性の自立・生き | 方を学ぶ | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格:

女性の家庭生活および職業生活に関わる法律を取り扱います。具体的には民法家族法(親族・相続)の基礎を学び、働く女性を取り巻く環境と法律・制度との関わりについて検討することになります。

科目の概要:

現代の日本社会においては、個人の価値観が多様化し、それに伴い家族生活も多様化しています。これは夫婦別姓、シングルマザー、離婚の増加に現れている通りです。また、少子高齢化の進行は今までにない新しい家族の問題を生んでいます。子のない夫婦の養子縁組や生殖補助医療で子どもをもつことには、親子についての法的な課題も生じます。認知症で判断力の弱った高齢の親の財産関係については、新しく成年後見制度が設けられました。また、家庭を持ちながら働く上でライフ・ワーク・バランスという考え方も注目されてきています。女性が家庭生活と職業生活を営む上で法律の果たす機能と、課題についても考察します。

学修目標

この授業では、家族法の基礎知識の習得をし、現代の職業人が家族生活を営む上で課題をめぐる法制度状況について理解を 深めることを目的とします。また、知識取得のみならず、適宜事例について検討し、各自が意見を書いたり、演習問題を解 くことを通じて論理的思考力や課題解決力の養成も目指します。

| 内容 | |
|----|-------------|
| 1 | 家族問題と法 |
| 2 | 婚姻と法 |
| 3 | 婚姻と財産 |
| 4 | 離婚と法 |
| 5 | 離婚と財産と子ども |
| 6 | 親子 |
| 7 | 内縁と認知 |
| 8 | 家族法の現代的問題 |
| 9 | 氏と戸籍 |
| 10 | 扶養・成年後見 |
| 11 | 相続 相続人と相続財産 |
| 12 | 相続 法定相続 |
| 13 | 遺言・遺留分 |
| 14 | 働く女性と法 |
| 15 | 総括 |

評価

提出物・受講態度(50点)、ペーパーテスト(50点)を総合して評価します。

100点満点中60点が単位取得の下限です。

授業外学習

【事前予習】課題(授業中指示された課題、資料を読む等)の準備をする

【事後学修】学んだことを踏まえ、家族と法の課題について関心と理解を深める。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 『家族の法[第3版]』 利谷信義 (有斐閣)

【参考図書】『デイリー六法』(三省堂) その他の六法も可

キャリアデザインとライフプラン 科目名 担当教員名 松本 晃子、大友 由紀子 ナンバリング KKa106 科 人間生活学部(K)-共通科目-女性の自立・生き方を学ぶ 年 1 クラス 1Aクラス 開 講 期 前期 必修・選択の別 選必,選択 授業形態 単 位 数 資格関係 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

全学共通科目「十文字学」の「女性の自立・生き方を学ぶ」のうち、選択必修科目。

科目の概要

女性が働くことの意味や目的を考えるとともに、自分自身のライフプランを設計する。結婚、出産、育児などの家庭生活と仕事をどう捉えていきたいか。将来を見据えた自己分析を通して、自らのキャリアデザインを考える。統計情報から働く女性の動向を把握するとともに、ポジティブ・アクションや仕事と家庭の両立支援といった女性の活躍を推進する政策、女性労働に関する法的な変遷を学習した上で、固定観念に囚われない自分らしい職業選択について考える。

学修目標

変化する社会の中で意識や制度も大きく変わっている。女性も男性も、社会的・文化的性差(ジェンダー)にとらわれない多様な生き方が現れ始めている。それを可能とする考え方、新たな制度の成立などを知ることで、今後社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信を持って積極的に社会参加できるよう、自己決定力を高めることをめざす。

内容

| 1 | (大友・松本)オリエンテーション、科目と担当の紹介、十文字こと先生のアニメビデオ視聴 |
|----|--|
| 2 | (大友)十文字こと先生の生き方に学ぶ |
| 3 | (大友)女性のライフコース・パターン |
| 4 | (大友)女性のライフイベント(1)-配偶者選択と結婚 |
| 5 | (大友)女性のライフイベント(2) - 妊娠と出産 |
| 6 | (大友)夫婦のパートナーシップ |
| 7 | (大友)高齢化とジェンダー |
| 8 | (大友)ライフプラン総括 |
| 9 | (松本)働くこととは - 働き方の選択肢について考える |
| 10 | (松本)女性の能力を生かすこととは - ウーマノミクスを考える |
| 11 | (松本)自らをマネジメントする - 意思決定のための基礎知識 |
| 12 | (松本)優れたコミュニケーションと女性のリーダーシップ |
| 13 | (松本)人生をマネジメントする - 働く女性と法律・政策 |
| 14 | (松本)自己実現への挑戦 |
| 15 | (松本)キャリアデザイン総括 |
| | |

評価

ライフプランを総括する筆記試験40点、キャリアデザインを総括する筆記試験40点、15回を通じての受講態度20点、合計100点として、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前期オリエンテーションで配布される冊子『夢の実現と未来へ』『建学理念の作文コンクール入賞作品』を読み、建学理念の理解に基づいて、自身のライフプランとキャリアデザインを考えながら受講すること。

【事後学修】授業時に推薦書・参考図書が紹介されるので、各自で学びを深めること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】

内閣府(2014)『男女共同参画白書 平成26年版』。

内閣府(2014)『平成26年版 少子化社会対策白書』。

P·F Drucker、上田惇夫訳(2000)『プロフェッショナルの条件』ダイヤモンド社。

青木幸弘、女性のライフコース研究会編(2008)『ライフコース・マーケティング』日本経済新聞社。

 科目名
 キャリアデザインとライフプラン

 担当教員名
 松本 晃子、大友 由紀子

 ナンバリング KKa106
 KKa106

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-女性の自立・生き方を学ぶ

 学 年 1
 クラス 2Aクラス

 開 講 期 後期
 必修・選択の別 選択,選必

 授業 形態
 単 位 数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

全学共通科目「十文字学」の「女性の自立・生き方を学ぶ」のうち、選択必修科目。

科目の概要

女性が働くことの意味や目的を考えるとともに、自分自身のライフプランを設計する。結婚、出産、育児などの家庭生活と仕事をどう捉えていきたいか。将来を見据えた自己分析を通して、自らのキャリアデザインを考える。統計情報から働く女性の動向を把握するとともに、ポジティブ・アクションや仕事と家庭の両立支援といった女性の活躍を推進する政策、女性労働に関する法的な変遷を学習した上で、固定観念に囚われない自分らしい職業選択について考える。

学修目標

変化する社会の中で意識や制度も大きく変わっている。女性も男性も、社会的・文化的性差(ジェンダー)にとらわれない多様な生き方が現れ始めている。それを可能とする考え方、新たな制度の成立などを知ることで、今後社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信を持って積極的に社会参加できるよう、自己決定力を高めることをめざす。

| 内容 | |
|----|--|
| 1 | (大友・松本)オリエンテーション、科目と担当の紹介、十文字こと先生のアニメビデオ視聴 |
| 2 | (大友)十文字こと先生の生き方に学ぶ |
| 3 | (大友)女性のライフコース・パターン |
| 4 | (大友)女性のライフイベント(1) - 配偶者選択と結婚 |
| 5 | (大友)女性のライフイベント(2) - 妊娠と出産 |
| 6 | (大友)夫婦のパートナーシップ |
| 7 | (大友)高齢化とジェンダー |
| 8 | (大友)ライフプラン総括 |
| 9 | (松本)働くこととは - 働き方の選択肢について考える |
| 10 | (松本)女性の能力を生かすこととは - ウーマノミクスを考える |
| 11 | (松本)自らをマネジメントする - 意思決定のための基礎知識 |
| 12 | (松本)優れたコミュニケーションと女性のリーダーシップ |
| 13 | (松本)人生をマネジメントする - 働く女性と法律・政策 |
| 14 | (松本)自己実現への挑戦 |
| 15 | (松本)キャリアデザイン総括 |

評価

ライフプランを総括する筆記試験40点、キャリアデザインを総括する筆記試験40点、15回を通じての受講態度20点、合計100点として、60点以上を合格とする。

【事前予習】前期オリエンテーションで配布される冊子『夢の実現と未来へ』『建学理念の作文コンクール入賞作品』を読み、建学理念の理解に基づいて、自身のライフプランとキャリアデザインを考えながら受講すること。

【事後学修】授業時に推薦書・参考図書が紹介されるので、各自で学びを深めること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】

内閣府(2014)『男女共同参画白書 平成26年版』。

内閣府(2014)『平成26年版 少子化社会対策白書』。

P・F Drucker、上田惇夫訳(2000)『プロフェッショナルの条件』ダイヤモンド社。

青木幸弘、女性のライフコース研究会編(2008)『ライフコース・マーケティング』日本経済新聞社。

 科目名
 子育てと環境

 担当教員名
 山田 陽子、宮里 暁美

 ナンバリング KKa107
 KKa107

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-女性の自立・生き方を学ぶ

 学 年 1
 クラス 1Aクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 選択,選必

 授業形態
 単位数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

全学共通科目 十文字学 A の1科目で選択必修

科目の概要

現代女性の優れたモデルである本学園創設者「十文字こと」先生の生き方を理解した上で、現代における「子育てと環境」について、「子どもでいること」・「親になること」・「地域で育つこと」の視点から外部講師もお呼びして、オムニバスで学ぶ。

学修目標(=到達目標)

子育ては、新たな発見や予測しない問題に直面することの連続である。少子化社会において、次世代を育成する子育てについて考えることは、重要な課題であり、様々な議論が展開されている。本来、子育ては楽しく充実した営みである。しかし、現実には直面する課題や問題が多く、必ずしも子育てを楽しんでいるとは言えない場合も少なくない。そこで、子育てを楽しみ、充実させるために必要な視点について学び、豊かな子育てとは何かを考える。

内容

| 1 | 山田・宮里 オリエンテーション、「十文字こと」先生のVTR視聴 |
|----|--|
| 2 | 山田 子どもでいること その1 |
| 3 | 山田 子どもでいること その2 |
| 4 | 山田 「子どもの表情」(外部講師:写真家 島田聡) |
| 5 | 山田 子どもでいること その3 |
| 6 | 宮里 親になること-母子へのスタート |
| 7 | 宮里 親になることー子どもにとって大切な人々 |
| 8 | 宮里 「子どもに寄り添う大人」(外部講師:写真家 島田聡) |
| 9 | 宮里 親としていること-子育ちと親育ち |
| 10 | 宮里 地域で育つこと-子育て環境の今・昔 |
| 11 | 宮里 地域で育つことーあなたの記憶の中の地域 |
| 12 | 宮里「まちで育つ実践」(外部講師:NPO法人ふれあいの家「おばちゃんち」理事 宮里和則) |
| 13 | 宮里 地域で育つこと-支え合い育ちあう関係 |
| 14 | 山田・宮里 パネルディスカッション「子育てと環境」を考える |
| 15 | 山田・宮里 まとめ |

評価

テスト60%、各回の振り返りレポート20% 授業への参加度・意欲20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の授業テーマの内容について、各自で関連資料などを確認する。

【事後学修】授業ノートをもとにその日の授業を振り返り、要点を押さえる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テーマごとに各担当教員が資料を配布、紹介する。

 科目名
 子育てと環境

 担当教員名
 山田 陽子、宮里 暁美

 ナンバリング
 KKa107

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-女性の自立・生き方を学ぶ

 学 年 1
 クラス 2Aクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業形態
 単位数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

資格関係

全学共通科目 十文字学 A の1科目で選択必修

保育士資格

科目の概要

現代女性の優れたモデルである本学園創設者「十文字こと」先生の生き方を理解した上で、現代における「子育てと環境」について、「子どもでいること」・「親になること」・「地域で育つこと」の視点から外部講師もお呼びして、オムニバスで学ぶ。

学修目標(=到達目標)

子育ては、新たな発見や予測しない問題に直面することの連続である。少子化社会において、次世代を育成する子育てについて考えることは、重要な課題であり、様々な議論が展開されている。本来、子育ては楽しく充実した営みである。しかし、現実には直面する課題や問題が多く、必ずしも子育てを楽しんでいるとは言えない場合も少なくない。そこで、子育てを楽しみ、充実させるために必要な視点について学び、豊かな子育てとは何かを考える。

内容

| 1 | 山田・宮里・川喜田 オリエンテーション 「十文字こと」先生のVTR視聴 |
|----|--|
| 2 | 山田 子どもでいること その1 |
| 3 | 山田 子どもでいること その2 |
| 4 | 山田 「子どもの表情」(外部講師:写真家 島田聡) |
| 5 | 山田 子どもでいること その3 |
| 6 | 川喜田 親になること - 母子へのスタート |
| 7 | 川喜田 親になることー子どもにとって大切な人々 |
| 8 | 川喜田 「子どもに寄り添う大人」(外部講師:写真家 島田聡) |
| 9 | 川喜田 親としていること-子育ちと親育ち |
| 10 | 宮里 地域で育つこと-子育て環境の今・昔 |
| 11 | 宮里 地域で育つことーあなたの記憶の中の地域 |
| 12 | 宮里「まちで育つ実践」(外部講師:NPO法人ふれあいの家「おばちゃんち」理事 宮里和則) |
| 13 | 宮里 地域で育つこと-支え合い育ちあう関係 |
| 14 | 山田・川喜田・宮里 パネルディスカッション「子育てと環境」を考える |
| 15 | 山田 まとめ |

評価

テスト60%、各回の振り返りレポート20%、授業への参加度・意欲20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の授業テーマの内容について、各自で関連資料などを確認する。

【事後学修】授業ノートをもとにその日の授業を振り返り、要点を押さえる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テーマごとに各担当教員が資料を配布、紹介する。

| 科目名 | 食の科学 | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 梶野 涼子、徳野 裕子、佐々木 菜穂、山山 | 崎 優子 | |
| ナンバリング | KKa108 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-女性の自立・生 | き方を学ぶ | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択,選必 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

本科目は、共通科目「女性の自立・生き方を学ぶ」分野の一つであり、選択科目である。

科目の概要

食に関わる様々な事柄を、オムニバスの形式で科学的な視点により話題提供し、女性の自立・生き方のヒントとなることを 皆で考えていく。

学修目標(=到達目標)

- 1.健康な体づくりのための望ましい栄養や食事のあり方を理解し、適切な食の選択に関する知識を修得する。
- 2. 食を科学的知見から捉えることができるようになる。
- 3. 食と栄養科学の関係について捉えることができる。
- 4.健康食品を安全・安心に利用するために、エビデンス情報を適切に判断する力を身につける。

内容

| 1 | オリエンテーション |
|----|----------------------------|
| 2 | 栄養と健康(1)栄養と栄養素(佐々木) |
| 3 | 栄養と健康(2)生体リズムと食事(佐々木) |
| 4 | 栄養と健康(3)ライフステージの栄養と健康(佐々木) |
| 5 | 食品の科学(1)食品と酵素(梶野) |
| 6 | 食品の科学(2)色、香り、味の科学(梶野) |
| 7 | 食品の科学(3)卵、乳の科学(梶野) |
| 8 | 栄養科学(1)食と食品機能と健康とのかかわり(徳野) |
| 9 | 栄養科学(2)食から生命へのかかわり(徳野) |
| 10 | 栄養科学(3)食と化学(徳野) |
| 11 | 特別講義 |
| 12 | エビデンス情報の捉え方(山崎) |
| 13 | 健康食品の安全性・有効性(1)(山崎) |
| 14 | 健康食品の安全性・有効性(2)(山崎) |
| 15 | まとめ |

担当ごとによる振り返りシートによる評価($10点 \times 4人$)、全体を通した平常点10点、最終レポート50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】各授業テーマに関することについて調べておく。

【事後学修】毎回の授業を振り返り、さらに必要な情報を収集する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【参考図書】適宜授業で紹介する。

| 科目名 | 食の科学 | | | |
|--------|-------------------------|---------------|--|--|
| 担当教員名 | 梶野 涼子、徳野 裕子、佐々木 菜穂、山崎 | 等 優子 | | |
| ナンバリング | KKa108 | | | |
| 学科 | 人間生活学部(K)-共通科目-女性の自立・生活 | き方を学ぶ | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス 2Aクラス | | |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 選必,選択 | | |
| 授業形態 | | 単 位 数 2 | | |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | |

科目の性格

本科目は、共通科目「女性の自立・生き方を学ぶ」分野の一つであり、選択科目である。

科目の概要

食に関わる様々な事柄を、オムニバスの形式で科学的な視点により話題提供し、女性の自立・生き方のヒントとなることを 皆で考えていく。

学修目標(=到達目標)

- 1.健康な体づくりのための望ましい栄養や食事のあり方を理解し、適切な食の選択に関する知識を修得する。
- 2. 食を科学的知見から捉えることができるようになる。
- 3. 食と栄養科学の関係について捉えることができる。
- 4.健康食品を安全・安心に利用するために、エビデンス情報を適切に判断する力を身につける。

| 内容 | |
|----|----------------------------|
| 1 | オリエンテーション |
| 2 | 栄養と健康(1)栄養と栄養素(佐々木) |
| 3 | 栄養と健康(2)生体リズムと食事(佐々木) |
| 4 | 栄養と健康(3)ライフステージの栄養と健康(佐々木) |
| 5 | 食品の科学(1)食品と酵素(梶野) |
| 6 | 食品の科学(2)色、香り、味の科学(梶野) |
| 7 | 食品の科学(3)卵、乳の科学(梶野) |
| 8 | 栄養科学(1)食と食品機能と健康とのかかわり(徳野) |
| 9 | 栄養科学(2)食から生命へのかかわり(徳野) |
| 10 | 栄養科学(3)食と化学(徳野) |
| 11 | 特別講義 |
| 12 | エビデンス情報の捉え方(山崎) |
| 13 | 健康食品の安全性・有効性(1)(山崎) |
| 14 | 健康食品の安全性・有効性(2)(山崎) |
| 15 | まとめ |

評価

担当ごとによる振り返りシートによる評価(10点×4人)、全体を通した平常点10点、最終レポート50点とし、総合

評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】各授業テーマに関することについて調べておく。

【事後学修】毎回の授業を振り返り、さらに必要な情報を収集する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【参考図書】適宜授業で紹介する。

| 科目名 | 女性と健康 | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 齋藤 麗子、徳野 裕子、布施 晴美 | | |
| ナンバリング | KKa109 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-女性の自立・生 | き方を学ぶ | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択,選必 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

人生80年時代と言われる中で女性の平均寿命はさらに延びている。しかし、健康でで自立している健康寿命はそれほど延びているとは言えない。健康寿命を延ばすには若い時からの生活習慣や健康な関する知識が重要となる。

科目の概要

講師が医師、保健師、栄養士それぞれの立場から女性の健康維持に関する話題提供を行い、皆で考えていく。

学修目標(=到達目標)

自分の健康は自分で守り、さらに将来の職業人として、また家庭人として正しい知識を習得する。

| 内容 | |
|----|------------------------|
| 1 | 健康寿命を伸ばすには。皮膚の清潔とスキンケア |
| 2 | 女性に多い骨粗しょう症予防 |
| 3 | 食中毒から身を守るために |
| 4 | 食べるということは |
| 5 | 健康を維持するための食について |
| 6 | 女性に多い病気の予防のための食について |
| 7 | 喫煙の女性や次世代への影響 |
| 8 | 受動喫煙の無い社会とは |
| 9 | 女性ホルモンと月経 |
| 10 | 女性の体と妊娠・出産 |
| 11 | 婦人科の病気 |
| 12 | アルコールとの付き合い方 |
| 13 | 性感染症の予防 |
| 14 | アクセサリー、化粧品障害について |
| 15 | まとめ |

評価

毎回の終了時の小問題または振り返りの感想文で評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】事前に提示される資料を読む

【事後学修】毎回の振り返りのリポート提出

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

| 科目名 | 女性と健康 | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 齋藤 麗子、徳野 裕子、布施 晴美 | | |
| ナンバリング | KKa109 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-女性の自立・生 | き方を学ぶ | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

人生80年時代と言われる中で女性の平均寿命はさらに延びている。しかし、健康でで自立している健康寿命はそれほど延びているとは言えない。健康寿命を延ばすには若い時からの生活習慣や健康な関する知識が重要となる。

科目の概要

講師が医師、保健師、栄養士それぞれの立場から女性の健康維持に関する話題提供を行い、皆で考えていく。

学修目標(=到達目標)

自分の健康は自分で守り、さらに将来の職業人として、また家庭人として正しい知識を習得する。

| 内容 | |
|----|---------------------------|
| 1 | 健康寿命を延ばす知識と生活。皮膚の清潔とスキンケア |
| 2 | 女性に多い骨粗しょう症予防 |
| 3 | 食中毒から身を守るために |
| 4 | 食べるということは |
| 5 | 健康を維持するための食について |
| 6 | 女性に多い病気の予防のための食について |
| 7 | 喫煙の女性や次世代への影響 |
| 8 | 受動喫煙の無い社会とは |
| 9 | 女性ホルモンと月経 |
| 10 | 女性の体と妊娠・出産 |
| 11 | 婦人科の病気 |
| 12 | アルコールとの付き合い方 |
| 13 | 性感染症の予防 |
| 14 | アクセサリー、化粧品障害について |
| 15 | まとめ |

評価

毎回の終了時の小問題または振り返りの感想文で評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】事前に提示される資料を読む

【事後学修】毎回の振り返りのリポート提出

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

| 科目名 | 女性と文化 | |
|--------|-----------------------------|--|
| 担当教員名 | 好本 惠 | |
| ナンバリング | KKa110 | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-女性の自立・生き方を学ぶ | |
| 学 年 | 1 クラス 1Aクラス | |
| 開講期 | 前期 必修・選択の別 選必,選択 | |
| 授業形態 | 単位数 2 | |
| 資格関係 | 保育士資格 | |

科目の性格

共通科目 「女性の自立・生き方を学ぶ」の1科目

科目の概要

文芸文化の歴史の中で、女性たちはことばを使って自分を表現しようと努力を重ねてきた。表現の自由を奪われ、逆境の中にあっても、ことばの力を信じて才能を開花させてきた。そして放送や映像の世界には、生活者としての逞しさとしなやかさを活かし、作品作りに関わってきたパイオニアたちがいる。彼女たちの仕事や作品を取り上げ、その足跡をたどる。

学修目標

女性が社会で働くことがまれな時代から、ことばの力で活躍の場を広げてきた女性たちの魅力的な作品を味わう。さらに その仕事の喜びや苦労を実感することによって、自分に相応しい形で社会参加できるよう、何があっても自分で判断し、生 きて学ぶことを楽しむ能力を身につけてほしい。

| 内容 | |
|----|-----------------------------|
| 1 | オリエンテーション |
| 2 | 逆境の中で生まれた文学…アンネ・フランク |
| 3 | 短歌で訴える…与謝野晶子 |
| 4 | 詩の中に描かれる自立…茨木のり子 |
| 5 | 逆境の中で生まれた童謡…金子みすゞ |
| 6 | 詩の中に描かれる葛藤…永瀬清子 |
| 7 | 現代文化の様々な場で活躍する女性たち 同時通訳者 |
| 8 | 現代文化の様々な場で活躍する女性たち 生活情報番組 |
| 9 | 現代文化の様々な場で活躍する女性たち ファッションなど |
| 10 | 現代文化の様々な場で活躍する女性たち 文化イベント |
| 11 | 現代文化の様々な場で活躍する女性たちの映画製作 |
| 12 | 現代文化の様々な場で活躍する女性たち ドラマ制作 |
| 13 | 生活者としての視点で表現する女性たち 俳句 |
| 14 | 生活者としての視点で表現する女性たち 随筆など |
| 15 | まとめ |

評価

毎回授業の後に提出するミニレポート(50%)学期末レポート(50%)合計60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】事前に推薦した本を読む。

【事後学修】授業中に紹介した本を読み番組や映画を見る。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】アンネ・フランク『アンネの日記』(文春文庫)

茨木のリ子『倚りかからず』(ちくま文庫)

茨木のり子『君死にたもうことなかれ与謝野晶子の真実の母性』(童話屋)

永瀬清子『あけがたにくる人よ』(思潮社)

高野悦子『映画に生きる女性たち』(パド・ウィメンズ・オフィス)

日本女性放送者懇談会『放送ウーマンのいま』(ドメス出版)

長井鞠子『伝える極意』(集英社新書)

| 科目名 | 女性と文化 | | |
|--------|-------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 樋口 一貴 | | |
| ナンバリング | KKa110 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-女性の自立・生き | き方を学ぶ | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

日本美術の中で女性はどのようにあらわされてきたかについて、特に浮世絵というジャンルをとりあげて、その展開を学ぶ

科目の概要

造形芸術においては、洋の東西を問わず古代より人体を表現することは中心的なテーマの一つであった。その中で、江戸時代の風俗画における女性の描かれ方を考察する。

学修目標(=到達目標)

浮世絵の歴史、浮世絵美人画というジャンルについて学ぶとともに、その表現が年代とともにいかに変化してゆくか考察を 深める。

| 内容 | |
|----|-------------|
| 1 | 女性を描いた絵画の歴史 |
| 2 | 浮世絵とは |
| 3 | 近世初期風俗画 |
| 4 | 岩佐又兵衛 |
| 5 | 浮世絵版画の誕生 |
| 6 | 菱川師宣 |
| 7 | 肉筆浮世絵と宮川長春 |
| 8 | 錦絵 |
| 9 | 鈴木春信 |
| 10 | 勝川春章 |
| 11 | 鳥居清長 |
| 12 | 喜多川歌麿 |
| 13 | 葛飾北斎 |
| 14 | 渓斎英泉と幕末の浮世絵 |
| 15 | まとめ |

評価

授業への参加度20%、授業内レポート20%、筆記試験60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】各回の授業で扱う浮世絵師の作品を画集等で確認しておくほか、機会があれば美術館になるべく足を運んで実

作品を鑑賞する

【事後学修】ノートを見返して、絵師とその作風について見直しておき、わからないことは調べておく。また、関心をもった事項については、書籍などで理解を深める。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】プリントを配布する

【推薦書】

【参考図書】授業内で指示する

 科目名
 女性と文化

 担当教員名
 東 聖子

 ナンバリング
 KKa110

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-女性の自立・生き方を学ぶ

 学年1
 クラス 2Bクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格: 理系・教育系・社会科学系・文系を学ぶ学生にとって、今を生きる現代女性の在り方を共通認識の中で考えたい。社会学、ジェンダー論、政治学、歴史学、女子教育などの研究成果をふつつ、自由にティスカッションをしながら堅実に考えてゆきたい。

科目の概要: 2.1世紀の現代女性たちは、それぞれの個性に従いつつも、どう未来予想図を設計していったらよいのだろう。世界と日本の様々な芸術的な創造をした女性たちをふりかえり、彼女たちが時代といかに格闘しあるいは調和し、個性を輝かせていったかを学んでゆきたい。

学修目標: 古今東西の文学者のみならず、さまざまなジャンルにわたる女性の芸術家を対象とする。それぞれの女性たちが生きた時代の社会通念や、時代精神、歴史的背景などもあわせて考えてゆく。第一に、日本における過去の女性観をみてみる。日本の江戸時代の女訓書『女大学』には、女性は〈和順・貞信〉であれと、説いている。第二に、ヨーロッパの近代を先進的に生きた女性を見てみる。詩人のゲーテは、「バラを見たら詩を書け、リンゴを見たらかじりつけ」(「ファウスト」)と語った。彼にとって女性は〈バラやリンゴ〉のように、その美しさをめでるものでもあり、また芸術や命の源泉だった。 最終的には、さまざまな過去の女性たちの生き方の中から、自分の理想とする女性観を見出していただきたい。あわせて、他の女性あり方や世代間の理解を深め、芸術作品を楽しみながら学んでゆきたい。

内容

| 1 | <序 未来予想図のなかの理想の女性観>浮世絵の中の女性たち |
|----|---------------------------------|
| 2 | 日本の江戸時代の女性観(『女大学宝箱』と中国の女訓書) |
| 3 | 西洋と現代日本の女性観(若桑みどり『お姫様とジェンダー』他) |
| 4 | 【芸術に生きる】西洋の女性のデザイナー(ココシャネルの生き方) |
| 5 | 現代日本の芸術家(ピアニストのフジ子へミング) |
| 6 | 【文学に生きる】西洋の小説家(モンゴメリー『赤毛のアン』) |
| 7 | カナダの大自然と女流作家の人生 |
| 8 | 日本の江戸時代の女流俳人(芭蕉の弟子の園女) |
| 9 | 松尾芭蕉の女性観 |
| 10 | 日本の江戸時代の儒学者の妻(頼山陽の母) |
| 11 | 紙芝居「頼山陽の母」 |
| 12 | 【絵画に生きる】日本の近代の女流画家(上村松園) |
| 13 | 西洋の挿絵画家・童話作家(ターシャ・テューダー) |
| 14 | 自然とともに生きる |
| 15 | まとめ |

評価

評価は平常点(20点)とレポート(80点)を合計し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】現代社会における女性のさまざまな活動や生き方などに関心を持って、TVや新聞などの女性関連のニュースを読んでみよう。社会的に貢献している女性について日頃から考えていこう。

【事後学修】授業で扱った女性、あるいはその作品、社会背景などについて、興味に従って調べてみて、それをレポートにつなげていく。独自に関心のある女性についても、関連の書物を読んでみる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】特に、教科書は使用しない。毎回、授業の時にプリントを配布する。

【推薦書】石川松太郎編『女大学集』(東洋文庫302、平凡社,1987) 総合女性史研究会『日本女性の歴史』(角川選書237、1993) 若桑みどり『象徴としての女性像』(筑摩書房)

【参考図書】授業の時に紹介する。

| 科目名 | 情報処理演習 |
|--------|--|
| 担当教員名 | 福島 亜理子 |
| ナンバリング | KKd144 |
| 学科 | 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習 |
| 学年 | ク ラ ス 01 |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 川学校教諭一種免許状 / 京等学校教諭一種免許状 / 同語) / 高等学校教諭一種免許 / 京等学校教諭一種免許 / 京等学校教諭 - 種 / 京客学校 / 京等学校 / 京客学校 / 京等学校 / 京等学校 / 京客学校 / 京春 / 京 |

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

- 1 オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
- 3 ワープロソフトの基本操作1(文書の作成と管理)
- 4 ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能)
- 5 ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能)
- 6 ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成)
- 7 ワープロソフトの応用操作2(ビジュアルな文書の作成)
- 8 ワープロソフトの応用操作3(図やグラフを含む文書の作成)
- 9 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成)
- 10 プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
- 11 プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 12 プレゼンテーションの実施
- 13 総合課題演習1(文書作成)
- 14 総合課題演習2(レポート作成)
- 15 まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

【参考図書】平成26年度 学習サポートの手引き 図書館/情報センター/コンピュータ演習室の使い方(仮)

情報処理演習 科目名 担当教員名 北原 俊一、福島 亜理子 ナンバリング KKd144 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習 年 1 ク ラ ス JAクラス 開 講 期 前期 必修・選択の別 選必,必修* 授業形態 位 保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) 教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭 状(国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

資格関係

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身 につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法に ついて学習する。

学修目標(=到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

| 内容 | |
|----|--|
| 1 | オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法 |
| 2 | 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意 |
| 3 | ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理) |
| 4 | ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能) |
| 5 | ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能) |
| 6 | ワープロソフトの応用操作 1 (表を挿入した文書の作成) |
| 7 | ワープロソフトの応用操作 2 (ビジュアルな文書の作成) |
| 8 | ワープロソフトの応用操作 3 (図やグラフを含む文書の作成) |
| 9 | 論文・レポートの書き方 (読みやすいレイアウトの長文作成) |
| 10 | プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成) |
| 11 | プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成) |
| 12 | プレゼンテーションの実施 |
| 13 | 総合課題演習1(文書作成) |
| 14 | 総合課題演習2(レポート作成) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

【参考図書】平成26年度 学習サポートの手引き 図書館/情報センター/コンピュータ演習室の使い方(仮)

 科目名
 情報処理演習

 担当教員名
 加藤 暁子

 ナンバリング
 KKd144

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

 学 年 1
 クラス FAクラス

 開講期
 前期

 必修・選択の別 選必,必修*

 授業形態
 単 位 数 1

 資格関係
 保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/保健)/中学校教諭一種免許状/保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/市養等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標=(到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

| 内容 | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法 |
| 2 | 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意 |
| 3 | ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理) |
| 4 | ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能) |
| 5 | ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能) |
| 6 | ワープロソフトの応用操作 1 (表を挿入した文書の作成) |
| 7 | ワープロソフトの応用操作 2 (ビジュアルな文書の作成) |
| 8 | ワープロソフトの応用操作 3 (図やグラフを含む文書の作成) |
| 9 | 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成) |
| 10 | プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成) |
| 11 | プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成) |
| 12 | プレゼンテーションの実施 |
| 13 | 総合課題演習1(文書作成) |
| 14 | 総合課題演習2(レポート作成) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

【参考図書】平成26年度 学習サポートの手引き 図書館/情報センター/コンピュータ演習室の使い方(仮)

科 目 名 情報処理演習

担当教員名 福島 亜理子

ナンバリング KKd144

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 PBクラス

開講期前期 が修・選択の別 必修*,選必

授業形態 単位数 1

保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/如稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/の高等学校教諭一種免許状/に保健)/中学校教諭一種免許状/保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

- 1 オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
- 3 ワープロソフトの基本操作1(文書の作成と管理)
- 4 ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能)
- 5 ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能)
- 6 ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成)
- 7 ワープロソフトの応用操作2(ビジュアルな文書の作成)
- 8 ワープロソフトの応用操作3(図やグラフを含む文書の作成)
- 9 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成)
- 10 プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
- 11 プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 12 プレゼンテーションの実施
- 13 総合課題演習1(文書作成)
- 14 総合課題演習2(レポート作成)
- 15 まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

 科目名
 情報処理演習

 担当教員名
 高倉 佐和

 ナンバリング
 KKd144

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

 学年
 1

 月期 講期
 前期

 上級情報処理土/ウェブデザイン実務土/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状/英語の/中学校教諭一種免許状/宗養教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/宗養教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/一等校教諭一種免許状(保健)/一章校教諭一種免許状(保健)/一章校教諭一種免許状(保健)/一章校教諭一種免許状(保健)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標(=到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

| 内容 | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法 |
| 2 | 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意 |
| 3 | ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理) |
| 4 | ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能) |
| 5 | ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能) |
| 6 | ワープロソフトの応用操作 1 (表を挿入した文書の作成) |
| 7 | ワープロソフトの応用操作 2 (ビジュアルな文書の作成) |
| 8 | ワープロソフトの応用操作 3 (図やグラフを含む文書の作成) |
| 9 | 論文・レポートの書き方 (読みやすいレイアウトの長文作成) |
| 10 | プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成) |
| 11 | プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成) |
| 12 | プレゼンテーションの実施 |
| 13 | 総合課題演習1(文書作成) |
| 14 | 総合課題演習2(レポート作成 |
| 15 | まとめ |

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

情報処理演習 目 名 担当教員名 川口 英俊 ナンバリング KKd144 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習 年 クラス BAクラス 開講期 前期 必修・選択の別 選必,必修* 授業形態 位

科目の概要

科目の性格

ねらい(科目の性格

資格関係

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身 につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法に ついて学習する。

学修目標(=到達目標)

- ・学内の情報環境の理解と利用
- ・電子メール等、インターネット活用
- ・文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文作成、プレゼンテーション資料作成

学修目標)

内容

- 1 オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
- 3 ワープロソフトの基本操作1(文書の作成と管理)
- 4 ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能)
- 5 ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能)
- 6 ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成)
- 7 ワープロソフトの応用操作2(ビジュアルな文書の作成)
- 8 ワープロソフトの応用操作3(図やグラフを含む文書の作成)
- 9 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成)
- 10 プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
- 11 プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 12 プレゼンテーションの実施
- 13 総合課題演習1(文書作成)
- 14 総合課題演習2(レポート作成)
- 15 まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

科 目 名 情報処理演習

福島 亜理子

ナンバリング KKd144

担当教員名

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 BBクラス

開講期前期 必修・選択の別 必修*,選必

授業形態 単位数 1

保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/如稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/の高等学校教諭一種免許状/に保健)/中学校教諭一種免許状/保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

- 1 オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
- 3 ワープロソフトの基本操作1(文書の作成と管理)
- 4 ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能)
- 5 ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能)
- 6 ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成)
- 7 ワープロソフトの応用操作2(ビジュアルな文書の作成)
- 8 ワープロソフトの応用操作3(図やグラフを含む文書の作成)
- 9 論文・レポートの書き方 (読みやすいレイアウトの長文作成)
- 10 プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
- 11 プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 12 プレゼンテーションの実施
- 13 総合課題演習1(文書作成)
- 14 総合課題演習2(レポート作成)
- 15 まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

| 内容 | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法 |
| 2 | 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意 |
| 3 | ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理) |
| 4 | ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能) |
| 5 | ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能) |
| 6 | ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成) |
| 7 | ワープロソフトの応用操作 2 (ビジュアルな文書の作成) |
| 8 | ワープロソフトの応用操作3(図やグラフを含む文書の作成) |
| 9 | 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成) |
| 10 | プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成) |
| 11 | プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成) |
| 12 | プレゼンテーションの実施 |
| 13 | 総合課題演習 1 (文書作成) |
| 14 | 総合課題演習 2 (レポート作成) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

科 目 名 情報処理演習

担当教員名 飯高 晶子

ナンバリング KKd144

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 GBクラス

開講期前期 が修・選択の別 必修*,選必

授業形態 単位数 1

保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/如稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/の高等学校教諭一種免許状/に保健)/中学校教諭一種免許状/保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標(=到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

- 1 オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
- 3 ワープロソフトの基本操作1(文書の作成と管理)
- 4 ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能)
- 5 ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能)
- 6 ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成)
- 7 ワープロソフトの応用操作2(ビジュアルな文書の作成)
- 8 ワープロソフトの応用操作3(図やグラフを含む文書の作成)
- 9 論文・レポートの書き方 (読みやすいレイアウトの長文作成)
- 10 プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
- 11 プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 12 プレゼンテーションの実施
- 13 総合課題演習1(文書作成)
- 14 総合課題演習2(レポート作成)
- 15 まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション、日経BP社

【推薦書】

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

| 内容 | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法 |
| 2 | 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意 |
| 3 | ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理) |
| 4 | ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能) |
| 5 | ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能) |
| 6 | ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成) |
| 7 | ワープロソフトの応用操作 2 (ビジュアルな文書の作成) |
| 8 | ワープロ・ソフトの応用操作 3 (図やグラフを含む文章の作成) |
| 9 | 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成) |
| 10 | プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成) |
| 11 | プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成) |
| 12 | プレゼンテーションの実施 |
| 13 | 総合課題演習 1 (文書作成) |
| 14 | 総合課題演習 2 (レポート作成) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取り組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】『情報処理の基礎 第3版 文章作成/プレゼンテーション』日経BP社

科 目 名 情報処理演習

担当教員名 阿部 史

ナンバリング KKd144

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 Bクラス

開講期前期 が修・選択の別 必修*,選必

授業形態 単位数 1

保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

- 1 オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
- 3 ワープロソフトの基本操作1(文書の作成と管理)
- 4 ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能)
- 5 ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能)
- 6 ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成)
- 7 ワープロソフトの応用操作2(ビジュアルな文書の作成)
- 8 ワープロソフトの応用操作3(図やグラフを含む文書の作成)
- 9 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成)
- 10 プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
- 11 プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 12 プレゼンテーションの実施
- 13 総合課題演習1(文書作成)
- 14 総合課題演習2(レポート作成)
- 15 まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

情報処理演習 科目名 担当教員名 名児耶 厚 ナンバリング KKd144 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習 年 1 クラス HCクラス 開 講 期 前期 必修・選択の別 選必,必修* 授業形態 位 保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語) 教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校 免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭 状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

資格関係

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身 につける。

主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習 する。

学修目標(=到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

| 内容 | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法 |
| 2 | 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意 |
| 3 | ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理) |
| 4 | ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能) |
| 5 | ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能) |
| 6 | ワープロソフトの応用操作 1 (表を挿入した文書の作成) |
| 7 | ワープロソフトの応用操作 2 (ビジュアルな文書の作成) |
| 8 | ワープロソフトの応用操作 3 (図やグラフを含む文書の作成) |
| 9 | 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成) |
| 10 | プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成) |
| 11 | プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成) |
| 12 | プレゼンテーションの実施 |
| 13 | 総合課題演習1(文書作成) |
| 14 | 総合課題演習2(レポート作成) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

【事前準備】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

 科目名
 情報処理演習

 北原 俊一

 ナンバリング
 KKd144

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

 学 年 1
 クラス EAクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 選必,必修*

 授業形態
 単位数 1

 保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(精験)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許、株理体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標(=到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

| 内容 | |
|----|--|
| 1 | オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法 |
| 2 | 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意 |
| 3 | ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理) |
| 4 | ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能) |
| 5 | ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能) |
| 6 | ワープロソフトの応用操作 1 (表を挿入した文書の作成) |
| 7 | ワープロソフトの応用操作 2 (ビジュアルな文書の作成) |
| 8 | ワープロソフトの応用操作 3 (図やグラフを含む文書の作成) |
| 9 | 論文・レポートの書き方 (読みやすいレイアウトの長文作成) |
| 10 | プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成) |
| 11 | プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成) |
| 12 | プレゼンテーションの実施 |
| 13 | 総合課題演習1(文書作成) |
| 14 | 総合課題演習2(レポート作成) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

【事前準備】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

科 目 名 情報処理演習

ナンバリング KKd144

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 EBクラス

開講期前期 必修・選択の別 選必,必修*

授業形態 単位数 1

保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/如稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

- 1 オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
- 3 ワープロソフトの基本操作1(文書の作成と管理)
- 4 ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能)
- 5 ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能)
- 6 ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成)
- 7 ワープロソフトの応用操作2(ビジュアルな文書の作成)
- 8 ワープロソフトの応用操作3(図やグラフを含む文書の作成)
- 9 論文・レポートの書き方 (読みやすいレイアウトの長文作成)
- 10 プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
- 11 プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 12 プレゼンテーションの実施
- 13 総合課題演習1(文書作成)
- 14 総合課題演習2(レポート作成)
- 15 まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

科 目 名 情報処理演習

担当教員名 綿井 雅康

ナンバリング KKd144

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 CAクラス

開講期前期 必修・選択の別 選必,必修*

授業形態 単位数 1

保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

- 1 オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
- 3 ワープロソフトの基本操作1(文書の作成と管理)
- 4 ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能)
- 5 ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能)
- 6 ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成)
- 7 ワープロソフトの応用操作2(ビジュアルな文書の作成)
- 8 ワープロソフトの応用操作3(図やグラフを含む文書の作成)
- 9 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成)
- 10 プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
- 11 プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 12 プレゼンテーションの実施
- 13 総合課題演習1(文書作成)
- 14 総合課題演習2(レポート作成)
- 15 まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

 科目名
 情報処理演習

 担当教員名
 塩田 伊都子

 ナンバリング
 KKd144

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

 学 年 1
 クラス CBクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*,選必

 授業形態
 単位数 1

 保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/宗養教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許、保健体育)/高等学校教諭一種免許、保健体育)/高等学校教諭一種免許、保健体育)/高等学校教諭一種免許、保健体育)/高等学校教諭一種免許、保健体育)/高等学校教諭一種免許、保健体育)/高等学校教諭一種免許、保健体育)/高等学校教諭一種免許、保健体育)/高等学校教諭一種免許、保健体育)/高等学校教諭一種免許、保健体育)/高等学校教諭一種免許、保健体育)/高等学校教諭一種免許、保健体育)/高等学校教諭一種免許、保健体育)/高等学校教諭一種免許、保健体育/

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標(=到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

| 内容 | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法 |
| 2 | 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意 |
| 3 | ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理) |
| 4 | ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能) |
| 5 | ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能) |
| 6 | ワープロソフトの応用操作 1 (表を挿入した文書の作成) |
| 7 | ワープロソフトの応用操作 2 (ビジュアルな文書の作成) |
| 8 | ワープロソフトの応用操作 3 (図やグラフを含む文書の作成) |
| 9 | 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成) |
| 10 | プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成) |
| 11 | プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成) |
| 12 | プレゼンテーションの実施 |
| 13 | 総合課題演習1(文書作成) |
| 14 | 総合課題演習2(レポート作成) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

【事前準備】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

情報処理演習 科目名 担当教員名 名児耶 厚 ナンバリング KKd144 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習 年 1 クラス CCクラス 開 講 期 前期 必修・選択の別 選必,必修* 授業形態 位 保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語) 教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校 免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭 状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

資格関係

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身 につける。

主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習 する。

学修目標(=到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

| 内容 | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法 |
| 2 | 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意 |
| 3 | ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理) |
| 4 | ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能) |
| 5 | ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能) |
| 6 | ワープロソフトの応用操作 1 (表を挿入した文書の作成) |
| 7 | ワープロソフトの応用操作 2 (ビジュアルな文書の作成) |
| 8 | ワープロソフトの応用操作 3 (図やグラフを含む文書の作成) |
| 9 | 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成) |
| 10 | プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成) |
| 11 | プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成) |
| 12 | プレゼンテーションの実施 |
| 13 | 総合課題演習1(文書作成) |
| 14 | 総合課題演習2(レポート作成) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

【事前準備】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

 科目名
 情報処理演習

 担当教員名
 川口 英俊

 ナンバリング
 KKd144

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

 学 年 1
 クラス

AAクラス

授業形態 単位数 1

保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

必修・選択の別 必修*,選必

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

開講期

前期

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標(=到達目標)

- ・学内の情報環境の理解と利用
- ・電子メール等、インターネット活用
- ・文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文作成、プレゼンテーション資料作成

内容

- 1 オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
- 3 ワープロソフトの基本操作1(文書の作成と管理)
- 4 ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能)
- 5 ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能)
- 6 ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成)
- 7 ワープロソフトの応用操作2(ビジュアルな文書の作成)
- 8 ワープロソフトの応用操作3(図やグラフを含む文書の作成)
- 9 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成)
- 10 プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
- 11 プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 12 プレゼンテーションの実施
- 13 総合課題演習1(文書作成)
- 14 総合課題演習2(レポート作成)
- 15 まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

 科目名
 情報処理演習

 担当教員名
 加藤 暁子

 ナンバリング
 KKd144

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

 学 年 1
 クラス ABクラス

 開 講 期
 前期

 必修・選択の別
 選必,必修*

 授業 形 態
 単 位 数 1

 資 格 関 係
 保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状/保健)/中学校教諭一種免許状/保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/市養学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標=(到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

| 内容 | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法 |
| 2 | 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意 |
| 3 | ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理) |
| 4 | ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能) |
| 5 | ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能) |
| 6 | ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成) |
| 7 | ワープロソフトの応用操作 2 (ビジュアルな文書の作成) |
| 8 | ワープロソフトの応用操作3(図やグラフを含む文書の作成) |
| 9 | 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成) |
| 10 | プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成) |
| 11 | プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成) |
| 12 | プレゼンテーションの実施 |
| 13 | 総合課題演習1(文書作成) |
| 14 | 総合課題演習2(レポート作成) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

 科目名
 情報処理演習

 サンバリング KKd144

 学科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

 学年 1 クラス ACクラス

 開講期 前期 が修・選択の別 必修*,選必

 授業形態
 単位数 1

保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。

主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標(=到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

| 内容 | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法 |
| 2 | 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意 |
| 3 | ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理) |
| 4 | ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能) |
| 5 | ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能) |
| 6 | ワープロソフトの応用操作 1 (表を挿入した文書の作成) |
| 7 | ワープロソフトの応用操作 2 (ビジュアルな文書の作成) |
| 8 | ワープロソフトの応用操作 3 (図やグラフを含む文書の作成) |
| 9 | 論文・レポートの書き方 (読みやすいレイアウトの長文作成) |
| 10 | プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成) |
| 11 | プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成) |
| 12 | プレゼンテーションの実施 |
| 13 | 総合課題演習1(文書作成) |
| 14 | 総合課題演習2(レポート作成) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

【事前準備】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

科 目 名 情報処理演習

担当教員名 福島 亜理子

ナンバリング KKd144

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 クラス ADクラス

開講期前期 が修・選択の別 必修*,選必

授業形態 単位数 1

保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/如稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/の高等学校教諭一種免許状/に保健)/中学校教諭一種免許状/保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

- 1 オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
- 3 ワープロソフトの基本操作1(文書の作成と管理)
- 4 ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能)
- 5 ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能)
- 6 ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成)
- 7 ワープロソフトの応用操作2(ビジュアルな文書の作成)
- 8 ワープロソフトの応用操作3(図やグラフを含む文書の作成)
- 9 論文・レポートの書き方 (読みやすいレイアウトの長文作成)
- 10 プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
- 11 プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 12 プレゼンテーションの実施
- 13 総合課題演習1(文書作成)
- 14 総合課題演習2(レポート作成)
- 15 まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

 科目名
 情報処理演習

 担当教員名
 高倉 佐和

 ナンバリング
 KKd144

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

 学 年 1
 クラス AEクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*,選必

 授業形態
 単位数 1

 保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(精報)/高等学校教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許、

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標(=到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

| 内容 | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法 |
| 2 | 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意 |
| 3 | ワープロソフトの基本操作1(文書の作成と管理) |
| 4 | ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能) |
| 5 | ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能) |
| 6 | ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成) |
| 7 | ワープロソフトの応用操作 2 (ビジュアルな文書の作成) |
| 8 | ワープロソフトの応用操作 3 (図やグラフを含む文書の作成) |
| 9 | 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成) |
| 10 | プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成) |
| 11 | プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成) |
| 12 | プレゼンテーションの実施 |
| 13 | 総合課題演習1(文書作成) |
| 14 | 総合課題演習 2 (レポート作成) |
| 15 | まとめ |

評価

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

【参考図書】平成26年度 学習サポートの手引き 図書館/情報センター/コンピュータ演習室の使い方(仮)

情報処理演習 科目名 担当教員名 角田 真二 ナンバリング KKd144 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習 年 1 ク ラ ス DAクラス 開講期 前期 必修・選択の別 必修*,選必 授業形態 位 保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語) 教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校 免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭 状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

ねらい

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

| 内容 | A容 | |
|----|---------------------------------------|--|
| 1 | オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法 | |
| 2 | 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意 | |
| 3 | ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理) | |
| 4 | ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能) | |
| 5 | ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能) | |
| 6 | ワープロソフトの応用操作 1 (表を挿入した文書の作成) | |
| 7 | ワープロソフトの応用操作 2 (ビジュアルな文書の作成) | |
| 8 | ワープロソフトの応用操作 3 (図やグラフを含む文書の作成) | |
| 9 | 論文・レポートの書き方 (読みやすいレイアウトの長文作成) | |
| 10 | プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成) | |
| 11 | プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成) | |
| 12 | プレゼンテーションの実施 | |
| 13 | 総合課題演習1(文書作成) | |
| 14 | 総合課題演習2(レポート作成 | |
| 15 | まとめ | |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する、その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。45分

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。45分

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】全学共通 情報処理演習用テキスト(教室で紹介する)

| 科目名 | 情報処理演習 |
|--------|---|
| 担当教員名 | |
| ナンバリング | KKd144 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習 |
| 学 年 | クラス DBクラス |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 内学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育) |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標(=到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

- 1 オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
- 3 ワープロソフトの基本操作1(文書の作成と管理)
- 4 ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能)
- 5 ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能)
- 6 ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成)
- 7 ワープロソフトの応用操作2(ビジュアルな文書の作成)
- 8 ワープロソフトの応用操作3(図やグラフを含む文書の作成)
- 9 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成)
- 10 プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
- 11 プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 12 プレゼンテーションの実施
- 13 総合課題演習1(文書作成)
- 14 総合課題演習2(レポート作成)
- 15 まとめ

評価

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション、日経BP社

【推薦書】

【参考図書】平成26年度 学習サポートの手引き 図書館/情報センター/コンピュータ演習室の使い方

科 目 名 情報処理演習

KKd144

担当教員名 福島 亜理子

ナンバリング

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 DCクラス

開講期前期 が修・選択の別 必修*,選必

授業形態 単位数 1

保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/如稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/の高等学校教諭一種免許状/に保健)/中学校教諭一種免許状/保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

- 1 オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
- 3 ワープロソフトの基本操作1(文書の作成と管理)
- 4 ワープロソフトの基本操作2(文書の編集機能)
- 5 ワープロソフトの基本操作3(文書の編集機能)
- 6 ワープロソフトの応用操作1(表を挿入した文書の作成)
- 7 ワープロソフトの応用操作2(ビジュアルな文書の作成)
- 8 ワープロソフトの応用操作3(図やグラフを含む文書の作成)
- 9 論文・レポートの書き方 (読みやすいレイアウトの長文作成)
- 10 プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
- 11 プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 12 プレゼンテーションの実施
- 13 総合課題演習1(文書作成)
- 14 総合課題演習2(レポート作成)
- 15 まとめ

評価

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 文書作成/プレゼンテーション(仮)、日経BP社

【参考図書】平成26年度 学習サポートの手引き 図書館/情報センター/コンピュータ演習室の使い方(仮)

| 科目名 | 情報処理演習 |
|--------|---|
| 担当教員名 | 福島 亜理子 |
| ナンバリング | KKd244 |
| 学科 | 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習 |
| 学 年 | ク ラ ス 01 |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校 教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種 免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許 状(国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育) |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

内容

- 1 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集)
- 2 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用)
- 3 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成)
- 4 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用)
- 5 表計算ソフトの問題演習2(目的に応じたグラフの作成)
- 6 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出)
- 7 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法)
- 8 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析)
- 9 Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方)
- 10 Webページの作成2(リンクの設定とCSSによる装飾)
- 11 Webページの作成演習 (サイトの設計と作成)
- 12 総合課題演習1(各種集計表の処理)
- 13 総合課題演習 2 (データの整理と分析)
- 14 応用課題演習 (ソフトの統合利用)
- 15 まとめ

評価

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 情報処理演習 |
|--------|---|
| 担当教員名 | 角田 真二 |
| ナンバリング | KKd244 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習 |
| 学 年 | ク ラ ス 01 |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育) |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

ねらい

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

| 内容 | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集) |
| 2 | 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成) |
| 3 | 表計算ソフトの基本操作-関数 |
| 4 | 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用) |
| 5 | 表計算ソフトの問題演習 2 (目的に応じたグラフの作成) |
| 6 | 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出) |
| 7 | 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法) |
| 8 | 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析) |
| 9 | Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方) |
| 10 | Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾) |
| 11 | Webページの作成演習(サイトの設計と作成) |
| 12 | 総合課題演習1(各種集計表の処理) |
| 13 | 総合課題演習 2 (データの整理と分析) |
| 14 | 応用課題演習(ソフトの統合利用) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。45分

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。 45分

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】全学共通 情報処理演習用テキスト(教室で紹介する)

情報処理演習 科目名 担当教員名 北原 俊一、福島 亜理子 ナンバリング KKd244 科 人間生活学部 (K)-共通科目-情報処理演習 年 1 ク ラ ス JAクラス

開 講 期 後期 必修・選択の別 選必,選択,必修*

授業形態 位

体育工貨格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) 教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭 免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育) 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身 につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

| 内容 | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集) |
| 2 | 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用) |
| 3 | 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成) |
| 4 | 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用) |
| 5 | 表計算ソフトの問題演習 2 (目的に応じたグラフの作成) |
| 6 | 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出) |
| 7 | 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法) |
| 8 | 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析) |
| 9 | Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方) |
| 10 | Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾) |
| 11 | Webページの作成演習(サイトの設計と作成) |
| 12 | 総合課題演習1(各種集計表の処理) |
| 13 | 総合課題演習 2 (データの整理と分析) |
| 14 | 応用課題演習(ソフトの統合利用) |
| 15 | まとめ |

評価

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

情報処理演習 科目名 担当教員名 加藤 暁子 ナンバリング KKd244 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習 年 1 ク ラ ス FAクラス 開 講 期 後期 必修・選択の別 必修*,選択,選必 授業形態 位 保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語) 教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校 免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭 状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

| 内容 | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集) |
| 2 | 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用) |
| 3 | 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成) |
| 4 | 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用) |
| 5 | 表計算ソフトの問題演習 2 (目的に応じたグラフの作成) |
| 6 | 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出) |
| 7 | 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法) |
| 8 | 表計算ソフトの応用操作 3 (データの集計と分析) |
| 9 | Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方) |
| 10 | Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾) |
| 11 | Webページの作成演習(サイトの設計と作成) |
| 12 | 総合課題演習1(各種集計表の処理) |
| 13 | 総合課題演習 2 (データの整理と分析) |
| 14 | 応用課題演習(ソフトの統合利用) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科 目 名 情報処理演習

担当教員名 福島 亜理子

ナンバリング KKd244

学 科 人間生活学部 (K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 PBクラス

開 講 期 後期 選別,選択,必修*

授業形態 単位数 1

保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

内容

- 1 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集)
- 2 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用)
- 3 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成)
- 4 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用)
- 5 表計算ソフトの問題演習2(目的に応じたグラフの作成)
- 6 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出)
- 7 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法)
- 8 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析)
- 9 Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方)
- 10 Webページの作成2(リンクの設定とCSSによる装飾)
- 11 Webページの作成演習 (サイトの設計と作成)
- 12 総合課題演習1(各種集計表の処理)
- 13 総合課題演習 2 (データの整理と分析)
- 14 応用課題演習 (ソフトの統合利用)
- 15 まとめ

評価

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

| 内容 | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集) |
| 2 | 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用) |
| 3 | 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成) |
| 4 | 表計算ソフトの問題演習 1 (数式・関数の活用) |
| 5 | 表計算ソフトの問題演習 2 (目的に応じたグラフの作成) |
| 6 | 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出) |
| 7 | 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法) |
| 8 | 表計算ソフトの応用操作 3 (データの集計と分析) |
| 9 | Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方) |
| 10 | Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾) |
| 11 | Webページの作成演習(サイトの設計と作成) |
| 12 | 総合課題演習1(各種集計表の処理) |
| 13 | 総合課題演習 2 (データの整理と分析) |
| 14 | 応用課題演習(ソフトの統合利用) |
| 15 | まとめ |

評価

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科 目 名 情報処理演習

担当教員名 川口 英俊

ナンバリング KKd244

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 BAクラス

開 講 期 後期 必修・選択の別 必修*,選択,選必

授業形態 単位数 1

保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校 教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種 資格関係 資格関係 免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

内容

- 1 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集)
- 2 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用)
- 3 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成)
- 4 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用)
- 5 表計算ソフトの問題演習2(目的に応じたグラフの作成)
- 6 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出)
- 7 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法)
- 8 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析)
- 9 Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方)
- 10 Webページの作成2(リンクの設定とCSSによる装飾)
- 11 Webページの作成演習(サイトの設計と作成)
- 12 総合課題演習1(各種集計表の処理)
- 13 総合課題演習 2 (データの整理と分析)
- 14 応用課題演習 (ソフトの統合利用)
- 15 まとめ

評価

【事前準備】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科 目 名 情報処理演習

担当教員名 福島 亜理子

ナンバリング KKd244

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 BBクラス

開 講 期 後期 必修・選択の別 必修*,選択,選必

授 業 形 態 | 単 位 数 | 1

保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校 教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種 免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

内容

- 1 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集)
- 2 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用)
- 3 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成)
- 4 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用)
- 5 表計算ソフトの問題演習2(目的に応じたグラフの作成)
- 6 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出)
- 7 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法)
- 8 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析)
- 9 Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方)
- 10 Webページの作成2(リンクの設定とCSSによる装飾)
- 11 Webページの作成演習 (サイトの設計と作成)
- 12 総合課題演習1(各種集計表の処理)
- 13 総合課題演習2 (データの整理と分析)
- 14 応用課題演習 (ソフトの統合利用)
- 15 まとめ

評価

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 情報処理演習 |
|--------|--|
| 担当教員名 | 新行内 康慈 |
| ナンバリング | KKd244 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習 |
| 学年 | 1 ク ラ ス HAクラス |
| 開講期 | 後期 必修・選択の別 必修*,選択,選必 |
| 授業形態 | 単 位 数 1 |
| 資格関係 | 保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / にている。 ・ 大 (日語) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 市学校教諭一種免許状 (保健) / 高等学校教諭一種免許 |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

- ・表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。
- ・表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。
- ・Webページのしくみを理解する。
- ・基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

| 内容 | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集) |
| 2 | 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用) |
| 3 | 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成) |
| 4 | 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用) |
| 5 | 表計算ソフトの問題演習 2 (目的に応じたグラフの作成) |
| 6 | 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出) |
| 7 | 表計算ソフトの応用操作 2 (データの集計方法) |
| 8 | 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析) |
| 9 | Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方) |
| 10 | Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾) |
| 11 | Webページの作成演習(サイトの設計と作成) |
| 12 | 総合課題演習1(各種集計表の処理) |
| 13 | 総合課題演習 2 (データの整理と分析) |
| 14 | 応用課題演習(ソフトの統合利用) |
| 15 | まとめ |

評価

【事前準備】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

情報処理演習 名 目 担当教員名 名児耶 厚 ナンバリング KKd244 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習 年 1 クラス HBクラス 開 講 期 後期 必修・選択の別 選必,選択,必修* 授業形態 位 保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語) 教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校 免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭 状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

資格関係

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身 につける。

主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

| 内容 | N容 | |
|----|-------------------------------|--|
| 1 | 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集) | |
| 2 | 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用) | |
| 3 | 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成) | |
| 4 | 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用) | |
| 5 | 表計算ソフトの問題演習 2 (目的に応じたグラフの作成) | |
| 6 | 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出) | |
| 7 | 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法) | |
| 8 | 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析) | |
| 9 | Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方) | |
| 10 | Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾) | |
| 11 | Webページの作成演習(サイトの設計と作成) | |
| 12 | 総合課題演習1(各種集計表の処理) | |
| 13 | 総合課題演習 2 (データの整理と分析) | |
| 14 | 応用課題演習(ソフトの統合利用) | |
| 15 | まとめ | |

評価

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

 科目名
 情報処理演習

 担当教員名
 石川 敬史

 ナンバリング
 KKd244

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

 学 年 1
 クラス EAクラス

 開講期
 後期

 必修・選択の別 選必,選択,必修*

 授業形態
 単位数 1

 保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(決護教諭一種免許状(火業務)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/市養校教諭一種免許状(保健)/市養校教諭一種免許状(保健)/市養院教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

| 内容 | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集) |
| 2 | 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用) |
| 3 | 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成) |
| 4 | 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用) |
| 5 | 表計算ソフトの問題演習 2 (目的に応じたグラフの作成) |
| 6 | 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出) |
| 7 | 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法) |
| 8 | 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析) |
| 9 | Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方) |
| 10 | Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾) |
| 11 | Webページの作成演習(サイトの設計と作成) |
| 12 | 総合課題演習1(各種集計表の処理) |
| 13 | 総合課題演習 2 (データの整理と分析) |
| 14 | 応用課題演習(ソフトの統合利用) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科 目 名 情報処理演習

担当教員名 飯高 晶子

ナンバリング KKd244

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 EBクラス

開 講 期 後期 選択,選必,必修*

授業形態 単位数 1

保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/同等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

内容

- 1 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集)
- 2 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用)
- 3 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成)
- 4 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用)
- 5 表計算ソフトの問題演習2(目的に応じたグラフの作成)
- 6 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出)
- 7 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法)
- 8 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析)
- 9 Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方)
- 10 Webページの作成2(リンクの設定とCSSによる装飾)
- 11 Webページの作成演習 (サイトの設計と作成)
- 12 総合課題演習1(各種集計表の処理)
- 13 総合課題演習2(データの整理と分析)
- 14 応用課題演習 (ソフトの統合利用)
- 15 まとめ

評価

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科 目 名 情報処理演習

担当教員名 綿井 雅康

ナンバリング KKd244

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 CAクラス

授業形態 単位数 1

保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 以学校教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

内容

- 1表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集)
- 2 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用)
- 3 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成)
- 4 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用)
- 5 表計算ソフトの問題演習2(目的に応じたグラフの作成)
- 6 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出)
- 7 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法)
- 8 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析)
- 9 Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方)
- 10 Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾)
- 11 Webページの作成演習 (サイトの設計と作成)
- 12 総合課題演習1(各種集計表の処理)
- 13 総合課題演習2 (データの整理と分析)
- 14 応用課題演習 (ソフトの統合利用)
- 15 まとめ

評価

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通しておく

【事後学修】操作や理解が不十分だと感じた課題は改めて実習し直すこと

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

情報処理演習 名 目 担当教員名 名児耶 厚 ナンバリング KKd244 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習 年 1 ク ラ ス CBクラス 開 講 期 後期 必修・選択の別 選択,必修*,選必 授業形態 位 保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語) 教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校 免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭 状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

資格関係

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身 につける。

主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

| 内容 | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集) |
| 2 | 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用) |
| 3 | 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成) |
| 4 | 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用) |
| 5 | 表計算ソフトの問題演習 2 (目的に応じたグラフの作成) |
| 6 | 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出) |
| 7 | 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法) |
| 8 | 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析) |
| 9 | Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方) |
| 10 | Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾) |
| 11 | Webページの作成演習(サイトの設計と作成) |
| 12 | 総合課題演習1(各種集計表の処理) |
| 13 | 総合課題演習 2 (データの整理と分析) |
| 14 | 応用課題演習(ソフトの統合利用) |
| 15 | まとめ |

評価

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

| 内容 | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集) |
| 2 | 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用) |
| 3 | 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成) |
| 4 | 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用) |
| 5 | 表計算ソフトの問題演習 2 (目的に応じたグラフの作成) |
| 6 | 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出) |
| 7 | 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法) |
| 8 | 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析) |
| 9 | Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方) |
| 10 | Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾) |
| 11 | Webページの作成演習(サイトの設計と作成) |
| 12 | 総合課題演習1(各種集計表の処理) |
| 13 | 総合課題演習 2 (データの整理と分析) |
| 14 | 応用課題演習(ソフトの統合利用) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 表計算/Webページ作成(仮)、日経BP社

情報処理演習 名 目 担当教員名 名児耶 厚 ナンバリング KKd244 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習 年 1 ク ラ ス ABクラス 開 講 期 後期 必修・選択の別 必修*,選択,選必 授業形態 位 保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語) 教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校 免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭 状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

科目の概要

科目の性格

ねらい(科目の性格

資格関係

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身 につける。

主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標)

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

| 内容 | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集) |
| 2 | 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用) |
| 3 | 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成) |
| 4 | 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用) |
| 5 | 表計算ソフトの問題演習 2 (目的に応じたグラフの作成) |
| 6 | 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出) |
| 7 | 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法) |
| 8 | 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析) |
| 9 | Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方) |
| 10 | Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾) |
| 11 | Webページの作成演習(サイトの設計と作成) |
| 12 | 総合課題演習 1 (各種集計表の処理) |
| 13 | 総合課題演習 2 (データの整理と分析) |
| 14 | 応用課題演習(ソフトの統合利用) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 表計算/Webページ作成(仮)、日経BP社

科 目 名 情報処理演習

担当教員名 福島 亜理子

ナンバリング KKd244

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 ACクラス

授 業 形 態 | 単 位 数 | 1

保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校 教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種 免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

内容

- 1 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集)
- 2 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用)
- 3 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成)
- 4 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用)
- 5 表計算ソフトの問題演習2(目的に応じたグラフの作成)
- 6 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出)
- 7 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法)
- 8 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析)
- 9 Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方)
- 10 Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾)
- 11 Webページの作成演習 (サイトの設計と作成)
- 12 総合課題演習1(各種集計表の処理)
- 13 総合課題演習2(データの整理と分析)
- 14 応用課題演習 (ソフトの統合利用)
- 15 まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 表計算/Webページ作成(仮)、日経BP社

 科目名
 情報処理演習

 担当教員名
 高倉 佐和

 プタス
 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

 学年
 1
 クラス

 開講期
 後期
 必修・選択の別

 授業形態
 単位数
 1

 保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(次語)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/市等学校教諭一種免許状(保健)/市等学校教諭一種免許状(保健)/市等学校教諭一種免許状(保健)/市等学校教諭一種免許状(保健)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

| 内容 | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集) |
| 2 | 表計算ソフトの基本操作 2 (数式・関数の利用) |
| 3 | 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成) |
| 4 | 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用) |
| 5 | 表計算ソフトの問題演習 2 (目的に応じたグラフの作成) |
| 6 | 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出) |
| 7 | 表計算ソフトの応用操作 2 (データの集計方法) |
| 8 | 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析) |
| 9 | Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方) |
| 10 | Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾) |
| 11 | Webページの作成演習(サイトの設計と作成) |
| 12 | 総合課題演習1(各種集計表の処理) |
| 13 | 総合課題演習 2 (データの整理と分析) |
| 14 | 応用課題演習(ソフトの統合利用) |
| 15 | まとめ |

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 表計算/Webページ作成(仮)、日経BP社

科 目 名 情報処理演習

担当教員名 飯高 晶子

ナンバリング KKd244

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 DAクラス

開 講 期 後期 必修・選択の別 選択,必修*,選必

授業形態 単位数 1

保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/如稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

内容

- 1 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集)
- 2 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用)
- 3 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成)
- 4 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用)
- 5 表計算ソフトの問題演習2(目的に応じたグラフの作成)
- 6 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出)
- 7 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法)
- 8 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析)
- 9 Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方)
- 10 Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾)
- 11 Webページの作成演習 (サイトの設計と作成)
- 12 総合課題演習1(各種集計表の処理)
- 13 総合課題演習2(データの整理と分析)
- 14 応用課題演習 (ソフトの統合利用)
- 15 まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 表計算/Webページ作成、日経BP社

科 目 名 情報処理演習

担当教員名 福島 亜理子

ナンバリング KKd244

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-情報処理演習

学 年 1 ECクラス

開講期後期 後期 必修・選択の別 選必,選択,必修*

授業形態 単位数 1

保育士資格/上級情報処理士/ウェブデザイン実務士/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/如稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器 の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標(=到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

内容

- 1 表計算ソフトの基本操作1(表の作成と編集)
- 2 表計算ソフトの基本操作2(数式・関数の利用)
- 3 表計算ソフトの基本操作3(グラフの作成)
- 4 表計算ソフトの問題演習1(数式・関数の活用)
- 5 表計算ソフトの問題演習2(目的に応じたグラフの作成)
- 6 表計算ソフトの応用操作1(データの並べ替えと抽出)
- 7 表計算ソフトの応用操作2(データの集計方法)
- 8 表計算ソフトの応用操作3(データの集計と分析)
- 9 Webページの作成1(基本的なHTMLタグの使い方)
- 10 Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾)
- 11 Webページの作成演習 (サイトの設計と作成)
- 12 総合課題演習1(各種集計表の処理)
- 13 総合課題演習 2 (データの整理と分析)
- 14 応用課題演習 (ソフトの統合利用)
- 15 まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。

【事後学修】練習問題に取組むことにより、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】情報処理の基礎 第3版 表計算/Webページ作成(仮)、日経BP社

| 科目名 | 日本語 |
|--------|----------------------|
| 担当教員名 | |
| ナンバリング | KKc128 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-日本語 ・ |
| 学 年 | ク ラ ス OAクラス |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格 |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)のための日本語授業で、四技能(「読む」「書く」「話す」「聞く」)の力を総合的に高めることを目標に学習します。

科目の概要

さまざまな種類の文章 (新聞・エッセイ・論説文・説明文・小説など)を教材として用い、主に読解練習をとおして以下 の事柄に重きを置き授業を進めます。

- (1)文章の内容を理解し、的確にまとめる練習を行う。
- (2)語彙数を増やし、表現文型を身につける。
- (3)理解した内容を的確に相手に伝える練習(文字・口頭)を行う。
- (4) 身近な話題にとどまらず、抽象的な話題についても自分の考えを表現する練習を行う。

学修目標

この科目を修了するためには、次のことを満たすことが求められます。

- (1)授業に必ず出席し、日本語だけで積極的に授業に参加し、母語の使用を控える。
- (2) 教材の文章を理解し、提示される課題を積極的にこなす。
- (3)受講生同士互いの話をよく聞き、自分の考えを的確に相手に伝えるよう努める。

内容

第1回 前期授業のガイダンス・日本語総合力の測定

第2回~7回 読解 (短文)文法 (助詞・機能語・短文作成)

第8回 まとまった長さの文章を書く (教材からテーマを選んで意見を書く)

第9回~14回 読解 (中文)文法 (機能語・接続のことば・短文作成)

第15回 まとめ

評価

平常点(毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度):30% 筆記試験:70% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前予習】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】添削された提出物について復習を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】 第1回目の授業で指示します。

【参考図書】 改定版どんな時どう使う日本語表現文型500中上級/友松悦子ほか著/アルク 教師と学習者のための日本語文型辞典/くろしお出版

科 目 名 日本語

担当教員名 前田 庸子

ナンバリング KKc128

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-日本語 ·

学 年 1 0Bクラス

開講期通年必修・選択の別選必

授業形態 単位数 2

資格関係 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)のための日本語授業で、四技能(「読む」「書く」「話す」「聞く」)の力を総合的に高めることを目標に学習します。

科目の概要

さまざまな種類の文章 (新聞・エッセイ・論説文・説明文・小説など)を教材として用い、主に読解練習をとおして以下 の事柄に重きを置き授業を進めます。

- (1)文章の内容を理解し、的確にまとめる練習を行う。
- (2)語彙数を増やし、表現文型を身につける。
- (3)理解した内容を的確に相手に伝える練習(文字・口頭)を行う。
- (4) 身近な話題にとどまらず、抽象的な話題についても自分の考えを表現する練習を行う。

学修目標

この科目を修了するためには、次のことを満たすことが求められます。

- (1)授業に必ず出席し、日本語だけで積極的に授業に参加し、母語の使用を控える。
- (2)教材の文章を理解し、提示される課題を積極的にこなす。
- (3)受講生同士互いの話をよく聞き、自分の考えを的確に相手に伝えるよう努める。

内容

第1回 前期授業のガイダンス・日本語総合力の測定

第2回~7回 読解 (短文)文法 (助詞・機能語・短文作成)

第8回 まとまった長さの文章を書く (教材からテーマを選んで意見を書く)

第9回~14回 読解 (中文)文法 (機能語・接続のことば・短文作成)

第15回 前期のまとめ

第16回 後期のガイダンス・日本語総合力の測定

第17回~22回 読解 (中文)文法 (機能語・語彙・副詞・短文作成)

第23回 まとまった長さの文章を書く (教材からテーマを選んで意見を書く)

第23回~29回 読解 (長文)文法 (機能語・短文作成)

第30回 後期のまとめ

評価

平常点(毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度):30% 筆記試験:70% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前予習】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】添削された提出物について復習を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】 第1回目の授業で指示します。

【参考図書】 改定版どんな時どう使う日本語表現文型500中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク 教師と学習者のための日本語文型辞典 / くろしお出版

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

四技能(「読む」「書く」「話す」「聞く」)の力をさらに高めることを目標に学習します。1年次履修の「外国語」を学習、理解し、内容を定着させることが必要になりますので、2年次以降にこの科目を履修することが望ましいです。

科目の概要

さまざまなスタイルの文章(新聞・エッセイ・論説文・説明文・小説など)を読み取り、それに基づいて自分の考えや意見を口頭および文章で的確に表現する力をつけていきます。また、正確に内容を理解できるように、構文・文法・語彙・表現の学習をあわせて行います。

学修目標

この科目を修了するために、以下のことに注意して出席することが求められます。

- 1. 授業に必ず出席し、取り上げられるテーマについて文章を読んで内容を理解し、課題がこなせるようにする。
- 2. テーマについて考え、自分の意見を進んで述べ、授業に参加する。(出席するだけでなく、積極的に参加する)
- 3. 授業中に提示される課題・課題の提出物は、評価の対象となるので積極的に取り組む。

内容

授業は毎回、本文読解、文構造・語彙・表現の解説、文型の用法説明・練習を中心に進めていきます。また、教材のテーマ についての意見交換や、要約文・感想文など書く練習もまとめとして行います。

第1回 前期授業のガイダンス・日本語総合力の測定

第2回~4回 新聞記事の読解

第 5 回 ~ 9 回 説明文・論説文の読解 第10回 ~ 13回 エッセー・小説の読解

第14回 まとまった長さの文章を書く・復習(文法の弱点補強、語彙の確認など)

第15回 前期授業のまとめ

第16回 後期授業のガイダンス・日本語総合力の測定

第17回~20回 説明文、評論・論説文の読解

第21・22回 エッセーの読解

第23回 まとまった長さの文章を書く ・復習(文法の弱点補強、語彙の確認など)

第24回~26回 文学作品を読む

第27回~29回 さまざまな分野の読み物を用いた読解練習

第30回 後期授業のまとめ

評価

以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前予習】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】添削された提出物について復習を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】

第1回目の授業で指示します。

科 目 名 日本語

担当教員名 前田 庸子

ナンバリング KKc228

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-日本語 ·

学 年 1 OBクラス

開講期通年必修・選択の別選必

授業形態 単位数 2

資格関係 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

四技能(「読む」「書く」「話す」「聞く」)の力をさらに高めることを目標に学習します。1年次履修の「日本語」を学習、理解し、内容を定着させることが必要になりますので、2年次以降にこの科目を履修することが望ましいです。

科目の概要

さまざまなスタイルの文章(新聞・エッセイ・論説文・説明文・小説など)を読み取り、それに基づいて自分の考えや意見を口頭および文章で的確に表現する力をつけていきます。また、正確に内容を理解できるように、構文・文法・語彙・表現の学習をあわせて行います。

学修目標

この科目を修了するために、以下のことに注意して出席することが求められます。

- 1. 授業に必ず出席し、取り上げられるテーマについて文章を読んで内容を理解し、課題がこなせるようにする。
- 2. テーマについて考え、自分の意見を進んで述べ、授業に参加する。(出席するだけでなく、積極的に参加する)
- 3. 授業中に提示される課題・課題の提出物は、評価の対象となるので積極的に取り組む。

内容

授業は毎回、本文読解、文構造・語彙・表現の解説、文型の用法説明・練習を中心に進めていきます。また、教材のテーマ についての意見交換や、要約文・感想文など書く練習もまとめとして行います。

第1回 前期授業のガイダンス・日本語総合力の測定

第2回~4回 新聞記事の読解

第 5 回 ~ 9 回 説明文・論説文の読解 第10回 ~ 13回 エッセー・小説の読解

第14回 まとまった長さの文章を書く・復習(文法の弱点補強、語彙の確認など)

第15回 前期授業のまとめ

第16回 後期授業のガイダンス・日本語総合力の測定

第17回~20回 説明文、評論・論説文の読解

第21・22回 エッセーの読解

第23回 まとまった長さの文章を書く ・復習(文法の弱点補強、語彙の確認など)

第24回~26回 文学作品を読む

第27回~29回 さまざまな分野の読み物を用いた読解練習

第30回 後期授業のまとめ

評価

平常点(毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度):30% 筆記試験:70% とし、総合評価60点

以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前予習】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】添削された提出物について復習を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】

第1回目の授業で指示します。

科 目 名 海外語学研修(事前事後指導を含む)

担当教員名 池間 里代子

ナンバリング KKc129

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-海外語学研修

開講期前期必修・選択の別選必

授業形態 単位数 2

資格関係 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

中国北京語言大学への短期・長期留学のために、中国語はもとより生活・危機管理・街の様子などを学び理解する。現地で役立つ言葉や交流に不可欠な自己紹介を練習する。

科目の概要

会話教材(プリント)やDVDなどの視覚教材を用い、中国語に慣れる。

学修目標(=到達目標)

北京でリスニング力を上げ、自分が行きたいところへ行く、食べたいものを注文する、先生に質問する、などの力を身につける。

内容

ガイダンス

中国語発音復習

中国語文法復習

語彙

リスニング

スピーキング

ロールプレイング

手紙・メールの書き方

北京について

グルメガイド

危機管理

評価

平常点50%、現地での行動50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】プリント・DVDなど

【事後学修】報告会のパワーポイント作成指導

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】プリント

【推薦書】

【参考図書】『地球の歩き方・ペキン』

 科目名
 海外語学研修(事前事後指導を含む)

 担当教員名
 福田 仁

 ナンバリング
 KKc129

 学科人間生活学部(K)-共通科目-海外語学研修

 学年1
 クラス 18クラス

 開講期前
 必修・選択の別選必

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

海外英語研修は、選択科目として卒業必要単位に加算されます。

夏期休業中の一定期間、本学の海外姉妹校や提携校で開講されている英語集中講座に参加することにより、英語によるコミュニケーション能力の向上と、異文化理解を目標とします。

内容

以下の研修先で英語集中講座に参加します。(ただし、最少催行人数に達しない場合は中止する場合もあります。)

アメリカ英語研修: ハワイ大学マノア校(オアフ島)

約4週間のプログラムで、ホームステイをします。また、希望により周辺への小旅行もあります。

新年度が始まるとすぐに説明会がありますから、興味のある人は出席をしてください。詳しくは国際交流センターにお問い合わせください。

評価

出発前に毎週オリエンテーションが行われます。このオリエンテーションに必ず出席しなければなりません。この出席状況と現地で行われる英語集中講座の成績をもとに評価します。

オリエンテーションに対する積極的参加(30%) 研修先での成績(70%)

60点以上を合格として、2単位が与えられます。

授業外学習

【事前予習】オリエンテーションやガイダンスなどに必ず出席すること。

【事後学修】報告会に向けて資料を作成すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

オリエンテーションで毎回資料を配布します。この資料をもとに出発までの準備をします。

| 科目名 | アドバンスト・リスニング |
|--------|--------------------------------|
| 担当教員名 | 佐藤 里野 |
| ナンバリング | KKc334 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語) |
| 学 年 | ク ラ ス 01 |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語) |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、共通科目の実践英語科目の選択・選択必修科目で、英語での受信力・発信力の基礎となるリスニング力を養成することを目的としている。

科目の概要

全15回の授業では、おもに、現代の日本を海外に紹介する番組(NHK衛生放送)を扱う。各回で、ニュース英語のリスニングに必要なボキャブラリーや重要構文などを確認する。それらの知識に基づき、視聴覚メディアから英語を総合的に理解するスキルを習得することを目指す。

学修目標

英語力養成のために、予習・復習は不可欠である。テキストには事前に目を通し、積極的な態度で授業に参加してほしい。

- 1.授業で扱う英語ニュースを聞き取り、要点を把握することができる。
- 2. 重要なボキャブラリーを習得する。(毎回単語テストを実施する。)
- 3. 英語の受信力・発信力養成における国際的な視野の重要性を理解する。

内容

指定の教科書に基づき、以下のスケジュールで授業を行う。

| 1 | イントロダクション |
|----|--------------------------------------|
| 2 | Unit1 Box Stars |
| 3 | Unit2 Tearing Down Language Barriers |
| 4 | Unit3 Punching Back |
| 5 | Unit4 Watching Up Sleeping Patents |
| 6 | Unit5 Traditional Japanese Cuisine |
| 7 | Unit6 The Cost of Convenience |
| 8 | Unit7 New Look at Old Clothes |
| 9 | Unit8 Operating Rooms on Wheels |
| 10 | Unit9 Off the Tourist Trail |
| 11 | Unit10 Blindness No Barrier |
| 12 | Unit11 Against the Grain |
| 13 | Unit12 Healthy Workers Paying Off |
| 14 | Unit13 Japanese-style "Halal" |
| 15 | まとめ |

期末試験(50%)、単語テスト(30%)、平常点[課題提出、授業態度](20%)により評価を行い、60点以上を 合格とする。

授業外学習

【事前予習】テキストの予習

【事後学修】授業後の課題

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】山崎達朗・他著 『What'on Japan 9』金星堂

【参考図書・辞書等】授業で適宜紹介する。

 科目名
 アドバンスト・リスニング

 担当教員名
 森田 勝之

 大ンバリング KKc334

 学科 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語)

 学年1
 クラス 1Bクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 選択,必修*

 授業形態
 単位数 2

 資格関係 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

このアドバンスト・リスニングは、ニュースや時事解説などで得られる情報を理解するものです。

科目の概要

世界(主に、アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ)発のニュースを理解します。

学修目標(=到達目標)

一般に、私たちが聴くニュースは平均180語 / 1分のスピードである。これを 6 0 %以上聴き取れることを目標としています。

| 内容 | 内容 | |
|----|---------------------|--|
| 1 | 導入 | |
| 2 | 世界の災害はどう伝えられる | |
| 3 | 事故はどう報道される | |
| 4 | 世界の犯罪報道 | |
| 5 | 社会に関する報道 | |
| 6 | 健康関連ニュース | |
| 7 | スポーツ報道の実際 | |
| 8 | 国際問題、国際関係ニュースの聴き取り方 | |
| 9 | 政治関連ニュース | |
| 10 | 経済ニュースの聴き取り方 | |
| 11 | 世界の環境問題 | |
| 12 | 科学関連ニュース | |
| 13 | 世界の天気予報 | |
| 14 | ニュースの聞き取り復習 | |
| 15 | まとめ | |

評価

授業への取り組み20%、平常点20%、最終チェック60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】森田勝之著 『ニュース英語のリスニング 3段階スピード』、DHC

【推薦書】

【参考図書】森田勝之著 『ニュース英語のリスニング 基礎編』、DHC

アドバンスト・リスニング 目 名 担当教員名 奈須 麻里子 ナンバリング KKc334 科 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語) 年 ク ラ ス 1Aクラス 開 講 期 前期 必修・選択の別 選択,必修* 授業形態 単 位 数 資格関係 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、共通科目の選択・選択必修科目で、英語での受信力・発信力の基礎となるリスニング力を養成することを目的としている。

科目の概要

NHKの海外向けニュースを扱ったテキストを使用し、自然な英語を聞き取る力を養う。そのため各回で、ニュース英語のリスニングに必要な語彙や文法事項などの確認を行う。そのうえで、英語を理解する楽しさを味わいながら、日本の文化について考え、発信する力を総合的に身につけることを目指す。

学修目標(=到達目標)

- 1.ニュース英語のリスニング力を向上させ、要点を理解できるようにする。
- 2. ニュースで扱う時事問題に対する意識を高め、国際的な視野を広げる。
- 3. ニュース英語の理解に必要な語彙力を伸ばす。

内容

第1回:イントロダクション(授業の目標、進め方、注意事項等を説明)

第2回:Unit 1: Box Stars

第3回:Unit 2: Tearing Down Language Barriers

第4回:Unit 3: Punching Back

第5回:Unit 4: Waking Up Sleeping Patents

第6回:Unit 5: Traditional Japanese Cuisine

第7回:Unit 6: The Cost of Convenience

第8回:Unit 7: New Look at Old Clothes

第9回:Unit 8: Operating Rooms on Wheels

第10回:Unit 9: Off the Tourist Trail

第11回:Unit 10: Blindness No Barrier

第12回:Unit 11: Against the Grain

第13回:Unit 12: Healthy Workers Paying Off

第14回:Unit 13: Japanese-style Halal

第15回:まとめ

* 予定は変更されることがあります。

評価

定期試験60%、平常点40%(質疑応答、授業中の小テスト、授業への参加姿勢等)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】テキストの予習

【事後学修】テキストの復習と授業後の課題

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】山崎達朗・他著 『What's on Japan 9』金星堂

【参考図書】授業中に、適宜指示する。

 科目名
 アドバンスト・リーディング

 担当教員名
 福田 仁

 ナンバリング
 KKc335

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語)

 学年1
 クラス 2Bクラス

 開講期
 後期

 授業形態
 単位数

 資格関係
 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 27年度新カリ(1年生)では、「共通科目」の「外国語」選択科目、旧カリではメディアコミュニケーション学科の「専門科目」内の「ランゲージスキル」選択科目です。

科目の概要 主にインターネット上のウェブサイトから興味深い、または新鮮で話題となっている事柄の英文テキスト を選び、トップダウン(概要理解)とボトムアップ(語彙、表現、語法など)の両面から英語の読解力を高めます。

学修目標(=到達目標) 英語新聞、雑誌、ウェブサイトなどに書かれている英文テキストを読み、比較的短時間で概要を理解できる英語力を身に付ける。

| 内容 | 内容 | |
|----|----------------|--|
| 1 | イントロダクション | |
| 2 | ウェブサイト上の記事 1 | |
| 3 | ウェブサイト上の記事 2 | |
| 4 | ウェブサイト上の記事 3 | |
| 5 | ウェブサイト上の記事 4 | |
| 6 | ウェブサイト上の記事 5 | |
| 7 | ウェブサイト上の記事 6 | |
| 8 | ウェブサイト上の記事 7 | |
| 9 | ウェブサイト上の記事 8 | |
| 10 | ウェブサイト上の記事 9 | |
| 11 | ウェブサイト上の記事 1 0 | |
| 12 | ウェブサイト上の記事 1 1 | |
| 13 | ウェブサイト上の記事 1 2 | |
| 14 | ウェブサイト上の記事 1 3 | |
| 15 | まとめ | |

評価

授業への取り組み(30%)、課題(20%)、期末試験(50%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 指定された英文テキストを読み、概略をつかむこと。

【事後学修】 学習した英文テキストの語彙や表現を復習し、定着させること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 教科書は使用しません。プリントを配布します。

【推薦書】

【参考図書】

科 目 名 アドバンスト・リーディング

担当教員名 柿元 資子

ナンバリング KKc335

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語)

学 年 1 2Aクラス

開講期後期 後期 必修・選択の別 選択,必修*

授業形態 単位数 2

資格関係 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

シェイクスピアの名作、「ロミオとジュリエット」を読み、至福の新床から死へと転がり落ちる 若い二人の悲恋物語のあらすじを追います。

科目の概要

平易な英語で書かれた「ロミオとジュリエット」を通じて、イギリスを代表する 劇作家シェイクスピアの世界に足を踏み入れていきます。

学修目標(=到達目標)

- 1.読解力を身につける
- 2. 語彙力、イデオムの強化をはかる

内容

- 1週目 本科目のテーマ、目的、概要、成績評価基準等を確認する
- 2週目 Chapter 1 Love's Transgression
- 3週目 Chapter 2 My Lfe Is My Foe's Debt
- 4週目 Chapter 1 と 2 の内容を見直し、語彙、語句の再確認
- 5週目 Chapter 3 Parting Is Such Sweet sorrow
- 6週目 Chapter 4 The Measure Of Thy Joy
- 7週目 Chapter 3 と 4 の内容を見直し、語句、語彙の再確認
- 8週目 中間まとめ
- 9週目 Chapter 5 O, I Am Fortune's Fool
- 10週目 Chapter 6 Take Heed, For Such Die Miserable
- 11週目 Chapter 5と6の内容を見直し、語彙、語句の再確認
- 1 2 週目 Chapter 7 A Cold And Drowsy Humour
- 13週目 Chapter 8 Never Was a Story Of More Woe
- 1 4週目 Chapter 7 と 8 の内容を見直し、語彙、語句の再確認
- 15週目 まとめ

評価

試験80%、授業貢献度20% とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】単語を調べそのChapterを読んでくること

【事後学修】特になし

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Simply Shakespeare (Jim Knudsen / Takao Taguchi著) 南雲堂

【推薦書】

【参考図書】

 科目名
 アドバンスト・ライティング

 担当教員名
 向後 朋美

 ナンバリング
 KKC336

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語)

 学年1
 クラス 28クラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選択,必修*

 授業形態
 単位数 2

 資格関係

 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通外国語科目の中の選択科目である。ただし、英語教職課程の履修者は必修となる。

科目の概要

短い英文のモデルエッセイを読み、その論理展開のパターンを学ぶ。そののち、そのパターンに従ってオリジナルエッセイ を作成することにより、ひとつのまとまった内容を英語で書く訓練をすることを目的とする。

学修目標(=到達目標)

一文一文を文法的に書くことに加えて、英文エッセイにおけるパラグラフの概念を学び、論理的な文章を書くことをめざす

内容

英文のモデルエッセイを読み、英語の論理パターンを学ぶ。授業では、「分類」「手順の説明」「言葉の定義」「意見と理由」「観察と分析」「データの説明」などのパターンを取り上げ、それぞれの文章に応じた書き方を練習する。また教室での演習に加えて、各パターンごとに自宅で課題を行うことによって、実践的な英文読解のスキルを身につけていく。

| 0万/英 | の演員に加えて、日バノーノことに日七で味趣を打了とこによって、天成的な天文批解のスイルを身につけていて。 | |
|------|--|--|
| 1 | ガイダンス・6.Classification モデルエッセイの説明とオリジナルエッセイの下書き | |
| 2 | 6. Classification オリジナルエッセイの作成 | |
| 3 | 10. Process モデルエッセイの説明とオリジナルエッセイの下書き | |
| 4 | 10. Process オリジナルエッセイの作成 | |
| 5 | 12. Definition モデルエッセイの説明とオリジナルエッセイの下書き | |
| 6 | 12. Definition オリジナルエッセイの作成 | |
| 7 | 1. Conclusions/Reasons モデルエッセイの説明とオリジナルエッセイの下書き | |
| 8 | 1. Conclusions/Reasons オリジナルエッセイの作成 | |
| 9 | 2. Analysis モデルエッセイの説明とオリジナルエッセイの下書き | |
| 10 | 2. Analysis オリジナルエッセイの作成 | |
| 11 | 4. Controversy モデルエッセイの説明とオリジナルエッセイの下書き | |
| 12 | 4. Controversy オリジナルエッセイの作成 | |
| 13 | 13. Explanation モデルエッセイの説明とオリジナルエッセイの下書き | |
| 14 | 13. Explanation オリジナルエッセイの作成 | |
| 15 | まとめ | |
| | | |

評価

期末テスト40%、平常点(課題、復習テスト、参加態度)60% とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】モデルエッセイを読み、その構成を予習する(約30分)

【事後学修】モデルエッセイのパターンにしたがって、自分のエッセイを作成する(約1時間)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】『Skills for Better Writing 構造で書く英文エッセイ(改訂版)』,石谷由美子他,南雲堂,1900円+税) その他適宜プリントを使用する

【推薦書】

【参考図書】

| 科目名 | アドバンスト・ライティング |
|--------|--------------------------------|
| 担当教員名 | 宮本正治 |
| ナンバリング | KKC336 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語) |
| 学 年 | 1 クラス 2Aクラス |
| 開講期 | 後期 必修・選択の別 選択,必修* |
| 授業形態 | 単位数 2 |
| 資格関係 | 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語) |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)

英語が国際語となっている現在、社会で活躍するためには英語で自分の意見を表現する力が求められます。

(科目の概要)

英文では論理的な思考が重視されます。そのため、英語で書かれる文章のパターンは論理の流れにしたがうことが多くなります。逆に言うと、英文エッセイのパターンに習熟していれば、論理展開のしっかりした文章を書くことができるわけです。授業では、「意見と理由」「観察と分析」「実験と結果」「賛成と反対」「比較と対比」「分類」「指示」「歴史」「原因と結果」などのパターンを取り上げ、それぞれの文章に応じた書き方を練習していきます。

(学修目標)

ひとつのまとまった内容を英語で書く訓練をすることを目的とします。一文一文を文法的に書くことに加えて、英文エッセイにおけるパラグラフの概念を学び、論理的な文章を書くことをめざします。

| 内容 | 内容 | |
|----|-------------------------------------|--|
| 1 | ガイダンス | |
| 2 | Conclusions/Reasons(Model Essay) | |
| 3 | Conclusions/Reasons(Original Essay) | |
| 4 | Analysis(Model Essay) | |
| 5 | Analysis(Original Essay) | |
| 6 | Theory/Proof(Model Essay) | |
| 7 | Theory/Proof(Original Essay) | |
| 8 | Controversy(Model Essay) | |
| 9 | Controversy(Original Essay) | |
| 10 | Comparison/Contrast(Model Essay) | |
| 11 | Comparison/Contrast(Original Essay) | |
| 12 | Instructions(Model Essay) | |
| 13 | Instructions(Oiginal Essay) | |
| 14 | Chronological Order(Model Essay) | |
| 15 | まとめ | |

評価

期末テスト50%、平常点(課題、参加態度)50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】ライティング・パターンを読み、文章の構成を予習してきてください。(1時間程度)

【事後学修】授業で学んだパターンにしたがって、自分のエッセイの構想を考えておいてください。(1時間程度)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

『Skills for Better Writing 構造で書く英文エッセイ(改訂版)』(石谷由美子他、南雲堂、1900円+税)

日常英会話入門 目 名 担当教員名 ベッツィー テラダ KKc037 ナンバリング 科 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語) 年 ラス 1Aクラス 必修・選択の別 必修*,選択 講 期 前期 授業形態 位 数 資格関係 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

The aim of this elementary-level English course is to help students gain confidence in their basic English communication skills. The focus will be on developing vocabulary and expression needed to talk about familiar topics.

科目の概要

Two class periods will focus on a topic from the textbook which relates to students' lives, such as family, school life, and favorite things. Students will actively engage in a variety of speaking and short writing tasks.

THIS COURSE WILL BE TAUGHT IN ENGLISH ONLY.

学修目標(=到達目標)

Upon completion of this course, students should be able to express themselves more confidently in basic English.

| 内容 | |
|----|--|
| 1 | Course overview, introductions, Unit 1 (Classroom English, Part 1) |
| 2 | Unit 1 (Classroom English, Part 2) |
| 3 | Unit 1 Vocabulary Quiz, Unit 2 (School Life, Part 1) |
| 4 | Unit 2 (School Life, Part 2) |
| 5 | Unit 2 Vocabulary Quiz, Unit 3 (Family, Part 1) |
| 6 | Unit 3 (Family, Part 2) |
| 7 | Unit 3 Vocabulary Quiz, Unit 4 (Neighborhood & Town, Part 1) |
| 8 | Unit 4 (Neighborhood & Town, Part 2) |
| 9 | Unit 4 Vocabulary Quiz, Unit 5 (Friends, Part 1) |
| 10 | Unit 5 (Friends, Part 2) |
| 11 | Unit 5 Vocabulary Quiz, Unit 10 (Memories, Part 1) |
| 12 | Unit 10 (Memories, Part 2) |
| 13 | Unit 10 Vocabulary Quiz, "Show and Tell" mini-presentations |
| 14 | Speaking Test (Units 2, 3, 4, 5, 10) |
| 15 | Wrap-up |

Students will be evaluated on participation (25%), homework (25%), vocabulary quizzes (20%), final speaking test (30%).

授業外学習

【事前予習】Students will be assigned some light homework each week to strengthen vocabulary and expression.

【事後学修】Students will be expected to review material covered in class each week and study for quizzes and tests.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Within Your Reach by Cliffe, Svendson, Terada Nan'undo Publishing Co.

【推薦書】B5 notebook

【参考図書】paper or electronic English-Japanese, Japanese-English dictionary

| 科目名 | 日常英会話入門 | | |
|--------|-------------------------|--------------------|--------|
| 担当教員名 | シーラ クリフ | | |
| ナンバリング | KKc037 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外 | 、国語) | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 1Bクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択,必修* |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭 | 俞一種免許状(英語 <u>)</u> |) |

科目の性格

Elective course.

科目の概要

Students discuss familiar topics, the classroom, school, family, places and friends using simple vocabulary and grammar. They also develop their listening with natural listening materials, such as songs and stories.

学修目標(=到達目標)

The goal is to activate the English language that the students already know by enabling them to talk about their own worlds. Students will gain in confidence because the topics are familiar and well-known to them.

| 内容 | |
|----|---|
| 1 | Unit 1. Introduction. Learning names and items in the classroom. |
| 2 | Unit 1. Greetings and classroom management vocabulary. Listening with a song. |
| 3 | Unit 1. Classroom phrases and questions. |
| 4 | Unit 2. Learning timetables and time. |
| 5 | Unit 2. Learning to express likes and dislikes. |
| 6 | Unit 2. Using positive and negative adjectives. Listening with a song. |
| 7 | Unit 3. Learning about family trees and relations. |
| 8 | Unit 3. Forming yes/no questions. Listening with a story. |
| 9 | Unit 3. Asking and telling about each other's family. |
| 10 | Unit 4. Describing places using their is / are |
| 11 | Unit 4. Describing places using adjectives. Listening with song. |
| 12 | Unit 4. Explaining locations using maps. |
| 13 | Unit 5. Describing personalities. |
| 14 | Unit 5. Discussing activities together. |
| 15 | まとめ Evaluation activities. |

総合評価60点以上を合格とする。

Small review tests on each unit 30%, listening activities 30% final test 40%,

授業外学習

【事前予習】Outside lesson listening recommended.

【事後学修】Review using the vocabulary lists provided in the text book.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Within Your Reach. Cliffe, Svendon, Terada. Nan'un Do.

| 科目名 | 日常英会話入門 | | |
|--------|-------------------------|-------------------|--------|
| 担当教員名 | シーラ クリフ | | |
| ナンバリング | KKc037 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外 | 国語) | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 1Cクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択,必修* |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭 | 〕一種免許状(英語) |) |

科目の性格

Elective course.

科目の概要

Students discuss familiar topics, the classroom, school, family, places and friends using simple vocabulary and grammar. They also develop their listening with natural listening materials, such as songs and stories.

学修目標(=到達目標)

The goal is to activate the English language that the students already know by enabling them to talk about their own worlds. Students will gain in confidence because the topics are familiar and well-known to them.

| 内容 | |
|----|---|
| 1 | Unit 1. Introduction. Learning names and items in the classroom. |
| 2 | Unit 1. Greetings and classroom management vocabulary. Listening with a song. |
| 3 | Unit 1. Classroom phrases and questions. |
| 4 | Unit 2. Learning timetables and time. |
| 5 | Unit 2. Learning to express likes and dislikes. |
| 6 | Unit 2. Using positive and negative adjectives. Listening with a song. |
| 7 | Unit 3. Learning about family trees and relations. |
| 8 | Unit 3. Forming yes/no questions. Listening with a story. |
| 9 | Unit 3. Asking and telling about each other's family. |
| 10 | Unit 4. Describing places using their is / are |
| 11 | Unit 4. Describing places using adjectives. Listening with song. |
| 12 | Unit 4. Explaining locations using maps. |
| 13 | Unit 5. Describing personalities. |
| 14 | Unit 5. Discussing activities together. |
| 15 | まとめ Evaluation activities. |

総合評価60点以上を合格とする。

Small review tests on each unit 30%, listening activities 30% final test 40%,

授業外学習

【事前予習】Outside lesson listening recommended.

【事後学修】Review using the vocabulary lists provided in the text book.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Within Your Reach. Cliffe, Svendon, Terada. Nan'un Do.

科 目 名 日常英会話入門

担当教員名 アナ ウォーカー

ナンバリング KKc037

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語)

学 年 1 カラス 1Dクラス

開講期前期 が修・選択の別 選択,必修*

授業形態 単位数 2

資格関係 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The focus will be on gaining confidence at speaking out in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and discussion strategies.

内容

Week 1 Summer Vacation

Week 2 Unit 1 Food

Week 3 Review

Week 4 Unit 2 Festivals

Week 5 Review

Week 6 Unit 3 Cities

Week 7 Review

Week 8 Unit 4 Jobs

Week 9 Review

Week 10 Unit 5 Music

Week 11 Review

Week 12 Internet Articles

Week 13 Summarizing articles

Week 14 Presentations

Week 15 Evaluation

評価

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

授業外学習

【事前予習】Students will be required to research the weeks topic on the internet

【事後学修】Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Inspire 2 by Pamela Hartmann

Cengage Learning

日常英会話入門 目 名 グロリアプロフィラト 担当教員名 ナンバリング KKc037 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語) 科 クラス 1Fクラス 必修・選択の別 必修*,選択 開講期 前期 授業形態 位 数 資格関係 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 The purpose of this class is to enable students to initiate and sustain a casual conversation on a variety of topics.

科目の概要 Classroom activities will vary according to level of English and creativity,

学修目標 (= 到達目標) Students are expected to participate and pr epare their work so the lesson can run smoothly.

| 内容 | |
|----|--|
| 1 | Introduction. Class explanation |
| 2 | Restaurant unit |
| 3 | Talking about food. |
| 4 | Making your own restaurant. |
| 5 | Group work - Presentation. |
| 6 | What's the matter? (Health topic) |
| 7 | Vocabulary exercises and group work. |
| 8 | Presentation of above. |
| 9 | How much do you know? |
| 10 | Asking/Answering question in passive form. |
| 11 | Asking/Answering question in passive form. |
| 12 | What would you say if? |
| 13 | Asking/Answering questions / Wouldif |
| 14 | Tell me about Japan. |
| 15 | まとめ Student presentation of above. |

評価

総合評価60点以上を合格とする。Attendance/participation 20% Pair/ group conversations 60%, vocabulary tests 20%

【事前予習】Read dialogues. Check new words.

【事後学修】Make sentences for homework.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 Prints Supplied

【推薦書】

【参考図書】

科 目 名 日常英会話入門

担当教員名 アナ ウォーカー

ナンバリング KKc037

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語)

学 年 1 1Eクラス

開 講 期 前期 必修・選択の別 選択,必修*

授業形態 単位数 2

資格関係 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The focus will be on gaining confidence at speaking out in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and discussion strategies.

内容

Week 1 Summer Vacation

Week 2 Unit 1 Food

Week 3 Review

Week 4 Unit 2 Festivals

Week 5 Review

Week 6 Unit 3 Cities

Week 7 Review

Week 8 Unit 4 Jobs

Week 9 Review

Week 10 Unit 5 Music

Week 11 Review

Week 12 Internet Articles

Week 13 Summarizing articles

Week 14 Presentations

Week 15 Evaluation

評価

総合評価60点以上を合格とする。

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

授業外学習

【事前予習】Students will be required to research the weeks topic on the internet

【事後学修】Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Inspire 2 by Pamela Hartmann

Cengage Learning

日常英会話入門 目 名 グロリアプロフィラト 担当教員名 ナンバリング KKc037 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語) 科 クラス 1Gクラス 必修・選択の別 選択,必修* 開講期 前期 授業形態 位 数 資格関係 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 The purpose of this class is to enable students to initiate and sustain a casual conversation on a variety of topics.

科目の概要 Classroom activities will vary according to level of English and creativity,

学修目標 (= 到達目標) Students are expected to participate and pr epare their work so the lesson can run smoothly.

| 内容 | |
|----|--|
| 1 | Introduction. Class explanation |
| 2 | Restaurant unit |
| 3 | Talking about food. |
| 4 | Making your own restaurant. |
| 5 | Group work - Presentation. |
| 6 | What's the matter? (Health topic) |
| 7 | Vocabulary exercises and group work. |
| 8 | Presentation of above. |
| 9 | How much do you know? |
| 10 | Asking/Answering question in passive form. |
| 11 | Asking/Answering question in passive form. |
| 12 | What would you say if? |
| 13 | Asking/Answering questions / Wouldif |
| 14 | Tell me about Japan. |
| 15 | まとめ Student presentation of above. |

評価

総合評価60点以上を合格とする。Attendance/participation 20% Pair/ group conversations 60%, vocabulary tests 20%

【事前予習】Read dialogues. Check new words.

【事後学修】Make sentences for homework.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 Prints Supplied

【推薦書】

【参考図書】

| 科目名 | 日常英会話 | | |
|--------|-------------------------|-------------------|-------|
| 担当教員名 | ベッツィー テラダ | | |
| ナンバリング | KKc137 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外 | ·国語) | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭 | 介一種免許状(英語) | |

科目の性格

The aim of this course is to help students gain confidence in their basic English communication skills, especially with language they will need when they travel to a foreign country. The focus will be on developing vocabulary and expressions needed to enjoy their trips abroad.

科目の概要

Each class period will focus on a travel situation in the textbook, such as ordering in a restaurant, checking in at the airport, and asking for directions. Students will actively engage in a variety of speaking and short writing tasks, as well as role plays.

学修目標(=到達目標)

Upon completion of this course, students should be able to express themselves more confidently in basic English.

| 内容 | |
|----|---|
| 1 | Class Overview, introductions, icebreaker |
| 2 | Unit 1 Eating in a restaurant |
| 3 | Unit 2 At immigration |
| 4 | Unit 3 Money exchange |
| 5 | Unit 4 Checking into a hotel |
| 6 | Unit 5 Asking for directions |
| 7 | Test 1: Units 1-5 Unit15 Shopping |
| 8 | Unit 7 Going to the doctor |
| 9 | Unit 8 Making plans |
| 10 | Unit 9 Ordering in a restaurant |
| 11 | Unit 10 Talking about family |
| 12 | Test 2: Units 6-10 Unit18 Lost and found |
| 13 | Role-play Part 1 |
| 14 | Role-play Part 2 |
| 15 | The Survival Game |

評価

Students will be evaluated on participation (25%), homework (25%), unit tests (20%), Final role-plays (30%).

授業外学習

【事前予習】Students will be assigned some light homework each week to strengthen vocabulary and expression.

【事後学修】Students will be expected to review material covered in class each week and study for tests.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Passport English for International Communication, Oxford Univ. Publishing Co.

【推薦書】B-5 notebook

【参考図書】paper or electronic English-Japanese, Japanese-English dictionary

| 科目名 | 日常英会話 | | |
|--------|-------------------------|--------------------|-------|
| 担当教員名 | シーラ クリフ | | |
| ナンバリング | KKc137 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外 | 国語) | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 2Bクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭 | 俞一種免許状(英語 <u>)</u> |) |

科目の性格

Elective.

科目の概要

Students discuss familiar topics such as vacations, favorite things, fashion, memories and stories, work and holidays. They practice listening with natural materials such as songs and stories.

学修目標(=到達目標)

Students will utilize the English that they already know and will gain in confidence by speaking about familiar and useful topics.

| 内容 | |
|----|---|
| 1 | Unit 6. Discussing the summer vacation. Asking and answering questions. |
| 2 | Unit 6. Using the past tense to tell stories about the summer. Listening with a song. |
| 3 | Unit 7. Practicing listening comprehension with stories. |
| 4 | Unit 7. Story making workshop. |
| 5 | Unit 7. Reading stories to learn story telling techniques. |
| 6 | Unit 8. Comparing favorite things. |
| 7 | Unit 8. Using Wh questions. Comparing and contrasting. |
| 8 | Unit 9. Talking about clothes and trends. |
| 9 | Unit 9. Discussing trends. listening with a song. |
| 10 | Unit 10. Discussing schools and childhood. Using the past tense to tell stories. |
| 11 | Unit 11. Discussing different types of work and skills. |
| 12 | Unit 11. Listening to and making a resume. |
| 13 | Unit 12. Holidays: Christmas vocabulary, stories and listening activities. |
| 14 | Unit 12. Holidays: New Year vocabulary, game and listening activities. |
| 15 | まとめ Evaluation activities. |

評価

Small unit tests 30%, listening activities 30%, final test 40%.

授業外学習

【事前予習】Listening outside the classroom recommended.

【事後学修】Review using the vocabulary list provided in the textbook.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Within Your Reach. Cliffe, Svendson and Terada. Nan'un Do.

科 目 名 日常英会話

担当教員名 アナ ウォーカー

ナンバリング KKc137

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語)

学 年 1 2Cクラス

開講期後期必修・選択の別選択

授業形態 単位数 2

資格関係 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The focus will be on gaining confidence at speaking out in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and discussion strategies.

内容

Week 1 Summer Vacation

Week 2 Unit 7 Family

Week 3 Review

Week 4 Unit 8 Nature

Week 5 Review

Week 6 Unit 9 Happiness

Week 7 Review

Week 8 Unit10 Conservatuib

Week 9 Review

Week 10 Volunteer Abroad

Week 11 Music from Around the World

Week 12 Africa I

Week 13 Africa II

Week 14 Presentations

Week 15 Evaluation

評価

総合評価60点以上を合格とする。

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

授業外学習

【事前予習】Students will be required to research the weeks topic on the internet

【事後学修】Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Inspire 2 by Pamela Hartmann

Cengage Learning

科 目 名日常英会話担当教員名アナ ウォーカーナンバリングKKc137学 科 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語)

学年1クラス2Dクラス開講期後期必修・選択の別選択

授業形態 単位数 2

資格関係 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The focus will be on gaining confidence at speaking out

in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and discussion strategies.

内容

Week 1 Summer Vacation

Week 2 Unit 7 Family

Week 3 Review

Week 4 Unit 8 Nature

Week 5 Review

Week 6 Unit 9 Happiness

Week 7 Review

Week 8 Unit10 Conservatuib

Week 9 Review

Week 10 Volunteer Abroad

Week 11 Music from Around the World

Week 12 Africa I

Week 13 Africa II

Week 14 Presentations

Week 15 Evaluation

評価

Grades will be based on course work (20%), homework exe

rcises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

授業外学習

【事前予習】Students will be required to research the weeks topic on the internet

【事後学修】Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Inspire 2 by Pamela Hartmann

Cengage Learning

| 科目名 | 日常英会話 |
|--------|--------------------------------|
| 担当教員名 | グロリアプロフィラト |
| ナンバリング | KKc137 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語) |
| 学 年 | 1 クラス 2Eクラス |
| 開講期 | 後期 必修・選択の別 選択 |
| 授業形態 | 単位数 2 |
| 資格関係 | 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語) |

科目の性格 This course aims at developing students' ability and confidence to communicate in English.

科目の概要Through speaking, listening and writing students can gain an appreciation of a more natural English.

学修目標 (= 到達目標) Practice and review of grammar will help improve their level of English.

| 内容 | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | Introduction. Class Explanation |
| 2 | Getting to Know you |
| 3 | You, a friend indeed |
| 4 | You, a friend indeed |
| 5 | You, out on the town |
| 6 | You, Restaurant owner |
| 7 | You, world traveler |
| 8 | You, world traveler |
| 9 | You, job seeker |
| 10 | You, job seeker |
| 11 | You, shop owner |
| 12 | You, inventor |
| 13 | You, Helping solue world problems |
| 14 | Older people in your life |
| 15 | Finishing up (Textbook last unit) |

評価

総合評価60点以上を合格とする。Attendance /participation 20% ,Role-play/discussion 60% Vocabulary tests 20%

授業外学習

【事前予習】Read specified pages. Check vocabulary.

【事後学修】Listen to CD at home. Prepare unit.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Moving on with English Nan'un-do (Eric Bray)

【推薦書】



 科目名
 ビジネス英語

 担当教員名
 森田 勝之

 ナンバリング
 KKc238

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語)

 学 年 1
 クラス

 開講期後期
 必修・選択の別選択

 授業形態
 単位数

 資格関係
 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、共通科目のうちの選択科目で、ビジネス英語を基礎から学習するクラスです。

科目の概要

ビジネスの世界で必要とされる英語力を養成することを目標とします。

学修目標(=到達目標)

様々なビジネスの場面で役立つ会話表現や英文ビジネス文書に関する基礎知識を習得し、実際に活用できるようになること を目指します

内容

実物とTOEICで使用されるビジネスレター、メール、ファックスを利用しながら演習していきます。

| 1 | ビジネス通信 (ファックス) |
|----|-------------------|
| 2 | ビジネス通信 (電子メール・電話) |
| 3 | ビジネス通信 (手紙) |
| 4 | 社交関連英語 (ホテルの予約) |
| 5 | 社交関連英語 (移転通知) |
| 6 | 社交関連英語 (招待) |
| 7 | 社交関連英語 (面会) |
| 8 | 社交関連英語 (会議の通知) |
| 9 | 社内の英語 (資料の送付) |
| 10 | 社内の英語 (購入) |
| 11 | 社内の英語 (報告) |
| 12 | 取引関係の英語 (引合い) |
| 13 | 取引関係の英語 (注文) |
| 14 | 雇用関係の英語 履歴書・応募の手紙 |
| 15 | まとめ |
| | |

評価

授業への取り組み(20%)、平常点(20%)、最終チェック(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】最低30分で課題を解いておく

【事後学修】間違えた箇所をチェックし、次回からクリアできるようにする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Andrew Vaughan, Dorothy Zemach, Get Ready for Business, Book 2, Macmillan

【推薦書】

【参考図書】

| 科目名 | ビジネス英会話 | | |
|--------|-------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | シーラ クリフ | | |
| ナンバリング | KKc239 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国 | 1語) | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | | | |

The purpose of this class is to prepare students for using English in an office environment. The course concentrates on practical skills, such as answering the phone, making appointments, writing schedules etc. It provides extensive practice of listening to dates and numbers, which are important in an office environment.

| 内容 | |
|----|--|
| 1 | Greetings and exchanging information, business letters |
| 2 | Clarifying routines, business letters |
| 3 | Comparing jobs and job preferences, business letters |
| 4 | Asking about abilities and interests, resumes |
| 5 | Hotel check-in, questions, faxes |
| 6 | Office routines, memos |
| 7 | Making appointments, requesting appointments, clocks |
| 8 | Summaries, reports, time zones |
| 9 | Locations, maps, large numbers |
| 10 | Directions, asking for directions, giving directions |
| 11 | Describing processes, machine instructions |
| 12 | Stating preferences, hotel reservations |
| 13 | Talking about current events, news, apologies |
| 14 | Using the telephone, telephone messages |
| 15 | Overview of the whole course |

評価

総合評価60点以上を合格とする。

Students will be evaluated on class participation - 30%, regular short tests - 30% and a final overview of their progress - 40%.

授業外学習

【事前準備】Students will be expected to practice listening to numbers, dates and times outside the class.

【事後学修】Students will be expected to memorize useful vocabulary for tests and complete homework assignments.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Textbook. Workplace English, Office File.

Helgesen, Adams.

Longman Pearson.

| 科目名 | ビジネス英会話 | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | グロリアプロフィラト | | |
| ナンバリング | KKc239 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外 | ·国語) | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 2Bクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | | | |

科目の性格 This course aims at familiarizing students with useful basic business terminology

科目の概要 Students will do listening exercises and role -playing

学修目標 (= 到達目標) Students will be expected to do a marketing project using what they have learnt

| 内容 | | |
|----|------------------------------------|--|
| 1 | Introduction. Course explanation | |
| 2 | Unit 1 Make the first contact | |
| 3 | Unit 2 Talk about jobs | |
| 4 | Unit 3 Talk about companies | |
| 5 | Unit 4 Suggest ideam | |
| 6 | Unit 5 Go to a restaurant | |
| 7 | unit 6 Place an order | |
| 8 | Unit 7 Talk about projects | |
| 9 | Start Marketing project | |
| 10 | Group discuss a new product | |
| 11 | Group work | |
| 12 | group work | |
| 13 | group work | |
| 14 | group work | |
| 15 | まとめ Presentation of marketing unit | |

評価

総合評価60点以上を合格とする。Attendance/participation 20% Presentation 50% Role-play 20% test 10%

授業外学習

【事前準備】Read specific pages. Check new words.

【事後学修】Make sentences for homework.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Intelligent Business Skills Book. Elementary Business English. Pearson(Christine Johnson)

| 科目名 | 映画・ドラマ英語 |
|--------|--------------------------------|
| 担当教員名 | 森田 勝之 |
| ナンバリング | KKc240 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語) |
| 学年 | ク ラ ス 1Aクラス |
| 開講期 | 前期 必修・選択の別 選択 |
| 授業形態 | 単 位 数 2 |
| 資格関係 | 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語) |

科目の性格

私たちは映画をトップダウンで観ているといわれます。しかし、これは母国語で放映される映画に限られます。外国語、特に英語による映画では、事情が異なります。

私たちが日常観る映画や海外ドラマを字幕無しで楽しめれば、内容の理解を通して異文化や習慣などの理解も深まるでしょう。

科目の概要

外国語としての英語の英語であることから、ボトムアップ式を利用します。ボトムアップ式とは弱音、消失音、連音、同化音など英語独特の音変化についての理解を積み上げて聴き取る力をつけるようにするものです。日本語には無い音を学ぶことで次第に理解が深まります。

学修目標(=到達目標)

本科目の目標は、G指定(一般)映画やドラマを字幕無しで80%以上聴き取れることです。

| 内容 | |
|----|----------------------------|
| 1 | 導入説明 |
| 2 | 音の弱化(1)弱くなる母音の聴き取り方 |
| 3 | 音の弱化(2)弱くなる子音の聴き取り方 |
| 4 | 音の消失:消える音を捉える |
| 5 | tー音変化:辞書にはない音に変化するt音を捉える |
| 6 | 破裂音の抑制:あえて発音されない音を捉える |
| 7 | 単語間の連結(1)単語同士がつながって発音される基礎 |
| 8 | 単語間の連結(2)連結の応用 |
| 9 | 短縮音:短縮されると聴き取りにくい英語 |
| 10 | 短縮音:短縮して次の音とつながる |
| 11 | 同化音を克服する |
| 12 | 英語のリズム:強勢に注意して聴き取る |
| 13 | 英語のイントネーションに注意して聴き取る |
| 14 | 英語のプロソディ(韻律)に注意して聴き取る |
| 15 | まとめ |

評価

授業への取り組み20%、平常点20%、最終チェック60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】課題となっている空欄の聴き取りをする。流れの理解。

【事後学修】解答を検討しながら既習事項を整理する

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】森田勝之著 『映画英語のリスニングNew York Detective Story』、DHC

【推薦書】

【参考図書】森田勝之著 『ストーリーで学ぶ英語リスニング』、DHC

 科目名
 映画・ドラマ英語

 担当教員名
 森田 勝之

 ナンバリング
 KKc240

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語)

 学 年 1
 クラス 2Aクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選択

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

字幕無しで英語の映画を楽しめるにはどのようにすれば良いのか?これをテーマに音変化を徹底的にマスターしていきます

科目の概要

英語のリズム、曖昧な音、弱く発音される音、イントネーション、変化する音、短縮音、単語間でつながる音を効率的に、 音声学の知識がなくても充分活用出来るようにする。

学修目標(=到達目標)

一般の映画が80%以上、字幕無しで理解できるようにする。

| 内容 | 内容 | | | |
|----|------------------------|--|--|--|
| 1 | 導入 | | | |
| 2 | 英語のリズムとパターンに慣れる | | | |
| 3 | 強く発音される音と弱く発音される音 | | | |
| 4 | 英語のイントネーションに慣れる | | | |
| 5 | 聴き取りにくい代名詞 | | | |
| 6 | とらえにくい「あいまい母音」 | | | |
| 7 | 連続する子音で聴き取りにくくなるパターン | | | |
| 8 | 変化するtー音を捉える | | | |
| 9 | 聞き逃しやすい短縮の音を捉える | | | |
| 10 | 弾音となってつながるt 音 | | | |
| 11 | 単語の境目がつながって聴こえるのを克服する | | | |
| 12 | 母音と母音がつながって別の語に聴こえてしまう | | | |
| 13 | 二つの音が一緒に別の音になる:同化 | | | |
| 14 | 復習 | | | |
| 15 | まとめ | | | |

評価

授業への取り組み20%、平常点20%、最終チェック60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】課題となっている空欄の聴き取りをする。流れの理解。

【事後学修】解答を検討しながら既習事項を整理する

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】森田勝之著 『恋するブルックリン』(映画英語のリスニングシリーズNo.3)、DHC

【推薦書】

【参考図書】

 科目名
 インターネット英語

 担当教員名
 福田 仁

 ナンバリング
 KKc241

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語)

 学年1
 クラス

 開講期前期
 必修・選択の別選択

 授業形態
 単位数

 資格関係
 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 この科目は「共通科目」の「外国語」、選択科目です。

科目の概要 インターネット上には、英語を(無料で)学べるサイトが数多くあります。特に優れたサイトの紹介と、 実際にそのサイトを利用した英語学習、更にネット上に溢れる英語テキストの中から興味深いものを選び、リーディング力 、語彙力、表現力などを身につけます。

学修目標(=到達目標) まずは、ネット上の英語学習サイトを有効に利用できること。また、英語テキストを読み、概略がつかめるようになること。

| 内容 | N容 | | | |
|----|------------------|--|--|--|
| 1 | 授業紹介 | | | |
| 2 | 英語学習サイト | | | |
| 3 | 英語テキスト理解 | | | |
| 4 | 英語学習サイト | | | |
| 5 | 英語テキスト理解 | | | |
| 6 | 英語学習サイト | | | |
| 7 | 英語テキスト理解 | | | |
| 8 | 英語学習サイト | | | |
| 9 | 英語テキスト理解 | | | |
| 10 | YouTube上の英語学習サイト | | | |
| 11 | 英語テキスト理解 | | | |
| 12 | YouTube上の英語学習サイト | | | |
| 13 | 英語テキスト理解 | | | |
| 14 | 英語テキスト理解 | | | |
| 15 | まとめ | | | |

評価

授業への取り組み(30%)、課題(20%)、期末試験(50%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】 指定されたウェブサイトなどを事前に閲覧しておく。

【事後学修】 指定されたウェブサイトを活用し、課題をすること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 教科書は使用しません。ウェブサイトなどを活用します。

【推薦書】

【参考図書】

 科目名
 メディア英語

 担当教員名
 宮崎順子

 ナンバリング
 KKc242

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語)

 学年1
 クラス 2Aクラス

 開講期後期
 必修・選択の別選択

 授業形態
 単位数2

 資格関係
 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、メディアで使われている英語を基礎から学習するクラスです。

科目の概要

ウェブサイトや英字新聞などで実際に使われている実戦的な英語の読解力を養成します。

学修目標(=到達目標)

幅広い分野のニュース(例えば文化、社会、経済、科学技術など)を題材にして、ある程度まとまった長さの時事的内容の 文章が読めるようになることを目指します。

特に、(1)英文記事に慣れること、(2)辞書を活用して英文を正確に読み取る力を身につけること、(3)語彙や表現力を豊かにすることを、主な目標とします。

内容

基本的な文法事項や語彙・表現を確認しながら、テキストの音読・和訳または要約を行うと共に、内容把握等の練習問題に 取り組みます。

語彙力を高めるため、3~4週ごとに、授業で使用するテキストから単語の小テストを行います。

| 1 | 英字新聞の読み方 |
|----|---------------|
| 2 | 古都にモダンな博物館 |
| 3 | 下町ボブスレープロジェクト |
| 4 | コンビニも進化する |
| 5 | 日本企業が英語で会議 |
| 6 | ダブルの悲劇 |
| 7 | 大学が魚工場で地域に貢献 |
| 8 | 決死の片道旅行 |
| 9 | 空港で日本の思い出を |
| 10 | 再出発を支えるワザ |
| 11 | 水も過ぎれば毒になる |
| 12 | アキバの新商売 |
| 13 | 東京の地震には火の備え |
| 14 | 日本経済SOS |
| 15 | まとめ |

評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (授業への参加度、小テスト、課題提出)

授業外学習

【事前準備】教科書の指定個所を必ず予習して授業に望んでください。

【事後学修】授業で学習した単語や表現を再確認し覚えてください。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】深山晶子『Social Change - メディア英語で社会を読む』三修社

【推薦書】授業で適宜紹介します。

【参考図書】授業で適宜紹介します。

| 科目名 | メディア英語 | | |
|--------|-------------------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 宮本 正治 | | |
| ナンバリング | KKc242 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外 | 国語) | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 資格関係 高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語) | | |

(科目の性格)現在では、情報の多くが英語でやりとりされています。この授業では、英字新聞やそのホームページに頻 出する企業に焦点を当て、グローバル化した現代社会を読み解くための基本的な知識を英語で学びます。

(科目の概要)テキストを読みます。必要に応じて、実際の英字新聞やホームページを閲覧します。

テキストには、日本でも知られている15のアメリカ企業を題材としたエッセイを使用します。グローバル化した現代世界 の様々な出来事や問題に対する知識、関心を深めながら読み進めていきます。

授業では、毎週1つの企業について読み、内容についてのリスニングを行います。また、その企業について受講者各自が調査した内容を発表してもらう予定です。

受講者の関心の高いユニットから順次読めるよう調整したいと思います。

(学修目標)辞書を片手に、やさしい英字新聞が読めるようになること、および簡単なリスニングに慣れることが目標です。

選択科目ですので、以上のような内容に興味があり、自発的に情報を収集し、考える態度が望まれます。

| 内容 | |
|----|---------------------|
| 1 | ガイダンス |
| 2 | Unit 1: The Dodgers |
| 3 | Unit 2: Pepsi-Cola |
| 4 | IBM |
| 5 | Oreo |
| 6 | Hyatt |
| 7 | Yahoo! |
| 8 | The Chicago Bulls |
| 9 | Pizza Hut |
| 10 | Starbucks |
| 11 | Greyhound |
| 12 | Newsweek |
| 13 | Gap |
| 14 | Walmart |
| 15 | まとめ |

評価

参加態度40%、発表等30%、テスト30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】テキストを読み、わからない点をはっきりさせて授業に臨んでください。1時間程度の予習が必要と考えられ

ます。また、発表担当者はプレゼンの準備をしてください。

【事後学修】テキストを読みなおし、学習した企業についてのニュースなどに注意する。時間は各受講生の理解度によります。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

『アメリカンドリームを継ぎし者たち』 トム・グディア、武末義信著、南雲堂、1600円 (授業内で使用する。)

 科目名
 日本語表現技術

 担当教員名
 小笠原 典子

 ナンバリング
 KKc343

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語)

 学年1
 クラス 0Aクラス

 開講期
 通年

 必修・選択の別
 選択

 授業形態
 単位数

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

資格関係

留学生のための日本語関連科目の中で、特に「書く」ことを中心に授業を進め、日本語力の向上を目指す科目です。

科目の概要

毎回、授業で取り上げるテーマ(内容のまとめ・接続のことば・ノートをとる練習・話の展開など)を設定し、課題をこなしながら、自分の意図する事柄を読む人に正しく伝わることを目標にして、文を書く練習を行います。毎回「書く」という作業を通して、「表現する技術」の向上を目指します。

学修目標

この授業を修了するためには、次の事柄を満たすことが必要になります。

- 1 授業に出席し、問題となるテーマについて講義を受ける。
- 2 授業中に課される課題を授業時間内で完成させる。
- 3 テーマを理解するための課題・構文練習を完成させる。
- 4 テーマ理解を深めるため、まとまった長さの文章を書き、適切な日本語表現を習得する。
- 5 学習した事柄を積極的に身につけようと努める。

内容

第1回 授業ガイダンス・自己紹介・原稿用紙の使い方

第2~7回 正しい文を書く練習:単語から文へ・メモから文へ漢字の割合・句読点

第8~14回 文のスタイルを考える:敬体と常体・語種による語感・話し言葉書き言葉

第15回 前期まとめ

第16~19回 内容をつかむ:聞き取った内容をまとめる・文章をまとめる・要約

第20~21回 授業ノートの取り方:キーワード・箇条書き

第22~25回 話の展開:接続のことば・場面の展開

第26~29回 意見、考えを述べる:意見文を書く・発表する

第30回 後期まとめ

評価

平常点(毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度):30% 筆記試験:70% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前準備】提示された課題について、予習する。

【事後学修】添削された提出物について復習する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教室での配布物が授業教材となります。

| 科目名 | 日本語表現技術 |
|--------|---------------------------|
| 担当教員名 | |
| ナンバリング | KKc343 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-目的別科目(外国語) |
| 学 年 | ク ラ ス OBクラス |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生のための日本語関連科目の中で、特に「書く」ことを中心に授業を進め、日本語力の向上を目指す科目です。

科目の概要

毎回、授業で取り上げるテーマ(内容のまとめ・接続のことば・ノートをとる練習・話の展開など)を設定し、課題をこなしながら、自分の意図する事柄を読む人に正しく伝わることを目標にして、文を書く練習を行います。毎回「書く」という作業を通して、「表現する技術」の向上を目指します。

学修目標

この授業を修了するためには、次の事柄を満たすことが必要になります。

- 1 授業に出席し、問題となるテーマについて講義を受ける。
- 2 授業中に課される課題を授業時間内で完成させる。
- 3 テーマを理解するための課題・構文練習を完成させる。
- 4 テーマ理解を深めるため、まとまった長さの文章を書き、適切な日本語表現を習得する。
- 5 学習した事柄を積極的に身につけようと努める。

内容

第1回 授業ガイダンス・自己紹介・原稿用紙の使い方

第2~7回 正しい文を書く練習:単語から文へ・メモから文へ漢字の割合・句読点

第8~14回 文のスタイルを考える:敬体と常体・語種による語感・話し言葉書き言葉

第15回 前期まとめ

第16~19回 内容をつかむ:聞き取った内容をまとめる・文章をまとめる・要約

第20~21回 授業ノートの取り方:キーワード・箇条書き

第22~25回 話の展開:接続のことば・場面の展開

第26~29回 意見、考えを述べる:意見文を書く・発表する

第30回 後期まとめ

評価

平常点(毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度):30% 筆記試験:70% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前準備】提示された課題について、予習する。

【事後学修】添削された提出物について復習する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教室での配布物が授業教材となります。

 科目名
 総合科目(女性のからだとこころ)

 担当教員名
 内田 伸子、布施 晴美

 ナンバリング
 KKA104

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-総合科目

 学年
 1

 開講期
 前期

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

十文字学の「学びの基盤をつくる」領域にある「総合科目」の1科目

科目の概要

女性のからだと心について、生涯発達の視点から最新の研究成果に基づいて展開する。ホルモンや脳の働きが女性のからだと心の発達にどのように影響していくのか明らかにする。現代に生きる女性としてのアイデンティティの確立においても、健やかな生活と的確な他者理解においても、心身に関する正確な知識と実践の方法が重要である。これらの基本的知識を体系的に学ぶとともに、リプロダクティブヘルス/ライツ、セクシュアル・アイデンティティについて理解する。

学修の目標

生涯発達の視点から、女性のからだと心について、考察ができる。

女性がよりよく生き、よりしなやかに、グレイスフルに生きる力を獲得するとは、どのようなことか、自分の考えをもつことができる。

内容

受講生は150人を上限とし、上限を超えた場合には、抽選を行います。

初回の授業の前に受講者は決定したいと思いますので、受講希望者は、学科オリエンテーションでの指示に従ってください。 抽選登録となった場合には、途中で変更や辞退をすることができませんので、よく考えて登録するようにしてください。 講義終了後には、毎回講義に関するレポート提出を課してます。

| HT3 3201 | 時我心」及には、母口時我に例りもとは、「使田というとなり。 | | | |
|----------|------------------------------------|--|--|--|
| 1 | 女児と男児の性差 生物学的性差と社会的性差の発生過程 | | | |
| 2 | 女の子・男の子になる分かれ道 | | | |
| 3 | 女性と男性の会話 会話は権力具現化の装置か | | | |
| 4 | よりよい出会いをもとめて『恋愛』に実態はあるか | | | |
| 5 | 女性の歩行運動の生理学的基礎 美しい歩行のしくみを探る | | | |
| 6 | 親になることを女性の出産・希望の光 | | | |
| 7 | 母親になること 子育てを通して女の子・男の子の違いを知る | | | |
| 8 | 母性の発達 親子関係のきりむすびの鍵 | | | |
| 9 | 女性とキャリア 職業と家庭の両立 | | | |
| 10 | 女性と喫煙 女性の健康寿命伸延との関係を探る | | | |
| 11 | 女性と喫煙 女性の健康寿命伸延との関係を探る | | | |
| 12 | 中年期女性がよりよく活きるために 食心理学からみた女性のQOL | | | |
| 13 | 自分らしく生きるための絆をもとめて 生涯を支える人間関係 | | | |
| 14 | 女性のからだとこころ しめくくりのシンポジウム (第1講~第6講) | | | |
| 15 | 女性のからだとこころ しめくくりのシンポジウム (第7講~第13講) | | | |

各テーマごとの課題(50点)および最終レポート(50点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書の各単元に関わる章をよく読んでから出席すること。読んでいることを前提に授業を展開します。教科書の章末質問の回答もノートに書き込んでおくこと。

【事後学修】授業の最後には学生によるシンポジウムがあります。そこに向けて、関心のある単元についてさらに自分で課題を見つけ、調べていきましょう。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】内田伸子編著(2012):

「女性のからだとこころー自分らしく生きるための絆をもとめて」 金子書房

科目名 総合科目(芸術と人間理解(美術)) 担当教員名 平田 智久 ナンバリング KKA104 学科 人間生活学部(K)-共通科目-総合科目 学年1 クラス 開講期前期 必修・選択の別選必,選択 授業形態 単位数 資格関係 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

美術の歴史は、人間の歴史と共に古い。

美術には、もともと人間の一番大切なものを伝えたり、表したりする力がある。わたしたちの目の前のものを伝えるだけでなく、見知らぬ遠い国のことや、目に見えない奥深い心の世界などを出現させることもできる。主に視覚や触覚を通して"もの"に関わり、感じ考え心を表したりする造形行動は、生活をより豊かにする営みであるばかりでなく、人間同士理解し合える手段として欠かせない行動のひとつである。

そうした人間にとって重要な生きる手段としての造形を、どのようにすれば身につけていけるだろうか。ともすると造形嫌いになったり、造形行動に無関心になっている学生に、造形行動の大切さや楽しさを体中の感覚を駆使して再認識してもらうことが第一のねらいである。

そのねらいが達成されることで、自己の感性を再認識し自己の価値観を多様にする。

目に見えない心の言葉を表しているといってもよいだろう。

様々な美術の歴史や、あり方を理解することにより、より一層わたしたちの生活を豊かなものにし、更に創造力を高めることができる。

内容

大人になると、すでに造形的な価値観も獲得しているが、いわゆる上手下手という狭義の結果論がその価値基準になっていることが多い。造形的行為や行動、造形表現の技術などは、"もの"との直接体験からの感受習得が望ましい。美術の歴史は、紀元前の洞窟の絵画からはじまったといわれている。様々な表現の歴史を探ることによって、人にはなぜ美術が必要なのか?を、講義と実技を通して理解を深めていく。

- 1. 、プロローグ
- 2. 、感覚への刺激1
- 3. 感覚への刺激2
- 4. 感覚への刺激3
- 5. 感覚への刺激4
- 6. 感覚への刺激5
- 7. 感覚への刺激6
- 8. 感覚への刺激7
- 9. 、イメージの拡大・拡散1
- 10. イメージの拡大・拡散2
- 11. イメージの拡大・拡散3
- 12. イメージの拡大・拡散4
- 13. 、美術史の新しい視点
- 14. 、美術史の新しい視点
- 15. 、エピローグ

評価

授業中の製作態度 40% 課題作品の成果 60% を総合して評価する。 総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】すべての感覚器官が柔軟に機能するよう体調管理に努めておくこと。

【事後学修】少しでも興味を持った行動は再度体験してみること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。授業の中で紹介していく。

 科目名
 総合科目(伝統文化の精神と理解)

 担当教員名
 金勝 裕子

 ナンバリング
 KKA104

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-総合科目

 学 年 1
 クラス

 開講期前期
 必修・選択の別選必,選択

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育土資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

地域思考科目であり「伝統文化の理解と礼法・儀礼」の関連を体系的に習得する。

科目の概要

日本の伝統文化・年中行事と礼法・儀礼とのかかわりを理解し「礼法の基礎」「自己表現と実技」「就職に向けた具体的な作法」などの講義と演習を習得する。

学修目標(=到達目標)

社会に対応できる礼法(マナー)、教養を身につけた「大人の女性」、本学の教育目標である「幅広い職業人」の出発点に なることを目標とする。

内容

この大学は女子大学である。女子大学としてのイメージとして一般的に考える「女子のたしなみ」ということが一つの大切な要素と考える。立ち居振る舞いの印象は人の印象を左右するものである。

この時間は日本においての儀礼・文化の第一人者である『インターナショナル儀礼文化教育研究所』所長である永井とも子 先生に15回の講義演習をお願いする貴重な講座と考えている。

日本文化から生まれた『礼法』をぜひ身につけてもらいたい。

| | THAT SECOND TO THE SECOND TO SECOND | | | |
|----|---|--|--|--|
| 1 | 伝統文化・儀礼・礼法(マナー)とは | | | |
| 2 | 伝統文化・儀礼・礼法(マナー)の必要性 | | | |
| 3 | 礼法の移り変わり | | | |
| 4 | パフォーマンス学とは (自己表現を学ぶ) | | | |
| 5 | 礼法とパフォーマンス学 | | | |
| 6 | 就職とパフォーマンス学 | | | |
| 7 | 就職と礼法 | | | |
| 8 | 人生の通過儀礼 | | | |
| 9 | 年中行事(1) | | | |
| 10 | 年中行事(2) | | | |
| 11 | 五節供(五節句)のかざり | | | |
| 12 | 遊戯文化・百人一首、投扇興であそぶ | | | |
| 13 | 慶弔の決まり事 | | | |
| 14 | 和室での決まり | | | |
| 15 | まとめ | | | |
| | | | | |

授業への取り組み50%、考察課題50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】テキストで該当箇所を予習する

【事後学修】講義後に関連の伝統文化・礼法について深く思考すること

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 永井とも子著 「儀礼(マナー)は人生を拓く」 ヒーロー出版社 ¥1,800(税別)

【推薦書】 適宜紹介

【参考図書】 "

 科目名
 総合科目(生命保険)

 担当教員名
 込江 雅彦

 ナンバリング
 KKA104

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-総合科目

 学 年 1
 クラス

 開講期前期
 必修・選択の別 選択,選必

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この授業は「生命保険文化センター」による冠講座である。生命保険について学ぶことは、一人ひとりの人生や生活設計を考えるきっかけとなり、また、国民生活にかかる保障システムを理解するうえでも大変有益である。

科目の概要

「生命保険の基礎的な知識」から「生命保険の果たす役割」、「生命保険契約のしくみ」、「保険会社の業務」など、社会保障問題を背景に今後一層高まるであろう生命保険について幅広く解説する。

学修目標

生命保険に関する基本的知識の修得を目指す。

| 内容 | 容 | | | | |
|----|-------------------|--|--|--|--|
| 1 | オリエンテーション | | | | |
| 2 | 生命保険総論 : 生活とリスク管理 | | | | |
| 3 | 生命保険総論 : 生活設計 | | | | |
| 4 | 生命保険の種類 : 死亡保障 | | | | |
| 5 | 生命保険の種類 : 医療保障 | | | | |
| 6 | 生命保険の種類 : 老後保障 | | | | |
| 7 | 生命保険の種類 : 介護保障 | | | | |
| 8 | 生命保険契約のしくみ | | | | |
| 9 | 生命保険商品の動向 | | | | |
| 10 | 損害保険の種類 : 車の保険 | | | | |
| 11 | 損害保険の種類 : 住まいの保険 | | | | |
| 12 | 生命保険会社の業務 | | | | |
| 13 | 総括 | | | | |
| 14 | まとめ 1 | | | | |
| 15 | まとめ 2 | | | | |

評価

授業への取り組み(30%)と試験(70%)で評価し、総合評価60%以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】あらかじめ配布された冊子を読む。

【事後学修】授業中に配布された資料を読む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書:授業中に配布するプリント。

推薦書:授業中に指示する。

科 目 名 総合科目(にいざ十文字発世界へ)

担当教員名 大西 正行、石野 榮一、池間 里代子、北原 俊一 他

ナンバリング KKA104

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-総合科目

学 年 1 クラス

開 講 期 前期 必修・選択の別 選択,選必

授業形態 単位数 2

資格関係 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

フリーペーパー(冊子)とIT(WEB)の制作と、制作に至る取材・執筆・レイアウトなどを学ぶ。

科目の概要

学内と新座市を中心に取材し、成果物としてまとめ、発信する。

学修目標(=到達目標)

企画力、コミュニケーション能力、編集力を養う。

内容

文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」採択を機に、本学の学生(留学生と日本人学生)が協働して、学内はもとより、 キャンパスのある新座市を中心に地域の自然や歴史、今日的事象等の取材・執筆・編集等を積極的に行い、女子大生目線で WEBおよび冊子の成果物を作り上げ地域を応援する中で、地域から多くを学ぶクリエイティブな授業である。

26年度までは、「日本文化理解・国際目線のWEBマガジン制作」「ナチュライフ十文字」「新座だより」の授業が行われてきたが、これを統合し、「より地域に」そして「より国際的に」というグローカルな視点を追究すべく『にいざ十文字発世界へ』とのコンセプトで再構築し、女子大生の目線を大切にしながらWEB媒体と紙媒体による世界と地域への情報発信を行う。

成果物の制作工程で学生が身に付ける内容は、地域の取材に至る事前の調査能力、インタビュー能力、コミュニケーション能力、筆力、編集力等が挙げられるが、共同作業ゆえに欠かせないのは協調精神の重要性の認識である。そうした意味から、この授業は留学生と日本人学生のコラボレーションを通した相互文化理解を促進するだけでなく、生きた地域の学び合いによる国際的な「文化融合」の価値も期待できる。ITと冊子という発信媒体の両方を見据え、双方の特徴を実感する学びは、メディアの多様化時代に生きる学生の視野を広げ、社会で役立つスキルアップにも繋がることを目標としたい。

授業概要

企画会議(数次)による制作体制の構築とコンテンツ立案をもとにした班ごとの編集推進

地域取材に入る前の基本的な学び(記事の書き方、写真撮影等)

地域取材のための事前調査

学内および新座地域の本格的な取材・執筆・編集制作

WEBと冊子の共通点と媒体の差異を認識する。(前期末にWEBを完成させ、これらを後期末の冊子コンテンツに包含する)前期()のコンテンツ制作を踏まえての本格的な冊子作りは後期となるため、・(前期・後期)通しで履修することが望ましい。

担当 大西正行、北原俊一、小笠原典子、池間里代子、石野榮一 受講者数制限あり。

評価

授業への取り組み50%とし、成果物50%で評価する。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業時に提示するテーマについて文献等で自主的な下調べをさせる。

【事後学修】授業で学んだ内容の要旨をまとめさせる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】『新聞用字用語集(記者ハンドブック)』共同通信社

科 目 名 総合科目(にいざ十文字発世界へ)

担当教員名 大西 正行、石野 榮一、池間 里代子、北原 俊一 他

ナンバリング KKA104

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-総合科目

学 年 1 クラス

開講期後期 後期 必修・選択の別 選必,選択

授業形態 単位数 2

資格関係 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

フリーペーパー(冊子)とIT(WEB)の制作と、制作に至る取材・執筆・レイアウトなどを学ぶ。

科目の概要

学内と新座市を中心に取材し、成果物としてまとめ、発信する。

学修目標(=到達目標)

企画力、コミュニケーション能力、編集力を養う。

内容

文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」採択を機に、本学の学生(留学生と日本人学生)が協働して、学内はもとより、 キャンパスのある新座市を中心に地域の自然や歴史、今日的事象等の取材・執筆・編集等を積極的に行い、女子大生目線で WEBおよび冊子の成果物を作り上げ地域を応援する中で、地域から多くを学ぶクリエイティブな授業である。

26年度までは、「日本文化理解・国際目線のWEBマガジン制作」「ナチュライフ十文字」「新座だより」の授業が行われてきたが、これを統合し、「より地域に」そして「より国際的に」というグローカルな視点を追究すべく『にいざ十文字発世界へ』とのコンセプトで再構築し、女子大生の目線を大切にしながらWEB媒体と紙媒体による世界と地域への情報発信を行う。

成果物の制作工程で学生が身に付ける内容は、地域の取材に至る事前の調査能力、インタビュー能力、コミュニケーション能力、筆力、編集力等が挙げられるが、共同作業ゆえに欠かせないのは協調精神の重要性の認識である。そうした意味から、この授業は留学生と日本人学生のコラボレーションを通した相互文化理解を促進するだけでなく、生きた地域の学び合いによる国際的な「文化融合」の価値も期待できる。ITと冊子という発信媒体の両方を見据え、双方の特徴を実感する学びは、メディアの多様化時代に生きる学生の視野を広げ、社会で役立つスキルアップにも繋がることを目標としたい。

授業概要

「にいざ十文字発世界へ」 (前期)のWEB制作の蓄積の上に、後期末の冊子作りのための制作企画会議(数次)と班ごとのWEBおよび冊子コンテンツの編集推進(前期末に完成させたWEBのコンテンツは、後期末の冊子コンテンツに包含する)

地域取材のための事前調査

学内および新座地域の本格的な取材・執筆・編集制作

前期(I) のコンテンツ制作を踏まえての本格的な冊子作りは後期となるため、 ・ (前期・後期)通しで履修することが望ましい。

担当 大西正行、北原俊一、小笠原典子、池間里代子、石野榮一 受講者数制限あり。

評価

授業への取り組み50%とし、成果物50%で評価する。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業時に提示するテーマについて文献等で自主的な下調べをさせる。

【事後学修】授業で学んだ内容の要旨をまとめさせる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】『新聞用字用語集(記者ハンドブック)』共同通信社

 科目名
 総合科目(毎日新聞女性記者)

 担当教員名
 宮城 道子

 ナンバリング
 KKA104

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-総合科目

 学 年 1
 クラス

 開講期後期
 後期

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:十文字学・学びの基盤をつくる領域の総合科目(選択科目)。

前期5クラス・後期8クラス開講されるが、それぞれ内容が異なるので注意すること。

本クラスは後期開講で毎日新聞社提携講座である。毎日新聞社のさまざまな分野で働く中堅の女性記者・女性社員から直接 学ぶことで、本学の教育目標である「幅広い職業人」の育成をめざす。

科目の概要:毎日新聞社の社会部、政治部、地方部、学芸部、生活家庭部、科学環境部、情報編成総センター、校閲、デジタルメディア局、事業本部、広告局などさまざまな部署で活躍している女性記者・社員によるオムニバス講義。異動・突発事項等により一部変更する場合がある。

学修目標(=到達目標):毎日新聞社の様々な分野、領域で活躍する女性記者・社員の日々の体験に基づいた講義を聴いて、新聞社の社会的使命を認識し、学生自身が自分の将来について考え、社会人になるための心構えなどを学ぶ。

内容

全体のテーマ:「現代社会事情概説~毎日新聞社で働く女性記者の視点から」以下は、異動・突発事項などで変更の場合もあります。

| 1 | 新聞社の役割と取組 - ガイダンス(編集委員) |
|----|----------------------------|
| 2 | 新聞ができるまで(情報編成総センター) |
| 3 | 東日本大震災・原発事故報道(社会部) |
| 4 | 新聞のメディア戦略(新媒体編集部) |
| 5 | 文学を取材すること (学芸部) |
| 6 | 企業としての新聞と記者(愛読者センター) |
| 7 | 原発ゼロとエネルギー政策(科学環境部) |
| 8 | 地域報道とは(地方部) |
| 9 | 新聞の楽しみ方・ストレート記事と読み物(夕刊編集部) |
| 10 | 安倍政権とは(政治部) |
| 11 | 暮らしと新聞(生活報道部) |
| 12 | 新聞社の事業とは(事業本部) |
| 13 | 新聞の広告とは(広告局) |
| 14 | 校閲記者の1日(校閲G) |
| 15 | 現代社会における新聞と読者・まとめ(編集委員) |
| | |

評価

各回のリアクションペーパーの内容(20点)、最終レポート(80点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】初回ガイダンスで配布する資料を熟読すること

【事後学修】毎回配布される毎日新聞を、各回の講義によって得られた視点で読むこと

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】なし

【推薦書】適宜紹介する

【参考図書】適宜紹介する。その他に、毎回講義日当日の毎日新聞を配布する。

| 科目名 | 総合科目 (オリンピックレガ | ブシー) |
|--------|---------------------|---------------|
| 担当教員名 | 石山 隆之 | |
| ナンバリング | KKA104 | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-総合科目 | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格;

地域発2020オリンピック・パラリンピックレガシーづくり という着眼点で展開する講義である

科目の概要

地域社会におけるスポーツに求められる役割と機能の理解からスタート、東京オリンピック・パラリンピック成功のために 地域スポーツコミュニティが担うべき役割の理解、2020終了後のレガシー作りの必要性、そして学生一人一人がどのよ うに、東京五輪に参加できるかへその思考を広げてゆく。

講義は、観る・する・支えるの各領域における様々な事例をベースに展開、受講生にとって理解速度が速く、共感性の高い 講義進行を試みる。

学修目標(=到達目標)

聴講型授業ではなく、共に学ぶ参加型授業を計画することで、学生が主体的に学び、積極的に参加できる講座運営を基本方針とする。この方針に基づき、学生のより能動的な受講態度形成を狙い、社会からの注目度が高く、受講者にとって関心の高いテーマ(2020 TOKYO)を主軸に講義を展開し現場で活躍できる素地を作る。

内容

| 1 | スポーツ基本計画法とTOKY02020(東京五輪)の関係性のイントロダクション |
|----|--|
| 2 | オリンピック・パラリンピックのレガシー。国民ひとりひとりのレガシーの共創について。 |
| 3 | プロ野球観戦行動とスポーツツーリズム。ホーム・ビジターゲームでの観戦行動の実態。 |
| 4 | パラリンピックス競技の紹介。2020パラリン以降のレガシー。 |
| 5 | 雑誌NUMBERなどのジャーナリズムの講師を招聘し、2020東京にフォーカス。 |
| 6 | 元なでしこ。ロンドン 銀メダル。女子ワールドカップ ドイツ大会 優勝。矢野喬子氏の講義 |
| 7 | 地域発コミュニティスポーツとしてのパークゴルフの成り立ちと発展。これからの課題・展望。 |
| 8 | ハワイ ホノルルマラソンとツーリズム、ボランティアについて。 |
| 9 | 日本オリンピック委員会 江村宏二氏。フェンシング競技「奇跡は準備されている」 |
| 10 | 特別講師;オリンピアン選手の特別講演 (水泳、バレーボール、OWSから企画中) |
| 11 | 近年注目されている、スポーツボランティアの活動領域について。 |
| 12 | ランナーの晴れの舞台であるマラソン大会の運営を「三浦マラソン」の事例を紹介し考察。 |
| 13 | 朝日新聞「2020T0KY0は何を残すのか?-1964年東京五輪などの歴史を踏まえて-」 |
| 14 | ファイターズと札幌市・ニセコ町事例。テレビ「ガイアの夜明け」より |
| 15 | 十文字学園構想。清瀬市長 渋谷金太郎氏を招聘し、十文字と地域連携ビジョンを語る |

評価

授業内の出席点の評価を80点、授業ないで行う課題や簡単な小テストの得点を20点に換算し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】平素よりスポーツに関する報道や動向に興味を示しておく

【事後学修】2020東京オリパラでボランティアはじめスポーツビジネスに関われるように展開

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】特になし

【推薦書】授業の中で紹介する

【参考図書】授業の中で紹介する

 科目名
 総合科目(フジテレビ)

 担当教員名
 川瀬 基寛、加藤 亮介

 ナンバリング
 KKA104

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-総合科目

 学年1
 クラス

 開講期後期
 必修・選択の別選択,選必

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目(選択科目):総合科目(フジテレビ)"フジテレビ主催 テレビニュース(めざましテレビ)を作ってみよう!

科目の概要

フジテレビ現役プロデューサーの指導の下、学生に実際にテレビニュース番組制作を体験する。

制作に当たっては、大学でメデイアの特性等の講義を受けるとともに、実際のニュースの取材・撮影などの手法を実習する。その後、フジテレビの湾岸スタジオへ出向き"めざましテレビ"のニュース番組の制作という視点で、大学で作り上げたものを基に番組制作を手掛ける。なお、制作は学生5人一組、8チームに分かれて行う。(受講生定員:40名:受講希望者多数の場合は選抜とする)

学修目標(=到達目標)

ニュース番組の制作を通して、テレビニュースの特性、限界、可能性、課題等を知り、メディアを見る目を養う。そして、 視聴者でなく制作者の視点からメディア・リテラシーを理解習得する。

内容

フジテレビ森山俊輔プロデューサーおよび制作会社ディレクターが講義および取材・ニュースVTR撮影指導を行う。VTR編集作業は同社現場スタッフが行い、フジテレビの湾岸スタジオでVTRを使った番組制作を指導する。なお、VTRの取材・撮影は講義時間外に受講生がチーム単位で実施する。

また、第12~13回は同日連続開催となり、昼に大学からバスで移動して現地で番組制作を行う。そのため当日3限の授業は出席できなくなる。ニュースのテーマは「新座」に関わるものとする。

| 1 | ガイダンス、メデイアリテラシー概論 "テレビにだまされるな" |
|----|--|
| 2 | テレビニュース・新聞・インターネット比較(それぞれの特徴分析) |
| 3 | 実践!ニュース番組の制作を学ぶ(5人チームに分かれる、何がニュースかを徹底分析) |
| 4 | ニュース構成案を考える(リサーチに基づいて取材先の候補選定、仮原稿を作成) |
| 5 | 取材プランや演出プランを考える(取材プランに基づいてアポ取り、ロケの役割を決定) |
| 6 | ロケの準備(カメラの基本操作を学ぶ、小道具の準備・制作をする) |
| 7 | 実践!ロケ取材(1)(実際のロケは各チームごとに別日程で行う、授業では進捗報告) |
| 8 | 実践!ロケ取材(2)(実際のロケは各チームごとに別日程で行う、授業では進捗報告) |
| 9 | 実践!VTRを制作(素材プレビューとキャプション作成、編集プランを考える) |
| 10 | ナレーション、スーパー、スタジオ展開を考える(VTR編集はフジテレビ側が実施) |
| 11 | 各チームのVTRを比較する(VTRを全員でプレビューして違いについて議論する) |
| 12 | 実践!スタジオでテレビニュースを制作し疑似生放送する(1)(フジテレビ湾岸スタジオ) |
| 13 | 実践!スタジオでテレビニュースを制作し疑似生放送する(2)(フジテレビ湾岸スタジオ) |
| | |

- 14 │ 制作されたテレビニュースについて改めて総合的議論、大学ホームページへの掲載を検討
- 15 まとめ

評価

全講義への出席を原則とする。評価は各回の出席、制作物の評価、チームへの個々の貢献度、第15回に提出する小レポートの結果を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】適宜授業中に指示する。

【事後学修】適宜授業中に指示する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】適宜授業中に指示する。

【推薦書】適宜授業中に指示する。

【参考図書】適宜授業中に指示する。

 科目名
 総合科目(埼玉の社会福祉実践)

 担当教員名
 栗原 直樹

 ナンバリング
 KKA104

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-総合科目

 学 年 1
 クラス

 開講期後期
 必修・選択の別選択,選必

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

「生きづらい世の中を支える一埼玉の社会福祉実践」を専門職であるソーシャルワーカーから実際の現場の状況の話を聞き社会福祉への視野を広める。

科目の概要

公益社団法人埼玉県社会福祉士会の各専門委員会代表からの講義を聞き、ディスカッションなどを行い内容を深める。

学修目標(=到達目標)

貧困、障害等の福祉に係る用語や制度について、社会的、歴史的、経済的な広く複雑な背景があることについての視点を 学ぶこと。

| 内容 | |
|----|---------------------------------|
| 1 | 生きづらい世の中;社会的排除を考える |
| 2 | 新たな課題 ; 生活困窮者支援とは |
| 3 | 新たな課題 ; 住宅、就労、ホームレスに係るソーシャルワーク |
| 4 | 高齢化社会の課題 ;ケアマネージャー、地域包括支援センター |
| 5 | 高齢化社会の課題 ; 成年後見制度とは |
| 6 | 高齢化社会の課題 ; 高齢者虐待の実態と予防 |
| 7 | 障害者の自立 ; 相談支援、生活支援、成年後見の実際 |
| 8 | 障害者の自立 ; 発達障害、障害者虐待、就労支援の実際 |
| 9 | 多文化共生;多文化理解と支援の実際 |
| 10 | 災害支援;被災者支援の実際 |
| 11 | 女性支援;ひとり親家庭の状況、DV |
| 12 | 子ども家庭支援 ;子どもの貧困、スクールソーシャルワーカーとは |
| 13 | 子ども家庭支援 ;子ども虐待の実際と予防 |
| 14 | 子ども家庭支援 ; 社会的養護、児童福祉施設と里親 |
| 15 | 専門職の倫理、まとめ |

評価

授業への参加状況を40%、まとめ報告を60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業ごとに指示する。

【事後学修】資料を再読してまとめに備える。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】資料提供する。

【推薦書】

【参考図書】社会福祉六法、社会福祉の動向(中央法規)

 科目名
 総合科目(野村証券)

 担当教員名
 込江 雅彦

 ナンバリング
 KKA104

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-総合科目

 学 年 1
 クラス

 開講期後期
 必修・選択の別

 授業形態
 単位数

 資格関係保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は野村証券の冠講座であり、共通科目の総合科目として解説されるものである。

科目の概要

「資本市場と証券投資の基礎」として経済学の基礎から資本市場の全容、そして株式投資・債券投資、グローバル証券投資・分散投資の方法やリスクとリターンの考え方などを実務の観点から解説します。

学修目標

経済の基本からスタートして、投資についての基本的な考え方を理解する。

野村証券より玉井常裕特命教授をお招きし授業を実施する

| 内容 | |
|----|----------------|
| 1 | ガイダンス |
| 2 | 経済事情事始め |
| 3 | 外国為替のいろは |
| 4 | リスク&リターン |
| 5 | ポートフォリオの考え方 |
| 6 | 債券入門 |
| 7 | 株式入門 |
| 8 | 投資信託入門 |
| 9 | 投資家心理を学ぶ |
| 10 | 資産運用とライフプランニング |
| 11 | 日本株の歴史 |
| 12 | 金融の仕組み |
| 13 | 財政の仕組み |
| 14 | 金融市場のゆくえ |
| 15 | まとめ |

評価

中間試験(30%)、最終試験(70%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】経済ニュースを読む。

【事後学修】授業で扱うプリントを用いて、自分で調べる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示する。

科目名 総合科目(異文化間交流と通訳入門) 担当教員名 仇 晓芸 ナンバリング KKA104 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-総合科目 学 年 1 クラス 開講期後期 必修・選択の別 選必,選択 授業形態 単位数 資格関係 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は異文化と外国語に親しんでもらうための授業である。異文化とコミュニケーションに対する認識を深め、通訳とはどんな仕事であるかを紹介し、通訳体験を通して異なる文化間の人々とコミュニケーションを図るための基礎知識と能力を養う。

科目の概要

「文化」と「言語」の視点からテーマを取り上げ、担当教員の他に学内外の講師を招き、異文化接触及び通訳に関する様々なトピックを取り上げる。受講者が主体的に考え、自分の意見を持ち、課題への取組みを通して異文化・外国語への理解を深める。

学修目標(=到達目標)

- ・「母語」と「外国語」、「自文化」と「異文化」に関する理解を深める。
- ・ 通訳という仕事に関する基礎的な知識を得る。
- ・ 異文化接触や通訳の体験をすることにより、異文化理解を深める。

内容

「文化」と「言語」の視点から異文化間交流に関するテーマを学ぶ。また、異文化の橋渡しである通訳に関する基礎知識 に触れ、学ぶ。担当教員の他、異文化体験が豊かな講師を招き、生の「異文化接触」の話や「通訳」に関する話を聞く。更 に、実践練習を通じて通訳体験をする。

主に以下のテーマを取り上げる。

- ・(9/18)ガイダンス
- ・(9/25)「私から見た日本 日本語と日本文化について」
- ・(10/2) DVD『ダーリンは外国人』
- ・(10/9) DVD『ダーリンは外国人』
- ・(10/16)通訳・翻訳とは
- ・(10/30)通訳の実践練習・言葉の勉強法・「皆さんのニーズ」
- ・(11/6)「私の中国での生活」
- ・(11/13)「私からみた中国」(中国文化、中国語)
- ・(11/20)通訳の実践練習・言葉の勉強法・「皆さんのニーズ」
- ・(11/27)英語の特徴、英語文化圏、英語学習法など
- ・(12/4)通訳の実践練習・言葉の勉強法・「皆さんのニーズ」
- ・(12/11)「中国との交流35年を振り返って」
- ・ (12/18) 英語通訳者の視点から
- ・(1/8)「バレーボールの通訳現場から」

・(1/22)まとめ

詳細はガイダンスの時に説明する。

評価

授業への参加態度、取組み度、感想文などで総合的に判断する。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】興味を持った内容や疑問に思うことを調べる。

【事後学修】講義や体験で得た知見をさらに深化させるため、調べ学習をする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】『異文化理解とコミュニケーション1 ことばと文化』(本名信行ら編著)三修社 1994年

 科目名
 総合科目(ヒューマン・ライツ)

 担当教員名
 加藤順弘、小林直美、亀田温子

 ナンバリング KKA104
 KKA104

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-総合科目

 学 年 1
 クラス

 開講期後期
 必修・選択の別選必,選択

 授業形態
 単位数

 資格関係保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

十文字学「総合」の選択科目 ヒューマン・ライツを学ぶ? ネイルアートで社会問題にチャレンジしよう?

科目の概要

女性にまつわるヒューマン・ライツについて各専門家によるリレー形式の講義で学ぶ。さらに、ネイルアートの施術をプロのネイリストから、企画・商品開発・施術料の設定をビジネスコンサルタントから学び、実際に新座市でネイルアート施術による社会貢献活動を行う。売り上げは学生が選んだ人権活動団体(UNwomen等)に寄付する。なお、ネイルアートの施術と企画・経営は、学生5人1組、6チームに分かれて行う。 (受講生定員:30名:受講希望者多数の場合は、選抜とする。)

学修目標(=到達目標)

講義やワークショップによってヒューマン・ライツについて知識と理解を深める。また、社会問題を解決するソーシャル・ビジネスの観点からネイルアートの技術・企画・経営について学び新座市のイベント等に学生がネイルサロンで出店するプロジェクト学習である。これにより問題解決に向けた企画・実行力を養う。

内容

ヒューマン・ライツの専門家が、次の日程で大学での講義・ワークショップを担当する。新座市等のイベント参加に向けてネイルアートとハンドマッサージの実地指導は、難民の就労支援を行っているネイルサロンが担当し、学生は技術を習得することができる。ソーシャル・ビジネスについてはビジネスコンサルタントが指導する。ネイルアートの個人練習、企画・商品開発等の出店準備は講義時間外に学生がチーム単位で実施する。又、第13回は、土日いずれか1日の開催で、通常授業日を振替える。

| 1 | はじめに「ヒューマン・ライツで社会問題を解決できるのか」 |
|----|--|
| 2 | 逃げる 「難民の人権ネイルとハンドマッサージを学ぶ」ネイルサロン・アルーシャ |
| 3 | 起業する「社会を変えるソーシャル・ビジネス」 本学 藤本正徳 教授 |
| 4 | 逃げる 「難民の人権ネイルとハンドマッサージを学ぶ」ネイルサロン・アルーシャ |
| 5 | 恋する「恋愛の中の暴力 デートDV」NPO法人レジリエンス西山さつき |
| 6 | 働く 「夢を実現するために 女性とキャリア」本学 亀田温子 教授 |
| 7 | 老いる「地域で老いる、共に生きる」NPO法人暮らしねっと・えん小島美里 |
| 8 | 貧しい「シングルマザーと女性の貧困」外部講師(予定) |
| 9 | 話す 「ヘイト・スピーチとレイシズム 誰が誰を傷つけるのか?」外部講師(予定) |
| 10 | 育てる「福島からの避難母子5年の歩みとこれから」NPO法人こどもプロジェクト福田恵美 |
| 11 | 生きる「基本的人権としてのセクシュアル・ライツ」本学 片居木英人 教授 |
| 12 | 学ぶ 「ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか。 ノーベル平和賞マララさんの例」石井光太 |
| 13 | 行動する 「ネイルアートで社会貢献」 |

| 14 | 行動する | 「わたしの行動で社会を変える」 | |
|----|------|-----------------|--|
|----|------|-----------------|--|

15 まとめ

評価

評価は各回の成長と感想の記録(ポートフォリオ)、イベントでネイルの施術、チームへの個々の貢献度、第15回に提出 する小レポートの結果を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】適宜授業中に指示する。

【事後学修】ネイルアートとハンドマッサージの練習、企画・商品開発等の出店準備をする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】適宜授業中に指示する。

【推薦書】適宜授業中に指示する。

【参考図書】適宜授業中に指示する。

| 科目名 | 英語 |
|--------|---|
| 担当教員名 | 佐藤 里野 |
| ナンバリング | KKc124 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-英語 ・ |
| 学 年 | ク ラ ス |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種 免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健) /中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健 体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目である。したがって、英語力の 基礎を徹底的に演習し、運用の基礎をつくることである。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、聞く・読むから、話す・書くへの発展へとつなげる。

学修目標(=到達目標)

そのため、前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための認知能力の効率的な修得を目指す。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにする。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」の運用能力を育成するものである。

内容

指定テキストに沿って、以下のスケジュールで授業を進める。

前期(第1~15週) 後期(第16~30週)

前期はunit1?6、1回目は導入、2?13回目(2回の授業で1 Unitのペース)14回目復習(1)、15回目復習(2)の進度でお願いします。

後期はunit7?12、1回目導入(前期の総括)、2?13回目(2回の授業で1 Unit)14回目復習(1)、15回目復習(2)となります

前期は主に「聞く、読む」の受容能力を中心に、後期は「話す、書く」の運用能力の養成を中心に行う。

このクラスでは、各unitのA,B,C,を中心に行う。

評価

以下の割合で点数化し、60パーセント以上を合格とします。

- (1) 前期・後期試験:60パーセント
- (2) 平常点: 40 パーセント (単語テスト[毎週]、小テスト、予習、課題提出)

授業外学習

【事前準備】指定されたテキストの範囲の英単語・表現を調べ、覚える。

【事後学修】授業でわからなかった部分、疑問点などを辞書・文法書を使って復習する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 Jack C. Richards他著 Four Corners (Cambridge大学出版)

*全コース・全レベルの共通テキストです。

| 科目名 | 英語 |
|--------|--|
| 担当教員名 | |
| ナンバリング | KKc124 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-英語· |
| 学 年 | ク ラ ス 01 |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/南等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す通年科目である。

科目の概要

前期は「聞く・読む」を重視し、後期は「話す・書く」を強化して、これら4技能の総合的な養成によって、社会に出ても 通用する英語力の育成を目標としている。

学修目標(=到達目標)

「ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)」のA2「ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など 、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄に ついて、単純で直接的な情報交換に応じることができる(プリティッシュカウンシル訳)」レベルの完成を目標とする。

今年度のJAクラスは、メディアコミュニケーション学科の初・中級である。再履修者は1年次の級のクラスに履修登録すること。

内容

各ユニットを2回の授業ですすめる。

| 1 | 導入(前期)Unit 7 Shopping 表現と文法(後期) |
|----|---|
| 2 | Unit 1 My Interests 表現と文法 Unit 7 比較級、enoughとtooの使い方 |
| 3 | Unit 1 単純現在Unit 8 Fun in the City 表現と文法 |
| 4 | Unit 2 Descriptions 表現と文法 Unit 8 助動詞、最上級の形容詞 |
| 5 | Unit 2 形容詞の語順 Unit 9 People |
| 6 | Unit 3 Rain or Shine 表現と文法 Unit 9 単純過去 |
| 7 | Unit 3 副詞とwould like to~等Unit 10 In a Restaurant |
| 8 | Unit 4 Life at Home 表現と文法Unit 10 冠詞、現在完了 |
| 9 | Unit 4 句動詞の語順Unit 11 Entertainment |
| 10 | Unit 5 Health 表現と文法Unit 11 限定詞 |
| 11 | Unit 5 命令とHowの疑問文Unit 12 Time for a Change |
| 12 | Unit 6 What's on TV? 表現と文法Unit 12 不定詞、助動詞 |
| 13 | Unit 6 不定詞、動名詞、現在進行形Units 712復習 |
| 14 | Units 16 復習Units 112復習 |
| 15 | まとめ |

評価

まとめの成果を60%、授業への積極的参加を20%、課題提出物評価点を20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業で新しいUnitに入る前にA(単語と文法),B(コミュニケーション機能),C(文法)すべてを予習して臨むこと。Dについては授業で指示する。毎週1時間程度。

【事後学修】教科書付属CD-ROMを使って、言語運用力の定着を図っていただきたい。時間があれば、映画等で英語に触れ続けることをお勧めする。毎週30分程度。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Jack Richards & David Bohlke, _Four Corners 2_, Cambridege University Press.

【推薦書】授業で適宜指示する。

科目名英語担当教員名島田 美織ナンバリングKKc124学科人間生活学部(K)-共通科目-英語・

 学
 年
 1

 クラス
 JBクラス

開講期 通年 必修・選択の別 選必,必修*

授業形態 単位数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す。とりわけ「聞く・話す、読む・書く」の4技能の 総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。前期ではおもに英語の「聞く・読む 」ための習得を目指し、後期ではおもに「話す・書く」の運用能力を育成する。

内容

1回 前期コース紹介、自己紹介アクティビティー等

2,3回 Unit 1 My interests

4,5回 Unit 2 Descriptions

6,7回 Unit 3 Rain or shine

8,9回 Unit 4 Life at home

10,11回 Unit 5 Health

12,13回Unit 6 What'on TV?

14回 復習(1)

15回 復習(2)

16回 後期コース紹介

17,18回 Unit 7 Shopping

19,20回 Unit 8 Fun in the city

21,22回 "Unit 9 People

23,23回 Unit 10 In a restaurant

24,25回 Unit 11 Entertainment

26,27回 Unit 12 Time for a change

28回 復習(1)

29回 復習 (2)

30回 Unit 1~Unit 12まとめ

評価

学期末テスト・小テスト65%、授業への参加度・態度・発言の質20%、課題15%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】CD-ROM等による自主学習、テキストの予習

【事後学修】テキストの読み返し、課題プリント他

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Jack Richards & David Bohlke, Four Corners, Cambridge

【推薦書】

英語 目 名 担当教員名 榊原 理枝子 ナンバリング KKc124 科 人間生活学部(K)-共通科目-英語 年 クラス FAクラス 開講期 通年 必修・選択の別 必修*,選必 授業形態 位 / 中学校教諭一種免許状 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)この科目は共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は英語口を選択します。

(科目の概要)「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、「読む、聞く」力を「書く、話す」力に有機的に発展させることを目指し、卒業後、社会に出ても通用する英語力の育成を目標とします。

(学修目標)前期では主として「聞く、読む」能力の効率的な修得を目指し、文法、語彙等の総復習と確認を行います。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」能力の育成を目指します。

内容

(授業の進め方や方針)

(1)学生に発言してもらいながら授業を進めます。(どんな基本的なことでも臆せず質問してください。)そのうえで、学生の理解度、関心などにより以下の授業進行予定を変更することがあります。ただし、前期にUnit1~6、後期にUnit7~12を学習するというのは変わりません。(2)病気による出停など、正当な欠席の場合は証明を提出して下さい。(3)出席回数不足などで単位取得が危うくなってから、学年末に課題等でなんとかして、といったことはいけません。何よりも本人のためになりません。(4)ポータルで授業に関する連絡をすることがあります。(5)詳細は初回にプリントを配付します。

(授業計画)

前期 主として「読む、聞く」能力を高めることを目指します。

(1)オリエンテーション(2)Unit 1導入(3)Unit 1応用(4)Unit 2導入(5)Unit 2応

用(6)Unit 3導入(7)Unit 3応用(8)Unit 4導入(9)Unit 4応用(10)Unit5導入(11)Unit 5 応用(12)Unit 6導入(13)Unot 6応用(14)(15)前期総復習・質疑応答・まとめ

後期 主として「書く、話す」能力を高めることを目指します。

- (1)オリエンテーション(2)Unit 7導入(3)Unit 7応用(4)Unit 8導入(5)Unit8応用
- (6)Unit9導入(7)Unit9応用(8)Unit10導入(9)Unit 10応用(10)Unit 11導入(11)Unit 11応用(12)Unt 12導入(13)Unit12応用(14)(15)後期総復習・質疑応答・まとめ

評価

(1)2/3以上の授業参加が必要。(2)授業中のアクティヴィティ等の授業参加、事前・事後学修、小テストなどの平常点を40%、定期試験(中間試験を含む)を60%とし、総合評価60点以上が合格。(3)合格点に満たない場合は再試験。(4)中間、定期欠席の際は証明が必要。(5)中間、定期試験欠席の際は、授業開始時刻までに指定したアドレスへのメールがないと単位取得は不可能。

授業外学習

(事前予習)宿題として指定した箇所(リスニング、読解、語彙、文法などに関する練習問題など)をやってきてもらいます。毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)(事後学修)授業で学習した箇所の復習(授業で学習した箇所を音声を聞いて自分で発音する。授業で出てきた語句を辞書で再確認し、覚える。その他、宿題として課すものをやる。)毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書) 共通指定テキスト・Richard, Bohlke, Four Corners 2, Cambridg

e University Press その他、プリント配布。(辞書)辞書はお持ちの物を初回から持って来てください。スマホ等による代用はいけません。(授業に集中してもらうため、授業中はスマホ等はしまってもらいます。)辞書を購入予定の場合、初回以降に購入でも構いません。失敗を防ぐためです。(推薦書)授業で適宜紹介します。

 科目名
 英語

 担当教員名
 津田 久美子

 ナンバリング
 KKc124

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-英語・

 学年1
 クラス FBクラス

 開講期通年
 必修・選択の別選必,必修*

 授業形態
 単位数2

 保育土資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

資格関係

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目です。英語力の基礎を徹底的に 演習し、運用の基礎を養います。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、卒業後、社会に出ても通用する英語力の育成を目標とします。 この4技能を有機的に結びつけながら、「聞く・読む」力から「話す・書く」力への発展を目指します。

学修目標(=到達目標)

前期では主に英語の「聞く・読む」能力の効率的な修得を目指し、重要な文法事項や語彙等の総復習を行います。後期では 前期で修得した内容や力を基に、「話す・書く」能力の育成を目指します。

内容

指定されたテキストにしたがって、下記スケジュールで授業を進めていきます。

《前期》

オリエンテーション Unit 1: My interests (A)(B) Unit 1: My interests (C)(D) Unit 2: Descriptions (A)(B) Unit 2: Descriptions (C)(D) Unit 3: Rain or shine (A)(B) Unit 3: Rain or shine (C)(D) Unit 4: Life at home (A)(B) Unit 4: Life at home (C)(D) Unit 5: Health (A)(B) Unit 5: Health (C)(D) Unit 6: What's on TV? (A)(B) Unit 6: What's on TV? (C)(D) 復習(1) 復習(2)、まとめ

《後期》

オリエンテーション Unit 7: Shopping (A)(B) Unit 7: Shoppin g (C)(D) Unit 8: Fun in the city (A)(B) Unit 8: Fun in the city (C)(D) Unit 9: People (A)(B) Unit 9: People (C)(D) Unit 10: In a restaurant (A)(B) Unit 1

O: In a restaurant (C)(D) Unit 11: Entertainment (A)(B) Unit 11: Entertainment (A)(B) Unit 11: Entertainment (C)(D) Unit 12: Time for a change (A)(B) Unit 12: Time for a change (C)(D) 復習(1) 復習(2)、まとめ

評価

予習および授業への参加態度、授業内活動や小テストの成果を平常点として40%、定期試験を60%とし、総合評価60 点以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

授業外学習

【事前準備】授業内で指示された箇所を予習してくること。

【事後学修】授業内で指示された箇所を復習してくること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Jack C. Richards & David Bohlke, Four Corners 2, Cambridge University Press (全コース・全レベルの共通テキストです)

 科目名
 英語

 担当教員名
 榊原 理枝子

 ナンバリング
 KKc124

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-英語・

 学 年 1
 クラス BAクラス

 開講期 通年
 必修・選択の別 選必,必修*

 授業 形態
 単 位 数 2

 保育士資格/高等学校教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/次養教諭一種免許状/次養教諭一種免許状/次養教諭一種免許状/次養教諭一種免許状/保健)/中学校教諭一種免許状/保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/电影子校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許太母和一種免許太母和一種免許太母和一種別

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)(1)この科目は共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は英語口を選択します。(2)英語教職課程履修者は外国語科目のうち、この科目(英語)を必ず履修してください。

(科目の概要)「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、「読む、聞く」力を「書く、話す」力に有機的に発展させることを目指し、卒業後、社会に出ても通用する英語力の育成を目標とします。

(学修目標)前期では主として「聞く、読む」能力の効率的な修得を目指し、文法、語彙等の総復習と確認を行います。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」能力の育成を目指します。

内容

(授業の進め方や方針)

(1)学生に発言してもらいながら授業を進めます。(どんな基本的なことでも臆せず質問してください。)そのうえで、学生の理解度、関心などにより以下の授業進行予定を変更することがあります。ただし、前期にUnit1~6、後期にUnit7~12を学習するというのは変わりません。(2)病気による出停など、正当な欠席の場合は証明を提出して下さい。(3)出席回数不足などで単位取得が危うくなってから、学年末に課題等でなんとかして、といったことはいけません。何よりも本人のためになりません。(4)ポータルで授業に関する連絡をすることがあります。(5)詳細は初回にプリントを配付します。

(授業計画)

前期 主として「読む、聞く」能力を高めることを目指します。

(1)オリエンテーション(2)Unit 1導入(3)Unit 1応用(4)Unit 2導入(5)Unit 2応

用(6)Unit 3導入(7)Unit 3応用(8)Unit 4導入(9)Unit 4応用(10)Unit5導入(11)Unit 5 応用(12)Unit 6導入(13)Unot 6応用(14)(15)前期総復習・質疑応答・まとめ

後期 主として「書く、話す」能力を高めることを目指します。

- (1)オリエンテーション(2)Unit 7導入(3)Unit 7応用(4)Unit 8導入(5)Unit8応用
- (6)Unit9導入(7)Unit9応用(8)Unit10導入(9)Unit 10応用(10)Unit 11導入(11)Unit 11応用(12)Unt 12導入(13)Unit12応用(14)(15)後期総復習・質疑応答・まとめ

評価

(1)2/3以上の授業参加が必要。(2)授業中のアクティヴィティ等の授業参加、事前・事後学修、小テストなどの平常点を40%、定期試験(中間試験を含む)を60%とし、総合評価60点以上が合格。(3)合格点に満たない場合は再試験。(4)中間、定期欠席の際は証明が必要。(5)中間、定期試験欠席の際は、授業開始時刻までに指定したアドレス

へのメールがないと単位取得は不可能。

授業外学習

(事前予習)宿題として指定した箇所(リスニング、読解、語彙、文法などに関する練習問題など)をやってきてもらいます。毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)(事後学修)授業で学習した箇所の復習(授業で学習した箇所を音声を聞いて自分で発音する。授業で出てきた語句を辞書で再確認し、覚える。その他、宿題として課すものをやる。)毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書) 共通指定テキスト・Richard, Bohlke, Four Corners 2, Cambridg

e University Press その他、プリント配布。(辞書)辞書はお持ちの物を初回から持って来てください。スマホ等による代用はいけません。(授業に集中してもらうため、授業中はスマホ等はしまってもらいます。)辞書を購入予定の場合、初回以降に購入でも構いません。失敗を防ぐためです。(推薦書)授業で適宜紹介します。

 科目名
 英語

 担当教員名
 津田 久美子

 ナンバリング
 KKc124

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-英語・

 学年1
 クラス

 開講期
 通年

 必修・選択の別
 選必,必修*

 授業形態
 単位数

 保育主資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/知

学修目標)

科目の概要

科目の性格

ねらい(科目の性格

資格関係

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目です。英語力の基礎を徹底的に 演習し、運用の基礎を養います。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、卒業後、社会に出ても通用する英語力の育成を目標とします。 この4技能を有機的に結びつけながら、「聞く・読む」力から「話す・書く」力への発展を目指します。

学修目標(=到達目標)

前期では主に英語の「聞く・読む」能力の効率的な修得を目指し、重要な文法事項や語彙等の総復習を行います。後期では 前期で修得した内容や力を基に、「話す・書く」能力の育成を目指します。

内容

指定されたテキストにしたがって、下記スケジュールで授業を進めていきます。

《前期》

オリエンテーション Unit 1: My interests (A)(B) Unit 1: My interests (C)(D) Unit 2: Descriptions (A)(B) Unit 2: Descriptions (C)(D) Unit 3: Rain or shine (A)(B) Unit 3: Rain or shine (C)(D) Unit 4: Life at home (A)(B) Unit 4: Life at home (C)(D) Unit 5: Health (A)(B) Unit 5: Health (C)(D) Unit 6: What's on TV? (A)(B) Unit 6: What's on TV? (C)(D) 復習(1) 復習(2)、まとめ

《後期》

オリエンテーション Unit 7: Shopping (A)(B) Unit 7: Shoppin g (C)(D) Unit 8: Fun in the city (A)(B) Unit 8: Fun in the city (C)(D) Unit 9: People (A)(B) Unit 9: People (C)(D) Unit 10: In a restaurant (A)(B) Unit 10: In a restaurant (C)(D) Unit 11: Entertainment (A)(B) Unit 11: Entertainment (C)(D) Unit 12: Time for a change (A)(B) Unit 12: Time for a change (C)(D) 復習(1) 復習(2)、まとめ

予習および授業への参加態度、授業内活動や小テストの成果を平常点として40%、定期試験を60%とし、総合評価60 点以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

授業外学習

【事前準備】授業内で指示された箇所を予習してくること。

【事後学修】授業内で指示された箇所を復習してくること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Jack C. Richards & David Bohlke, Four Corners 2, Cambridge University Press (全コース・全レベルの共通テキストです)

英語 目 名 担当教員名 島田美織 ナンバリング KKc124 科 人間生活学部(K)-共通科目-英語

ク ラ ス GAクラス 年 1

開講期 通年 必修・選択の別 選必,必修*

授業形態 位

/ 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭 資格関係

体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す。とりわけ「聞く・話す、読む・書く」の4技能の 総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。前期ではおもに英語の「聞く・読む 」ための習得を目指し、後期ではおもに「話す・書く」の運用能力を育成する。

内容

1回 前期コース紹介、自己紹介アクティビティー等

2,3回 Unit 1 My interests

4,5回 Unit 2 Descriptions

6,7回 Unit 3 Rain or shine

8.9 Unit 4 Life at home

10,11回 Unit 5 Health

12,13回Unit 6 What'on TV?

14回 復習(1)

15回 復習(2)

16回 後期コース紹介

17,18回 Unit 7 Shopping

19,20回 Unit 8 Fun in the city

21,22回 "Unit 9 People

23,23回 Unit 10 In a restaurant

24,25回 Unit 11 Entertainment

26,27回 Unit 12 Time for a change

28回 復習(1)

29回 復習 (2)

30回 Unit 1~Unit 12まとめ

評価

学期末テスト・小テスト65%、授業への参加度・態度・発言の質20%、課題15%とし、総合評価60点以上を合格と する。

授業外学習

【事前準備】CD-ROM等による自主学習、テキストの予習

【事後学修】テキストの読み返し、課題プリント他

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Jack Richards & David Bohlke, Four Corners, Cambridge

【推薦書】

英語 科目名 担当教員名 設楽 優子 KKc124 ナンバリング 科 人間生活学部(K)-共通科目-英語 年 ク ラ ス GBクラス 開講期 通年 必修・選択の別 必修*,選必 授業形態 位 ば日上見位/同寺子仪教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教 免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(伐 /中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す通年科目である。

科目の概要

前期は「聞く・読む」を重視し、後期は「話す・書く」を強化して、これら4技能の総合的な養成によって、社会に出ても 通用する英語力の育成を目標としている。

学修目標(=到達目標)

「ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR) 」のA2「ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など 、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄に ついて、単純で直接的な情報交換に応じることができる(プリティッシュカウンシル訳)」レベルの完成を目標とする。

今年度のGBクラスは、文芸文化学科の初・中級である。

内容

各ユニットを2回の授業ですすめる。

| 導入(前期)Unit 7 Shopping 表現と文法(後期) |
|---|
| Unit 1 My Interests 表現と文法 Unit 7 比較級、enoughとtooの使い方 |
| Unit 1 単純現在Unit 8 Fun in the City 表現と文法 |
| Unit 2 Descriptions 表現と文法 Unit 8 助動詞、最上級の形容詞 |
| Unit 2 形容詞の語順Unit 9 People |
| Unit 3 Rain or Shine 表現と文法 Unit 9 単純過去 |
| Unit 3 副詞とwould like to~等Unit 10 In a Restaurant |
| Unit 4 Life at Home 表現と文法Unit 10 冠詞、現在完了 |
| Unit 4 句動詞の語順Unit 11 Entertainment |
| Unit 5 Health 表現と文法Unit 11 限定詞 |
| Unit 5 命令とHowの疑問文Unit 12 Time for a Change |
| Unit 6 What's on TV? 表現と文法Unit 12 不定詞、助動詞 |
| Unit 6 不定詞、動名詞、現在進行形Units 712復習 |
| Units 16 復習Units 112復習 |
| まとめ |
| |

まとめの成果を60%、授業への積極的参加を20%、課題提出物評価点を20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業で新しいUnitに入る前にA(単語と文法),B(コミュニケーション機能),C(文法)すべてを予習して臨むこと。Dについては授業で指示する。毎週1時間程度。

【事後学修】教科書付属CD-ROMを使って、言語運用力の定着を図っていただきたい。時間があれば、映画等で英語に触れ続けることをお勧めする。毎週30分程度。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Jack Richards & David Bohlke, _Four Corners 2_, Cambridege University Press.

【推薦書】授業で適宜指示する。

英語 科目名 担当教員名 柿元 資子 KKc124 ナンバリング 科 人間生活学部(K)-共通科目-英語 年 ク ラ ス HAクラス 開講期 通年 必修・選択の別 選必,必修* 授業形態 /中学校教諭一種免許状 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目。 したがって、英語力の基礎を徹底的に演習し、運用の基礎をつくる。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、「聞く・読む」から「話す・書く」へと発展させる。

学修目標(=到達目標)

前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための認知能力の効率的な習得を目指す。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的 に学習できるようにする。

後期では前期で習得した内容や力を基に「話す、書く」の運用能力を育成する。

内容

前期

1週目 導入

2~3週目 Unit1 My interest 4~5週目 Unit2 Descriptions 6~7週目 Unit3 Rain or shine 8~9週目 Unit4 Life at home

10~11週目 Unit5 Health

12~13週目 Unit6 What's on TV?

14~15週目 復習

後期

1週目 導入(前期の総括)

2~3週目 Unit7 Shopping

4~5週目 Unit8 Fun in the city

6~7週目 Unit9 People

8~9週目 Unit10 In a restaurant

- 10~11週目 Unit11 Entertainment
- 12~13週目 Unit12 Time for a change
- 14~15週目 復習

評価

試験80%、授業貢献度20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】該当Unitの単語調べ

【事後学修】該当Unitを再読する

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Four Corners (Jack C. Richards · David Bohlke 著) CAMBRIDGE

【推薦書】

科目名英語

担当教員名 宮崎 順子

ナンバリング KKc124

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-英語 ·

学 年 1 HBクラス

開 講 期 通年 必修・選択の別 選必,必修*

授業形態 単位数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目です。英語力の基礎を徹底的に 演習し、運用の基礎をつくるものです。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としています。この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、聞く・読むから、話す・書くへの発展へとつなげます

学修目標(=到達目標)

前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための認知能力の修得を目指します。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにします。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」の運用能力を育成します。

内容

講義計画:前期は英語を「聞く・読む」力を養成することに重点を置き、後期は英語を「話す・書く」力を養成することに 重点を置きます。以下のような文法事項も確認していきます。

教科書の各ユニットを2回の授業で修了します。語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから隔週で単語の小テストを行います。

英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の 意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

内容

前期 第1週 オリエンテーション (クラスの進め方)

第2/3週 Present of be / Reading: What's your hobby?

第4/5週 Adjectives / Reading: Online Profiles

第6/7週 Adverbs / Reading: Canada Through the Season

第8/9週 Phrasal Verbs / Reading: Unusual Houses from Around the World

第10/11週 Imperatives / Reading: Feeling stressed

第12/13週 Verb+infinitive or gerund / Reading: Reality Shows

第14週 復習 (1) 第15週 復習 (2)

後期 第1週 前期の復習

第2/3週 Comparative adjectives / Writing: An interesting market

第4/5週 Superlative adjectives / Writing: A message board

第6/7週 Past of be / Writing: A biography

第8/9週 Articles / Writing: A review

第10/11週 Determiners / Writing: A popular musician

第12/13週 Infinitives of purpose / Writing: A dream come true

第14週 復習 (1) 第15週 復習 (2)

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 前期・後期試験: 60%

(2) 平常点:40% (単語テスト、小テスト、予習、課題提出)

授業外学習

【事前予習】教科書の指定個所を必ず予習して授業に臨んでください。

【事後学修】授業で学習した単語や表現を再確認し覚えてください。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Jack C. Richards & David Bohlke, Four Corners 2, Cambridge University Press

【推薦書】授業で適宜紹介します。

【参考図書】授業で適宜紹介します。

 科目名
 英語

 担当教員名
 谷洋子

 ナンバリング
 KKc124

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-英語・

 学 年 1
 ク ラ ス

 HCクラス

開講期 通年 必修・選択の別 選必,必修*

授業形態 単位数 2

保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種 資格 関係 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一种学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健) 一种学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健 本育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の習得を目指す科目である。とりわけ、「聞く、話す、読む、書く」の4技能の総合的演習を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の習得を目標としている。

科目の概要

前期ではおもに英語力の「聞く」「読む」ための認知能力の効率的な習得を目指し、重要な文法事項や語彙を学習する。後期は、前期に習得した内容を基に、「話す」「書く」の運用能力の習得すべく練習を行う。

学修目標(=到達目標)

この授業を履修することにより、以下のことができるようになることを到達目標とします。

- 1.英語によるコミュニケーションで使用する基礎的なフレーズや語彙を読み、または聞いて理解することができる。
- 2. 英語によるコミュニケーションで使用する基礎的なフレーズや語彙を書き、または話す中で使用することができる。

内容

前期

第1回 オリエンテーション・U1 My interests

第2回&3回 U1 My interests

第4回&5回 U2 Descriptions 第6回&7回 U3 Rain or shine

第8回&9回 U4 Life at home

第10回&11回 U5 Health

第12回&13回 U6 What's on TV

第14回復習(1)

第15回復習(2)

後期

第16回 前期総括

第17回&18回 U7 Shopping

第19回&20回 U8 Fun in the city

第21回&22回 U9 People

第23回&24回 U10 In a restaurant

第25回&26回 U11 Entertainment

第27回&28回 U12 Time for a change

第29回復習(1)

第30回復習(2)

評価

テスト70点・課題20点、授業への取り組み10点で評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】学習ユニットの未知語を辞書で調べておくこと。

【事後学習】授業で行ったユニットのダイアログ音読・シャドウイングを行い、コミュニケーションの手段として英語を使えるよう練習すること。(シャドウイングの方法については授業内で指導する。)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】J.C. Richards & D. Bohlke, Four corners Level 2 student's book, Cambridge

科 目 名英語担当教員名島田 美織ナンバリングKKc124学 科 人間生活学部(K)-共通科目-英語・

 学
 年
 1
 クラス
 EAクラス

 開講期
 通年
 必修・選択の別
 選必,必修*

授業形態 単位数 2

保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種 資格 関係 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一种学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健) 一种学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健 本育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す。とりわけ「聞く・話す、読む・書く」の4技能の 総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。前期ではおもに英語の「聞く・読む 」ための習得を目指し、後期ではおもに「話す・書く」の運用能力を育成する。

内容

1回 前期コース紹介、自己紹介アクティビティー等

2,3回 Unit 1 My interests

4,5回 Unit 2 Descriptions

6,7回 Unit 3 Rain or shine

8.9 Unit 4 Life at home

10,11回 Unit 5 Health

12,13回Unit 6 What'on TV?

14回 復習(1)

15回 復習(2)

16回 後期コース紹介

17,18回 Unit 7 Shopping

19,20回 Unit 8 Fun in the city

21,22回 "Unit 9 People

23,23回 Unit 10 In a restaurant

24,25回 Unit 11 Entertainment

26,27回 Unit 12 Time for a change

28回 復習(1)

29回 復習 (2)

30回 Unit 1~Unit 12まとめ

評価

学期末テスト・小テスト65%、授業への参加度・態度・発言の質20%、課題15%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】CD-ROM等による自主学習、テキストの予習

【事後学修】テキストの読み返し、課題プリント他

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Jack Richards & David Bohlke, Four Corners, Cambridge

【推薦書】

| 科目名 | 英語 | | |
|--------|---|----------------------------------|---|
| 担当教員名 | 森田 勝之 | | |
| ナンバリング | KKc124 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-英語· | | |
| 学 年 | 1 ク | ラ ス | EBクラス |
| 開講期 | 通年 | ・選択の別 | 必修*,選必 |
| 授業形態 | 単 | 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状(国語)/向等学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) | 重免許状(英語) 重免許状/小学校)/高等学校教諭 | /中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種 教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健) 一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健 |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目である。したがって、英語力の 基礎を徹底的に演習し、運用の基礎をつくる。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、聞く・読むから、話す・書くへの発展へとつなげる。

学修目標(=到達目標)

そのため、前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための認知能力の効率的な修得を目指す。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにする。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」の運用能力を育成するものである。

内容

| 1 | 導入(前期) | 後期 |
|----|----------------------------|---------------------------------|
| | 等八(削期 <i>)</i> | 15.50 |
| 2 | Unit1 A & B My Interest | Unit 7 A & B Shopping |
| 3 | C (& D) | C (& D) |
| 4 | Unit 2 A & B Descriptions | Unit 8 A & B Fun in the City |
| 5 | C (and D) | C (& D) |
| 6 | Unit 3 A & B Rain or Shine | Unit 9 A & B People |
| 7 | C. (& D) | C (& D) |
| 8 | Unit4 A & B Life at home | Unit 10 A & B In a restaurant |
| 9 | C (& D) | C (& D) |
| 10 | Unit 5 A & B Health | Unit 11 A & B Entertainment |
| 11 | C (& D) | C (& D) |
| 12 | Unit 6 A & B What'S on TV | Unit 12 A & B Time for a change |
| 13 | C (& D) | C (& D) |
| 14 | Review Unit 1 ~ 6 | Review 7~12 |
| 15 | まとめ | |

評価

授業への取り組み20%、平常点20%、まとめ60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】テキストの予定箇所の語彙をチェックしておく。

【事後学修】復習用ビデオで発展させる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Jack Richards/ David Bohlke, Four Corners, Cambridege University

【推薦書】

 科 目 名
 英語

 担当教員名
 島田 美織

 ナンバリング
 KKc124

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-英語・

 学
 年
 1

 クラス
 CAクラス

開講期 通年 必修・選択の別 必修*,選必

学修目標)

授業形態 単位数 2

科目の概要

英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す。とりわけ「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。前期ではおもに英語の「聞く・読む」ための習得を目指し、後期ではおもに「話す・書く」の運用能力を育成する。

内容

ねらい(

1回 前期コース紹介、自己紹介アクティビティー等

2,3回 Unit 1 My interests

科目の性格

4,5回 Unit 2 Descriptions

6,7回 Unit 3 Rain or shine

8,9回 Unit 4 Life at home

10,11回 Unit 5 Health

12,13回Unit 6 What'on TV?

14回 復習(1)

15回 復習(2)

16回 後期コース紹介

17,18回 Unit 7 Shopping

19,20回 Unit 8 Fun in the city

21,22回 "Unit 9 People

23,23回 Unit 10 In a restaurant

24,25回 Unit 11 Entertainment

26,27回 Unit 12 Time for a change

28回 復習(1)

29回 復習 (2)

30回 Unit 1~Unit 12まとめ

評価

学期末テスト・小テスト65%、授業への参加度・態度・発言の質20%、課題15%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】CD-ROM等による自主学習、テキストの予習

【事後学修】テキストの読み返し、課題プリント他

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Jack Richards & David Bohlke, Four Corners, Cambridge

【推薦書】

 科目名
 英語

 担当教員名
 島村 豊博

 ナンバリング
 KKC124

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-英語・

 学年1
 クラス CBクラス

 開講期
 通年
 必修・選択の別 選必,必修*

 授業形態
 単位数 2

 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ~ (英語)」を選択します。

ē許状/栄養教諭二種免許状/小学校 ⋒一種免許状(国語)/高等学校教諭

英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力について、「聞く・話す、読む・書く」の4技能の面から総合的 育成を目指します。そのために基礎段階で最も重要である、語彙力アップと文法事項を重点的に学習していきます。学年後 半には英語運用能力の向上も視野にいれた要素を取り入れていきます。

全学共通教材を使うようになったので、このクラスではテキストの各ユニットの4つのパーツの内、A、B、Cを中心に 学習し、中でも文法セクションは100パーセントの理解を目指します。

内容

資格関係

使用するテキストは大部なものでとても網羅的にはできません。各ユニットのA、B、Cの3つのパーツを学習しますが、 ここには4技能すべての要素が入っています。語彙と文法はできるだけ多くを学習し、その他の要素は時間の許す限りで取 り上げます。また進捗状況や理解度を見て、補充プリントを配布します。

テキストは次のように進めます。

前期は、Unit1~6、1回目は導入、2~13回目までは2回の授業で1Unitのペースで進みます。14回目は復習(1)、15回目は復習(2)となります。

後期は、Unit7~12、1回目は導入(前期の総括)、2~13回目までと14回目、15回目は前期と同様です。

評価

以下の割合で点数化し、総合成績で60点以上を合格とします。合格点に満たなくても、期末試験の再試験は実施しません。

(1)前期末・後期末試験:60%

(2)平常点:40%(単語・熟語テスト、予習および授業態度)

授業外学習

【事前準備】テキストをよく読み、英文は何度も音読し、わからない英単語は辞書で調べて書き出しておきます。

【事後学修】授業内容の復習をし、理解が不十分な箇所があれば次の授業で解決できるようにしておきます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト Jack C. Richards & David Bohlke, "Four Corners 2", Cambridge University Press

英語 目 名 担当教員名 榊原 理枝子 ナンバリング KKc124 科 人間生活学部(K)-共通科目-英語 年 ク ラ ス CCクラス 開講期 通年 必修・選択の別 選必,必修* 授業形態 / 中学校教諭一種免許状 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)この科目は共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は英語口を選択します。

(科目の概要)「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、「読む、聞く」力を「書く、話す」力に有機的に発展させることを目指し、卒業後、社会に出ても通用する英語力の育成を目標とします。

(学修目標)前期では主として「聞く、読む」能力の効率的な修得を目指し、文法、語彙等の総復習と確認を行います。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」能力の育成を目指します。

内容

(授業の進め方や方針)

(1)学生に発言してもらいながら授業を進めます。(どんな基本的なことでも臆せず質問してください。)そのうえで、学生の理解度、関心などにより以下の授業進行予定を変更することがあります。ただし、前期にUnit1~6、後期にUnit7~12を学習するというのは変わりません。(2)病気による出停など、正当な欠席の場合は証明を提出して下さい。(3)出席回数不足などで単位取得が危うくなってから、学年末に課題等でなんとかして、といったことはいけません。何よりも本人のためになりません。(4)ポータルで授業に関する連絡をすることがあります。(5)詳細は初回にプリントを配付します。

(授業計画)

前期 主として「読む、聞く」能力を高めることを目指します。

(1)オリエンテーション(2)Unit 1導入(3)Unit 1応用(4)Unit 2導入(5)Unit 2応

用(6)Unit 3導入(7)Unit 3応用(8)Unit 4導入(9)Unit 4応用(10)Unit5導入(11)Unit 5 応用(12)Unit 6導入(13)Unot 6応用(14)(15)前期総復習・質疑応答・まとめ

後期 主として「書く、話す」能力を高めることを目指します。

(1)オリエンテーション(2)Unit 7導入(3)Unit 7応用(4)Unit 8導入(5)Unit8応用

(6)Unit9導入(7)Unit9応用(8)Unit10導入(9)Unit 10応用(10)Unit 11導入(11)Unit 11応用(12)Unt 12導入(13)Unit12応用(14)(15)後期総復習・質疑応答・まとめ

評価

(1)2/3以上の授業参加が必要。(2)授業中のアクティヴィティ等の授業参加、事前・事後学修、小テストなどの平常点を40%、定期試験(中間試験を含む)を60%とし、総合評価60点以上が合格。(3)合格点に満たない場合は再試験。(4)中間、定期欠席の際は証明が必要。(5)中間、定期試験欠席の際は、授業開始時刻までに指定したアドレスへのメールがないと単位取得は不可能。

授業外学習

(事前予習)宿題として指定した箇所(リスニング、読解、語彙、文法などに関する練習問題など)をやってきてもらいます。毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)(事後学修)授業で学習した箇所の復習(授業で学習した箇所を音声を聞いて自分で発音する。授業で出てきた語句を辞書で再確認し、覚える。その他、宿題として課すものをやる。)毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書) 共通指定テキスト・Richard, Bohlke, Four Corners 2, Cambridg

e University Press その他、プリント配布。(辞書)辞書はお持ちの物を初回から持って来てください。スマホ等による代用はいけません。(授業に集中してもらうため、授業中はスマホ等はしまってもらいます。)辞書を購入予定の場合、初回以降に購入でも構いません。失敗を防ぐためです。(推薦書)授業で適宜紹介します。

 科目名
 英語

 担当教員名
 福田 仁

 ナンバリング
 KKc124

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-英語・

 学年1
 クラス AAクラス

 開講期
 通年

 必修・選択の別
 選必,必修*

 授業形態
 単位数

資格関係

呆育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種 免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健) /中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健 本育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目である。したがって、英語力の 基礎を徹底的に演習し、運用の基礎をつくることである。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、聞く・読むから、話す・書くへの発展へとつなげる。

学修目標(=到達目標)

そのため、前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための認知能力の効率的な修得を目指す。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにする。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」の運用能力を育成するものである。

内容

【前期】

Week

- 1. Introduction
- 2. Unit 1 A&B My Interest
- Unit 1 C(&D)
- 4. Unit 2 A&B Descriptions
- 5. Unit 2 C(&D)
- 6. Unit 3 A&B Rain or Shine
- 7. Unit 3 C(&D)
- 8. Unit 4 A&B Life at Home
- 9. Unit 4 C(&D)
- 10. Unit 5 A&B Health
- 11. Unit 5 C(&D)
- 12. Unit 6 A&B What's on TV
- 13. Unit 6 C(&D)
- 14. Review Unit 1-6
- 15. まとめ

【後期】

- 1. Orientation
 - 2. Unit 7 A&B Shopping
 - 3. Unit 7 C(&D)
 - 4. Unit 8 A&B Fun in the City
 - 5. Unit 8 C(&D)
 - 6. Unit 9 A&B People
 - 7. Unit 9 C(&D)
 - 8. Unit 10 A&B In a Restaurant
 - 9. Unit 10 C(&D)
 - 10. Unit 11 A&B Entertainment
 - 11. Unit 11 C(&D)
 - 12. Unit 12 A&B Time for a Change
 - 13. Unit 12 C(&D)
 - 14. Review Unit 7-12
 - 15. まとめ

授業への取り組み(20%)、課題(20%)、まとめ(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】 指定された箇所の予習

【事後学修】 指定された箇所の復習

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 Jack Richards & David Bohlke, Four Corners Level 2, Cambridge Press

【推薦書】

| 科目名 | 英語 | | |
|--------|--|---|--|
| 担当教員名 | 宮本 正治 | | |
| ナンバリング | KKc124 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-英語· | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | ABクラス |
| 開講期 | 通年 | 必修・選択の別 | 必修*,選必 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教 免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教 /中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) | 放諭一種免許状(英語) 放諭二種免許状/小学校 〔国語)/高等学校教諭 | /中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種 教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健) i一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健 |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目です。したがって、英語力の基礎を徹底的に演習し、運用の基礎をつくります。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標とします。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、聞く・読むから、話す・書くへの発展へとつなげます。

学修目標(=到達目標)

そのため、前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための認知能力の効率的な修得を目指します。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにします。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」の運用能力を育成します。

| 内容 | |
|----|------------------------------|
| 1 | 導入 |
| 2 | Unit 1: My intersts (A)(B) |
| 3 | Unit 1: My intersts (C) |
| 4 | Unit 2: Descriptions (A)(B) |
| 5 | Unit 2: Descriptions (C) |
| 6 | Unit 3: Rain or Shine (A)(B) |
| 7 | Unit 3: Rain or Shine (C) |
| 8 | Unit 4: Life at home (A)(B) |
| 9 | Unit 4: Life at home (C) |
| 10 | Unit 5: Health (A)(B) |
| 11 | Unit 5: Health (C) |
| 12 | Unit 6: What's on TV? (A)(B) |
| 13 | Unit 6: What's on TV? (C) |
| 14 | 復習(1) |
| 15 | 復習(2)、まとめ |

評価

予習および授業の参加態度40%、発表30%、試験30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業内で指示する部分を予習してきてください。(30分ほど)

【事後学修】授業内で指示する部分を復習してきてください。(30分ほど)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】"Four Corners 2", Cambridge University Press

【推薦書】

| 科目名 | 英語 | |
|--------|---|---|
| 担当教員名 | 森田 勝之 | |
| ナンバリング | KKc124 | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-英語 · | |
| 学 年 | 1 クラ | ラ ス ACクラス |
| 開講期 | 通年 必修・選 | 選択の別 必修 * ,選必 |
| 授業形態 | 単位 | 立 数 2 |
| 資格関係 | 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許 免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許 /中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高 体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) | 許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種 許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健) 高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健 |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目である。したがって、英語力の 基礎を徹底的に演習し、運用の基礎をつくる。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、聞く・読むから、話す・書くへの発展へとつなげる。

学修目標(=到達目標)

そのため、前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための認知能力の効率的な修得を目指す。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにする。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」の運用能力を育成するものである。

| 内容 | | |
|----|----------------------------|---------------------------------|
| 1 | 導入(前期) | 後期 |
| 2 | Unit1 A & B My Interest | Unit 7 A & B Shopping |
| 3 | C (& D) | C (& D) |
| 4 | Unit 2 A & B Descriptions | Unit 8 A & B Fun in the City |
| 5 | C (and D) | C (& D) |
| 6 | Unit 3 A & B Rain or Shine | Unit 9 A & B People |
| 7 | C. (& D) | C (& D) |
| 8 | Unit4 A & B Life at home | Unit 10 A & B In a restaurant |
| 9 | C (& D) | C (& D) |
| 10 | Unit 5 A & B Health | Unit 11 A & B Entertainment |
| 11 | C (& D) | C (& D) |
| 12 | Unit 6 A & B What'S on TV | Unit 12 A & B Time for a change |
| 13 | C (& D) | C (& D) |
| 14 | Review Unit 1 ~ 6 | Review 7~12 |
| 15 | まとめ | |

評価

授業への取り組み20%、平常点20%、まとめ60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】テキストの予定箇所の語彙をチェックしておく。

【事後学修】復習用ビデオで授業内容を発展させておく

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Jack Richards/ David Bohlke,Four Corners, Cambridege University

【推薦書】

英語 科目名 担当教員名 設楽 優子 KKc124 ナンバリング 科 人間生活学部(K)-共通科目-英語 年 ク ラ ス ADクラス 開講期 通年 必修・選択の別 選必,必修* 授業形態 位 ば日上見位/同寺子仪教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保 ノ中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す通年科目である。

科目の概要

前期は「聞く・読む」を重視し、後期は「話す・書く」を強化して、これら4技能の総合的な養成によって、社会に出ても 通用する英語力の育成を目標としている。

学修目標(=到達目標)

「ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR) 」のA2「ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など 、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄に ついて、単純で直接的な情報交換に応じることができる(プリティッシュカウンシル訳)」レベルの完成を目標とする。

今年度のADクラスは、幼児教育学科の中級である。

内容

各ユニットを2回の授業ですすめる。

| 導入(前期)Unit 7 Shopping 表現と文法(後期) |
|---|
| Unit 1 My Interests 表現と文法 Unit 7 比較級、enoughとtooの使い方 |
| Unit 1 単純現在Unit 8 Fun in the City 表現と文法 |
| Unit 2 Descriptions 表現と文法 Unit 8 助動詞、最上級の形容詞 |
| Unit 2 形容詞の語順Unit 9 People |
| Unit 3 Rain or Shine 表現と文法 Unit 9 単純過去 |
| Unit 3 副詞とwould like to~等Unit 10 In a Restaurant |
| Unit 4 Life at Home 表現と文法Unit 10 冠詞、現在完了 |
| Unit 4 句動詞の語順Unit 11 Entertainment |
| Unit 5 Health 表現と文法Unit 11 限定詞 |
| Unit 5 命令とHowの疑問文Unit 12 Time for a Change |
| Unit 6 What's on TV? 表現と文法Unit 12 不定詞、助動詞 |
| Unit 6 不定詞、動名詞、現在進行形Units 712復習 |
| Units 16 復習Units 112復習 |
| まとめ |
| |

まとめの成果を60%、授業への積極的参加を20%、課題提出物評価点を20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業で新しいUnitに入る前にA(単語と文法),B(コミュニケーション機能),C(文法)すべてを予習して臨むこと。Dについては授業で指示する。毎週1時間程度。

【事後学修】教科書付属CD-ROMを使って、言語運用力の定着を図っていただきたい。時間があれば、映画等で英語に触れ続けることをお勧めする。毎週30分程度。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Jack Richards & David Bohlke, _Four Corners 2_, Cambridege University Press.

【推薦書】授業で適宜指示する。

 科目名
 英語

 ナンバリング
 KKc124

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-英語・

 学年
 1

 月期期
 通年

 必修・選択の別
 必修*、選必

 投業形態
 単位数

 2
 保育土資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/分析租別教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状(高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/申学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目である。したがって、英語力の基礎を徹底的に演習し、運用の基礎を作ることである。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、「聞く・読む」から、「話す・書く」の発展へとつなげる。

学修目標(=到達目標)

前期では主に英語の「聞く・読む」ための認知能力の効率的な習得を目指す。そのため、重要な文法項目や語彙を効率的に学習できるようにする。後期では前期で習得した内容や力を基に、「話す・書く」の運用能力を育成する。

内容

以下は前期分の授業計画である。後期はUnit 7からUnit 12を扱う。

| 1 | 導入 | |
|----|--------------|---------------|
| 2 | Unit 1 (A,B) | My Interests |
| 3 | Unit 1 (C,D) | |
| 4 | Unit 2 (A,B) | Descriptions |
| 5 | Unit 2 (C,D) | |
| 6 | Unit 3 (A,B) | Rain or Shine |
| 7 | Unit 3 (C,D) | |
| 8 | 復習テスト(1) | |
| 9 | Unit 4 (A,B) | Life at Home |
| 10 | Unit 4 (C,D) | |
| 11 | Unit 5 (A,B) | Health |
| 12 | Unit 5 (C,D) | |
| 13 | Unit 6 (A,B) | What's on TV? |
| 14 | Unit 6 (C,D) | |
| 15 | 復習テスト(2) | |

評価

復習テスト:60%(30%×2回)、小テスト・課題:20%、授業内活動:20%とし、総合評価60点以上を合格とする。ただし、4回を超えて欠席した場合は、履修を放棄したものと見なし、単位の認定対象から除外する。

授業外学習

【事前準備】 教科書を熟読し、質問や意見が出せるようにしておく。

【事後学修】 教科書に添付のCD-ROMを活用して、学習を深める。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 _FOUR CORNERS: Level 2_ by Jack C. Richard & David Bohlke, Cambridge University Press

【推薦書】

【参考図書】 英和辞書・和英辞書は必ず持参のこと。

 科目名
 英語

 担当教員名
 大理 奈穂子

 ナンバリング
 KKc124

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-英語・

 学年
 1

 月期講期
 通年

 必修・選択の別選必,必修*

 授業形態
 単位数

 2

 保育工資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/小中学校教諭一種免許状(英語)/小种懇教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/南等学校教諭一種免許状(保健)/南等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目である。したがって、英語力の基礎を徹底的に演習し、運用の基礎を作ることである。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、「聞く・読む」から、「話す・書く」の発展へとつなげる。

学修目標(=到達目標)

前期では主に英語の「聞く・読む」ための認知能力の効率的な習得を目指す。そのため、重要な文法項目や語彙を効率的に学習できるようにする。後期では前期で習得した内容や力を基に、「話す・書く」の運用能力を育成する。

内容

以下は前期分の授業計画である。後期はUnit 7からUnit 12を扱う。

| 1 | 導入 | |
|----|--------------|---------------|
| 2 | Unit 1 (A,B) | My Interests |
| 3 | Unit 1 (C,D) | |
| 4 | Unit 2 (A,B) | Descriptions |
| 5 | Unit 2 (C,D) | |
| 6 | Unit 3 (A,B) | Rain or Shine |
| 7 | Unit 3 (C,D) | |
| 8 | 復習テスト(1) | |
| 9 | Unit 4 (A,B) | Life at Home |
| 10 | Unit 4 (C,D) | |
| 11 | Unit 5 (A,B) | Health |
| 12 | Unit 5 (C,D) | |
| 13 | Unit 6 (A,B) | What's on TV? |
| 14 | Unit 6 (C,D) | |
| 15 | 復習テスト(2) | |

評価

復習テスト:60%(30%×2回)、小テスト・課題:20%、授業内活動:20%とし、総合評価60点以上を合格とする。ただし、4回を超えて欠席した場合は、履修を放棄したものと見なし、単位の認定対象から除外する。

授業外学習

【事前準備】 教科書を熟読し、質問や意見が出せるようにしておく。

【事後学修】 教科書に添付のCD-ROMを活用して、学習を深める。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 _FOUR CORNERS: Level 2_ by Jack C. Richard & David Bohlke, Cambridge University Press

【推薦書】

【参考図書】 英和辞書・和英辞書は必ず持参のこと。

| 科目名 | 英語 | | |
|--------|--|---|---|
| 担当教員名 | 宮本 正治 | | |
| ナンバリング | KKc124 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-英語· | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | DBクラス |
| 開講期 | 通年 | 必修・選択の別 | 必修*,選必 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教 免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教 /中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) | 敗諭一種免許状(英語) 敗諭二種免許状/小学校 (国語)/高等学校教諭 | /中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種 教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健) 一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健 |

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目です。したがって、英語力の基礎を徹底的に演習し、運用の基礎をつくります。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標とします。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、聞く・読むから、話す・書くへの発展へとつなげます。

学修目標(=到達目標)

そのため、前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための認知能力の効率的な修得を目指します。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにします。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」の運用能力を育成します。

| 内容 | |
|----|------------------------------|
| 1 | 導入 |
| 2 | Unit 1: My intersts (A)(B) |
| 3 | Unit 1: My intersts (C) |
| 4 | Unit 2: Descriptions (A)(B) |
| 5 | Unit 2: Descriptions (C) |
| 6 | Unit 3: Rain or Shine (A)(B) |
| 7 | Unit 3: Rain or Shine (C) |
| 8 | Unit 4: Life at home (A)(B) |
| 9 | Unit 4: Life at home (C) |
| 10 | Unit 5: Health (A)(B) |
| 11 | Unit 5: Health (C) |
| 12 | Unit 6: What's on TV? (A)(B) |
| 13 | Unit 6: What's on TV? (C) |
| 14 | 復習(1) |
| 15 | 復習(2)、まとめ |

予習および授業の参加態度40%、発表30%、試験30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業内で指示する部分を予習してきてください。(30分ほど)

【事後学修】授業内で指示する部分を復習してきてください。(30分ほど)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】"Four Corners 2", Cambridge University Press

【推薦書】

【参考図書】

| 科目名 | 英語 | | |
|--------|---|---|---|
| 担当教員名 | 川村 晃市 | | |
| ナンバリング | KKc124 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-英語 · | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | BCクラス |
| 開講期 | 通年 | 必修・選択の別 | 選必,必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭 免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭 /中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国 体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) | 諭一種免許状(英語) 諭二種免許状/小学校: 国語)/高等学校教諭 | /中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種 教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健) 一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健 |

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目である。したがって、英語力の 基礎を徹底的に演習し運用の基礎をつくることである。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、聞く・読むから、話す・書くへの発展へとつなげる。

学修目標(=到達目標)

前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための認知能力の効率的な修得を目指す。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにする。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」の運用能力を育成するものである。

内容

| 1 | Introduction |
|----|-------------------------|
| 2 | Unit1 My interests A/B |
| 3 | Unit1 My interests C/D |
| 4 | Unit2 Descriptions A/B |
| 5 | Unit2 Descriptions C/D |
| 6 | Unit3 Rain or shine A/B |
| 7 | Unit3 Rain or shine C/D |
| 8 | Unit4 Life at home A/B |
| 9 | Unit4 Life at home C/D |
| 10 | Unit5 Health A/B |
| 11 | Unit5 Health C/D |
| 12 | Unit6 What's on TV? A/B |
| 13 | Unit6 What's on TV? C/D |
| 14 | Review1 |
| 15 | Review2 |

評価

授業への参加度20%、発表20%、試験60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

復習はしっかりしておいてください。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Four Corners 2. Cambridge University Press.

辞書は必ず持ってくること(電子辞書でも構いません)。

| 科目名 | 英語 |
|--------|---|
| 担当教員名 | 川村 晃市 |
| ナンバリング | KKc124 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-英語· |
| 学 年 | 1 ク ラ ス FDクラス |
| 開講期 | 通年 必修・選択の別 選必,必修* |
| 授業形態 | 単位数 2 |
| 資格関係 | 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種 免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健) /中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健 体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) |

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目である。したがって、英語力の 基礎を徹底的に演習し運用の基礎をつくることである。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、聞く・読むから、話す・書くへの発展へとつなげる。

学修目標(=到達目標)

前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための認知能力の効率的な修得を目指す。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにする。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」の運用能力を育成するものである。

内容

| 1 | Introduction |
|----|-------------------------|
| 2 | Unit1 My interests A/B |
| 3 | Unit1 My interests C/D |
| 4 | Unit2 Descriptions A/B |
| 5 | Unit2 Descriptions C/D |
| 6 | Unit3 Rain or shine A/B |
| 7 | Unit3 Rain or shine C/D |
| 8 | Unit4 Life at home A/B |
| 9 | Unit4 Life at home C/D |
| 10 | Unit5 Health A/B |
| 11 | Unit5 Health C/D |
| 12 | Unit6 What's on TV? A/B |
| 13 | Unit6 What's on TV? C/D |
| 14 | Review1 |
| 15 | Review2 |

評価

授業への参加度20%、発表20%、試験60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

復習はしっかりしておいてください。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Four Corners 2. Cambridge University Press.

辞書は必ず持ってくること(電子辞書でも構いません)。

| 科目名 | 英語 |
|--------|--|
| 担当教員名 | 奈須 麻里子 |
| ナンバリング | KKc124 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-英語 ・ |
| 学 年 | 1 ク ラ ス FCクラス |
| 開講期 | 通年 必修・選択の別 選必,必修* |
| 授業形態 | 単 位 数 2 |
| 資格関係 | 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/南等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) |

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目である。したがって、英語力の 基礎を徹底的に演習し、運用の基礎をつくる。

科目の概要

「聞く・話す・読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、「聞く・読む」から「話す・書く」へと発展させる。

学修目標(=到達目標)

そのため、前期では主に英語の「聞く・読む」ための認知能力の効率的な習得を目指す。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにする。後期では前期で習得した内容や力をもとに、「話す・書く」の運用能力を育成するものである。

内容

| 1 | イントロダクション(授業の目標、進め | 方、注意事項等を説明) |
|----|-------------------------------|------------------------------------|
| 2 | 【前期】Unit 1: My Interests (1) | 【後期】Unit 7: Shopping (1) |
| 3 | 【前期】Unit 1: My Interests (2) | 【後期】Unit 7: Shopping (2) |
| 4 | 【前期】Unit 2: Descriptions (1) | 【後期】Unit 8: Fun in the City (1) |
| 5 | 【前期】Unit 2: Descriptions (2) | 【後期】Unit 8: Fun in the City (2) |
| 6 | 【前期】Unit 3: Rain or Shine (1) | 【後期】Unit 9: People(1) |
| 7 | 【前期】Unit 3: Rain or Shine (2) | 【後期】Unit 9: People(2) |
| 8 | 【前期】Unit 4: Life at home (1) | 【後期】Unit 10: In a Restaurant (1) |
| 9 | 【前期】Unit 4: Life at home (2) | 【後期】Unit 10: In a Restaurant (2) |
| 10 | 【前期】Unit 5: Health (1) | 【後期】Unit 11: Entertainment(1) |
| 11 | 【前期】Unit 5: Health (2) | 【後期】Unit 11: Entertainment(2) |
| 12 | 【前期】Unit 6: What's on TV? (1) | 【後期】Unit 12: Time for a Change (1) |
| 13 | 【前期】Unit 6: What's on TV? (2) | 【後期】Unit 12: Time for a Change (2) |
| 14 | 復習(1) | |
| 15 | 復習(2)、まとめ | |

評価

定期試験60%、平常点40%(授業への参加姿勢、授業中の小テスト、授業への参加姿勢等)とし、総合評価60点以上

を合格とする。

授業外学習

【事前準備】テキストの予習

【事後学修】テキストの復習と授業後の課題

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Jack C. Richards & David Bohlke, Four Corners 2, Cambridge UP

【参考図書】授業中に適宜指示する

英語 科目名 担当教員名 設楽 優子 ナンバリング KKc124 科 人間生活学部(K)-共通科目-英語 年 1 ク ラ ス ECクラス 開講期 通年 必修・選択の別 選必,必修* 授業形態 位 /中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭 免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免 /中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭 体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す通年科目である。

科目の概要

前期は「聞く・読む」を重視し、後期は「話す・書く」を強化して、これら4技能の総合的な養成によって、社会に出ても 通用する英語力の育成を目標としている。

学修目標(=到達目標)

「ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR) 」のA2「ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など 、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄に ついて、単純で直接的な情報交換に応じることができる(プリティッシュカウンシル訳)」レベルの完成を目標とする。

今年度のECクラスは、健康栄養学科の中級である。

内容

各ユニットを2回の授業ですすめる。

| 1 | 導入(前期)後期) |
|----|---|
| 2 | Unit 1 My Interests 表現と文法 Unit 7 比較級、enoughとtooの使い方 |
| 3 | Unit 1 単純現在Unit 8 Fun in the City 表現と文法 |
| 4 | Unit 2 Descriptions 表現と文法 Unit 8 助動詞、最上級の形容詞 |
| 5 | Unit 2 形容詞の語順 Unit 9 People |
| 6 | Unit 3 Rain or Shine 表現と文法 Unit 9 単純過去 |
| 7 | Unit 3 副詞とwould like to~等Unit 10 In a Restaurant |
| 8 | Unit 4 Life at Home 表現と文法Unit 10 冠詞、現在完了 |
| 9 | Unit 4 句動詞の語順Unit 11 Entertainment |
| 10 | Unit 5 Health 表現と文法Unit 11 限定詞 |
| 11 | Unit 5 命令とHowの疑問文Unit 12 Time for a Change |
| 12 | Unit 6 What's on TV? 表現と文法Unit 12 不定詞、助動詞 |
| 13 | Unit 6 不定詞、動名詞、現在進行形Units 712復習 |
| 14 | Units 16 復習Units 112復習 |
| 15 | まとめ |

評価

まとめの成果を60%、授業への積極的参加を20%、課題提出物評価点を20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業で新しいUnitに入る前にA(単語と文法),B(コミュニケーション機能),C(文法)すべてを予習して臨むこと。Dについては授業で指示する。毎週1時間程度。

【事後学修】教科書付属CD-ROMを使って、言語運用力の定着を図っていただきたい。時間があれば、映画等で英語に触れ続けることをお勧めする。毎週30分程度以上。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Jack Richards & David Bohlke, _Four Corners 2_, Cambridege University Press.

【推薦書】授業で適宜指示する。

| 科目名 | 英語 |
|--------|--|
| 担当教員名 | 森田 勝之 |
| ナンバリング | KKc124 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-英語· |
| 学年 | 1 ク ラ ス JAクラス |
| 開講期 | 通年 必修・選択の別 選必,必修* |
| 授業形態 | 単位数2 |
| 資格関係 | 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) |

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目である。したがって、英語力の 基礎を徹底的に演習し、運用の基礎をつくる。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、聞く・読むから、話す・書くへの発展へとつなげる。

学修目標(=到達目標)

そのため、前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための認知能力の効率的な修得を目指す。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにする。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」の運用能力を育成するものである。

内容

| 1 | 導入(前期) 後期 |
|----|---|
| 2 | Unit1 A & B My Interest Unit 7 A & B Shopping |
| 3 | C (& D) C (& D) |
| 4 | Unit 2 A & B Descriptions Unit 8 A & B Fun in the City |
| 5 | C (and D) C (& D) |
| 6 | Unit 3 A & B Rain or Shine Unit 9 A & B People |
| 7 | C. (& D) C (& D) |
| 8 | Unit4 A & B Life at home Unit 10 A & B In a restaurant |
| 9 | C (& D) |
| 10 | Unit 5 A & B Health Unit 11 A & B Entertainment |
| 11 | C (& D) C (& D) |
| 12 | Unit 6 A & B What'S on TV Unit 12 A & B Time for a change |
| 13 | C (& D) C (& D) |
| 14 | Review Unit 1 ~ 6 Review 7 ~ 12 |
| 15 | まとめ |

評価

授業への取り組み20%、平常点20%、まとめ60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】テキストの予定箇所の語彙をチェックしておく。

【事後学修】復習用ビデオで授業内容を発展させておく

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Jack Richards/ David Bohlke, Four Corners, Cambridege University

【推薦書】

【参考図書】

| 科目名 | 英語 | | |
|--------|--------------------------------------|---------|--------|
| 担当教員名 | ベッツィー テラダ | | |
| ナンバリング | KKc224 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-英語 ・ | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | OAクラス |
| 開講期 | 通年 | 必修・選択の別 | 選必,必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語) | | |

科目の性格

The aim of this elementary-level English course is to give students a lot of practice communicating in English on a variety of everyday topics. The course includes vocabulary development, short listening, reading, and writing tasks, in addition to speaking practice.

科目の概要

Two class periods will focus on one topic. Students will work in pairs and groups, exchanging experiences, interests, and opinions.

THIS COURSE WILL BE TAUGHT IN ENGLISH ONLY.

学修目標(=到達目標)

Upon completion of this course, students should be able to form and respond to basic questions on the topics covered, have overall improved vocabulary, pronunciation, fluency, and listening skills in English.

内容

| 1 | Course Overview, Introductions, Unit 1 (Meeting people) |
|----|---|
| 2 | Unit 1 (Meeting people, Part 2) |
| 3 | Unit 2 (Describing people) |
| 4 | Unit 2 (Describing people, Part 2) |
| 5 | Quiz, Units 1,2; Unit 3 (Routines and schedules) |
| 6 | Unit 3 (Routines and schedules, Part 2) |
| 7 | Unit 4 (Locations, rooms) |
| 8 | Unit 4 (Locations, rooms Part 2) |
| 9 | Quiz, Units 3,4; Unit 5 (Giving directions) |
| 10 | Unit 5 (Giving directions, Part 2) |
| 11 | Unit 6 (Talking about the past) |
| 12 | Unit 6 (Talking about the past, Part 2) |
| 13 | Quiz, Units 5,6; Review Units 1-6 |
| 14 | Written and Speaking Test - Units 1-6 |
| 15 | Wrap-up |

評価

Students will be evaluated on participation (25%), homework (25%), written tests (20%), final speaking test (30%).

授業外学習

【事前予習】Students will be assigned some light homework each week.

【事後学修] Students will be expected to study and review after each class and prepare for quizzes and tests.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】English Firsthand 1 Pearson Longman Publishing Co.

【推薦書】B5 notebook

【参考図書】paper or electronic English-Japanese, Japanese-English dictionary

 科目名
 英語

 担当教員名
 榊原 理枝子

 ナンバリング
 KKc224

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-英語・

 学年1
 クラス 0Bクラス

 開講期
 通年
 必修・選択の別 選必,必修*

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)

(1)この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択科目です。この科目を選択した場合は、「自由科目」の枠に入ります。 (2)さらに英語を学びたい場合は2016年度開講英語IIIを履修することができます。 (英語IIと英語IIIはレベルの違いではなく種類の違いです。)(3)英語教職課程履修者はこの科目を必ず履修してください。(4)通年科目ですから後期の同じ時間帯に所属学科専門科目等が入っていないことを確認してから履修してください。(科目の概要・学修目標)

英語Iではリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの基本を学びますが、英語IIではより発展的な学習をします。英語Iで基本的な学習をしつつ、英語IIで発展的な学習をすることによって、きちんと取り組めば、英語力を飛躍的に伸ばすことができるはずです。前期は主にリーディングの練習を行います。できるだけ多くの英文に接し、文法、構文、語彙などの知識を伸ばして、英文を正確に読み解く読解力を養成します。後期はリスニングの練習を主に行います。たくさんのナチュラルスピードの英語を聞いて、リスニング能力の向上を目指します。

内容

(授業の方針) (1)学生に発言してもらいながら授業を進めます。(どんな基本的なことでも臆せず質問してください。)そのうえで、学生の理解度・関心などにより以下の授業進行予定を変更することがあります。 (2)病気による出停、就活など正当な欠席の場合、証明を提出してください。 (3)出席回数不足などで単位取得が危うくなってから学年末に課題等で何とかして、といいったことはいけません。何よりも本人のためになりません。 (4)ポータルで授業に関する連絡をすることがあります。(5)詳細は初回にプリントを配付します。

(内容)映画『シャレード』(恋、冒険、謎に満ちた不朽の名作。主演はオードリー・ヘップバーン)を使って、リーディング力とリスニング力、会話力、作文力を高めつつ、TOEIC対策も行います。英語が好きな方にはやりがいのある内容です。『シャレード』の美しい映像と巧みなストーリーには何度見ても感動させられるもので、楽しく勉強できるはずです。英語に苦手意識がある人も『シャレード』には引き込まれるでしょうから、ここから英語をものにするという手があります。

(授業進行予定) 前期 (1)オリエンテーション・・・以下の各回で、映画『シャレード』を見ながら、関連した英文を読みます。また、学生の関心・希望などによっては、『シャレード』以外の映画、ドラマを見ることもあります。(授業で希望を聞く予定です。)(2)Secrecy--1スキー場での出逢い(3)英語のリズム・品詞--1(4)Sec

recy--2招かれざる客(5)機能語の聞き取り・品詞--2(6)Danger--1アメリカ大使館(7)助動詞

の発音と聞き取り・動詞と文型(8)Danger - - 2ナイトクラブの恐怖(9)音の連結・時制(10)Best S

py(1)極秘の依頼(11)音の同化--1・名詞(12)Best Spy(2)正体を追え!(13)音の同化--

2・形容詞・副詞(14)(15)前期総復習・質疑応答・まとめ

後期 後期は、前期と同じ教科書を使ってさらに学習を進めます。(1)前期の復習(2)Who's Lying?-

-1真実はどこに?(3)母音の聞き取り--1・不定詞・動名詞(4)Who's Lying?--2深まる謎(5)

母音の聞き取り--2・分詞(6)Still Hungry--1セーヌ川の恋人たち(7)子音の聞き取り--1・比

較(8)Still Hungry--1 ・25万ドル、発見!(9)子音の聞き取り--2・接続詞(10)Char

ade--1深夜の決闘(11)地名の聞き取り・関係詞(12)Charade--2お遊びはこれまで(13)数字などの聞き取り・仮定法(14)(15)後期総復習・質疑応答・まとめ

評価

(1)2/3以上の授業参加が必要。(2)授業中のアクティヴィティ等の授業参加、事前・事後学修、小テストなどの平常点を40%、定期試験(中間試験を含む)を60%とし、総合評価60点以上が合格。(3)合格点に満たない場合は再試験。(4)中間、定期欠席の際は証明が必要。(5)中間、定期試験欠席の際は、授業開始時刻までに指定したアドレスへのメールがないと単位取得は不可能。

授業外学習

(事前予習)宿題として指定した箇所(リスニング、読解、語彙、文法などに関する練習問題など)をやってきてもらいます。毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)(事後学修)授業で学習した箇所の復習(授業で学習した箇所を音声を聞いて自分で発音する。授業で出てきた語句を辞書で再確認し、覚える。その他、宿題として課すものをやる。)毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書) 共通指定テキスト・Richard, Bohlke, Four Corners 2, Cambridg

e University Press その他、プリント配布。(辞書)辞書はお持ちの物を初回から持って来てください。スマホ等による代用はいけません。(授業に集中してもらうため、授業中はスマホ等はしまってもらいます。)辞書を購入予定の場合、初回以降に購入でも構いません。失敗を防ぐためです。(推薦書)授業で適宜紹介します。

| 科目名 | 英語 | | | | |
|--------|--|---------|--------|--|--|
| 担当教員名 | 担当教員名 グロリアプロフィラト | | | | |
| ナンバリング | ナンバリング KKc224 | | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-英語・・ | | | | |
| 学 年 | 1 | クラス | OCクラス | | |
| 開講期 | 通年 | 必修・選択の別 | 選必,必修* | | |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 | | |
| 資格関係 | 图 格 関 係 保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) | | | | |

科目の性格 Aim to extend students' vocabulary and improve comprehension skills.

科目の概要 Activities will include extra reading as well as group/pair work based on unit work.

学修目標(=到達目標 Full participation in class work and a positive and responsible attitude to study and reviewing.

| 内容 | |
|----|---|
| 1 | Introduction. Class explanation. |
| 2 | Harry Potter |
| 3 | The Leaning Tower |
| 4 | Valentine's Day |
| 5 | The Taj Mahal |
| 6 | The Mobius Band |
| 7 | Studying Abroad |
| 8 | The Salt Palace Hotel |
| 9 | Trying Again |
| 10 | Breakfast in America |
| 11 | Blood Types |
| 12 | Etiquette |
| 13 | World Interviews |
| 14 | Sport |
| 15 | まとめReviews of Units. Questions from students. |

評価

総合評価60点以上を合格とする。Attendance/participation 20%, Comprehension 30%, original dialogues 30%, tests 20%

【事前準備】Read passage. Write summary.

【事後学修】Homework - sentence writing

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Reading In 1 Cengage Learning (Casey Malarcher)

 科目名
 読書入門

 担当教員名
 潮谷 恵美

 ナンバリング KKa103
 KKa103

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門

 学 年 1
 クラス AAクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学習をする時間です。 学科の異なる先生から指導を受け、所属の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的と しています。

科目の概要 前期中に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選びます。皆さんの所属学科の先生が担当するものは受講することができません。人数制限があるので、いくつかの本を選ぶようにしてください。履修登録の後で、機械的な抽選により所属するクラスが決まります。教室で出会った仲間や先生とともに一冊の本を読みあい、疑問や感想を交流しあって、最終的な受講体験記を書き上げます。

学修目標 主体的に読書に取り組み、そこ中で生じた課題を主体的に追究する態度を養うこと、自分の追究した課題を仲間とともに積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うこと、をめあてとします。

内容

| 1 | 第1回 | オリエンテーション 発表の方法 |
|----|------|-----------------------------|
| 2 | 第2回 | 貧困と社会的包摂 について |
| 3 | 第3回 | 生活崩壊の実態に関わる 課題報告1と討論 |
| 4 | 第4回 | 生活崩壊の実態に関わる 課題報告 2 と討論 |
| 5 | 第5回 | 「最低生活」を考えるに関わる 課題報告1と討論 |
| 6 | 第6回 | 「最低生活」を考えるに関わる 課題報告 2 と討論 |
| 7 | 第7回 | 「最低生活」を考えるに関わる 課題報告 3 と討論 |
| 8 | 第8回 | 「つながり」「役割」「居場所」に関わる課題報告1と討論 |
| 9 | 第9回 | 「つながり」「役割」「居場所」に関わる課題報告2と討論 |
| 10 | 第10回 | 「格差」に関わる課題報告1と討論 |
| 11 | 第?回 | 「格差」に関わる課題報告2と討論 |
| 12 | 第12回 | 包摂政策に関わる課題報告 1 と討論 |
| 13 | 第13回 | 包摂政策に関わる課題報告 2 と討論 |
| 14 | 第14回 | 「インクルーシブな復興」に関わる課題報告と討論 |
| 15 | 第15回 | 総括 |

評価

、その合計で評価します。合計60%以上の評価点で単位取得とします。

授業外学習

【事前予習】本書の指定箇所を読んでおくこと。内容のわからない言葉は調べておくこと。 報告者は資料を作ること。

【事後学修】討論でキーワードとなった言葉や概念を確認し理解を深めること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

阿部彩/著 「弱者の居場所がない社会貧困・格差と社会的包摂」 講談社現代新書 講談社

 科目名
 読書入門

 担当教員名
 宮野 周

 ナンバリング
 KKa103

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門

 学 年 1
 クラス ABクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学習をする時間です。学科の異なる先生から指導を受け、所属の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としています

前期中に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選びます。皆さんの所属学科の先生が担当するものは受講することができません。人数制限があるので、いくつかの本を選ぶようにしてください。履修登録の後で、機械的な抽選により所属するクラスが決まります。教室で出会った仲間や先生とともに一冊の本を読みあい、疑問や感想を交流しあって、最終的な受講体験記を書き上げます。

主体的に読書に取り組み、そこ中で生じた課題を主体的に追究する態度を養うこと、自分の追究した課題を仲間とともに積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うこと、をめあてとします。

内容

これから子育ての場面などで子どもが絵を描く姿と出会ったときに本書はかならず役に立つと思います。例えば、第一章「お母さんのためのお絵かき入門講座」では自分が子どもの絵に対してどのように関わっていったらよいかを考え直す良い機会になります。本書で紹介されている「子どもの絵」の豊富な作品例とともに、子どもにかかわらず人間にとって絵を描くとはどういうことなのかを授業を通して考えていきたいと思います。

「読書入門」では、本を読むことを通して、書かれた内容が指し示す事実を読者としてもう一度たどり直す作業が大事になります。その上で、疑問を持ちつつ読み進めることが必要です。書かれてあるからといって、その文章を鵜呑みにすることはよくありません。言葉を吟味するつもりで、読み取ってみてください。

そして、読み取りの作業の中で生じてきた疑問点を、自分から大胆に予想したり、仮説を立ててみたりしながら追究して みることです。この作業によって、自分の考えを持つことができるでしょう。

ここまでが個人の作業になります。続いて、仲間同士で持ち寄った疑問点を交流しあって、それをさらに集団で検討するべき課題にまで高めていきます。個人では解決できないような質の高い課題を生み出すことができれば、それをさらに仲間たちの力を総動員して追究することになります。もしかすると、ほかの文献にあたってみる必要が出てきたり、実際に情報を集めてみたり、現地を訪ねてみる必要が出てくるかもしれません。

討論を進めるにあたっては、必ずしも結論を出そうとする必要はありません。時には、解決がつかない場合もあるでしょう。それはそれで、分からないことは分からないという態度が大切です。分からないことを無理に分かったように思ったり、分かったふりをするのではなくて、問題を持ち続けることが大切です。

最終的には、読書入門の受講体験記を書いてみましょう。個人で読んだときには思いもつかなかったような気づきや課題が仲間とともに話し合う中で生まれてきたり、思いもしなかったような考え方が生まれてきたりした経験を文章にまとめることで、自分の経験が自分の中で結晶となります。

評価

評価はレポートなどの提出物(40%)、毎回の授業における取り組みや発表(60%)などにより総合的に評価します。

60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】身近にある子どもの絵に興味関心や疑問点をもつこと

【事後学修】教科書を参考にして身近にある「子どもの絵」の理解に努めること

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

鳥居昭美『子どもの絵をダメにしていませんか』大月書店,1,575円フジショップにて授業初回までに購入し、準備すること

| 科目名 | 読書入門 | | |
|---------------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 薮崎 伸一郎 | | |
| ナンバリング KKa103 | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | ACクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

本科目は、様々な学科の仲間とともに一つの本を読み学習をする時間です。一つの本を読み進めながら内容を概観し、 各自の視点で考察し討論する事で学びを深めていきます。

まず、本書を読み進めて、皆さんが幼いころ親しんだ童謡について考察します。それから、グループ単位で本書に掲載のない童謡を選択して作品研究をし発表します。

- ・主体的に読書に取り組む。
- ・選択した作品を仲間と協力して積極的に研究し、発表して相互の学びを深める。
- ・日常的に読書に親しむ態度を養う。

| 内容 | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | ガイダンス |
| 2 | 第一章、しゃぼん玉、花いちもんめ、赤い靴の音読と作品考察 |
| 3 | 第一章、里の秋、五木の子守唄、赤鼻のトナカイの音読と作品考察 |
| 4 | 第二章、しかられて、てるてるぼうずの音読と作品考察 |
| 5 | 第二章、ロンドン橋、もみの木の音読と作品考察 |
| 6 | 第三章、かごめかごめ、赤とんぼ、うれしいひなまつりの音読と作品考察 |
| 7 | 第三章、七つの子、お正月の音読と作品考察 |
| 8 | 第四章、ずいずいずっころばし、大こくさまの音読と作品考察 |
| 9 | 第四章、浦島太郎の音読と作品考察 |
| 10 | 第一グループによる作品研究発表とディスカッション |
| 11 | 第二グループによる作品研究発表とディスカッション |
| 12 | 第三グループによる作品研究発表とディスカッション |
| 13 | 第四グループによる作品研究発表とディスカッション |
| 14 | 第五グループによる作品研究発表とディスカッション |
| 15 | まとめ |

評価

授業への参加度(50%)、課題レポート(30%)、研究発表(20%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】事前にテキストを読み、読めない漢字などを調べておく。

【事後学修】テキストに掲載されていない童謡に関して関連書籍を読む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

合田道人『案外、知らずに歌ってた童謡の謎』祥伝社黄金文庫

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 長田 瑞恵 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | ADクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択,選必 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格:新入生の皆さんが他の学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学習をする時間です。他学科の教員が 選んだ本を所属の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としています。

科目の概要:前期中に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選びます。皆さんの所属学科の先生が担当するものは受講することができません。1冊の本をじっくり読み合うことで読書の面白さを学びます。 さらに教員や他の学生と疑問や感想を話し合うことで,課題探求の大切さを学びます。

学修目標:

- ・基本的な読解力を身に付ける
- ・主体的に読書に取り組み、そこ中で生じた課題を主体的に追究する態度を養う
- ・自分の追究した課題を仲間とともに積極的に討論し、さらに考えを深める技能を身につける
- ・日常的に読書に親しむ態度を養う

内容

「読書入門」では、本を読むことを通して、書かれた内容が指し示す事実を読者としてもう一度たどり直す作業が大事になります。その上で、疑問を持ちつつ読み進めることが必要です。生じてきた疑問点を、自分なりに探求していくことが重要です。

さらに、仲間同士で持ち寄った疑問点を交流しあって、それをさらに集団で検討するべき課題にまで高めていきます。討論を進めるにあたっては、必ずしも結論を出そうとする必要はありません。時には、解決がつかない場合もあるでしょう。 それはそれで、分からないことは分からないという態度が大切です。分からないことを無理に分かったように思ったり、分かったふりをするのではなくて、問題を持ち続けることが大切です。

最終的には、読書入門の受講体験記を書いてみましょう。

今回取り上げた「子どもが育つ条件」は、私の尊敬する発達心理学者の柏木惠子先生が、「家族心理学」というダイナミックな観点から、子どもにとって本当に幸せな育ちとは何かを考察しているものです。母親になる可能性がある女性である皆さんに、一度は向かい合って頂きたいテーマです。そしてこの本を読むことによって、現在の子どもを取り巻く環境、さらには家族(=皆さん自身)を取り巻く環境について、考えるきっかけにしていただきたいとお見ます。

授業は、最初に長田が中心になって文章読解の基礎とレジュメの作り方について学びます。その後は、学生一人一人が担当章を決め、毎週担当者が担当章の内容についてレジュメを作ってきて説明します。そして、授業参加者全員で内容について話し合います。毎回の授業の最後に短いリアクションペーパーを書いて提出してもらう予定です。最終週には全体を通したレポートを書いて頂きます。授業への遅刻・欠席は極力避けて下さい。

- (1)授業ガイダンス (2)文章読解の基礎とレジュメの作り方
- (3)~(14)担当者が担当章の内容についてレジュメを元に説明 (15)まとめ

評価

毎回の授業への取り組み(リアクションペーパー)と担当章のレジュメ・説明(80%)及び最終のレポート(20%)で総合的に評価し、60%以上を単位取得とする。

60%に満たない場合、再試課題を課す。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

柏木 惠子 (著) 「子どもが育つ条件 家族心理学から考える (岩波新書) [新書] 」¥798

| 科目名 | 読書入門 | | |
|---------------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 渡邊 孝枝 | | |
| ナンバリング KKa103 | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | AEクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学習をする時間です。学科の異なる 先生から指導を受け、所属の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としています。

科目の概要

前期中に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選びます。皆さんの所属学科の先生が担当するものは受講することができません。人数制限があるので、いくつかの本を選ぶようにしてください。履修登録の後で、機械的な抽選により所属するクラスが決まります。教室で出会った仲間や先生とともに一冊の本を読みあい、疑問や感想を交流しあって、最終的な受講体験記を書き上げます。

学修目標(=到達目標)

主体的に読書に取り組み、そこ中で生じた課題を主体的に追究する態度を養うこと、自分の追究した課題を仲間とともに 積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うこと、 をめあてとします。

内容

取り上げた本は、「よく耳にするけれど、一度もその現物を見たことがない。そういうものがこの世にはあります」という文章で始まります。それは「転ばぬ先の杖」や「堪忍袋の緒」であったりするのですが、著者の「クラフト・エヴィング商會」は、それら「ないもの」を読者である私たちの手元へ届けてくれます。本書がみなさんのイメージの世界を豊かに広げるきっかけになればと思い、選定しました。

授業は毎回、本書にでてくる3つほどの「ないもの」を取り上げ、内容について調べたり、話し合いをしながらながら進めていきます。初回のオリエンテーションでは、授業の説明と、各章の担当者を話し合って決めます。本を読み終えたら、本書では紹介されていない「ないもの」について各自が想像・創造し、その「ないもの」について発表しあいます。授業の最後にはリアクションペーパーを記入し、最終レポートの課題があります。

評価

平常点(積極的な授業への取り組みとリアクションペーパー)50%、授業内発表30%、最終レポート課題20%の100%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書を読んでくる。

【事後学修】教科書に出てきた言葉や、教科書で取り上げられた題材について調べる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

「ないもの、あります」クラフト・エヴィング商會/著 筑摩書房

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 加藤 則子 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | AFクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

読書に親しみ、記述内容を正確に読み取りつつ、著者の考え方に触れ、自分自身の考え方との一致点相違点などについても 考える。

科目の概要

毎週担当カ所についてサマリーをレポートし、グループディスカッションにより内容を味わい、感想や自分たちの考えなど を話し合う。演習には積極的に参加する。不明な点は積極的に質問をし、主体的に演習に参加してほしい。

学修目標(=到達目標)

- 1 読書に親しみ、書物を読む楽しさを味わうことができる。
- 2 書物に書かれた内容を正確読み取ることが出来る。
- 3 書物から著者の専門的背景や価値観について考える事が出来る。
- 4 書物の内容に関して、自身の考えを出し合い、話し合うことが出来る。
- 5 読書体験を、自身の考えの形成に役立てることができる。

内容

- 1 導入 科目の狙い
- 2 子どもの場所
- 3 あそびの風景(1)
- 4 あそびの風景(2)
- 5 あそびの季節
- 6 子どものための都市空間
- 7 住まいと健康
- 8 遊びやすい空間
- 9 世界の子ども(1)
- 10 世界の子ども(2)
- 11 子どもは遊びの天才か
- 12 遊びの環境の変化
- 13 大人の役割
- 14 夢・提案
- 15 まとめの議論

評価

授業への取り組み70%と最終レポート30%による評価とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の部分を読んで、感想や自分の考えを整理しておいてください。担当者は発表できるようにサマリーを作っておいてください。

【事後学修】授業中に興味を持った事柄について、調べるなどして知識を深めてください。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】子どもとあそび-現代建築家の眼- 仙田 満/著 岩波新書

【推薦書】

【参考図書】

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 津吹卓 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | BAクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学習をする時間です。異なる学科に 所属する新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としています。異なる学科での学び合いは 稀です。学科が異なると発想も異なります。今回の交わりはチャンスです。皆さんの今後の発展につなげてほしいと思いま す。

科目の概要

この講座では、吉野源三郎著の「君たちはどう生きるか」をテキストにします。教室で出会った仲間や私とともに一冊 の本を読みあい、疑問や感想を素直に述べて交流し、最終的な受講体験記を書き上げます。誰がどこを読むかを分担し、 内容の説明をしてもらい、それについてみんなで思ったことをディスカッションしていきます。

学修目標

主体的に読書に取り組み、そこ中で生じた課題を主体的に追究する態度を養うこと、自分の追究した課題を仲間とともに 積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うこと、 を目標とします。

内容

「読書入門」では、本を読むことを通して、書かれた内容が指し示す事実を読者としてもう一度たどり直す作業が大事になります。その上で、疑問を持ちつつ読み進めることが必要です。書かれてあるからといって、その文章を鵜呑みにすることはよくありません。内容や言葉を吟味するつもりで、読み取ってみてください。

そして、読み取りの作業の中で生じてきた疑問点を、自分から大胆に予想したり、仮説を立ててみたりしながら追究して みることです。この作業によって、自分の考えを持つことができるでしょう。

ここまでが個人の作業になります。続いて、仲間同士で持ち寄った疑問点を出して交流し、それをさらに集団で検討するべき課題にまで高めていきます。個人では解決できないような質の高い課題を生み出すことができれば、それをさらに仲間たちの力を総動員して追究することになります。もしかすると、ほかの文献にあたってみる必要が出てきたり、実際に情報を集めてみたり、現地を訪ねてみる必要が出てくるかもしれません。1回目と15回目以外は、毎回このようにして進めていきます。

討論を進めるにあたっては、必ずしも結論を出そうとする必要はありません。時には、解決がつかない場合もあるでしょう。それはそれで、分からないことは分からないという態度が大切です。分からないことを無理に分かったように思ったり、分かったふりをするのではなくて、問題を持ち続けることが大切です。

最終的には、読書入門の受講体験記を書いてみましょう。個人で読んだときには思いもつかなかったような課題が仲間とともに話し合う中で生まれてきたり、思いもしなかったような考え方が生まれてきたりした経験を文章にまとめることで、 自分の経験が自分の中で結晶となります。受講の最後には是非とも体験記を書き上げてみてください。

評価

毎回出してもらう報告書(60%), 自分の分担への取り組み(20%), および最終のまとめ(20%)をもとに総合評価をします。

授業外学習

【事前予習】授業で扱う部分を前もって各自で読んで考え、話し合いができる状態にしておく。

【事後学修】前回の確認をして、次回の授業とつながるようにしておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

君たちはどう生きるか 吉野源三郎著 岩波書店(903円)

 科目名
 読書入門

 担当教員名
 阿子島 茂美

 ナンバリング
 KKa103

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門

 学年1
 クラス BBクラス BBクラス 選択,選必

 開講期後期
 後期

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

テキスト読むことを通して、テーマについて広く考察する。

科目の概要

テキストの内容を正確に読み取るために、テーマについての基礎的な知識を視覚的教材の使用、グループによる調査、体験を行い実際的に学ぶ。テーマについて討論することで読みを深める。

学修目標(=到達目標)

グループに分かれ読み取った内容の報告を行う。質疑応答を行うことで一人ひとりの読みとりの違 いに気が付き、テーマを深める。

内容

読み書きに困難のあるディスレクシアの世界を覗き込んでみます。

どんなところに困難があるために音韻認識、文字認識が困難であるのか?学校生活ではどんな経験をしているのか?どのように対処しているのか?全体を約10に分け、各分担をグループで担当者を決めて報告を行い、それに対する質疑応答をしながら読み進めます。DVD等の視覚情報を含め、積極的な情報収取と提供を期待します。

評価

授業への取り組みと課題発表(60%)、まとめのレポート(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】各章を事前に読んでおくようにしてください。担当の章は本やインターネットで調べてレジュメを作成してください。

【事後学修】ディスレクシアについて、認知的特徴、臨床像、対処方法等についてまとめます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 ディスレクシアな僕の人生 著者 藤堂高直 主婦の友社

 科目名
 読書入門

 担当教員名
 綾井 桜子

 ナンバリング
 KKa103

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門

 学年1
 クラス

 開講期後期
 後期

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部共通科目として、1年次に読むことの基本を学び、読書することへの関心を高める。

科目の概要

興味・関心をもった本について、15回を通して全員で読む。毎回、次週の範囲を読み、自分なりに考え、調べたことも含めて発表を行う。相互に検討、意見交換を行う。

学修目標(=到達目標)

読書への基本姿勢を身につける。疑問点を持ち、これについて自主的に調べ、自身の読みを豊かにする。自身の考えを発展させ、参加者相互にて、共通点、相違点を出し合い、議論を行う。

内容

「天は人の上に人を造らず」という有名な書きだしから始まる『学問のすすめ』は、学ぶことの大切さと意味を世人に説いたことで明治初期の大ベストセラーとなりました。時あたかも、日本近代化のさなかでありました。『学問のすすめ』の刊行は、国民誰もが学べるよう、欧米をモデルとしながら全国レベルで学校が設けられた時期にあたり、日本における「学校」の誕生と重なります。本書全体は分かりやすく伝えることを第一とし、最初の三編は、小学校の教科書として実際に使用されました。

興味深いことに、本書後半には、勉強だけでなく、最善の「生き方」(上手な計画の立て方、人に伝わる話し方、判断力をつけるには、人付き合いをよくするには、行動力)が述べられており、人生を生きるための知恵を見つけることができるでしょう。

授業では、ほぼ1編ずつ進み、最終回までに読み終えます。当時の日本の教育についても調べながら読んでゆきます。

評価

毎回の提出物と意見交換(50点)、レポート(50点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】次週にて扱う箇所を読む。言葉の意味も含め、分からない部分は可能な限り調べてくる。

【事後学修】授業での議論にて扱った部分から要点を整理し、次週の読みへ繋げる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】福沢諭吉/著、檜谷照彦訳『現代語訳 学問のすすめ』三笠書房

 科目名
 読書入門

 担当教員名
 狩野 浩二

 ナンバリング
 KKa103

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門

 学年1
 クラス

 開講期後期
 必修・選択の別

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学修をする時間です。所属学科の異なる先生から指導を受け、所属学科の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学修体験を創り上げることを目的としています。

前期中に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選んでください。皆さんの所属学科の先生が担当するものは受講することができません。人数制限があるので、抽選に漏れたときのために、いくつかの本を選ぶようにしてください。履修登録の後で、機械的な抽選により所属するクラスが決まります。教室で出会った仲間や先生とともに一冊の本を読みあい、疑問や感想を交流しあって、最終的な受講体験記を書き上げます。

主体的に読書に取り組み、そこ中で生じた課題を主体的に追究する態度を養うこと、自分の追究した課題を仲間とともに積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うこと、をめあてとします。積極的に参加し、本をとして仲間と共に学び合う体験をして下さい。

内容

授業計画

第1回:ガイダンス 日程の決定、班討論、班発表等の説明

第 2 回:第 1 回読書会 第一節~第二節 第 3 回:第 2 回読書会 第三節~第四節 第 4 回:第 3 回読書会 第五節~第六節 第 5 回:第 4 回読書会 第七節~第八節 第 6 回:第 5 回読書会 第九節~第十節 第 7 回:第 6 回読書会 第十一節~第十

第7回:第6回読書会 第十一節~第十二節 第8回:第7回読書会 第十三節~第十四節 第9回:第8回読書会 第十五節~第十六節 第10回:第9回読書会 第十七節~第十八節 第11回:第10回読書会 第十九節~第二十節

第12回:第11回読書会 第二十一節

第13回:授業評価

第14回:「読書入門記録」の作成

第15回:まとめ

評価

音読10点、班討論10点、班発表10点、読書入門記録70点を総合し、合計60点以上で単位認定します。

授業外学習

【事前予習】テキストの該当箇所を読み、内容を理解します。疑問点を追究し、メモを講義に持参します。

【事後学修】講義中に読んだ箇所をふり返り、討論の内容、感想等を整理し、ノートに記録します。読書入門大賞に応募する体験記を書きます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

佐藤多佳子『しゃべれども しゃべれども』新潮文庫(さ 41 2)

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 綿井 雅康 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | CAクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

新入生が様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学習をする時間です。皆さんの所属学科とは異なる学科の専任教員が担当し、所属学科の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としています

科目の概要

教室で出会った仲間や先生とともに一冊の本を読みあい、疑問や感想を交流しあって、最終的な受講体験記を書き上げます。

学修目標

主体的に読書に取り組みます。読んだことを自分の知識として理解すること、理解するなかで生じた疑問や課題を主体的に追究する態度を養うこと、追究した課題について仲間と話すことで、質の高い考え方を創り上げる技能を身につけることをめあてとします。

内容

読み進める書籍は「『自分』の壁」です。受講生の皆さんは、発達心理学的には青年期という段階にあります。この時期の心理的課題の一つは、「自我」を確立することにあります。今すぐ、とうい訳にはいきませんが、行動・物理的に、精神的に、経済的に独立し、自分とは何者であり、どのように生きていくのかについての見通しを立てられるようになることが求められます。そこで、本書を読んで、まず、自分をどのように理解するのかについて、多面的な理解を深めたいと思います。今まで聞いたことないような、新たな自分のとらえ方に触れることができるはずです。

第1回 ガイダンス

- 第2~3回 「自分」は矢印に過ぎないを理解する
- 第4~5回 本当の自分は最後に残るを理解する
- 第6~10回 自分を取り巻く日本・社会について理解を深めるを
- 第11~12回 自分以外を意識しすることを理解する
- 第13~14回 自信を育てるために取り組むことを考える

第15回 まとめ

評価

授業内課題40点、授業内活動20点、授業外課題40点の100点満点、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】次回の授業で扱う個所を読み、わかったこと・わからないことを指定された形式にまとめておく

【事後学修】授業を振り返り、受講生との学びあいで深まった理解を文章にまとめてみる

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

養老猛司 「『自分』の壁」 新潮新書

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 柏葉 修治 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | CBクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この本は、明治大学の1~2年生を対象にした「こころの科学」という授業の中で行われた「婚育」(異性との人間関係力育成を中心とした、結婚能力育成プログラム)の実際の内容を紹介したものである。

科目の概要

結婚能力の育成に重点をおき、人間関係を中心としたカウンセリングやコミュニケーション力の向上をも目指した内容である。

学修目標(=到達目標)

大学での仲間づくり力、職業の人間関係力、結婚力等のコミュニケ・ション力が身につくように工夫されており、読書することを前提に体験的な授業内容となるため、他者との積極的な関与が求められる。

| 内容 | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | 1. はじめに |
| 2 | 2.「質問力」を磨いて人間関係を築いていこう |
| 3 | 3.ファーストインプレッションをあなたに 最初の20秒間ですべてが決まる |
| 4 | 4 . ランチに行くなら、つながる会話の法則 |
| 5 | 5. 傾聴トレーニング |
| 6 | 6 . 相手の良いところを言葉にして伝える |
| 7 | 7.自分の弱点をさらけ出す |
| 8 | 8. アサーショントレーニング |
| 9 | 9.ライフアンカーを語り合う |
| 10 | 1 0 . 35歳までの私 |
| 11 | 11.エクササイズ(イメージゲーム) |
| 12 | 12.デート力を磨く |
| 13 | 13. 最高の告白 |
| 14 | 14.シェアリング(学びの振り返り) |
| 15 | まとめ |

評価

授業への積極的取り組みと参加(50%)、レポート(50%)とし、2/3以上の出席を必須条件とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】できれば、1時間程度の予習が望ましい

【事後学修】1時間程度、学修後の振り返りノートなどを見直す

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】「明治大学で教える婚育の授業」著者 諸富祥彦 青春出版社

【推薦書】教室で紹介

【参考図書】教室で紹介

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 池田 まさみ | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | CCクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともにひとつの本を読み合いながら学習をする時間です。学科の異なる 先生から指導を受け、所属の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としています。

科目の概要

心理学者が書いた「美人の正体」(越智啓太 著)を取り上げます。心理学では、身のまわりの「なぜ?」を実験や調査などで「科学的に解き明す」ことを試みます。この本でも「なぜ美人は一人勝ちといわれるのか?」、美人にまつわる定説やうわさについて、実験エビデンスに基づいて考察されています。授業では、「思考の交流」を促します。単に読むだけでなく「考える」、そして考えを「伝え合う」ことに重点を置きます。学生には、順にナビゲータ(司会進行役)を務めてもらいます。

学修目標(=到達目標)

主体的に読書に取り組み、そこ中で生じた課題を主体的に追究する態度を養うこと、自分の追究した課題を仲間とともに積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うこと、をねらいとします。

| 内容 | | |
|----|-------------------------|--|
| 1 | ガイダンス | |
| 2 | 第1章 恋愛において外見はどのくらい重要なのか | |
| 3 | 第2章 美人は性格が良いのか悪いのか | |
| 4 | 第3章 美人は頭がが良いのか悪いのか | |
| 5 | 第4章 美人・ハンサムとは何か | |
| 6 | 第5章 スーパー平均顔よりも美人な顔とは | |
| 7 | 第6章 魅力的なからだとは何か(前半) | |
| 8 | 第6章 魅力的なからだとは何か(後半) | |
| 9 | 第7章 魅力のある男性とは何か | |
| 10 | 第8章 マッチョで男らしい男がモテる条件 | |
| 11 | 第9章 なぜ恋人同士は似ているのか(前半) | |
| 12 | 第9章 なぜ恋人同士は似ているのか(後半) | |
| 13 | 第10章 美人・ハンサムじゃなくても大丈夫! | |
| 14 | 総合ディスカッション | |
| 15 | まとめ | |

司会進行の担当およびレジュメ作成50点、授業時の小課題40点、授業時の発言・参加態度10点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】事前に指示した教科書の該当ページをよく読んでくる。

【事後学修】自分自身の理解や思考に対する「ふりかえり」を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】美人の正体(越智啓太著、実務教育出版)

【推薦書】

【参考図書】

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 山下 倫実 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | CDクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学習をする時間です。学科の異なる先生から指導を受け、所属の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としています

教室で出会った仲間や先生とともに「恋」をとりあげた短歌や短歌の解説についてプレゼンを行ない、感想を語りあいます。最終的には、短歌を自分で作ることに挑戦します。短歌のプレゼンや短歌づくりのために、積極的に他の本で調べ物をする必要があります。

主体的に読書に取り組み、そこ中で生じた課題を主体的に追究する態度を養うこと、自分の追究した課題を仲間とともに積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うこと、を目標とします。

内容

授業では、「切ない恋」、「幸せな恋」、「苦しい別れ」など、テーマに沿って、この本から好きな歌を選び、その歌についてプレゼンを行ないます。歌の背景、歌にでてくる素敵な言葉の紹介、こんな2人の関係なのではないか?という皆さんなりの解釈などを求めます。また、テーマに沿って授業を進めていきますので、皆さんにもテーマにつき1つ歌を詠んでもらい、匿名での人気投票を行ないます。最後に、恋とは何かについて討論し、歌合の振り返りを行なう予定です。

- 1. イントロダクション~本の紹介&短歌について~
- 2. 幸せな恋
- 3.幸せな恋
- 4.「幸せな恋」歌合
- 5. 怖いぐらいの恋心
- 6. 怖いぐらいの恋心
- 7.「怖いぐらいの恋心」歌合
- 8. 切ない恋
- 9. 切ない恋
- 10.「切ない恋」歌合
- 11. 苦しい別れ
- 12. 苦しい別れ
- 13. 「苦しい別れ」歌合
- 14.「恋とは何か?」討論会
- 15. 恋の短歌大賞決定~歌合振り返り~

評価

に判断します。

授業外学習

【事前予習】積極的に課題図書に触れ、短歌についての解釈や背景について調べること

【事後学修】授業内で取り上げたテーマについて、自分が納得できる歌を考えること

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】あなたと読む恋の歌百首 俵万智/著 文春文庫

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 伊藤 恵子 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | CEクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格:

この科目は、新入生の皆さんがさまざまな学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学習をする時間です。学科の異なる教員から指導を受け、所属の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としています。

科目の概要:

冊の本を読みあい、疑問や感想を交流しあって、最終的な受講体験記を書き上げます。

学修目標(=到達目標):

主体的に読書に取り組み、そのなかで生じた課題を主体的に追究する態度を養うこと、自分の追究した課題を仲間とともに積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うこと、を学修目標とします。

内容

今回取り上げる『子どもの脳の発達 臨界期・敏感期 』は、早期教育の理論的根拠とされる乳幼児期の脳の臨界期や敏感期に関して、科学的に分析を試みた本です。皆さんが子育てにかかわることになった時、あふれる情報に振り回されずに子育てができる手助けになることを期待して、この本を選びました。

授業は、テーマごとに分担を決め、内容とそれに関する意見を発表していただきます。その発表に基づき、討論をしてい きたいと考えています。

文章を鵜呑みにするのではなく、言葉を吟味するつもりで、読み取ってみてください。そして、読み取りの作業の中で生じてきた疑問点を、仲間同士で持ち寄って、仮説を立ててみたりしながら、仲間たちの力を総動員して追究してみましょう

- 1. 授業の進め方・自己紹介
- 2~3. 第1章 早期教育はなぜはやるのか
- 4~7. 第2章 臨界期の登場
- 8. 第3章 臨界期神話にメスを入れる
- 9~10.第4章 早期教育の有効性と弊害の可能性
- 11. まとめ
- 12~13. 最終レポート作成
- 14~15.最終レポート発表

評価

担当部分の発表と作成資料30点・毎回の討論への参加度40点・最終レポート30点を成績評価の対象とし、合計で60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】演習開始前に、教科書を一通り読んで、養子を把握しておいてください。

【事後学修】理解したこと、疑問に思ったことをその都度まとめておきましょう。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】榊原洋一著『子どもの脳の発達 臨界期・敏感期』講談社 + 新書

【推薦書】演習のなかで適宜紹介します。

【参考図書】演習のなかで適宜紹介します。

 科目名
 読書入門

 担当教員名
 柊崎 京子

 ナンバリング
 KKa103

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門

 学年1
 クラス

 開講期後期
 必修・選択の別

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は,新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに1冊の本を読み,学びあうことを目的としています。自分の所属 する学科以外の教員が担当します。

科目の概要

前期中に配布される読書入門の開講科目一覧表により、皆さんが読みたいと思う本を選びます。所属学科の教員が担当するものは受講できません。履修登録の後に、機械的な抽選により所属クラスが決まります。教室で出会った仲間とともに1冊の本を読みあい、疑問や感想を交流しあい、最終的な受講体験記を書きあげます。

学修目標(=到達目標)

主体的に読書に取り組み、そこで生じた課題を主体的に追及する態度を養うこと、課題を仲間とともに積極的に討論しあい、さらに質の高い考え方を作り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うことを目標とします。

内容

今回取り上げる「明日の記憶」は,若年性認知症と診断された主人公が,自らの状況を一人称で語る内容の本です。若年性認知症は,65歳未満で発症する認知症の総称です。若年性認知症は現役世代,働き盛りで発症するため,病気による変化だけでなく,心理的衝撃や経済的損失など,さまざまな問題を抱えています。本書は,若年性認知症の方の理解や,周囲の理解・支えのあり方,命と人生などを考えさせられる本です。

本書の内容は特に難しい専門書ではありませんが,本書を皆で読みすすめることを深めるために,認知症の概要を簡単に説明したり,本書を映画化したDVD視聴を取り入れたいと思います。

授業の進め方は,次の通りです。

- 1. 第1回授業時に,各自の分担内容を決めます。
- 2. 「皆で読む」「分担して内容を発表する」「意見交換する」などをしながら,読み進めます。「全員が読んでくる」 「最低1回は発言する」ことを大切にしたいと思います。
- 3. 第13回,14回授業時には「受講体験記」を書くために,まとめの授業を行います。また,最後の授業では,受講体験記の内容を皆で共有し,疑問や感想を交流しあいたいと思います。

評価

授業への取り組み(出席・参加度・リアクションペーパー)(40%),分担発表(30%),最終レポート(30%)で

総合的に評価し,60%以上を単位取得とします。

授業外学習

【事前予習】 次回の授業で扱う範囲を事前に読み、意見や疑問点をまとめておく。

【事後学修】 授業を振り返り,授業での学びや気づきをまとめる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 萩原浩『明日の記憶』光文社

【推薦書】

【参考図書】

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 角田 真二 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | DBクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学習をする時間です。学科の異なる 先生から指導を受け、所属の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としています。

教室で出会った仲間や先生とともに一冊の本を読みあい、疑問や感想を交流しあって、最終的な受講体験記を書き上げます。

主体的に読書に取り組み、その中で生じた課題を主体的に追究する態度を養うこと、自分の追究した課題を仲間とともに積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うこと、を目標とします。

内容

| 1 オリエンテーション 2 伝えることとは何か 3 コミュニケーション 相手を想定する重要性 4 コミュニケーション 相手をひきつけるために 5 コミュニケーション 円滑なコミュニケーション 6 文章力とは何か 7 漢字のもつ長所短所 8 わかりやすさとは何か 9 五感の重要性 10 接続詞の持つ意味 11 図による伝え方 12 読書の持つ意義 13 他者をまねる重要性 14 メモの重要性 | | |
|--|----|------------------------|
| 3 コミュニケーション 相手を想定する重要性 4 コミュニケーション 相手をひきつけるために 5 コミュニケーション 円滑なコミュニケーション 6 文章力とは何か 7 漢字のもつ長所短所 8 わかりやすさとは何か 9 五感の重要性 10 接続詞の持つ意味 11 図による伝え方 12 読書の持つ意義 13 他者をまねる重要性 | 1 | オリエンテーション |
| 4コミュニケーション 相手をひきつけるために5コミュニケーション 円滑なコミュニケーション6文章力とは何か7漢字のもつ長所短所8わかりやすさとは何か9五感の重要性10接続詞の持つ意味11図による伝え方12読書の持つ意義13他者をまねる重要性 | 2 | 伝えることとは何か |
| 5コミュニケーション 円滑なコミュニケーション6文章力とは何か7漢字のもつ長所短所8わかりやすさとは何か9五感の重要性10接続詞の持つ意味11図による伝え方12読書の持つ意義13他者をまねる重要性 | 3 | コミュニケーション 相手を想定する重要性 |
| 6文章力とは何か7漢字のもつ長所短所8わかりやすさとは何か9五感の重要性10接続詞の持つ意味11図による伝え方12読書の持つ意義13他者をまねる重要性 | 4 | コミュニケーション 相手をひきつけるために |
| 7漢字のもつ長所短所8わかりやすさとは何か9五感の重要性10接続詞の持つ意味11図による伝え方12読書の持つ意義13他者をまねる重要性 | 5 | コミュニケーション 円滑なコミュニケーション |
| 8わかりやすさとは何か9五感の重要性10接続詞の持つ意味11図による伝え方12読書の持つ意義13他者をまねる重要性 | 6 | 文章力とは何か |
| 9 五感の重要性 10 接続詞の持つ意味 11 図による伝え方 12 読書の持つ意義 13 他者をまねる重要性 | 7 | 漢字のもつ長所短所 |
| 10接続詞の持つ意味11図による伝え方12読書の持つ意義13他者をまねる重要性 | 8 | わかりやすさとは何か |
| 11図による伝え方12読書の持つ意義13他者をまねる重要性 | 9 | 五感の重要性 |
| 12 読書の持つ意義 13 他者をまねる重要性 | 10 | 接続詞の持つ意味 |
| 13 他者をまねる重要性 | 11 | 図による伝え方 |
| | 12 | 読書の持つ意義 |
| 14 メモの重要性 | 13 | 他者をまねる重要性 |
| | 14 | メモの重要性 |
| 15 まとめ | 15 | まとめ |

評価

毎回の授業への取り組みと課題(70%)及び最終のレポート(30%)で総合的に評価し、60%以上を単位取得といたします。

授業外学習

【事前予習】次回のテキストを読み,内容を理解しておく.1時間.

【事後学修】テキストを読み直し,学習内容を整理しておく.1時間.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 久保田 葉子 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | DCクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

共通教育科目として位置づけられており、1年生が履修できます。十文字学園女子大学での勉強の入り口であり、大学において学ぶことの起点となる科目です。

科目の概要

1冊の本を学科の枠組みを超えた学生と教員で読み、理解したこと・疑問に思うこと・考えたことなどを意見交換します。 読書や仲間との交流を通して、知りたい、見たいという好奇心を高め、専門分野の学びにつなげることを目指します。

学修目標(=到達目標)

読書することの楽しさを味わい、知的な関心を広げるだけでなく、ものごとや自分をより深く知るために「行動すること」と、「人に伝えること」ができるように、そして「学ぶことが好きになる」ように、参加する全員が知恵を出し合います。

| 内容 | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 自己紹介、授業の進め方の説明 |
| 2 | 保育園児と大学生のための「美術を考える授業」 |
| 3 | 保育園児と大学生のための「美術を考える授業」 |
| 4 | 小学生と中学生のための「美術って、本当のところどうなんですか?」 |
| 5 | 小学生と中学生のための「美術って、本当のところどうなんですか?」 |
| 6 | 美大の学生のための「写真機ができても絵を描くことを続けるのはなぜか?」 |
| 7 | 美術/図工の先生のための「美術/図画工作は何のためにあるのか?」 |
| 8 | 美術としての教育、教育としての美術 宮城県美術館から見た美術教育 |
| 9 | 学校と美術館の連携のために |
| 10 | 表現行為としての鑑賞 本物を見るということは、何を見ることなのか |
| 11 | 美術であるということ 障害者美術展に関わって |
| 12 | 美術館の使い方・実践編 |
| 13 | 感想の発表 |
| 14 | 読書入門記録を書く |
| 15 | まとめ |

評価

授業への取り組み60% / 読書入門記録40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】テキストの該当箇所を読み、内容を理解すること。

【事後学修】授業中に読み、話し合った内容と感想などを整理し、記録しておくこと。 絵画や音楽などの文化に触れる機会をできるだけ多く持つこと。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】齋 正弘『大きな羊のみつけかた 「使える」美術の話』(仙台文庫2)

*最初の授業までに各自、準備して下さい。

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 福田 智雄 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | DDクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

大学生活の初年度にあたって、各専門の土台となる読書と学びについて、簡単なテキストを利用してグループで学習します。

科目の概要

すべての人に訪れるかもしれない貧困について、特に子どもに焦点をあてて調べ、他の人の意見を参考にしながら考えて みる機会にしたいと思います。

学修目標(=到達目標)

特定の本を熟読し、考え、発表することにより、これから学ぶ各専門科目の基礎を身に着けることができます。

内容

第1回には、講師による模擬練習を行います。その後、毎回レポーターを定め、簡単なレポートを参考に、意見や感想を述べ合い、学びを深めます。内容は深さより、気づきを大切に学びたいと思います。

評価

評価は、授業への参加度、レポートに対する積極性、最終回の感想それぞれ33%程度とし、総合評価60点以上を合格と する。

授業外学習

【事前予習】レポーターは、新聞、テキスト等によりレポートを作成すること。また、参加者は意見をまとめておくこと。
【事後学修】授業後は、述べられた意見をまとめ、次回の授業の際の意見発表に生かすこと。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】山野良一「子どもの最貧国・日本」光文社新書を授業までに準備すること。

【推薦書】阿部彩「子どもの貧困」岩波新書

【参考図書】岩田正美「現代の貧困」ちくま新書

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 亀﨑 美沙子 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | DEクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択,選必 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目では、様々な学科の履修者と出会い、そこで1冊の書籍の輪読とディスカッションを通して、一つ一つの問について、自分なりの考えを構築していくものである。

科目の概要

毎回の授業では、担当章のレジュメの作成と発表、ディスカッションを行う。履修者は各回で取り扱う章を予め読んだ上で授業に参加し、最後にはテーマを決めてディスカッションを行い、レポートにまとめていく。

学修目標(=到達目標)

待機児童問題の構造を理解し自分なりの考えを構築すること、相手にわかるように内容をまとめ伝えることができるようになること、以上2点を本科目の到達目標とする。

| 内容 | |
|----|-------------------------|
| 1 | オリエンテーション |
| 2 | 保育所の機能と利用制度 |
| 3 | 第1章 横浜市「待機児童ゼロ」の真実(1) |
| 4 | 第1章 横浜市「待機児童ゼロ」の真実(2) |
| 5 | 第2章 「待機児童」の歴史 |
| 6 | 第3章 待機児童はなぜ生まれるのか? |
| 7 | 第4章 待機児童と保育事故 |
| 8 | 第5章 「保活」の現実 |
| 9 | 第6章 「待機児童一揆」はなぜ起こる? |
| 10 | 第7章 保育士不足と待機児童 |
| 11 | 第8章 保育所という「命綱」 |
| 12 | 第9章 保育新制度は子育て世代を幸せにするか? |
| 13 | 全体討議(1) |
| 14 | 全体討議(2) |
| 15 | まとめ |

評価

授業への取り組み状況(40%)、 発表内容(30%)、 課題(20%)、 その他(10%)により、総合評価6 0点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】その週に取り扱う章を、各自で予め読んでから授業に出席すること。

【事後学修】各回のディスカッションの内容を各自でまとめておくこと。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

猪熊弘子(2014)『「子育て」という政治 - 少子化なのになぜ待機児童が生まれるのか?』角川SSC新書

【参考図書】

猪熊弘子(2011)『死を招いた保育』ひとなる書房

厚生労働省(2008)『保育所保育指針解説書』フレーベル館

 科目名
 読書入門

 担当教員名
 飯田 路佳

 ナンバリング
 KKa103

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門

 学年1
 クラス EAクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学習をする時間です。学科の異なる先生から指導を受け、所属の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としています

前期中に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選びます。皆さんの所属学科の先生が担当するものは受講することができません。人数制限があるので、いくつかの本を選ぶようにしてください。履修登録の後で、機械的な抽選により所属するクラスが決まります。教室で出会った仲間や先生とともに一冊の本を読みあい、疑問や感想を交流しあって、最終的な受講体験記を書き上げます。

主体的に読書に取り組み、そこ中で生じた課題を主体的に追究する態度を養うこと、自分の追究した課題を仲間とともに積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うこと、をめあてとします。

内容

「読書入門」では、本を読むことを通して、書かれた内容が指し示す事実を読者としてもう一度たどり直す作業が大事 になります。その上で、疑問を持ちつつ読み進めることが必要です。

そして、読み取りの作業の中で生じてきた疑問点を、自分から大胆に予想したり、仮説を立ててみたりしながら追究して みることです。この作業によって、自分の考えを持つことができるでしょう。

ここまでが個人の作業になります。続いて、仲間同士で持ち寄った疑問点を交流しあって、それをさらに集団で検討する べき課題にまで高めていきます。

討論を進めるにあたっては、必ずしも結論を出そうとする必要はありません。時には、解決がつかない場合もあるでしょう。それはそれで、分からないことは分からないという態度が大切です。分からないことを無理に分かったように思ったり、分かったふりをするのではなくて、問題を持ち続けることが大切です。

このテキスト『スローカーブをもう一球』は、スポーツの別な見方を教えてくれます。物事には表面的な部分だけでなく、興味を持ち洞察することによって別な深い側面を学ぶことができます。このことを通じて、学生生活を過ごすために、考え方を学んでおくとプラスになると考えます。一つの本を題材に、その考え方をただ単に肯定するだけでなく、それを起点として、自分の考え方を構築していくことを目標とします。

授業は、グループディスカッションを通して学びます。自主的に予習や復習をする仕組みで、自らの考え方を無理なく構築していくことを目標とします。自ら学ぶ前向きな姿勢を期待します。

グループプレゼンテーションによる発表で考え方を定着させるとともに、最終的には、読書入門の受講体験記を書いてみましょう。

評価

毎回の授業への取り組み(予習、復習、授業中の討議への参加を含む)と課題(毎回の提出物)(70%)および最終のレポート(受講体験記含む)(30%)で総合的に評価し、60%以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し,授業で扱う内容の前提となる事項に関連する資料に目を通し、レディネスを高める。 【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

山際淳司著、『スローカーブをもう一球』、角川書店、605円(税別)。

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 高橋 正人 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | EBクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

人間生活学部共通科目読書入門

科目の概要

昨今の大学生は日本史や世界史を知らないと世間では言われている。テレビドラマ等においても、いわゆる時代物が視聴率や製作費の関係から平成に入り激減したのは間違いがない。その背景として、視聴者が歴史を知らないので、その時代背景がわからず、ドラマで何をやっているのかわからいというのが一つにあるのではないかと考えている。 今回は日本の歴史、特にに現代につながる日本の近代史について学習する。さらに近年日本と中国や韓国などの関係が微妙になってきている。この背景を改めて勉強するのもこの機会を利用するのはよいのではないかと考えている。

学修目標(=到達目標)

受験等の関係で、高校の日本史の授業が近代・現代史の部分が最後までいかないと言われている。そういうこともあるので、ここでは近代史を理解することを到達点としたい。そして、現代とのつながりを学生諸君にいろいろと考えてもらうことを第一の目的としたい。合わせて文章理解力や課題を通じた文章作成能力を向上させることも重要な到達目標とする。

内容

| 1 | 序論-幕末までの日本の歴史について問う |
|----|---------------------|
| 2 | 1 開国と幕末の動乱 |
| 3 | 2 明治維新と富国強兵 |
| 4 | 3 立憲国家の成立と日清戦争 |
| 5 | 4 日露戦争と国際関係 |
| 6 | 5 近代産業の発展 |
| 7 | 6 近代文化の発達 |
| 8 | 7 第一次世界大戦と日本 |
| 9 | 8 ワシントン体制 |
| 10 | 9 市民文化 |
| 11 | 10 恐慌の時代 |
| 12 | 11 軍部の台頭 |
| 13 | 12 第二次世界大戦 |
| 14 | 今まで読了した部分の質問や討論を行う |
| 15 | まとめ |

毎回の授業への参加度 (30%) と質問や意見交換の状況 (40%)、および最終のレポート (30%)で総合的に評価し、60%以上を単位取得といたします。

授業外学習

【事前準備】事前にその部分を読了しておくことがベター。

【事後学修】もう一度その部分を読了し、疑問点を自分で調べることがベター。インターネットで調べてみることも有用。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】もういちど読む 山川日本近代史 鳥海靖著 山川出版社 1500円 生協で購入

【推薦書】

【参考図書】

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 渡邊 容子 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | ECクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目は、同じ本を読みながら食品成分などの知識や正しい考え方を学習していきます。所属の異なる人との環境のなかで、ディスカッションを通して新たな考え方や発見を体験していくことを目標としています。

科目の概要

今回取り上げる『「食べもの神話」の落とし穴』は、誤解だらけの食情報を検証する内容が詰まった1冊です。食品・食品成分や栄養の基本的知識を確認しながら、「食生活」という日常のレベルにおいて食と健康について考える内容です。

学修目標(=到達目標)

読書を進めていき、専門的知識の解説やディスカッションに積極的に参加する中で、

- 1.食に関する正しい知識と考え方を身につける
- 2.いろいろな情報の中から、情報に惑わされないための食の選び方を身につける
- 3. 日常的に読書をする楽しさや意義などを養う
- ことなどが修得できます。

| 内容 | |
|----|--------------------------|
| 1 | オリエンテーション |
| 2 | 序章 ウソもホントも混ざる「食の情報」を見極める |
| 3 | 第1章 「栄養成分を理解する」 |
| 4 | 第1章 「栄養成分を理解する」 |
| 5 | 第1章 「栄養成分を理解する」 |
| 6 | 第2章 「食品をめぐるウワサあれこれ」 |
| 7 | 第2章 「食品をめぐるウワサあれこれ」 |
| 8 | 第3章 「食品の分類と食事」 |
| 9 | 第3章 「食品の分類と食事」 |
| 10 | 第4章 「宣伝広告のマジックと表示」 |
| 11 | 第4章 「宣伝広告のマジックと表示」 |
| 12 | 第5章 「痩身情報の基礎知識」 |
| 13 | 第5章 「痩身情報の基礎知識」 |
| 14 | 最終章 「ウワサに踊らされないために」 |
| 15 | まとめ |

評価

毎回の授業への取り組みと課題提出(70%)および最後のレポート(30%)とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】食の情報について、インターネット・テレビ・広告などで調べておいて下さい。

【事後学修】再度本書を読んで、授業中やディスカッションの中で得た知識をまとめみて下さい。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】高橋久仁子/著 『「食べもの神話」の落とし穴』講談社

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 田中 茂 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | FAクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択,選必 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

皆さんが風邪や花粉症が流行るとマスクをしたり、目がかゆくなると眼鏡をしますが、本当に効果があるのでしょうか。こんな勉強をしています。花粉症がシックハウスなどで悩んでいる人はぜひ、参加を。たとえば、自動車を作っている工場で働く人は、有機溶剤を使用しており、マスクをしています。あるいは ケンタッキーフライドチキンやドーナツを製造して、販売しているところでバイトをすると、油で滑らない作業靴を支給されています。これらは保護具といわれており、いろいろな職場や、家庭でも使用されているのです。ここでは、読書を通じて、皆さんの身を守るための保護具を勉強しましょう。

| 内容 | |
|----|----------------|
| 1 | 保護具を取り巻く状況と問題点 |
| 2 | 呼吸用保護具(1) |
| 3 | 呼吸用保護具(2) |
| 4 | 呼吸用保護具(3) |
| 5 | 保護帽 |
| 6 | 保護めがね |
| 7 | 防音保護具 |
| 8 | 安全带 |
| 9 | 化学防護手袋 |
| 10 | 化学防護服 |
| 11 | 安全靴 |
| 12 | 新しい動き(1) |
| 13 | 新しい動き(2) |
| 14 | まとめ(1) |
| 15 | まとめ(2) |

評価

毎回の授業への取り組み(70%)と、まとめで実施予定の発表会(30%)で総合的に評価し、60%以上を単位取得とします

授業外学習

【事前予習】大学を卒業後、就職して働くことを考えましょう。けがしないように働けますか。一般環境中の粉じん(PM 2.5)が高いとき、あなたはどうしますか。

【事後学修】安全と健康に生活を送るための道具の一つとして、安全衛生保護具を理解しましょう。毎回の授業で学んだことをノートに整理しましょう。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】中災防新書:田中茂著 知っておきたい保護具のはなし 中央労働災害防止協会発行

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 松本 晃裕 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | FBクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択,選必 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この本はバックバック トウ ザ フューチャーなどの主人公をした有名な男優のマイケル J フォックス氏が難病であるパーキンソン病に若くして罹り、精神的な苦悩などを書いた自伝です。病気に罹ることによって却って精神的に成長していくことが書かれています。また映画やテレビの男優の生活がどのようなものであるかも書かれていまして、ぜひ一度読んで頂きたい内容です。

科目の概要

毎回じっくり本を読み、内容について話し合っていく予定です。授業に参加して、また適宜課題のレポートを書いて提出してもらう予定です

学修目標(=到達目標)

読書をすることにより、それが楽しみとなり、有意義であるということを実感して頂きたいと思います。また読書する習慣を身につけて頂きたいと思います。

内容

毎回じっくり本を読み、内容について話し合っていく予定です。授業に参加して、また適宜課題のレポートを書いて提出してもらう予定です。

評価

毎回の授業への取り組み(50%)と課題やレポート(50%)で総合的に評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】【事後学修】その回の部分を読書し、要約し、また感想などをレポートにまとめる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】ラッキーマン、マイケル J フォックス、ソフトバンク文庫。最初の授業までに各自準備すること

読書入門 目 名 科 担当教員名 金髙 有里 ナンバリング KKa103 科 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 年 1 クラス FCクラス 開 講 期 後期 必修・選択の別 選必,選択 授業形態 単 位 数 2 資格関係 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学習をする時間です。学科の異なる先生から指導を受け、所属の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としています。

科目の概要

前期中に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選びます。皆さんの所属学科の先生が 担当するものは受講することができません。人数制限があるので、いくつかの本を選ぶようにしてください。履修登録の後 で、機械的な抽選により所属するクラスが決まります。教室で出会った仲間や先生とともに一冊の本を読みあい、疑問や感 想を交流しあって、最終的な受講体験記を書き上げます。

学修目標

主体的に読書に取り組み、そこ中で生じた課題を主体的に追究する態度を養うこと、自分の追究した課題を仲間とともに積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うことをめあてとします。

内容

読書入門では、15回の授業の中で一冊の本を皆で読み深めていきます。

このクラスでは、本によって感じたことをそれぞれ発表したり、討論して進めていきます。クラスの全員で、どのように一冊の本を読み深めていくかについても最初の授業で話し合いたいと思います。

授業の中では、テーマとなる本を読みながら、筆者が辿ってきた人生や経験について読者として辿り直していきます。文章を吟味しながら内容を追っていくと、その中で、疑問点や筆者に対する意見が生まれてくると思います。読み取りの中で生まれてきた疑問点や意見について、自分の考えをまとめることが最初の作業になります。

次に、自分の考えをクラスの中で共有したり、討議したりして集団で検討するべき課題として追究していきます。それぞれの意見を出し合って、同じ本を読んでいる中で、クラスの他の人がどんな感想や意見を持ったかについても捉えていくことが新しい考え方の発見であったり、学びにつながると思います。

特に、このクラスで扱う本では、将来の進路を考えるきっかけやヒントになる部分が多く含まれています。自分自身の進路や考え方にまで発展して考えを深めていってほしいと考えています。

皆で検討した意見を最後には発表という形でまとめたり、読書入門の受講体験記という形で記して戴き、振り返りの時間を持ちたいと思います。

評価

評価 毎回の授業への取り組みと課題(70%)及び最終のレポート(30%)で総合的に評価し、60%以上を単位取

得といたします。

授業外学習

【事前予習】指定の図書を準備して読んでおきましょう。前以て話し合う内容を考えておいてください。

【事後学修】読み進めた内容に対する意見をまとめて行きます。解決できない問題は、次回に話し合えるようにしてください。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

指定図書

「すべては一杯のコーヒーから」

松田公太/著

新潮文庫

最初の授業までに各自準備すること

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 和田 安代 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | FDクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択,選必 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目は、所属学科の異なる教員のもと、他学科の学生とともに一つの本を読み進め、考え、議論をしていく時間である。

科目の概要

仲間と教員とともに指定図書を咀嚼しながらじっくりと読み進め、それに基づいて、疑問点や感想、意見、考えを述べ、 議論していく。他学科の仲間や教員の見方や考え方に触れながら議論していくことで、教養や考察を深めていくことを目指 す。最後には感じたこと等をレポートにして提出していただく。

学修目標(=到達目標)

主体的に読書に取り組むこと、特定のテーマに対して異なる分野の仲間と議論していくことでさらに多様で質の高い考え 方をしていくことが出来る事を目標にしている。

内容

| Γ. | |
|----|------------------------|
| 1 | オリエンテーション:授業の目的、授業の進め方 |
| 2 | 知るより分かる |
| 3 | 知るより分かる |
| 4 | 模倣から創造へ |
| 5 | 模倣から創造へ |
| 6 | いかに「個」を磨くか |
| 7 | いかに「個」を磨くか |
| 8 | 不思議への挑戦 |
| 9 | 不思議への挑戦 |
| 10 | 伝える力 |
| 11 | フェアプレーとは |
| 12 | フェアプレーとは |
| 13 | 研究と教育のディレンマ |
| 14 | 進歩を伝える人達 |
| 15 | 授業のまとめ:議論と課題文作成 |

評価

毎回の授業への取り組みと課題70%、最終のレポート30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業内容に該当している部分を読んでおく。

【事後学修】課題を再度読み返し、まとめる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】科学者という仕事 独創性はどのように生まれるか 酒井邦嘉著(中公新書)

【推薦書】授業中に適宜紹介する。

【参考図書】授業中に適宜紹介する。

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 中村(禎子) | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | FEクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学生の自発的学習を重視する。自分にとって、本とは何かを考える。また、 自分の異見をまとめる、 他人へ伝える 他人の話を聴く、ことを実践する。

科目の概要

指定図書を読むことからスタートするが、読むことだけを目的としない。学生の意識、関心によって課題を変えながら進める。

学修目標(=到達目標)

自分の異見をまとめることができる。

他人へ自分の異見を伝えることができる。

他人の意見を聞くことができる。

本との付き合い方を習得する。

| 内容 | |
|----|--------------------|
| 1 | 概要説明 |
| 2 | 読む、調べる、話す、聞く |
| 3 | 読む、調べる、話す、聞く |
| 4 | 読む、調べる、話す、聞く |
| 5 | 小まとめ |
| 6 | 読む、書く、話す、聞く |
| 7 | 読む、書く、話す、聞く |
| 8 | 読む、書く、話す、聞く |
| 9 | 小まとめ |
| 10 | プレゼンテーション&ディスカッション |
| 11 | プレゼンテーション&ディスカッション |
| 12 | プレゼンテーション&ディスカッション |
| 13 | 小まとめ |
| 14 | 話題提供 |
| 15 | まとめ |

出席と毎回の課題への取り組みを重視する。15回目はレポートを作成し提出する。総合評価60点以上を合格とする。欠 席が6回以上になった場合には、不可とする。

授業外学習

【事前予習】各自よく考えて取り組む。

【事後学修】各自よく考えて取り組む。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 森の紳士録 ぼくの出会った生き物たち 池内 紀/著 岩波新書970

【推薦書】

【参考図書】

 科目名
 読書入門

 担当教員名
 東 聖子

 ナンバリング
 KKa103

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門

 学 年 1
 ク ラ ス GAクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選択,選必

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格: <読書を自由に楽しみましょう! > 20世紀の初めにカナダの女流作家ルーシー・モード・モンゴメリーが出版した『赤毛のアン』==茂木健一郎は11歳の時にこの作品に夢中になりました。脳科学者、「クオリオ」の研究者である茂木の「運命の本」とは何だったのか考えつつ、本書を楽しく読んでいきましょう。比較文化的に、ジェンダー論的に、自然と人間の共存、人間の想像力とは、家族とは、人間の幸福とは、などを多角的に見てみましょう。あわせてカナダの国の歴史や文化について、そして本の成立と出版、映像化、アニメ化についても追いかけてみましょう。

科目の概要:最初の時間にメンバーの個性を眺めながら、授業の進め方を話し合います。概要は、本を章ごとに読みながら、ディスカッションを楽しんだり、カナダのガイドもしてみましょう。また、文学・アニメ・映画の表現方法の違いも考えましょう。時代と格闘して創造的な生き方をした女性たち、モンゴメリのほかにサッチャーの映画も見てみましょう。 < 読書トークを楽しみ同世代感覚を共有します > 。

学修目標(=到達目標): 第一に、本を読んで、内容をしり、キーワードを見つけて、自分の考えを穏やかに語れようにしましょう。第2にプチカナダガイドなどのプレゼン担当になったら、楽しんでビジュアルに語りましょう。第3に、茂木のいう幸せになる方法を理解して、同世代でそれをどう考えるか話し合いましょう。 < 読書は一人で楽しむものですが、みんなで読む醍醐味を味わいましょう! >

内容

| 1 | 【序 はじめましてトーク = = 茂木健一郎の紹介】 |
|----|-------------------------------------|
| 2 | 【序章 「赤毛のアン」から始まった魂の旅/作者モンゴメリーの生涯】 |
| 3 | 【第1章 想像の余地のある人生 / カナダガイド・地理・気候・自然】 |
| 4 | 【第2章 帰るべき家があるということ/カナダガイド・歴史】 |
| 5 | 【第3章 運命の相手に出会うということ / カナダガイド・都市と田舎】 |
| 6 | 【第4章 大人になるということ/カナダガイド・観光地】 |
| 7 | 【第5章 運命をうけいれるということ / カナダガイド・グルメ】 |
| 8 | 【第6章 幸福の花を見つけるということ / カナダガイド・建築・動物】 |
| 9 | 【終章 旅の終着点 / カナダガイド・有名人・国民性】 |
| 10 | 原作との比較 |
| 11 | 実写版(映画)を見よう / アニメ比較 |
| 12 | 実写版(映画)をみよう |
| 13 | 比較:サッチャー英国首相(映画) |
| 14 | ビブリオバトル<私の好きな本> |
| 15 | *まとめ* |

評価

平常点50%、レポート50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】本の各章を丁寧に読んで、自分なりに内容ををまとめ、意見を考えておく。

【事後学修】その日の授業をまとめて、キーワードを調べる。カナダガイドの担当を楽しくまとめておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】茂木健一郎著『「赤毛のアン」に学ぶ幸福になる方法」(講談社文庫、2008)

【推薦書】 授業の時に紹介します。

【参考図書】授業の時に紹介します。

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 赤間 恵都子 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | GBクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

様々な仲間と共に1冊の本を読み合い互いに意見を交わし合うことによって、読書の奥深さを体験する科目です。学科の異なる先生、所属の異なる学生たちが集まって、新しい観点からの考え方を学び合い、読解を深めていきます。

科目の概要

女流日記文学の中から『更級日記』を取り上げます。文化系以外の学生でも容易に読めるよう、現代語訳を主体にコンパクトに編集されたテキストを使用し、少しずつ読み進めていきます。読みながら、作者の生きた時代(平安時代)の文化や社会のしくみなど、気になる事項について疑問点を掲げ合い、調べて発表します。また、作者の考え方や生き方について意見を交わし合います。最後に、レポートを提出します。

学修目標(=到達目標)

- 1『更級日記』の大まかな内容をとらえ、平安時代の社会や風習についての知識を得ること。
- 2 テキストの中から疑問点や問題点を抽出し、調べ、考える力を身につけること。
- 3 自分と異なる視点を持つ仲間との議論を通して、自分自身の考えを導き出すこと。

内容

テキストに沿って、作者の人生を辿っていきます。15回の内容は以下の予定です。

| 1 | ガイダンス:更級日記について |
|----------|-----------------|
| <u> </u> | ガイタンス・支殻口心について |
| 2 | 本文読解:少女の旅立ち |
| 3 | 本文読解:上京の旅(1) |
| 4 | 本文読解:上京の旅(2) |
| 5 | 本文読解:京での生活 |
| 6 | 本文読解:源氏物語を読む |
| 7 | 本文読解:不思議な猫の夢 |
| 8 | 本文読解:恋への憧れ |
| 9 | 本文読解:夢の警告 |
| 10 | 本文読解:宮仕えと結婚 |
| 11 | 本文読解:憧れの男性との出会い |
| 12 | 本文読解:寺詣でに出かける |
| 13 | 本文読解:主婦としての生活 |
| 14 | 本文読解:夫の死 |
| 15 | 本文読解:姥捨山の月(まとめ) |
| 15 | 本文読解:姥捨山の月(まとめ) |

平生の授業に対する取り組みと課題60%、最終レポート40%で、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】次回読む範囲の通読と問題点の抽出

【事後学修】当日提出された問題点に対する解答のまとめ

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】『ビギナーズ・クラッシックス日本の古典 更級日記』菅原孝標女著 / 川村裕子編 / 角川書店 (角川ソフィア文庫)

【推薦書】授業で適宜紹介します。

【参考図書】授業で適宜紹介します。

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 落合 真裕 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | GCクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

全学共通の『初年次ゼミナール』の一科目になります。一冊の本を読みこみながら豊かな読書体験を身につけ、教員や仲間と意見を交わしながら幅広い視野で物事を見る力を養っていきます。

最近日本でも現代版『シャーロック』や『ダントン・アビー』などのイギリスのテレビ番組が放映され、メディアを通じてイギリス流のユーモアに触れる機会も増えてきました。ですが、その多くは日本人には気付きにくく理解し難いものが多いと言われています。というのも、日本では「ユーモア」というと、マイルドで温かみのある笑いをイメージすることが多いですが、イギリスではシニカルなペーソス漂うダークで残酷なユーモアが好まれ、真面目な人や物事を馬鹿にする皮肉や風刺性が強いのが特徴だからです。『たいした問題じゃないが - イギリス・コラム傑作選 - 』は、身近な話題や世間を賑わせている事件などを、イギリス流のユーモアでもって面白く論じた堅苦しくないエッセイ集です。著者は人気エッセイスト4人ですが、その中には童話『クマのプーさん』でも有名なA.A.ミルンもいます。彼らのエッセイ(コラム)は日本でも大人気で、一時は原文を多くの大学の英語テキストとして用いられたと言われています。日本人にはすぐに呑み込めないジョークもありますが、「ああ、そういうのあるある!」と誰もが納得できるような笑い話も多数あります。読んだ後には、彼らの感じ方や精神性への理解が深まり、きっとイギリス流の含みのある笑いが分かるようになることでしょう。

多様な形式で表現されたイギリスのユーモアに触れることで、英国独特の文化を知るとともに、人間生活におけるユーモアや笑いについて多角的にとらえる視点を養うことを目指します。

内容

毎回、各章ごとにじっくり読み、その内容について意見交換をしていきたいと考えています。最後には課題レポートを書いて提出してもらう予定です。

| $\overline{}$ | |
|---------------|----------------------------|
| 1 | ガイダンス |
| 2 | 配送されなかった手紙/男と時計 |
| 3 | 通行規則について/習慣について |
| 4 | 「どうぞ」(プリーズ)をつけるつけない/趣味について |
| 5 | 怠惰について/N一字の差 上流社会での悲劇 |
| 6 | ロンドンの名物/思いやり学校 |
| 7 | インタビュー報告/鹿苑 |
| 8 | 二人の金持/巣作り |
| 9 | 集団攻撃/時間厳守は悪風だ |
| 10 | 無関心/ツバメ |
| 11 | 冬に書かれた朝寝論/癖 |
| 12 | 犬好き/忘れる技術/キャンディー |
| 13 | 遺失物/日記の週間/迷信 |
| 14 | 小説の断章/アカシア通り/昼食 |
| 15 | 十七世紀の物語/自然科学/無罪 |
| | |

評価

毎回の授業への取り組みと課題(70%)及びレポート(30%)で総合的に評価し、60点以上を単位取得といたします。

授業外学習

【事前予習】毎回、取り上げる章について事前に読んできてください。

【事後学修】授業内の意見交換を通じてでてきた問題や疑問点について各自で調べ、次の授業までに答えられるように準備 してきてください。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】行方昭夫編訳. 『たいした問題じゃないが-イギリス・コラム傑作選-』. 岩波書店.

 科目名
 読書入門

 担当教員名
 仇 晓芸

 ナンパリング
 KKa103

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門

 学 年 1
 クラス 2Aクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選択,選必

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読み合いながら学習をする時間である。学科の異なる先生から指導を受け、所属の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としている。

科目の概要

『相性』という本を輪読し、疑問や感想を話し合い、理解を深める。

学修目標(=到達目標)

- ・教科書を読む中で、疑問に思ったことなどの課題について主体的に学ぶ。
- ・自分の考えを持ち、それを他の受講生に伝え、討論できる。
- ・日常的に読書に親しむことができる。

内容

本書は同じアジアの中国でも知られている日本の有名俳優、三浦友和さんが飾らない言葉で書いた自伝的なものである。 大物女優・山口百恵さんの夫でもある三浦さんが少年時代の葛藤をはじめ、その後の人生の歩み方、仕事、結婚について振 り返っている。九章はそれぞれ「転機」、「少年」、「家出」、「解放」、「結婚」、「父親」、「俳優」、「指輪」、「 二人」という二文字ずつのタイトルとなっていて、パートナーとの関係だけでなく、人間同士の相性についても考えさせら れる一冊である。

第1回目:ガイダンス

第2回~第14回目:読書とグループディスカッションなど

第15回目:全体のまとめ&レポート作成

評価

授業の参加態度(40%)、課題への取り組み姿勢(40%)、レポート提出(20%)などから総合的に判断します。

授業外学習

【事前予習】次の授業の読み合わせの章を事前に読んでおくこと

【事後学修】意見交換をしたことを振り返り理解を深めること

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】三浦友和著 『相性』 小学館文庫 (2013)

 科目名
 読書入門

 担当教員名
 亀田 温子

 ナンバリング
 KKa103

 学科人間生活学部(K)-共通科目-読書入門

 学年1
 クラス HAクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業形態
 単位数

 資格関係保育土資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目・十文字学「学びの基礎をつくる」の選択科目

科目の概要

1冊の本をグループ(複数人数)で通読することを通して、作品の内容と同時に、本に関連する 内容を多様な視点からとらえ、また資料を用いてのグループ学習、仲間から学ぶことを行う。

学修目標(=到達目標)

主体的に読書に取組み、著者の考えや行動、生きる力をとらえることにより、今後自分の生き方を 拡げていく態度を養うことにつなげる。

内容

今回取り上げた本「難民高校生」の著者はまだ20歳代の若い女性です。自分が高校生時代学校に居場所がなく渋谷ですごしていたこの女の子が、現在は、居場所の見つからない高校生など若い女性をサポートする組織を作っています。若者の多くが抱える「生きにくさ」の課題に正面から取り組み、彼女はどのようにそれを支援する人に変わっていったのか。キーワードは「若者」「居場所」「現代社会」「女性」です。

次のような3つの視点から読み進める。

まず著者の仁藤夢乃さんのこと、なぜそのように変化したのか、どうしてそうしたことが重要と感 じたのか、著者のことを本からとらえます。

背景となっている社会の動き、自分の生き方と社会をつなぐ若者の活動をとらえる。

女性の変化、女性をめぐる女性自身の変化、社会の見方の変化、男子絵の意識の変化などにふれ、社会と女性のつながりの変化をとらえる。

学習方法としては、次のようなことを用いる。

本だけでなく関連資料を探り、多様な実態を捉える。

グループワークを用い相互に学習することにより、一人で読むことではとらえられない 視点をみつけ、思考の幅を広げる。

若い女性をサポートする、多様なグループや組織、NPOの活動などをとらえる。

日本・世界で活躍する女性リーダたちをとらえる。

この本からスタートし、自分と社会の関わり・イメージを描いていくことにつながる学習の 展開とする。

評価

グループワークや授業への参加などを50点、レポートや報告を50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 テイストを配布後読むすすめ、自分の共感できる部分、疑問点などを書き出す。

【事後学修】 毎回の授業の後、関連の資料などを捉え、内容の理解を深める。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

仁藤夢乃著『難民高校生』(英治出版)を使用。授業時に関連の本、資料を紹介する。

 科目名
 読書入門

 担当教員名
 栗原 隆史

 ナンバリング
 KKa103

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門

 学年1
 クラス HBクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学習をする時間です。学科の異なる先生から指導を受け、所属の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としています

前期中に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選びます。皆さんの所属学科の先生が担当するものは受講することができません。人数制限があるので、いくつかの本を選ぶようにしてください。履修登録の後で、機械的な抽選により所属するクラスが決まります。教室で出会った仲間や先生とともに一冊の本を読みあい、疑問や感想を交流しあって、最終的な受講体験記を書き上げます。

主体的に読書に取り組み、そこ中で生じた課題を主体的に追究する態度を養うこと、自分の追究した課題を仲間とともに積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うこと、をめあてとします。

内容

各教室ごと、各先生ごとに進め方は異なります。それぞれの教室ごとに指示を仰いでください。

「読書入門」では、本を読むことを通して、書かれた内容が指し示す事実を読者としてもう一度たどり直す作業が大事になります。その上で、疑問を持ちつつ読み進めることが必要です。書かれてあるからといって、その文章を鵜呑みにすることはよくありません。言葉を吟味するつもりで、読み取ってみてください。

そして、読み取りの作業の中で生じてきた疑問点を、自分から大胆に予想したり、仮説を立ててみたりしながら追究して みることです。この作業によって、自分の考えを持つことができるでしょう。

ここまでが個人の作業になります。続いて、仲間同士で持ち寄った疑問点を交流しあって、それをさらに集団で検討するべき課題にまで高めていきます。個人では解決できないような質の高い課題を生み出すことができれば、それをさらに仲間たちの力を総動員して追究することになります。もしかすると、ほかの文献にあたってみる必要が出てきたり、実際に情報を集めてみたり、現地を訪ねてみる必要が出てくるかもしれません。

討論を進めるにあたっては、必ずしも結論を出そうとする必要はありません。時には、解決がつかない場合もあるでしょう。それはそれで、分からないことは分からないという態度が大切です。分からないことを無理に分かったように思ったり、分かったふりをするのではなくて、問題を持ち続けることが大切です。

最終的には、読書入門の受講体験記を書いてみましょう。個人で読んだときには思いもつかなかったような課題が仲間とともに話し合う中で生まれてきたり、思いもしなかったような考え方が生まれてきたりした経験を文章にまとめることで、 自分の経験が自分の中で結晶となります。受講の最後には是非とも体験記を書き上げてみてください。

評価

出席状況20%、授業への取組姿勢20%、レポート60%により評価します。

授業外学習

【事前予習】次回の範囲を各自で読んでおく。

【事後学修】今回の範囲で不明な点や興味を持った点について調べてまとめておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】「大江戸リサイクル事情」、石川英輔、講談社文庫、590円(税別)

 科目名
 読書入門

 担当教員名
 松本 晃子

 ナンバリング
 KKa103

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門

 学 年 1
 クラス HCクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業形態
 単位数 2

 資格関係保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間と一緒に一つの本を読み合い学習する時間です。自分が所属している学科 以外の教員、学生と学びあうことで、新しい仲間と新鮮な学習体験を作り上げることを目的としています。

科目の概要

前期に配布される読書入門の開設科目一覧表により、みなさんが学びたいと思う本を選びます。皆さんが所属している学科の教員が担当するものは受講できないことになっています。人数制限があるので、いくつかの本を選んでください。履修登録の後で、機械的な抽選により所属するクラスが決まります。新しく出会った仲間と一緒に一つの本を読み合い、感想を述べ合い、最後は受講体験記を書きあげます。

学修目標(=到達目標)

本を読む楽しさを体験し、読書の意欲を育みます。大学生活の中で、多くの本を読む習慣をつけていきます。

内容

著者である勝間和代さんは、会計事務所や証券会社を経て経済評論家として活動を続けられている人です。冒頭では「私が今、タイムマシンに乗って20代後半の自分にたった一つアドバイスをするとしたら『断る力』を一刻も早く、身につけることと言うでしょう」と書かれていますが、私も共感するところが大きいのです。どんな人も彼女のようにバリバリと働くことがベストとは限りませんが、意外と「断る力」をつけようと思うだけでも視界が変わってきます。そんな効果を味わうためにも、毎回じっくり読んで話し合っていければと考えています。最後はレポートを書いて提出してもらいます。

評価

評価 毎回の授業への取り組みと課題(70%)及び最終のレポート(30%)で総合的に評価し、60%以上を単位取得といたします。

授業外学習

【事前予習】各自担当の内容を読んで、討議したい内容を考えてきてください。

【事後学修】議論を踏まえて内容に対する自分の考えをまとめてきてください。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】勝間和代著『断る力』文春新書

【推薦書】

【参考図書】

 科目名
 読書入門

 担当教員名
 込江 雅彦

 ナンバリング
 KKa103

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門

 学 年 1
 クラス HDクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学習をする時間です。学科の異なる先生から指導を受け、所属の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としています

前期中に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選びます。皆さんの所属学科の先生が担当するものは受講することができません。人数制限があるので、いくつかの本を選ぶようにしてください。履修登録の後で、機械的な抽選により所属するクラスが決まります。教室で出会った仲間や先生とともに一冊の本を読みあい、疑問や感想を交流しあって、最終的な受講体験記を書き上げます。

主体的に読書に取り組み、そこ中で生じた課題を主体的に追究する態度を養うこと、自分の追究した課題を仲間とともに積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うこと、をめあてとします。

内容

今回、取り上げる書籍はテレビ放送で有名になったハーバード大学の授業がもとになっています。全員を救うために一人を殺害することが許されるかなど、究極の選択を迫る内容が話題になりました。しかし、この本の内容はそのような表面的なことではなく、その背後にある様々な哲学者たちの書物を理解しながら現代の問題を考えることに本質があります。偉大な哲学者たちの思想を学習しながら、様々な諸問題を考える機会にしてほしいと思います。

評価

毎回の報告(50%)と最終レポート(50%)ととし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】該当の章を読む。

【事後学修】授業でのディスカッションを踏まえ、テキストを再読する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 マイケル・サンデル 『これから正義の話をしよう』早川書房

| 科目名 | 読書入門 | |
|--------|---------------------|---------------|
| 担当教員名 | 北原 俊一 | |
| ナンバリング | KKa103 | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス JAクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 選択,選必 |
| 授業形態 | | 単 位 数 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この読書入門を通して,さまざまな環境問題に対して,自然環境全体から科学的に考える態度を身に着け,今後の行動について自分なりの判断ができることを目指す。

科目の概要

多くの環境問題に関するトピックが扱われている。クラス内で読み進め、議論しながらその自然科学的背景や、今後の対策について考えていく。

学修目標(=到達目標)

地球環境問題に対して科学的な見方ができる。

地球環境問題に対して自分の考えをもつことができる。

内容

| 4 | Mnの任理 |
|----|----------------|
| | 物の循環 |
| 2 | 水の循環 |
| 3 | 温暖化の問題 |
| 4 | エネルギー対策 |
| 5 | 環境問題の国際的な課題 |
| 6 | 温暖化への国々の対策 |
| 7 | ライフスタイルについて考える |
| 8 | ごみ処理の現状 |
| 9 | 社会のシステムについて考える |
| 10 | 循環型の社会を目指して |
| 11 | 暮らしの中での環境保全 |
| 12 | 環境と開発の両立 |
| 13 | 環境リスクの考え方 |
| 14 | 未来のために何ができるか |
| 15 | まとめ |

評価

毎回の提出物30%と授業準備・意見交換などの授業への取り組みを70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】取り扱う章については,一通り目を通しておく。

【事後学修】もう一度テキストを読み、メディア等で報じられている問題であればそれを学習しておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】環境問題の基本がわかる本、門脇仁、秀和システム

| 科目名 | 読書入門 | | |
|--------|---------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 棚谷 祐一 | | |
| ナンバリング | KKa103 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | JBクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

私たちが当たり前と感じている「音楽」のあり方を、もう一度疑ってみることからはじめて再定義してみようという試みです。

科目の概要

私達の身の回りに当たり前のように氾濫する「音楽」。どこまでが音楽でどこからが音楽でないのか。音楽に対する根源的な問いの数々を通して「音楽」を一種の環境問題として捉えてみましょう。

学修目標(=到達目標)

読書体験とディスカッションを通じて音楽のあり方、音楽との関わり方を見つめなおし、メディアリテラシーを高める一助となることを期待すると共に、豊かで柔軟な感性を養う。

内容

なお、進度については学生諸君の理解度や進捗状況に応じて柔軟に運用することがあります。

| 1 | ガイダンス |
|----|--------------------|
| 2 | イントロダクション |
| 3 | 音楽の輪郭 / へり(1) |
| 4 | 音楽の輪郭 / へり(2) |
| 5 | 音楽と場(1) |
| 6 | 音楽と場(2) |
| 7 | 「作品」を疑う |
| 8 | 誰から誰へ? |
| 9 | 音楽のプロ / アマ? |
| 10 | 視覚的なものと音楽の密接な関係(1) |
| 11 | 視覚的なものと音楽の密接な関係(2) |
| 12 | 身体と音楽 |
| 13 | 生命と音楽 |
| 14 | 音楽の倫理 消費を越えて |
| 15 | まとめ |
| | |

評価

授業への参加度30%、課題40%、最終レポート30%とする。

授業外学習

【事前予習】指定された範囲を読み込んでおく。

【事後学修】不明な用語等について調べる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】サウンド・エシックス 小沼純一 著 平凡社新書(絶版のため貸し出します)

【推薦書】随時紹介

【参考図書】随時紹介

 科目名
 読書入門

 担当教員名
 加藤 亮介

 ナンバリング
 KKa103

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-読書入門

 学年1
 クラス JCクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選必,選択

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

1年次必修共通科目である。

事前(前週)に、章や節を指定し、それを踏まえて発表・ディスカッションを行うため、

予習が必須の授業となる。

科目の概要

あなた方が成長して社会人になっていく上で重要な要素

例えば、国家、法律、学問についての必然性を「学問のススメ」は説いています。

現代語訳となり、読み易くなった本を利用し、皆で「学問のススメ」を読み解いていきます。

学修目標(=到達目標)

- ・各回、事前に自分なりの「理解」や「疑問」を用意し、グループ内でのディスカッションに参加することができる。
- ・著者の見解に対して、自分なりの見解を述べることができる。

履修者数等の都合により一部内容を変更する場合がある。

内容

- 1.ガイダンス
- 2~7.発表・ディスカッション
- 8. 中間総括
- 9~14.発表・ディスカッション
- 15.総括

評価

事前準備等、毎回の提出物(50%)、ディスカッションなどの授業への参加態度(50%)を総合的に評価

授業外学習

事前(前週)に、指定された章や節に関して自分なりの「理解」や「疑問」を用意して備えること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

現代語訳 学問のすすめ

福澤 諭吉/著 著斎藤 孝 /訳 筑摩書房 ちくま新書

| 科目名 | TOEIC対策講座 | | |
|--------|------------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 谷 洋子 | | |
| ナンバリング | KKc230 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-資格科目(外国 | 語) | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

TOEIC (Test of English for International Communication

)は、仕事や日常生活におけるコミュニケーションを英語で行うことを想定して開発されたテストです。また、そのスコア はしばしば社会で英語力を客観的に判断するための基準として用いられます。

授業では、スコアアップを目指して学習しながら、コミュニケーションに必要な英語表現を習得し、自然なスピードの聞き取りに慣れることを目的とし、各テーマの関連語彙や文法を確認しながらTOEIC形式のリスニング、リーディングの練習問題に取り組みます。また、実際に使える英語力をつけることを目指し、速読や口頭練習も行います。

内容

各授業のテーマ、関連語彙、文書のフォーマットなどを学び、それらを使用したTOEICのリスニング、リーディングの練習問題に取り組みます。

スコアアップを意識した講義や練習を行うと同時に、TOEICの学習を実際のコミュニケーションに活かせるよう4技能(聴く・話す・読む・書く)につなげるための学習法を学び実践します。

| 1 | オリエンテーション U1 Daily Life | |
|----|-------------------------|--|
| 2 | U2 Places | |
| 3 | U3 People | |
| 4 | U4 Travel | |
| 5 | U5 Business | |
| 6 | U6 Office | |
| 7 | U7 Technology | |
| 8 | U8 Personnel | |
| 9 | U9 Management | |
| 10 | U10 Purchasing | |
| 11 | U11 Finance | |
| 12 | U12 Media | |
| 13 | U13 Entertaiment | |
| 14 | U14 Health | |
| 15 | 総括 | |

評価

テスト70点、課題20点、授業への取り組み10点の合計で評価を行い、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】各課の新出語彙を予習しておくこと(Check Your Vocabulary! Words in Context)

【事後学修】各課の Self-study quizzes (p.99~) に取り組む。 各課パート3、4のシャ

ドウイングを行う。(シャドウイングの方法については、授業で指導します。) 各課の授業内で終了しなかった問題に取り組み、復習まで行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

 科目名
 TOEIC対策講座

 担当教員名
 柿元 資子

 ナンバリング
 KKc230

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-資格科目(外国語)

 学年
 1

 月期
 前期

 必修・選択の別
 選択

 資格関係
 単位数

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

TOEICを受験したことにない人、受験したけど点数が伸びず、どのように勉強してよいかわからない という人たちの為に開講される科目

科目の概要

Chapter 1~7はTOEICの各Partについての基礎的なことを学ぶ。各Partがどのような問題形式なのか、またどの程度の時間で一門を解かねばならないのかについて知る
Chapter 8~13はTOEICの各Partを効率よく解くための基本的なストラテジー(戦略)を学んでいく

学修目標(=到達目標)

リスニング問題への取り組み方や文法及び読解問題における「押さえどころ」を学び、演習問題を通じてそれらを身につけることで、より効果的に各Partを攻略することを目指す

内容

1 週目

| 2 週目 | Part1の主な特徴&Part 5 の頻出問題;形容詞と副詞 |
|--------|--------------------------------|
| 3 週目 | Part2の主な特徴&Part 5 の頻出問題;名詞と代名詞 |
| 4 週目 | Part2の主な特徴&Part5の頻出問題;時制 |
| 5 週目 | Part3の主な特徴&Part5の頻出問題;時制「完了形」 |
| 6 週目 | Part4の主な特徴&Part5の頻出問題;受動態と動詞の形 |
| 7 週目 | Part6の主な特徴&Part5の頻出問題;to不定詞 |
| 8 週目 | Part7の主な特徴&Part5の頻出問題;接続詞と前置詞 |
| 9 週目 | Part1の攻略法 & Part5の復習問題 |
| 10週目 | Part2の攻略法 & Part5の復習問題 |
| 1 1 週目 | Part3の攻略法&Part5の復習問題 |
| 1 2 週目 | Part4の攻略法&Part5の復習問題 |
| 13週目 | Part6の攻略法&Part5の復習問題 |
| 1 4 週目 | Part7の攻略法&Part5の復習問題 |
| 15週目 | まとめ |
| | |

本科目の目的、概要、成績評価基準等を確認する

評価

授業外学習

【事前予習】該当するChapterに目を通してくること

【事後学修】該当するChapterの語彙、語句を復習すること

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Strategic Learning for the TOEIC Test(森田光弘他2名著)松柏社

【推薦書】

【参考図書】

 科目名
 TOFIC対策講座

 担当教員名
 宮崎順子

 ナンバリング KKc230
 KKc230

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-資格科目(外国語)

 学 年 1
 クラス 1Cクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 選択

 授業形態
 単位数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、英語能力試験の1つであるTOEICテスト受験のための、初級レベルの学生を対象とした準備クラスです。 語彙、文法、リスニング、読解を総合的に学習して、実用的な英語運用能力を向上させ、TOEICテストに対応できる力を養成します。

TOEICテストにおいて、350点以上のスコア取得を目指します。

内容

授業ではユニットごとに、TOEICテストの出題形式に沿った問題を解きながら、語彙、基本的な文法事項、リスニングとリーディングのためのストラテジーなどを学んでいきます。

知識の定着を図るために、授業で使用するテキストから隔週で語彙に関する小テストを実施します。

授業には積極的に参加し、予習・復習を行うようにしてください。

講義計画

第1週 TOEICテストとは?

第2週 Shopping / 動詞

第3週 Daily Life / 名詞

第4週 Transportation / 代名詞

第5週 Jobs / 形容詞と副詞

第6週 Meals / 時制

第7週 Communication / 受動態と分詞

第8週 Fun / 動名詞と不定詞

第9週 Office Work / 助動詞

第10週 Meeting / 比較

第11週 Travel / 前置詞

第12週 Finance / 接続詞

第13週 Business / 関係詞

第14週 まとめ(1)

第15週 まとめ(2)

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1)期末試験: 60%

(2)平常点: 40%(授業への参加度・小テスト・課題提出)

授業外学習

【事前予習】教科書の指定個所を必ず予習して授業に臨んでください。

【事後学修】授業で学習した単語や表現を再確認し覚えてください。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】妻鳥千鶴子・田平真澄『First Time Trainer for the TOEIC TEST

- はじめてのTOEIC受験徹底対策』Cengage Learning

【参考図書・辞典等】授業で適宜紹介します。

 科目名
 中国語試験対策科目

 担当教員名
 池間 里代子

 ナンバリング
 KKc231

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-資格科目(外国語)

 学年
 1

 月期期期期
 必修・選択の別選択

 授業形態
 単位数

 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

6月回の中国語検定試験合格を目指し、発音・文法・作文力を高める。

科目の概要

中国語検定試験の過去問を解き、解説を聞く。これを繰り返すことによって解答パターンを 体得し、自信をもって受験に臨めるようにしていく。中級受験者向けには長文読解のための訓練を行なう。

学修目標(=到達目標)

自らが設定した級に合格すること。やや難しい級にチャレンジして、合格すること。

内容

ガイダンス、受験級確定

過去問解き、解説

語彙練習

文法確認

リスニング対策

ライティング対策

模擬試験

評価

平常点を50%・受験結果を50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】単語帳の暗記

【事後学修】ミスノート作成

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】プリントなど

【推薦書】『中国語検定4級合格への手引き』南雲堂フェニックス 2010年 ¥1800+税 『中国語検定3級合格への手引き』南雲堂フェニックス 2010年 ¥1800+税

【参考図書】

 科目名
 中国語試験対策科目

 担当教員名
 池間 里代子

 ナンバリング
 KKc231

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-資格科目(外国語)

 学年
 1

 月講期
 後期

 必修・選択の別
 選択

 資格関係
 単位数

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

11月回の中国語検定試験合格を目指し、発音・文法・作文力を高める。

科目の概要

中国語検定試験の過去問を解き、解説を聞く。これを繰り返すことによって解答パターンを 体得し、自信をもって受験に臨めるようにしていく。中級受験者向けには長文読解のための訓練を行なう。

学修目標(=到達目標)

自らが設定した級に合格すること。やや難しい級にチャレンジして、合格すること。

内容

ガイダンス、受験級確定

過去問解き、解説

語彙練習

文法確認

リスニング対策

ライティング対策

模擬試験

評価

平常点を50%・受験結果を50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】単語帳の暗記

【事後学修】ミスノート作成

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】プリントなど

【推薦書】『中国語検定4級合格への手引き』南雲堂フェニックス 2010年 ¥1800+税 『中国語検定3級合格への手引き』南雲堂フェニックス 2010年 ¥1800+税

【参考図書】

 科目名
 日本語能力試験対策講座(文法・文字語彙)

 担当教員名
 小笠原 典子

 ナンバリング
 KKc232

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-資格科目(外国語)

 学年1
 クラス

 開講期前期
 必修・選択の別選択

 授業形態
 単位数

2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語能力試験N1・N2の合格を目指す、対策講座で、演習形式で授業を進めていきます。試験科目のうち、「文字・ 語彙」「文法」に特化して学習します。

科目の概要

毎回、さまざまな出題形式から問題を選び、実戦形式で授業を進めます。

学修目標

この授業を修了するためには、授業前、および授業中に提示される問題をこなし、その場で定着させることを目指していきます。

- 1 授業に出席し、問題となる課題について講義を受ける。
- 2 課題の理解を深めるため、予習、復習は怠らない。
- 3 課題で誤った項目を、再び誤らないよう努める。

内容

第1回 授業のガイダンス・日本語能力試験受験レベルの測定

第2回~14回

【文字語彙】学習項目

漢字読み

表記

語形成

文脈規定

言い換え類義

用法

【文法】

文法形式の判断

文の組立

文章の文法

第15回 まとめ

評価

平常点(毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度):30% 筆記試験:70% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前予習】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】添削された提出物について復習を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】

第1回目の授業で指示します。

 科 目 名
 日本語能力試験対策講座 (文法・文字語彙)

 担当教員名
 小笠原 典子

 ナンバリング
 KKc232

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-資格科目(外国語)

 学 年 1
 クラス 2Aクラス

 開 講 期 後期
 必修・選択の別 選択

 授業 形態
 単 位 数 2

資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語能力試験N1・N2の合格を目指す対策講座で、演習形式で授業を進めていきます。試験科目のうち、「文字・語彙」「文法」に特化して学習します。

科目の概要

毎回、さまざまな出題形式から問題を選び、実戦形式で授業を進めます。

学修目標

この授業を修了するためには、授業前、および授業中に提示される問題をこなし、その場で定着させることを目指していきます。

- 1 授業に出席し、問題となる課題について講義を受ける。
- 2 課題の理解を深めるため、予習、復習は怠らない。
- 3 課題で誤った項目を、再び誤らないよう努める。

内容

第1回 授業のガイダンス・日本語能力試験受験レベルの測定

第2回~14回

【文字語彙】学習項目

漢字読み

表記

語形成

文脈規定

言い換え類義

用法

【文法】

文法形式の判断

文の組立

文章の文法

第15回 まとめ

評価

平常点(毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度):30% 筆記試験:70% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前予習】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】添削された提出物について復習を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】

第1回目の授業で指示します。

 科 目 名
 日本語能力試験対策講座(文法・文字語彙)

 担当教員名
 安恒 佳代子

 ナンバリング
 KKc232

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-資格科目(外国語)

 学 年 1
 クラス 28クラス

 開 講 期 後期
 必修・選択の別 選択

 授業 形態
 単 位 数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

資格関係

日本語能力試験N1・N2の合格を目指す対策講座で、演習形式で授業を進めていきます。試験科目のうち、「文字・語彙」「文法」に特化して学習します。

科目の概要

毎回、さまざまな出題形式から問題を選び、実戦形式で授業を進めます。

学修目標

この授業を修了するためには、授業前、および授業中に提示される問題をこなし、その場で定着させることを目指していきます。

- 1 授業に出席し、問題となる課題について講義を受ける。
- 2 課題の理解を深めるため、予習、復習は怠らない。
- 3 課題で誤った項目を、再び誤らないよう努める。

内容

第1回 授業のガイダンス・日本語能力試験受験レベルの測定

第2回~14回

【文字語彙】学習項目

漢字読み

表記

語形成

文脈規定

言い換え類義

用法

【文法】

文法形式の判断

文の組立

文章の文法

第15回 まとめ

評価

平常点(毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度):30% 筆記試験:70% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前予習】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】添削された提出物について復習を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】

第1回目の授業で指示します。

 科 目 名
 日本語能力試験対策講座 (請解)

 担当教員名
 小笠原 典子

 ナンバリング KKc233
 KKc233

 学 科 人間生活学部 (K) - 共通科目 - 資格科目 (外国語)

 学 年 1
 クラス 1Aクラス

 開 講 期 前期
 必修・選択の別 選択

 授業 形態
 単 位 数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語能力試験N1・N2の合格を目指す対策講座で、演習形式で授業を進めていきます。試験科目のうち、「読解」に 特化して学習します。

科目の概要

毎回、さまざまな出題形式から問題を選び、実戦形式で授業を進めます。

学修目標

この授業を修了するためには、授業前、および授業中に提示される問題をこなし、その場で定着させることを目指していきます。

- 1 授業に出席し、問題となる課題について講義を受ける。
- 2 課題の理解を深めるため、予習、復習は怠らない。
- 3 課題で誤った項目を、再び誤らない努める。

内容

第1回 授業のガイダンス・日本語能力試験受験レベルの測定

第2回~14回

【読解】学習項目

内容理解(短文)

内容理解(中文)

統合理解

主張理解(長文)

情報検索

第15回 まとめ

評価

平常点(毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度):30% 筆記試験:70% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前準備】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】添削された提出物について復習を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】第1回授業で指示します。

 科目名
 日本語能力試験対策講座(読解)

 担当教員名
 安恒 佳代子

 ナンバリング KKc233
 KKc233

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-資格科目(外国語)

 学 年 1
 クラス 18クラス 18クラス 18クラス 必修・選択の別 選択

 開 講 期 前期
 必修・選択の別 選択

 授業 形態
 単 位 数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語能力試験N1・N2の合格を目指す対策講座で、演習形式で授業を進めていきます。試験科目のうち、「読解」に 特化して学習します。

科目の概要

毎回、さまざまな出題形式から問題を選び、実戦形式で授業を進めます。

学修目標

この授業を修了するためには、授業前、および授業中に提示される問題をこなし、その場で定着させることを目指していきます。

- 1 授業に出席し、問題となる課題について講義を受ける。
- 2 課題の理解を深めるため、予習、復習は怠らない。
- 3 課題で誤った項目を、再び誤らない努める。

内容

第1回 授業のガイダンス・日本語能力試験受験レベルの測定

第2回~14回

【読解】学習項目

内容理解(短文)

内容理解(中文)

統合理解

主張理解(長文)

情報検索

第15回 まとめ

評価

平常点(毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度):30% 筆記試験:70% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前準備】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】添削された提出物について復習を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】第1回授業で指示します。

 科目名
 日本語能力試験対策講座 (読解)

 担当教員名
 小笠原 典子

 ナンバリング KKc233
 KKc233

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-資格科目(外国語)

 学 年 1
 クラス

 開講期後期
 必修・選択の別選択

 授業形態
 単位数

 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語能力試験N1・N2の合格を目指す対策講座で、演習形式で授業を進めていきます。試験科目のうち、「読解」に 特化して学習します。

科目の概要

毎回、さまざまな出題形式から問題を選び、実戦形式で授業を進めます。

学修目標

この授業を修了するためには、授業前、および授業中に提示される問題をこなし、その場で定着させることを目指していきます。

- 1 授業に出席し、問題となる課題について講義を受ける。
- 2 課題の理解を深めるため、予習、復習は怠らない。
- 3 課題で誤った項目を、再び誤らない努める。

内容

第1回 授業のガイダンス・日本語能力試験受験レベルの測定

第2回~14回

【読解】学習項目

内容理解(短文)

内容理解(中文)

統合理解

主張理解(長文)

情報検索

第15回 まとめ

評価

平常点(毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度):30% 筆記試験:70% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前準備】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】添削された提出物について復習を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】第1回授業で指示します。

| 科目名 | 身体運動 |
|--------|--|
| 担当教員名 | |
| ナンバリング | KKb123 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動 |
| 学 年 | ク ラ ス JAクラス |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/如稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

「身を鍛え心鍛えて…」という校歌にあるように、からだを動かし、鍛える機会は重要である。4年間成長していくために私たちは今、何を必要として、何を大切にしていかなくてはいけないのかについて、自分の力で考え、その入り口として、この科目は位置づけられる。

各種スポーツや様々な運動を実際に体験することによって、仲間と協力し合い、自分自身の可能性を探り、見つけ、実感 し、成長することがこの科目のねらいとなる。

目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係 人間性・感受性を豊かに 学生生活の活性化 および体力増進 生涯スポーツへの動機付け

内容

身体運動Iでは、スポーツを通した仲間作りを目標に、フライングディスクをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気付く」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めていく。またストレッチ、リズムエクササイズ等はウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換、等スポーツの価値をこころとからだ全体で実感できるようにする。

第1週 オリエンテーション 授業のねらい、内容説明、等

(w-upリズムエクササイズ、c-dwnストレッチは毎回)

第2週~ 実技 ニュースポーツ はじめて行うルールのボールゲーム、アルティメットなど

第4週~ 実技 その他の球技やフィールドアスレチックなど

第11週~ 実技 ダンスエクササイズなど

第15週 ダンスエクササイズの発展形のステップなどで発表を行う

受講者数によっては、内容が変更される場合もある。

服、靴などは必ずふさわしいものを着用し、アクセサリ、髪の毛などの身だしなみも整えなければ出席と認めない。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度を含む)60%、毎回のまとめ(振り返りシート)20%、実技テスト20%とし、総合的に評価の上、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し,授業で扱う内容の前提となる事項に関連する資料に目を通し、レディネスを高める。 【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する

担当教員名 飯田 路佳

ナンバリング KKb123

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 JBクラス

開講期前期 必修・選択の別 必修*,選必

授業形態 単位数 1

保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/如稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(因語)/中学校教諭一種免許状(因語)/中学校教諭一種免許状(因語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

必修の共通科目である。

メディアコミュニケーション学科の学生を対象に各種スポーツや様々な運動を実際に体験することによって、自分自身の可能性を探り、見つけ、実感することがこの科目の概要となる。

目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係 人間性・感受性を豊かに 学生生活の活性化および体力増進 生涯スポーツへの動機付け

内容

身体運動Iでは、スポーツを通した仲間作りを目標に、フライングディスクをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気付く」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めていく。またストレッチ、リズムエクササイズ等はウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換、等スポーツの価値をこころとからだ全体で実感できるようにする。

第1週 オリエンテーション 授業のねらい、内容説明、等

(w-upリズムエクササイズ、c-dwnストレッチは毎回)

第2週~ 実技 ニュースポーツ はじめて行うルールのボールゲーム、アルティメットなど

第4週~ 実技 その他の球技や自彊術、フィールドアスレチックなど

第11週~ 実技 ダンスエクササイズなど

第15週 ダンスエクササイズの発展形のステップなどで発表を行う

受講者数によっては、内容が変更される場合もある。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

長髪の場合は髪をまとめるとともに、危険防止のため装飾品は禁止。

自ら前向きに取り組めるような姿勢で臨むこと

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度を含む)60%、毎回のまとめ(振り返りシート)20%、実技テスト20%とし、総合的に評価し、6割以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し,授業で扱う内容の前提となる事項に関連する資料に目を通し、レディネスを高める。

【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する

| 科目名 | 身体運動 | | |
|---|---------------------|--|--|
| 担当教員名 | 扇原 淳 | | |
| ナンバリング | KKb123 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動 | | |
| 学 年 | 1 ク ラ ス FAクラス | | |
| 開講期 | 前期 必修・選択の別 必修 * ,選必 | | |
| 授業形態 | 単位数 1 | | |
| 保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この授業は、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習します。また、一部健康運動実践指導者受験資格取得のために必要な授業内容です。

科目の概要

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感(嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツ の楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚)すべてで感じることを大切にします。加えて、仲 間づくりやチームづくりの手段と方法について学習します。

受講生が、スポーツを通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになること を最終的な目標とします。

学修目標(=到達目標)

- ・ストレッチ運動の目的、安全性、指導方法および指導上の問題点を理解できる。
- ・各種運動方法を学び、実践できる。
- ・スポーツ大会を構成、実践できる。

| 内容 | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション (準備運動種目の説明等) |
| 2 | ストレッチの目的とその種類(含むSAQトレーニング) |
| 3 | ストレッチ(ストレッチの安全性) |
| 4 | ストレッチ(身体各部位のストレッチ) |
| 5 | ストレッチ (ストレッチ指導上の問題点) |
| 6 | キックベース (1) (基本技術・戦術) |
| 7 | キックベース(2)(試合の企画・実践) |
| 8 | ティーボール (1) (基本技術・戦術) |
| 9 | ティーボール(2)(試合の企画・実践) |
| 10 | スローピッチ・ソフトボール(1)(基本技術・戦術) |
| 11 | スローピッチ・ソフトボール(2)(試合の企画・実践) |
| 12 | タッチフット(1)(基本技術・戦術) |
| 13 | タッチフット(2)(試合の企画・実践) |
| 14 | スポーツ大会(1)(スポーツ種目の選定・チーム編成・ルールづくりを含む) |
| 15 | スポーツ大会(2)(スポーツ種目の選定・チーム編成・ルールづくりを含む) |

平常点:60%(出席点が基本。時間厳守。20分以上の遅刻は欠席) レポート:40% とし、総合評価60点以上を 合格とする。

授業外学習

【事前準備】各種運動方法を事前に調べておく。

【事後学修】各種運動方法を事後まとめておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

| 科目名 | 身体運動 | | |
|--|---------------------|---------|--------|
| 担当教員名 | 扇原 淳 | | |
| ナンバリング | KKb123 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動 | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | FBクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選必,必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この授業は、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習します。また、一部健康運動実践指導者受験資格取得のために必要な授業内容です。

科目の概要

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感(嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツの楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚)すべてで感じることを大切にします。加えて、仲間づくりやチームづくりの手段と方法について学習します。

受講生が、スポーツを通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになること を最終的な目標とします。

学修目標(=到達目標)

- ・ストレッチ運動の目的、安全性、指導方法および指導上の問題点を理解できる。
- ・各種運動方法を学び、実践できる。
- ・スポーツ大会を構成、実践できる。

| 内容 | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション (準備運動種目の説明等) |
| 2 | ストレッチの目的とその種類(含むSAQトレーニング) |
| 3 | ストレッチ(ストレッチの安全性) |
| 4 | ストレッチ (身体各部位のストレッチ) |
| 5 | ストレッチ (ストレッチ指導上の問題点) |
| 6 | キックベース (1) (基本技術・戦術) |
| 7 | キックベース(2)(試合の企画・実践) |
| 8 | ティーボール(1)(基本技術・戦術) |
| 9 | ティーボール(2)(試合の企画・実践) |
| 10 | スローピッチ・ソフトボール(1)(基本技術・戦術) |
| 11 | スローピッチ・ソフトボール(2)(試合の企画・実践) |
| 12 | タッチフット(1)(基本技術・戦術) |
| 13 | タッチフット(2)(試合の企画・実践) |
| 14 | スポーツ大会(1)(スポーツ種目の選定・チーム編成・ルールづくりを含む) |
| 15 | スポーツ大会(2)(スポーツ種目の選定・チーム編成・ルールづくりを含む) |

平常点:60%(出席点が基本。時間厳守。20分以上の遅刻は欠席) レポート:40% とし、総合評価60点以上を 合格とする。

授業外学習

【事前準備】各種運動方法を事前に調べておく。

【事後学修】各種運動方法を事後まとめておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

| 科目名 | 身体運動 | | |
|---|---------------------|---------|----------|
| 担当教員名 | 扇原 淳 | | |
| ナンバリング | KKb123 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動 | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | FCクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修 * ,選必 |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この授業は、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習します。また、一部健康運動実践指導者受験資格取得のために必要な授業内容です。

科目の概要

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感(嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツの楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚)すべてで感じることを大切にします。加えて、仲間づくりやチームづくりの手段と方法について学習します。

受講生が、スポーツを通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになること を最終的な目標とします。

学修目標(=到達目標)

- ・ストレッチ運動の目的、安全性、指導方法および指導上の問題点を理解できる。
- ・各種運動方法を学び、実践できる。
- ・スポーツ大会を構成、実践できる。

| 内容 | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション (準備運動種目の説明等) |
| 2 | ストレッチの目的とその種類(含むSAQトレーニング) |
| 3 | ストレッチ(ストレッチの安全性) |
| 4 | ストレッチ(身体各部位のストレッチ) |
| 5 | ストレッチ (ストレッチ指導上の問題点) |
| 6 | キックベース (1) (基本技術・戦術) |
| 7 | キックベース(2)(試合の企画・実践) |
| 8 | ティーボール(1)(基本技術・戦術) |
| 9 | ティーボール(2)(試合の企画・実践) |
| 10 | スローピッチ・ソフトボール(1)(基本技術・戦術) |
| 11 | スローピッチ・ソフトボール(2)(試合の企画・実践) |
| 12 | タッチフット(1)(基本技術・戦術) |
| 13 | タッチフット(2)(試合の企画・実践) |
| 14 | スポーツ大会(1)(スポーツ種目の選定・チーム編成・ルールづくりを含む) |
| 15 | スポーツ大会(2)(スポーツ種目の選定・チーム編成・ルールづくりを含む) |

平常点:60%(出席点が基本。時間厳守。20分以上の遅刻は欠席) レポート:40% とし、総合評価60点以上を 合格とする。

授業外学習

【事前準備】各種運動方法を事前に調べておく。

【事後学修】各種運動方法を事後まとめておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

 科目名
 身体運動

 担当教員名
 山本悟

 ナンバリング
 KKb123

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

 学年1
 クラス

 開講期前期
 必修・選択の別

 授業形態
 単位数

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

種免許状(保健)了中学校教諭一種免許状(保健)了中学校 一種免許状(保健体育)/ 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

科目の性格

資格関係

体育の実技科目であるが、教員免許取得に関する必修科目にもなっている。身体運動を通して、コミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

種免許状(情報)

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協働型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに、体を動かすことのよさを子どもたちに伝えるための基礎知識を学ぶ場も提供する。

学修目標

身体を動かすことの楽しさを体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深めることができる。また、小・中・高校と学習してきた「体育」という教科についての考え方を振り返ることもねらいとする。

内容

児童教育学科の学生を対象にした「身体運動」では、天候や季節を考慮するとともに児童教育専攻に応じた運動種目を取り上げて実技中心の授業を実施する。授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した活動を行い、その後で主要となる運動種目を学習する形式で進めていく。

具体的な活動内容として、なわとび運動(長なわ)・器械運動・ボール運動・小学校の体育授業で扱う運動教材の復習などを取り上げる。また、準備運動の指導を輪番制で担当する活動も設定する。

第1调:オリエンテーション 第2~6调:器械運動・長なわとび 第7~10调:ボール運動

第11~14週:長なわパフォーマンス(創作・表現活動) 第15週 まとめ

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グランドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、 グランド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。

毎時間、授業ノート(ルーズリーフ不可)と筆記具を用意すること。

見学者も運動着に着替えて出席すること。

評価

平常点(授業に対する取り組みで評価:運動量、協働性、意欲と関心)60点、ノート整理(提出2回)20点、試験またはレポート20点による評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】推薦書および授業で紹介した文献や資料の自主的な講読。

【事後学修】毎回の授業内容をノートに整理する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】文部科学省 『小学校学習指導要領解説 体育編』 東洋館出版社(平成20年度版)

【推薦書】筑波大学附属小学校体育部 『子どもが力をつける体育授業』 不昧堂出版

 科目名
 身体運動

 担当教員名
 山本悟

 ナンバリング
 KKb123

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

 学年
 1

 月講期
 前期

 必修・選択の別
 必修*、選必

 単位数
 1

種免許状(情報)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

種免許状(保健)了中学校教諭一種免許状(保健)了中学校 一種免許状(保健体育)/ 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

科目の性格

資格関係

体育の実技科目であるが、教員免許取得に関する必修科目にもなっている。身体運動を通して、コミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協働型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに、体を動かすことのよさを子どもたちに伝えるための基礎知識を学ぶ場も提供する。

学修目標

身体を動かすことの楽しさを体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深めることができる。また、小・中・高校と学習してきた「体育」という教科についての考え方を振り返ることもねらいとする。

内容

児童教育学科の学生を対象にした「身体運動」では、天候や季節を考慮するとともに児童教育専攻に応じた運動種目を取り上げて実技中心の授業を実施する。授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した活動を行い、その後で主要となる運動種目を学習する形式で進めていく。

具体的な活動内容として、なわとび運動(長なわ)・器械運動・ボール運動・小学校の体育授業で扱う運動教材の復習などを取り上げる。また、準備運動の指導を輪番制で担当する活動も設定する。

第1调:オリエンテーション 第2~6调:器械運動・長なわとび 第7~10调:ボール運動

第11~14週:長なわパフォーマンス(創作・表現活動) 第15週 まとめ

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グランドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、 グランド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。

毎時間、授業ノート(ルーズリーフ不可)と筆記具を用意すること。

見学者も運動着に着替えて出席すること。

評価

平常点(授業に対する取り組みで評価:運動量、協働性、意欲と関心)60点、ノート整理(提出2回)20点、試験またはレポート20点による評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】推薦書および授業で紹介した文献や資料の自主的な講読。

【事後学修】毎回の授業内容をノートに整理する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】文部科学省 『小学校学習指導要領解説 体育編』 東洋館出版社(平成20年度版)

【推薦書】筑波大学附属小学校体育部 『子どもが力をつける体育授業』 不昧堂出版

担当教員名 清水 文子

ナンバリング KKb123

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 クラス GAクラス

開講期前期 が修・選択の別 必修*,選必

授業形態 単位数 1

保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、

大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、グラウンドや屋内、フィールドアスレチックなど、学内の様々な施設 を利用することにより、季節を体感しながら、運動を楽しむ。

学修目標

- 1.「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに,自らの身体についての気づきを深める。
- 2. コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
- 3.スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように(無理のない程度に)努力する。
- 4.和やかにかつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
- 5.卒業しても何らかの身体活動に興味が持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

スポーツを通した仲間作りを目標に、ニュースポーツをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気づく」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めて行く。また、ストレッチ、リズムエクササイズ、マッサージ等は、ウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換等、スポーツの価値をこころとからだ全体で実感するようにする。

第1週 オリエンテーション(授業のねらい、内容説明、運動調査等)

(w-up リズムエクササイズ、c-dnストレッチは毎回)

第2週? 実技(コミュニケーションゲーム・ボールトレーニングなど)

第4週? 実技(ネット型ゲーム・ゴール型ゲーム等各種競技など)

第11週? 実技(リズムエクササイズ、ダンス等)

第15週 まとめ

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

30分以上遅れた場合は欠席とする。

授業に対する意欲、関心、態度60%、毎回のまとめ記入20%、実技まとめ20%とし、総合評価60点以上を合格とする。忘れものは減点とする。

見学者は授業内容等(指定用紙)を記入し、毎時提出する。

授業外学習

【事前予習】種目のルールを事前に調べておくこと。

【事後学修】日頃から身体活動を積極的に取り入れるように意識する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する。

担当教員名 清水 文子

ナンバリング KKb123

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 GBクラス

開講期前期 が修・選択の別 必修*,選必

授業形態 単位数 1

保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、

大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、グラウンドや屋内、フィールドアスレチックなど、学内の様々な施設 を利用することにより、季節を体感しながら、運動を楽しむ。

学修目標

- 1.「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに,自らの身体についての気づきを深める。
- 2.コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
- 3.スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように(無理のない程度に)努力する。
- 4.和やかにかつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
- 5.卒業しても何らかの身体活動に興味が持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

スポーツを通した仲間作りを目標に、ニュースポーツをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気づく」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めて行く。また、ストレッチ、リズムエクササイズ、マッサージ等は、ウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換等、スポーツの価値をこころとからだ全体で実感するようにする。

第1週 オリエンテーション(授業のねらい、内容説明、運動調査等)

(w-up リズムエクササイズ、c-dnストレッチは毎回)

第2週? 実技(コミュニケーションゲーム・ボールトレーニングなど)

第4週? 実技(ネット型ゲーム・ゴール型ゲーム等各種競技など)

第11週? 実技(リズムエクササイズ、ダンス等)

第15週 まとめ

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

30分以上遅れた場合は欠席とする。

授業に対する意欲、関心、態度60%、毎回のまとめ記入20%、実技まとめ20%とし、総合評価60点以上を合格とする。忘れものは減点とする。

見学者は授業内容等(指定用紙)を記入し、毎時提出する。

授業外学習

【事前予習】種目のルールを事前に調べておくこと。

【事後学修】日頃から身体活動を積極的に取り入れるように意識する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する。

担当教員名 佐藤 典子

ナンバリング KKb123

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 / HAクラス

開 講 期 前期 必修・選択の別 選必,必修*

授 業 形 態 | 単 位 数 | 1

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

物質的な豊かさと便利さをもたらした文明社会は人々の心やからだに様々な弊害をもたらしている。

現代社会が生むストレスや運動不足からくる生活習慣病の増大等は、身体活動を実践することで解消することを理解する。「スポーツ」は楽しみながら行うことであり、「真の楽しさ」を体験するにはどうしたらよいかを考え、工夫し自ら進んで実践する意欲をもたなければならない。その結果、健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し、生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

学修目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係

人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進

生涯スポーツの動機づけ

内容

スポーツを通してたくさんの仲間をつくることを目標にし、各種スポ・ツを実施する。

スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気付く」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業 を進める。

またストレッチ、ボディメイクエクササイズも行い、爽快感、ストレス解消、気分転換、等をこころとからだ全体で実感できるようにする。

第1回 ガイダンス(授業のねらい・内容説明 等) * 更衣の必要はありません

第2回 コミュニケ・ションワ・ク・からだほぐし運動

第3回 ウォ-キングエクササイズ

第4回~第14回

各種スポ・ツの実施

(ストレッチ・ボディメイクエクササイズ・ニュ - スポ - ツ・バレ - ボ - ル・バスケットボ - ル・卓球・テニス・バドミントン・ドッチボ - ル・サッカ - ・キックベ - スボ - ル等)

第15回 まとめ

授業内容は当日の天候、施設の状況、受講者数により決定する。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

評価

授業態度50点、授業の記録カ・ド30点、積極的に授業に参加し楽しもうとしている姿勢を20点とし、重要視する。

また、技能のレベルでは評価はしない。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業で行うスポ - ツの特性やル-ルを事前に調べておくこと。

【事後学修】各自授業内容を記録し、振り返りをする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は必要としない。

担当教員名 佐藤 典子

ナンバリング KKb123

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 Bクラス

開講期前期 必修・選択の別 選必,必修*

授業形態 単位数 1

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

物質的な豊かさと便利さをもたらした文明社会は人々の心やからだに様々な弊害をもたらしている。

現代社会が生むストレスや運動不足からくる生活習慣病の増大等は、身体活動を実践することで解消することを理解する。「スポーツ」は楽しみながら行うことであり、「真の楽しさ」を体験するにはどうしたらよいかを考え、工夫し自ら進んで実践する意欲をもたなければならない。その結果、健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し、生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

学修目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係

人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進

生涯スポーツの動機づけ

内容

スポーツを通してたくさんの仲間をつくることを目標にし、各種スポ・ツを実施する。

スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気付く」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進める。

またストレッチ、ボディメイクエクササイズも行い、爽快感、ストレス解消、気分転換、等をこころとからだ全体で実感できるようにする。

第1回 ガイダンス(授業のねらい・内容説明 等) * 更衣の必要はありません

第2回 コミュニケ・ションワ・ク・からだほぐし運動

第3回 ウォ-キングエクササイズ

第4回~第14回

各種スポ・ツの実施

(ストレッチ・ボディメイクエクササイズ・ニュ - スポ - ツ・バレ - ボ - ル・バスケットボ - ル・卓球・テニス・バドミントン・ドッチボ - ル・サッカ - ・キックベ - スボ - ル等)

第15回 まとめ

授業内容は当日の天候、施設の状況、受講者数により決定する。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

評価

授業態度50点、授業の記録カ・ド30点、積極的に授業に参加し楽しもうとしている姿勢を20点とし、重要視する。

また、技能のレベルでは評価はしない。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業で行うスポ - ツの特性やル-ルを事前に調べておくこと。

【事後学修】各自授業内容を記録し、振り返りをする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は必要としない。

担当教員名 飯田 路佳、石山 隆之

ナンバリング KKb123

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 FAクラス EAクラス

開 講 期 前期 必修・選択の別 選必,必修*

授業形態 単位 数 1

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

体育の実技科目であるが、教員免許取得に関する必修科目にもなっている。身体運動を通して、コミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協働型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。健康栄養学科の学生を対象に各種スポーツや様々な運動を実際に体験することによって、自分自身の可能性を探り、見つけ、実感し、自信につなげることがこの科目の概要となる。

目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係 人間性・感受性を豊かに 学生生活の活性化および体力増進 生涯スポーツへの動機付け

内容

身体運動Iでは、スポーツを通した仲間作りを目標に、フライングディスクをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気付く」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めていく。またストレッチ、リズムエクササイズ等はウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換、等スポーツの価値をこころとからだ全体で実感できるようにする。

第1週 オリエンテーション 授業のねらい、内容説明、等

(w-upリズムエクササイズ、c-dwnストレッチは毎回)

第2週~ 実技 ニュースポーツ はじめて行うルールのボールゲーム、アルティメットなど

第4週~ 実技 その他の球技など

第11调~ 実技 ダンスエクササイズなど

第15週 ダンスエクササイズの発展形のステップなどで発表を行う

受講者数、天候によっては、内容が変更される場合もある。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

長髪の場合は髪をまとめるとともに、危険防止のため装飾品は禁止。

自ら前向きに取り組めるような姿勢で臨むこと

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度を含む)60%、毎回のまとめ(振り返りシート)20%、実技テスト20%とし、総合的に評価し、6割以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し,授業で扱う内容の前提となる事項に関連する資料に目を通し、レディネスを高める。

【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する

担当教員名 石山 隆之、飯田 路佳

ナンバリング KKb123

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 PBクラス

開講期前期 が修・選択の別 必修*,選必

授 業 形 態 | 単 位 数 | 1

保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英 語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教 諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校 教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は体育実技中心の科目である。特定のスポーツ種目の技術を修得するだけでなく、スポーツ体験をとおして理論と 実践とを結びつける場とする。そして自分自身が運動の楽しさを感じていくプロセスを体験することにより、将来の指導の ヒントを得るような授業を展開していく。また今後4年間、充実した大学生活を送るための基礎つくりの狙いも持つ。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修。2~5週を単位に1種目の体育実技を行っていく。チームスポーツ、個人スポーツ 、対人スポーツやレクリエーション的要素も取り入れ、授業を通して多くの友人とふれ合い教員を含め円滑なコミュニケー ションが取れるようにする。

学修目標(=到達目標)

将来、指導の現場に出た際に子ども達の能力技能に応じて的確にアドバイスできるようにする。そして、運動することの楽しさを実際に体現し、できる喜びを与えられるような基礎的なティーティングやコーチングの具体的な方法を身につけることを目標とする。

内容

1週 ; 【ガイダンス】 (今後の授業内容、評価について、注意事項など)

2週~3週 ;【なわとび】個人スポーツ

コーディネーション、基本の飛び方から技の取得、なわとび検定

4週~5週 : 【サッカー・フットサル】チームスポーツ

サッカーをしよう・ボールフィーリング・ゴールを目指す・スモールサイトゲーム

6週~8週;【バドミントン】対人スポーツ

基礎技術の取得、シングルゲーム、リーグ戦 【まとめ】

9週~11週 ;【バスケットボール】チームスポーツ

基礎技術の取得、リーグ戦

12週~15週 ; 【体つくり運動】【まとめ】

いろいろなスポーツ種目を通じて総合的な身体運動を行う。

天候等によっては、グランドで行う場合とアリーナで行う場合があるので外履き・体育館履きの両方を必ず準備すること

体調不良等でやむを得ない場合は見学となるが、その際も運動着に必ず着替えること。

「授業の内容と活動記録」「授業の留意点」「感想」を毎時間整理するので筆記用具持参。

受講生の状況を見極め、実技種目を変更する場合がある。

評価

平常点(授業に取り組む姿勢・態度・関心)50%/提出物の内容20%/実技試験やレポート30% 上記による評価を行い、総合評価60点以上を合格とする。授業内で行うゲームの勝敗等については、マイナスの評価はしない。欠席時間が4回を超えると評価を行わない(遅刻2回で、欠席1回とする) 合格点に満たなかった場合は、再試験を行う。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】基礎体力をつける。種目の概要を学んでおく

【事後学修】振り返りノートなどを作成し活用する

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用しない

【推薦書】授業中紹介する

【参考図書】授業中紹介する

担当教員名 平田 智秋

ナンバリング KKb123

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 CAクラス

開講期前期 が修・選択の別 必修・選択の別 必修*,選必

授業形態 単位数 1

保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英 適格関係 論一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/国語)/高等学校教諭一種免許状/高等学校教 諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校 教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。養護教諭免許取得に関する必修科目にもなっている。

身体運動を通じて,クラス内のコミュニケーションを図るとともに,

大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1 年次前期に学科クラスごとに履修し,2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ,入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに身体を動かして遊ぶことの楽しさや意味を,子どもたちに伝えるための基礎知識も学ぶ。

学修目標

「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深める。

また、「できなかったことができるようになる」嬉しさを多く味わう。

これは心理学徒としての態度形成に確実に役立ちます。

最後に柔軟に「ゲームやルールの工夫」ができることを目標とする。

身体能力に制約があっても、ルールや用具を工夫することで、楽しめるスポーツの種類は拡がる。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目 ごとに班を変えますので,多くの人と分け隔てなく協力し,友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数):イントロダクション(1),レクリエーションゲーム(2),ティーボール(4),テニス(4),バレーボール(4)。

天候と進度,人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグランドか体育館を使いますので,毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意して下さい。また,前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので,2回目の授業までに用意して下さい)。

<初回授業の案内>

初回授業はサブアリーナ (記念ホール 1 F) で行います。運動できる格好で,体育館シューズを用意すること。また,なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のシャトルカードを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,実技後に,毎回提出する。シャトルカード50%と平常点50%を総合して評価し,合計60%以上を合格とする。なお平常点

では技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。なお,欠席が4回を超える場合には評価の対象としない。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

授業外学習

【事前予習】十分な睡眠時間を確保し、朝食を摂り、運動できる体調を整えておく

【事後学修】実技を通じて体感した「気付き」を書き留め,自らの身体についての理解を深める

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書】バーバラ・コナブル 『音楽家ならだれでも知っておきたい「からだ」のこと』 誠信書房

演奏家向けの本ですが,身体が動く仕組みが「図入りで分かりやすく」書いてあります。自分の身体に備わる筋肉と骨格の 構造を知るだけでも,運動に対する視点が柔軟になり,自然と自分(と自分の身体)が好きになります。 科 目 名身体運動担当教員名平田 智秋ナンバリングKKb123

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

 学
 年
 1

 クラス
 CBクラス

開講期前期 必修・選択の別 選必,必修*

授業形態 単位数 1

保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英 語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教 諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校 教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。養護教諭免許取得に関する必修科目にもなっている。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、

大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1 年次前期に学科クラスごとに履修し,2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ,入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに身体を動かして遊ぶことの楽しさや意味を,子どもたちに伝えるための基礎知識も学ぶ。

学修目標

「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深める。

また、「できなかったことができるようになる」嬉しさを多く味わう。

これは心理学徒としての態度形成に確実に役立ちます。

最後に柔軟に「ゲームやルールの工夫」ができることを目標とする。

身体能力に制約があっても,ルールや用具を工夫することで,楽しめるスポーツの種類は拡がる。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目 ごとに班を変えますので,多くの人と分け隔てなく協力し,友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数): イントロダクション(1) , レクリエーションゲーム(2) , ティーボール(4) , テニス(4) , バレーボール(4)。

天候と進度,人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグランドか体育館を使いますので,毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意して下さい。また,前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので,2回目の授業までに用意して下さい)。

<初回授業の案内>

初回授業はサブアリーナ (記念ホール 1 F) で行います。運動できる格好で,体育館シューズを用意すること。また,なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のシャトルカードを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,実技後に,毎回提出する。シャトルカード50%と平常点50%を総合して評価し,合計60%以上を合格とする。なお平常点

では技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。なお,欠席が4回を超える場合には評価の対象としない。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

授業外学習

【事前予習】十分な睡眠時間を確保し、朝食を摂り、運動できる体調を整えておく

【事後学修】実技を通じて体感した「気付き」を書き留め,自らの身体についての理解を深める

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書】バーバラ・コナブル 『音楽家ならだれでも知っておきたい「からだ」のこと』 誠信書房

演奏家向けの本ですが,身体が動く仕組みが「図入りで分かりやすく」書いてあります。自分の身体に備わる筋肉と骨格の 構造を知るだけでも,運動に対する視点が柔軟になり,自然と自分(と自分の身体)が好きになります。

| 科目名 | 身体運動 | | |
|--|---------------------|---------|--------|
| 担当教員名 | 渡邊 孝枝 | | |
| ナンバリング | KKb123 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動 | | |
| 学 年 | 1 | ク ラ ス | CCクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修*,選必 |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 保育土資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて,クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に 臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。

協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。

学修目標

- 1、身体を動かすことの楽しさを感じ、自分や他者のからだについて気づきを深めること。
- 2、仲間との交流を深めながら恊働し、協調性を高めること。
- 3、グループ活動においては、経験の有無にかかわらず、皆楽しむことができるように活動のしかたやルールを工夫すること。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目 ごとに班を変えますので、多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

第1週 イントロダクション

第2週~第3週 レクリエーションゲーム

第4週~第5週 ドッジボール

第6週~第7週 バドミントン

第8週~第10週 バレーボール

第11週~第14週 ダンス

第15週 授業のまとめ

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグランドか体育館を使いますので、毎週、グランド用、体育館用2種類の靴を用意して下さい。また、前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用して下さい。(ゼッケンの作り方は初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意して下さい。)

<初回授業の案内>

運動できる格好で、体育館シューズを用意してください。また、なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

平常点50%(授業に対する意欲・関心・態度)、授業ごとのコメント表の作成およびまとめのレポート50%とし、総合評価60点以上を合格とする。平常点においては参加態度を重視しする。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

授業外学習

【事前予習】授業で行う競技等のルールや歴史について概観しておく。

【事後学修】授業で行った内容について、各自ノート等に記録を取っておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定なし(必要に応じて推薦書を授業内に紹介)

 科目名
 身体運動

 担当教員名
 渡邊 孝枝、不老 浩二

 ナンバリング
 KKb123

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

 学年
 1

 月講期
 前期

 必修・選択の別
 必修*、選必

 世位数
 1

資格関係 論一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて,クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に 臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。

協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。

学修目標

- 1、身体を動かすことの楽しさを感じ、自分や他者のからだについて気づきを深めること。
- 2、仲間との交流を深めながら恊働し、協調性を高めること。
- 3、グループ活動においては、経験の有無にかかわらず、皆楽しむことができるように活動のしかたやルールを工夫すること。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かし、多くの人と分け隔てなく協力して友達を増やして下さい。

第1週 イントロダクション(担当;不老・渡邊)

第2週~第8週 自彊術体操(3回)·球技(4回)(担当;不老)

第9週~第15週 レクリエーションゲーム(3回)・ダンス(4回)(担当;渡邊)

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグランドか体育館を使いますので、毎週、グランド用、体育館用2種類の靴を用意して下さい。また、前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用して下さい。(ゼッケンの作り方は初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意して下さい。)

<初回授業の案内>

運動できる格好で、体育館シューズを用意してください。また、なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

平常点50%(授業に対する意欲・関心・態度)、授業ごとのコメント表の作成・実技50%とし、総合評価60点以上を合格とする。平常点においては実技への参加態度を重視する。実技では技術についても加味するので、上達に向けて努力することが大切である。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

授業外学習

【事前予習】授業で行う競技等のルールや歴史について概観しておく。

【事後学修】授業で行った内容について、各自ノート等に記録を取っておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定なし(必要に応じて推薦書を授業内に紹介)

 科目名
 身体運動

 担当教員名
 渡邊 孝枝、不老 浩二

 ナンバリング
 KKb123

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

 学 年 1
 クラス ABクラス

 開 講 期 前期
 必修・選択の別 選必,必修*

 授業 形態
 単 位 数 1

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

資格関係

体育の実技科目である。

身体運動を通じて,クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に 臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。

教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。

学修目標

- 1、身体を動かすことの楽しさを感じ、自分や他者のからだについて気づきを深めること。
- 2、仲間との交流を深めながら恊働し、協調性を高めること。
- 3、グループ活動においては、経験の有無にかかわらず、皆楽しむことができるように活動のしかたやルールを工夫すること。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かし、多くの人と分け隔てなく協力して友達を増やして下さい。

第1週 イントロダクション(担当;不老・渡邊)

第2週~第8週 レクリエーションゲーム(3回)・ダンス(4回)(担当;渡邊)

第9週~第15週 自彊術体操(3回)・球技(4回)(担当;不老)

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグランドか体育館を使いますので、毎週、グランド用、体育館用2種類の靴を用意して下さい。また、前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用して下さい。(ゼッケンの作り方は初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意して下さい。)

<初回授業の案内>

運動できる格好で、体育館シューズを用意してください。また、なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

平常点50%(授業に対する意欲・関心・態度)、授業ごとのコメント表の作成・実技50%とし、総合評価60点以上を合格とする。平常点においては実技への参加態度を重視する。実技では技術についても加味するので、上達に向けて努力することが大切である。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

授業外学習

【事前予習】授業で行う競技等のルールや歴史について概観しておく。

【事後学修】授業で行った内容について、各自ノート等に記録を取っておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定なし(必要に応じて推薦書を授業内に紹介)

 科目名
 身体運動

 担当教員名
 渡邊 孝枝、不老 浩二

 ナンバリング
 KKb123

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

 学年
 1

 月講期
 前期

 必修・選択の別
 必修*、選必

 資業形態
 単位数

教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

科目の概要

科目の性格

資格関係

体育の実技科目である。

ねらい(科目の性格

身体運動を通じて,クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に 臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。

協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。

学修目標

1、身体を動かすことの楽しさを感じ、自分や他者のからだについて気づきを深めること。

学修目標)

- 2、仲間との交流を深めながら恊働し、協調性を高めること。
- 3、グループ活動においては、経験の有無にかかわらず、皆楽しむことができるように活動のしかたやルールを工夫すること。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かし、多くの人と分け隔てなく協力して友達を増やして下さい。

第1週 イントロダクション(担当;不老・渡邊)

第2週~第8週 自彊術体操(3回)·球技(4回)(担当;不老)

第9週~第15週 レクリエーションゲーム(3回)・ダンス(4回)(担当;渡邊)

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグランドか体育館を使いますので、毎週、グランド用、体育館用2種類の靴を用意して下さい。また、前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用して下さい。(ゼッケンの作り方は初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意して下さい。)

<初回授業の案内>

運動できる格好で、体育館シューズを用意してください。また、なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

平常点50%(授業に対する意欲・関心・態度)、授業ごとのコメント表の作成・実技50%とし、総合評価60点以上を合格とする。平常点においては実技への参加態度を重視する。実技では技術についても加味するので、上達に向けて努力することが大切である。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

授業外学習

【事前予習】授業で行う競技等のルールや歴史について概観しておく。

【事後学修】授業で行った内容について、各自ノート等に記録を取っておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定なし(必要に応じて推薦書を授業内に紹介)

 科目名
 身体運動

 担当教員名
 渡邊 孝枝、不老 浩二

 ナンバリング
 KKb123

 学科
 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

 学年1
 クラス ADクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 選必,必修*

 授業形態
 単位数 1

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

資格関係

体育の実技科目である。

身体運動を通じて,クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に 臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。

教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。

学修目標

- 1、身体を動かすことの楽しさを感じ、自分や他者のからだについて気づきを深めること。
- 2、仲間との交流を深めながら恊働し、協調性を高めること。
- 3、グループ活動においては、経験の有無にかかわらず、皆楽しむことができるように活動のしかたやルールを工夫すること。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かし、多くの人と分け隔てなく協力して友達を増やして下さい。

第1週 イントロダクション(担当;不老・渡邊)

第2週~第8週 レクリエーションゲーム(3回)・ダンス(4回)(担当;渡邊)

第9週~第15週 自彊術体操(3回)・球技(4回)(担当;不老)

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグランドか体育館を使いますので、毎週、グランド用、体育館用2種類の靴を用意して下さい。また、前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用して下さい。(ゼッケンの作り方は初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意して下さい。)

<初回授業の案内>

運動できる格好で、体育館シューズを用意してください。また、なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

平常点50%(授業に対する意欲・関心・態度)、授業ごとのコメント表の作成・実技50%とし、総合評価60点以上を合格とする。平常点においては実技への参加態度を重視する。実技では技術についても加味するので、上達に向けて努力することが大切である。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

授業外学習

【事前予習】授業で行う競技等のルールや歴史について概観しておく。

【事後学修】授業で行った内容について、各自ノート等に記録を取っておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定なし(必要に応じて推薦書を授業内に紹介)

身体運動 目 名 担当教員名 清水 文子 ナンバリング KKb123 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動 クラス 年 DAクラス 開講期 前期 必修・選択の別 必修*,選必 授業形態 位

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

資格関係

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、

大学や学科への帰属意識を高め,2年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

論<u>一種免許</u>获(保健)了中学校教諭一種免許获(保健)了中学校教諭一種免許获(保健)了中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、グラウンドや屋内、フィールドアスレチックなど学内の様々な施設を利用することにより、季節を体感しながら、運動を楽しむ。

学修目標

- 1.「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに,自らと他者の身体についての気づきを深める。
- 2. コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
- 3.スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように(無理のない程度に)努力する。
- 4. 和やかに、かつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
- 5.卒業しても何らかの身体活動に興味が持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

自分のからだを知り、心もからだも健康になれるような講義を組み込んだ実技中心の授業です。

- 1.体力づくりやダイエットなど目的に応じた運動を理論も含め実技中心に学びます。
- 2.球技を中心に様々なスポーツ種目を2~4週単位で行います。
- 3.毎時間、ストレッチ・ウォーミングアップを入れ体力維持を図ります。
- 4.年間で2~4週は健康に関する講義を取り入れます。
- 5.フィールドアスレチック、なわとび、手遊びなど身近に楽しめる運動も行います。
- 6. 出席カードを作成、毎時間授業の感想を記入し提出。それを元に出席管理を行います。

初回授業の案内

初回授業は記念ホール 2 Fメインアリーナで行ないます。運動ができる服装で、室内運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

評価

授業に対する意欲・関心・態度60%、毎回のまとめ記入20%、実技まとめ20%とし、総合評価60点以上を合格とする。忘れものは減点とする。

見学者は授業内容等(指定用紙)を記入し、毎時提出する。

授業外学習

【事前予習】球技種目のルールを事前に調べておくこと。

【事後学修】日頃から身体活動を積極的に取り入れるように意識する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じて授業時に指示します。

科 目 名 身体運動

担当教員名 清水 文子

ナンバリング KKb123

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 DBクラス

開講期前期 必修・選択の別 必修*,選必

授業形態 単位数 1

保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/田学校教諭一種免許状(田語)/田学校教諭一種免許状(田語)/田学校教諭一種免許状(田語)/田学校教諭一種免許状(田語)/田学校教諭一種免許状(日語)/田学校教諭一種免許状(日語)/田学校教諭一種免許状(日語)/田学校教諭一種免許状(日語)/田学校教諭一種免許状(日語)/田学校教諭一種免許状(日語)/田学校教諭一種免許状(日語)/田学校教諭一種免許状(日語)/田学校教諭一種免許状(日語)/田学校教諭一種免許状(日語)/田学校教諭一種免許状/田語

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、

大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、グラウンドや屋内、フィールドアスレチックなど、学内の様々な施設 を利用することにより、季節を体感しながら、運動を楽しむ。

学修目標

- 1.「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに,自らの身体についての気づきを深める。
- 2.コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
- 3.スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように(無理のない程度に)努力する。
- 4.和やかにかつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
- 5.卒業しても何らかの身体活動に興味が持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

スポーツを通した仲間作りを目標に、ニュースポーツをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気づく」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めて行く。また、ストレッチ、リズムエクササイズ、マッサージ等は、ウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換等、スポーツの価値をこころとからだ全体で実感するようにする。

第1週 オリエンテーション(授業のねらい、内容説明、運動調査等)

(w-up リズムエクササイズ、c-dnストレッチは毎回)

第2週? 実技(コミュニケーションゲーム・ボールトレーニングなど)

第4週? 実技(ネット型ゲーム・ゴール型ゲーム等各種競技など)

第11週? 実技(リズムエクササイズ、ダンス等)

第15週 まとめ

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

30分以上遅れた場合は欠席とする。

授業に対する意欲、関心、態度60%、毎回のまとめ記入20%、実技まとめ20%とし、総合評価60点以上を合格とする。忘れものは減点とする。

見学者は授業内容等(指定用紙)を記入し、毎時提出する。

授業外学習

【事前予習】種目のルールを事前に調べておくこと。

【事後学修】日頃から身体活動を積極的に取り入れるように意識する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する。

 料 目 名
 身体運動

 担当教員名
 清水 文子

 ナンバリング
 KKb223

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

 学 年 1
 ク ラ ス 2Aクラス

 開 講 期 後期
 必修・選択の別 必修*,選必

 授業 形態
 単 位 数 1

 資格 関係
 保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(高等学校教諭一種免許状(高等学校教諭一種免許状(高等学校教諭一種免許状(高等学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり,受講生それぞれの意欲や興味,能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

ハンドボールを中心に様々な集団球技を体験し、充分な運動量を確保したい。

学修目標

クラス内での交流を通じて,実技で扱う種目の技能を高め,生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

天候や施設状況によって、授業内容が変わることがあります。毎時間感想を記入しそれを元に出席管理を行います.

| 1 | オリエンテーション、からだほぐし運動 |
|----|---------------------------------------|
| 2 | ボール慣らし(1) |
| 3 | ボール慣らし(2)、シュートの種類・・・ステップシュート、ジャンプシュート |
| 4 | パス・シュート練習(1) |
| 5 | パス・シュート練習(2) |
| 6 | コンビネーション練習・・・連係プレーからシュートまで、ルール説明 |
| 7 | ゲーム(1) |
| 8 | ゲーム(2) |
| 9 | ゲーム(3)、まとめ |
| 10 | ボールゲーム(1) |
| 11 | ボールゲーム(2) |
| 12 | 火気取扱演習 |
| 13 | ボールゲーム (3) |
| 14 | ボールゲーム (4) |
| 15 | まとめ |
| | |

評価

授業態度60点、実技テスト20点など総合的に評価しますが、積極的に授業に参加し、スポーツを楽しもうとする姿勢2 0点を重要視します。総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】球技種目のルールを事前に調べておくこと。

【事後学修】日頃から身体活動を積極的に取り入れるように意識する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

初回授業の案内

初回授業は記念ホール/メインアリーナに集まってください。運動ができる服装で、運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

 料 目 名
 身体運動

 担当教員名
 清水 文子

 ナンバリング
 KKb223

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

 学 年 1
 ク ラ ス 2Bクラス

 開 講 期 後期
 必修・選択の別 必修*,選必

 授業 形 態
 単 位 数 1

 資格 関係
 保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(高等学校教諭一種免許状(高等学校教諭一種免許状(高等学校教諭一種免許状(高等学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり,受講生それぞれの意欲や興味,能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

ハンドボールを中心に様々な集団球技を体験し、充分な運動量を確保したい。

学修目標

クラス内での交流を通じて,実技で扱う種目の技能を高め,生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

天候や施設状況によって、授業内容が変わることがあります。毎時間感想を記入しそれを元に出席管理を行います.

| $\overline{}$ | |
|---------------|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション、からだほぐし運動 |
| 2 | ボール慣らし(1) |
| 3 | ボール慣らし(2)、シュートの種類・・・ステップシュート、ジャンプシュート |
| 4 | パス・シュート練習(1) |
| 5 | パス・シュート練習(2) |
| 6 | コンビネーション練習・・・連係プレーからシュートまで、ルール説明 |
| 7 | ゲーム(1) |
| 8 | ゲーム(2) |
| 9 | ゲーム(3)、まとめ |
| 10 | ボールゲーム(1) |
| 11 | ボールゲーム(2) |
| 12 | 火気取扱演習 |
| 13 | ボールゲーム(3) |
| 14 | ボールゲーム(4) |
| 15 | まとめ |
| | |

評価

授業態度60点、実技テスト20点など総合的に評価しますが、積極的に授業に参加し、スポーツを楽しもうとする姿勢2 0点を重要視します。総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】球技種目のルールを事前に調べておくこと。

【事後学修】日頃から身体活動を積極的に取り入れるように意識する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

初回授業の案内

初回授業は記念ホール/メインアリーナに集まってください。運動ができる服装で、運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

科 目 名 身体運動

担当教員名 渡邊 孝枝

ナンバリング KKb223

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 2Dクラス

開講期後期 必修・選択の別 必修*,選必

授 業 形 態 | 単 位 数 | 1

保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/如稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(因語)/中学校教諭一種免許状(因語)/中学校教諭一種免許状(因語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

さまざまなダンスやダンス創作を3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

- 1、クラス内での交流を通じて,実技で扱う種目の技能を高め,生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。
- 2、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

このクラスでは、片時も離れることのできない自分の「からだ」を労りながら、今まで気づかなかった「からだ」の感覚や可能性を探ることを目的とする。

そのためにまず、授業の最初に健やかな「からだ」の土台を作るストレッチングやエクササイズを行った後、新たな「からだ」の感覚や可能性を、ダンスやダンス創作において探っていく。

自分の「からだ」への労りや気づきがやがて、仲間の「からだ」への労りや気づきへと繋がって行くことを実感して欲しい。

第1週 オリエンテーション(平服/筆記用具持参)

第2週 ストレッチング&エクササイズ

第3週~第4週

音楽に合わせて体を動かそう

第5週~第6週

あそびからダンスへ

第7週~第8週

日常の動作やしぐさからダンスへ

第9週~第10週

様々な動きからダンスへ

第11週~第14週

テレビで流れるコマーシャル、映画、音楽など、私たちにとって身近なものの中にダンスがどのような形で存在しているのかを探る。そして、それらをもとに課題を設定し、グループワークや発表などを行う。

第15週 まとめ

第2週に行うYOGAやクラシックバレエなどを取り入れたストレッチングやエクササイズを第3週以降毎時行い、授業の最後にはクールダウンやマッサージも取り入れる。

評価

平常点50%(グループワークへの貢献、授業に対する積極性、意欲、態度など)、毎回の授業における理解や気づきに関するコメント表の作成及びまとめのレポート50%とし、総合評価60点以上を合格とする。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。

授業外学習

【事前予習】授業で行う創作活動のテーマについて、各自調べておくこと。

【事後学修】授業で行った内容について、各自ノート等に記録を取っておくこと。また、授業内で紹介した映像資料を見ておくこと。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定なし(必要に応じて推薦書を授業内に紹介)?

科 目 名 身体運動

担当教員名 石山 隆之、佐々木 亮太

ナンバリング KKb223

科

人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 2Eクラス

開講期 後期 必修・選択の別 必修*,選必

授 業 形 態 | 単 位 数 | 1

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は体育の実技であり、学生個々の能力技能にあわせ「運動することの喜び」を感じられるよう授業を進める。さま ざまな学科や学年が集まるメンバーとなることから、運動を通じて新たな交流が生まれる機会を積極的につくっていく。

科目の概要

個人スポーツを通じて運動スキルを高めることだけでなく、チームスポーツを通してチームビルディングのプロセスを体験し、コミュニケーション能力の向上も図っていく。

基本的に2~3週を単位に1種目のスポーツ実技を行っていく。授業で扱う種目としてはチームスポーツ、個人スポーツ、対人スポーツを軸にレクリエーション的な内容も取り入れる。またW-UP等は受講生自身が指導者となり授業を進め、指導者育成の観点で進め展開していく場合もある。

学修目標(=到達目標)

種目を通じて運動のスキルアップをはかり指導方法を獲得することやフィジカルトレーニング的効果の獲得は勿論だが、 クラス内でとる良いコミュニケーションを通じて、何よりも楽しく意識的にスポーツに取り組めることを目標とする。また 将来年齢を重ねても体を動かすことの喜びを発見できるよう、将来豊かな人生を送る素地を養うこともこの授業の目標とす る。

内容

1週 ;【ガイダンス】 (今後の授業内容、評価について、注意事項など) 平服可

2週~3週 ; 【なわとびなど】

個人スポーツ コーディネーション、基本の飛び方から技の取得、なわとび検定

4週~5週 ;【公式テニス】対人スポーツ ベーシック技術の取得・ダブルスゲーム

6週~8週 : 【バドミントン】対人スポーツ 基礎技術の取得、シングルゲーム、ダブルスゲーム、リーグ戦

9週~11週 ;【サッカー・フットサル】チームスポーツ

ボールを使ったコーディネーショントレーニング、基本技術の取得、各種スモールサイトゲーム

12週~14 ; 【卓球・バスケットボール・ゴルフなど】

受講学生の技能、能力に応じて種目を決定し行う

15週 : 【まとめ】

天候等によっては、グランドで行う場合とアリーナで行う場合があるので外履き・体育館履きの両方を必ず準備すること

運動のできる服装で参加。体調不良等の理由でやむを得ない場合は見学となるが、その際も運動着に必ず着替えること。 「授業の内容と活動記録」「授業の留意点」「感想」を毎時間整理する。筆記用具持参。

評価

平常点(授業に取り組む姿勢・態度・関心)50%/提出物の内容20%/実技試験やレポート30%

上記による評価を行い、60%以上を合格点とする。 授業内で行うゲームの勝敗等については、マイナスの評価はしない 。 欠席時間が4回を超えると評価を行わない(遅刻2回で、欠席1回とする)

合格点に満たなかった場合は、再試験を行う

授業外学習

【事前予習】基礎体力つくり

【事後学修】振り返りノートなどを作成し活用

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用しない

【推薦書】随時授業中に紹介する

【参考図書】随時授業中に紹介する

科 目 名 身体運動

担当教員名 石山 隆之、佐々木 亮太

ナンバリング KKb223

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 2Fクラス

開講期後期 必修・選択の別 必修*,選必

授業形態 単位 数 1

保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(田語)/中学校教諭一種免許状(西語)/中学校教諭一種免許状(西語)/中学校教諭一種免許状(西語)/中学校教諭一種免許状(西語)/中学校教諭一種免許状(西語)/中学校教諭一種免許状(西語)/中学校教諭一種免許状(西語)/中学校教諭一種免許状(西語)/中学校教諭一種免許状(西語)/中学校教諭一種免許状/南等学校教諭一種免許状/中学校教諭一種免許状/南等学校教諭一種免許状/中学校教諭一種免許状/南等学校教諭一種免許状/中華

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 この科目は体育の実技であり、学生個々の能力技能にあわせ「運動することの喜び」を感じられるよう授業 を進める。さまざまな学科や学年が集まるメンバーとなることから、運動を通じて新たな交流が生まれる機会を積極的につ くっていく。

科目の概要 個人スポーツを通じて運動スキルを高めることだけでなく、チームスポーツを通してチームビルディングの プロセスを体験し、コミュニケーション能力の向上も図っていく。

基本的に2~3週を単位に1種目のスポーツ実技を行っていく。授業で扱う種目としてはチームスポーツ、個人スポーツ、対人スポーツを軸にレクリエーション的な内容も取り入れる。またW-UP等は受講生自身が指導者となり授業を進め、 指導者育成の観点で進め展開していく場合もある。

学修目標(=到達目標) 種目を通じて運動のスキルアップをはかり指導方法を獲得することやフィジカルトレーニング 的効果の獲得は勿論だが、クラス内でとる良いコミュニケーションを通じて、何よりも楽しく意識的にスポーツに取り組め ることを目標とする。また将来年齢を重ねても体を動かすことの喜びを発見できるよう、将来豊かな人生を送る素地を養う こともこの授業の目標とする。

内容

1週 ;【ガイダンス】 (今後の授業内容、評価について、注意事項など) 平服可

2週~3週 ; 【なわとびなど】個人スポーツ コーディネーション、基本の飛び方から技の取得、なわとび検定

4週~5週 ;【公式テニス】対人スポーツ ベーシック技術の取得・ダブルスゲーム

6週~8週 ;【バドミントン】対人スポーツ 基礎技術の取得、シングルゲーム、ダブルスゲーム、リーグ戦

9週~11週 ;【サッカー・フットサル】チームスポーツ

ボールを使ったコーディネーショントレーニング、基本技術の取得、各種スモールサイトゲーム

12週~14 ; 【卓球・バスケットボール・ゴルフなど】

受講学生の技能、能力に応じて種目を決定し行う

15週 ;【まとめ】

天候等によっては、グランドで行う場合とアリーナで行う場合があるので外履き・体育館履きの両方を必ず準備すること

運動のできる服装で参加。体調不良等の理由でやむを得ない場合は見学となるが、その際も運動着に必ず着替えること。 「授業の内容と活動記録」「授業の留意点」「感想」を毎時間整理する。筆記用具持参。

評価

平常点(授業に取り組む姿勢・態度・関心)50%/提出物の内容20%/実技試験やレポート30% 上記による評価を行い、60%以上を合格点とする。 授業内で行うゲームの勝敗等については、マイナスの評価はしない 。 欠席時間が4回を超えると評価を行わない(遅刻2回で、欠席1回とする)

合格点に満たなかった場合は、再試験を行う

授業外学習

【事前予習】基礎体力つくり

【事後学修】振り返りノートなどを作成し活用

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用しない

【推薦書】随時授業中に紹介する

【参考図書】随時授業中に紹介する

 料 目 名
 身体運動

 担当教員名
 清水 文子

 ナンバリング
 KKb223

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

 学 年 1
 クラス

 関 講 期 後期
 必修・選択の別

 授業 形態
 単 位 数

 資 格 関係
 (保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/宗養学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状/原善学校教諭一種免許状/原善等学校教諭一種免許状/保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/市等校教諭一種免許状(保健)/高等学校教諭一種免許状(保健)/市等校教諭一種免許状(保健)/市等校教諭一種免許状(保健)/市等校教諭一種免許状(保健)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり,受講生それぞれの意欲や興味,能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

ハンドボールを中心に様々な集団球技を体験し、充分な運動量を確保したい。

学修目標

クラス内での交流を通じて,実技で扱う種目の技能を高め,生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また,自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

天候や施設状況によって、授業内容が変わることがあります。毎時間感想を記入しそれを元に出席管理を行います.

| $\overline{}$ | |
|---------------|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション、からだほぐし運動 |
| 2 | ボール慣らし(1) |
| 3 | ボール慣らし(2)、シュートの種類・・・ステップシュート、ジャンプシュート |
| 4 | パス・シュート練習(1) |
| 5 | パス・シュート練習(2) |
| 6 | コンビネーション練習・・・連係プレーからシュートまで、ルール説明 |
| 7 | ゲーム(1) |
| 8 | ゲーム(2) |
| 9 | ゲーム(3)、まとめ |
| 10 | ボールゲーム(1) |
| 11 | ボールゲーム(2) |
| 12 | 火気取扱演習 |
| 13 | ボールゲーム(3) |
| 14 | ボールゲーム(4) |
| 15 | まとめ |
| | |

評価

授業態度60点、実技テスト20点など総合的に評価しますが、積極的に授業に参加し、スポーツを楽しもうとする姿勢2 0点を重要視します。総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】球技種目のルールを事前に調べておくこと。

【事後学修】日頃から身体活動を積極的に取り入れるように意識する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

初回授業の案内

初回授業は記念ホール/メインアリーナに集まってください。運動ができる服装で、運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

| 科目名 | 身体運動 | | | |
|--------|--|---------------------------------|----------------------------|---|
| 担当教員名 | 佐藤 典子 | | | |
| ナンバリング | KKb223 | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動 | | | |
| 学 年 | 1 | ク | ラ ス | 2Gクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・ | 選択の別 | 選必,必修* |
| 授業形態 | | 単 | 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養 論一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/ 教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健 | 状(情報) 教諭一種兌 中学校教諭 建体育) | /高等学校教 許状/栄養教 計種免許状(| 諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英 諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教 国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校 |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして、学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

毎回いろいろなレクリエ-ションゲ - ムやニュ - スポ - ツを体験することができる。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。 また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

| 内容 | |
|----|--|
| 1 | ガイダンス(内容・注意事項・評価についての説明) *更衣の必要なし |
| 2 | コミュニケ・ションワ・ク (アイスブレ・キング・ホスピタリティトレ-ニング等) |
| 3 | レクリエ・ションゲ-ム |
| 4 | レクリエ・ションスポ・ツ * 天候・施設状況・受講生の希望により種目を決める |
| 5 | 〃(フライングディスク・キンボ - ル・ユニホック・インディアカ・スポンジバレ - 等) |
| 6 | II |
| 7 | II |
| 8 | II |
| 9 | II |
| 10 | II |
| 11 | 受講生考案 レクリエ・ションスポ・ツの実施 |
| 12 | II |
| 13 | II |
| 14 | ıı |
| 15 | まとめ |

評価

授業態度50点、授業の記録カ・ド30点、積極的に授業に参加し楽しもうとする姿勢を20点とし、重要視します。また 、技能レベルでは評価をしない。

総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業で行うスポーツの特性やルールを事前に調べておくこと。

【事後学修】各自授業内容を記録し、振り返りをする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は必要としない。

 料 目 名
 身体運動

 担当教員名
 清水 文子

 ナンバリング
 KKb223

 学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

 学 年 1
 ク ラ ス 2Hクラス

 開 講 期 後期
 必修・選択の別 必修*,選必

 授業 形態
 単 位 数 1

 資格 関係
 保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(高等学校教諭一種免許状(高等学校教諭一種免許状(高等学校教諭一種免許状(高等学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり,受講生それぞれの意欲や興味,能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

ハンドボールを中心に様々な集団球技を体験し、充分な運動量を確保したい。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また,自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

天候や施設状況によって、授業内容が変わることがあります。毎時間感想を記入しそれを元に出席管理を行います.

| 1 | オリエンテーション、からだほぐし運動 |
|----|---------------------------------------|
| 2 | ボール慣らし(1) |
| 3 | ボール慣らし(2)、シュートの種類・・・ステップシュート、ジャンプシュート |
| 4 | パス・シュート練習(1) |
| 5 | パス・シュート練習(2) |
| 6 | コンビネーション練習・・・連係プレーからシュートまで、ルール説明 |
| 7 | ゲーム(1) |
| 8 | ゲーム(2) |
| 9 | ゲーム(3)、まとめ |
| 10 | ボールゲーム(1) |
| 11 | ボールゲーム (2) |
| 12 | 火気取扱演習 |
| 13 | ボールゲーム (3) |
| 14 | ボールゲーム (4) |
| 15 | まとめ |

評価

授業態度60点、実技テスト20点など総合的に評価しますが、積極的に授業に参加し、スポーツを楽しもうとする姿勢2 0点を重要視します。総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】球技種目のルールを事前に調べておくこと。

【事後学修】日頃から身体活動を積極的に取り入れるように意識する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

初回授業の案内

初回授業は記念ホール/メインアリーナに集まってください。運動ができる服装で、運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

身体運動 目 名 担当教員名 山本 悟 ナンバリング KKb223

科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

開講期 後期 必修・選択の別 必修*,選必

授業形態 位 数

種免許状(情報) 資格関係 · 第5年状(保健),一个学校教諭一種免許状(保健),不管学校 一種免許状(保健体育),高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ク ラ ス 2Jクラス

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

年

体育の実技科目であり、受講生それぞれが意欲や興味、能力に応じて「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支 援する。学科や学年を超えた多彩なクラス編成が本科目の特徴であり、スポーツや身体運動を通して学科や学年の異なる受 講生の交流が深まることを期待している。教員免許や各種資格取得の必修科目にもなっている。

科目の概要

ボールを手や道具で打つ動作を主体にしたスポーツ種目を継続的に実施する。具体的には、ゴルフ・バドミントン・卓球 ・ソフトバレーボール等を3~5週間を単位にして行う予定である。

学修目標

- 1)クラス内の交流を基盤にして、身体を動かす積極的な姿勢を身につけること
- 2) 自らの意欲・能力に応じて、身体を動かすことの楽しみを見つけ、実技技能を高めること
- 3)運動を言葉で表現する活動により、スポーツの新しいとらえ方に気づき、理解すること

内容

「身体運動 :2J」では、自らの身体を自由に動かす技能を高めることをテーマにして、「ゴルフ」、「バドミントン 」、「ソフトバレーボール」、「卓球」に取り組んでみる。恐らく初めての経験となるゴルフの練習を通して、頭で考えな がら身体を動かす習慣を身につけ、ある一定の動きや技ができるようになるプロセスを言葉で表現する意識を高めてほしい と考えている。

こうした活動を繰り返すことにより、目標とする動作がいつも同じタイミングやテンポでできるようになっていく。それ には、動作のコツやポイントを探しながら考えて運動する習慣を身につけたり、仲間の運動の様子を観察したりする活動が 重要になる。将来、教職を希望する者には、指導することの意味を考える機会が提供できると考えている。

授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した活動を行い、その後で主とする運動種目(ゴルフ、バドミントンなど)を学習する形式で進めていく。天候に応じて、学習内容を入れ替える場合がある。

第1週 : オリエンテーション、ゴルフの基本

第2~6週:ゴルフ(基礎技術 ショートゲーム)

第7週:火気使用実習

第8~12週:ソフトバレーボール、卓球

第13~15週:バドミントン

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4 つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グランドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グランド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。見学者も運動着に着替えて出席すること。

授業ノートは授業担当者で用意する。筆記具を必ず用意すること。

履修人数の上限を40名程度とする。

評価

平常点(授業への取り組みで評価:運動量、協働性、意欲や関心など)70点、ノート整理(提出1~2回)およびレポート30点による評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業で紹介した文献や資料の自主的な講読。

【事後学修】毎回の授業内容をノートに整理する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に使用しないが、講義の中で随時、紹介する。

身体運動 科目名 担当教員名 扇原 淳 KKb223 ナンバリング 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動 年 ク ラ ス 2Mクラス 開講期 後期 必修・選択の別 選必,必修* 授業形態 位 (語) / 幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養 諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状 教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育) 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この授業は、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習します。なお、一部健康運動実 践指導者受験資格取得のための授業内容です。

科目の概要

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感(嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツの楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚)すべてで感じることを大切にします。加えて、仲間づくりやチームづくりの手段と方法や、体力づくりとしての補強運動の実践について学習します。

学修目標(=到達目標)

スポーツを通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになることを最終的な目標とします。

| 内容 | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション (準備運動種目の説明等) |
| 2 | 補強運動の基本的理論とその実際 |
| 3 | ウエイトトレーニング |
| 4 | 補強運動(アイソメトリック) |
| 5 | 補強運動(アイソトニック) |
| 6 | 補強運動(アイソキネティック) |
| 7 | 補強運動(フリーウエイト) |
| 8 | 補強運動(マシン) |
| 9 | 補強運動(サーキット) |
| 10 | 自然の中で体を動かす(フィールドアスレチック) |
| 11 | サッカー(基本技術・戦術) |
| 12 | サッカー(基本技術・戦術) |
| 13 | サッカー(基本技術・戦術) |
| 14 | スポーツ大会(1)(スポーツ種目の選定・チーム編成・ルールづくりを含む) |
| 15 | スポーツ大会(2)(スポーツ種目の選定・チーム編成・ルールづくりを含む) |

評価

平常点:60%(出席点が基本。時間厳守。20分以上の遅刻は欠席)レポート:40%とし、総合評価60点以上を合格

とする。

授業外学習

【事前準備】各種運動方法について調べておく。

【事後学修】各種運動方法をまとめておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科 目 名 身体運動

担当教員名 飯田 路佳

ナンバリング KKb223

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 2Tクラス

開講期後期 後期 必修・選択の別 必修*,選必

授 業 形 態 | 単 位 数 | 1

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

リズムエクササイズ(リズムに合わせた運動)を中心とした実技を,3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて,実技で扱う種目の技能を高め,生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。 また,自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

リズムに合わせた運動をだんだんダンス的に動いたり、

トレーニング的に動くなどして、

からだを引き締めるようにする等、

様々なダンス的身体運動へのアプローチをして行く。

第1週目 オリエンテーション

第2~5週目 リズムエクササイズ

第6~7週目 トレーニング的エクササイズ

第8~10週目 リズムムーブメント

第11~13週目 ダンスムーブメント

第14~15週目 まとめ

からだの変化も見るために本人の希望により、測定を入れる可能性もある。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

長髪の場合は髪をまとめるとともに、危険防止のため装飾品は禁止。

自ら前向きに取り組めるような姿勢で臨むこと

平常点(授業に対する意欲、関心、態度を含む)60%、毎回のまとめ記入30%、実技テスト10%とし、総合的に評価し、6割以上を合格とする。忘れものは減点とする。

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し、授業で扱う内容の前提となる事項に関連する資料に目を通し、レディネスを高める。 【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する。

| 科目名 | 身体運動 |
|--------|--|
| 担当教員名 | 鈴木 康弘 |
| ナンバリング | KKb223 |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動 |
| 学 年 | 1 クラス 2Lクラス |
| 開講期 | 後期 必修・選択の別 必修*,選必 |
| 授業形態 | 単位数 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育) |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目です。テニスを中心に授業は構成されています。学科や学年を超えた多彩なクラス編成が本科目の特徴であり、スポーツを通して学科や学年が異なる受講者の交流が促されることを期待しています。

科目の概要

授業では、初心者がある程度テニスのゲームを楽しめる事ができるようになるためのプログラムを組んでいます。ゲーム 形式で楽しみながら、フォアハンドストローク、サーブ、ボレーに関して初歩的な技能を身につけていきます。天候(雨天 時)の都合上、卓球を行う場合があります。

学修目標

- 1.仲間との交流を深めながら、協働力や協調性を高めていくこと
- 2. フォアハンドストローク、サーブ、ボレーの基本的な技能を修得すること
- 3. ゲームのルールを理解し、テニスのゲームができるようになること

| 内容 | |
|----|------------------------------|
| 1 | ガイダンス(履修上の諸注意等)・班分け |
| 2 | ボール慣れ ショートコートでのラリー |
| 3 | ボール慣れ ショートコートでのラリー |
| 4 | ボレー ショートコートでのミニゲーム |
| 5 | ボレー ショートコートでのミニゲーム |
| 6 | ボレー ショートコートでのミニゲーム |
| 7 | サープ 3対3のゲーム |
| 8 | サーブ 3対3のゲーム |
| 9 | ゲーム (ダブルス) |
| 10 | ゲーム (ダブルス) |
| 11 | ゲーム (ダブルス) |
| 12 | ゲーム (ダブルス) |
| 13 | ゲーム (ダブルス) |
| 14 | ゲーム(ダブルス) ボールコントロールとサーブのチェック |
| 15 | ゲーム(ダブルス) ボールコントロールとサーブのチェック |

評価

評価は、運動量及び協働力や協調性の達成度(授業への取り組みで評価、60点)、運動の質(実技チェック:ボールコントロールとサーブ、30点)3割、ルールやマナーの理解(10点)の観点から総合的に行います。60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】テニスと卓球のゲーム方法(ダブルス)について予習する。

【事後学修】ボールコントロールとサーブは技能チェックを課してる。授業時間内でマスターできない場合は事後学修によって補うことを勧める。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 特に使用しない

| 科目名 | 身体運動 | | |
|--------|--|---|---|
| 担当教員名 | 鈴木 康弘 | | |
| ナンバリング | KKb223 | | |
| 学 科 | 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動 | | |
| 学年 | 1 | ク ラ ス | 2Nクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許語)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健 | 状(情報)/高等学校教 教諭一種免許状/栄養教 中学校教諭一種免許状(建体育) | 諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英 諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教 国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校 |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目です。テニスを中心に授業は構成されています。学科や学年を超えた多彩なクラス編成が本科目の特徴であり、スポーツを通して学科や学年が異なる受講者の交流が促されることを期待しています。

科目の概要

授業では、初心者がある程度テニスのゲームを楽しめる事ができるようになるためのプログラムを組んでいます。ゲーム 形式で楽しみながら、フォアハンドストローク、サーブ、ボレーに関して初歩的な技能を身につけていきます。天候(雨天時)の都合上、バドミントンを行う場合があります。

学修目標

- 1.仲間との交流を深めながら、協働力や協調性を高めていくこと
- 2. フォアハンドストローク、サーブ、ボレーの基本的な技能を修得すること
- 3. ゲームのルールを理解し、テニスのゲームができるようになること

| 内容 | |
|----|------------------------------|
| 1 | ガイダンス(履修上の諸注意等)・班分け |
| 2 | ボール慣れ ショートコートでのラリー |
| 3 | ボール慣れ ショートコートでのラリー |
| 4 | ボレー ショートコートでのミニゲーム |
| 5 | ボレー ショートコートでのミニゲーム |
| 6 | ボレー ショートコートでのミニゲーム |
| 7 | サープ 3対3のゲーム |
| 8 | サープ 3対3のゲーム |
| 9 | ゲーム (ダブルス) |
| 10 | ゲーム (ダブルス) |
| 11 | ゲーム (ダブルス) |
| 12 | ゲーム (ダブルス) |
| 13 | ゲーム (ダブルス) |
| 14 | ゲーム(ダブルス) ボールコントロールとサーブのチェック |
| 15 | ゲーム(ダブルス) ボールコントロールとサーブのチェック |

評価

評価は、運動量及び協働力や協調性の達成度(授業への取り組みで評価、60点)、運動の質(実技チェック:ボールコントロールとサーブ、30点)3割、ルールやマナーの理解(10点)の観点から総合的に行います。60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】テニスとバドミントンのゲーム方法 (ダブルス)について予習する。

【事後学修】ボールコントロールとサーブは技能チェックを課してる。授業時間内でマスターできない場合は事後学修によって補うことを勧める。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 特に使用しない

科 目 名 身体運動

担当教員名 平田 智秋

ナンバリング KKb223

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 2Rクラス

開講期後期 後期 必修・選択の別 必修*,選必

授業形態 単位 数 1

保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/如稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技(サッカー,バレー,バスケなど)を中心とした実技を,3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて,実技で扱う種目の技能を高め,生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。 また,自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。テーマは「競創」とする。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。 まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば、チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型:サッカーやバスケットボール,アルティメット
- ・ネット型:テニス,バレーボール,
- ・混合型:ドッジボールやジャグリング,

これらの中から3~4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め,チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のシャトルカードを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,実技後に毎回提出する。シャトルカード50%と平常点50%を総合して評価し,合計60%以上を合格とする。平常点においては実技への参加態度を重視し,技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。欠席が4回を超える場合には評価の対象としない。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

授業外学習

【事前予習】十分な睡眠時間を確保し、朝食を摂り、運動できる体調を整えておく

【事後学修】実技を通じて体感した「気付き」を書き留め,自らの身体についての理解を深める

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定なし(必要に応じて推薦書を授業内に紹介)。

科 目 名 身体運動

担当教員名 平田 智秋

ナンバリング KKb223

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 2Sクラス

開講期後期 必修・選択の別 必修*,選必

授業形態 単位 数 1

保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/如稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(国語)/中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技(サッカー,バレー,バスケなど)を中心とした実技を,3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて,実技で扱う種目の技能を高め,生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。 また,自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。テーマは「競創」とする。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。 まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば,チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて,独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型:サッカーやバスケットボール,アルティメット
- ・ネット型:テニス,バレーボール,
- ・混合型:ドッジボールやジャグリング,

これらの中から3~4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め,チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のシャトルカードを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,実技後に毎回提出する。シャトルカード50%と平常点50%を総合して評価し,合計60%以上を合格とする。平常点においては実技への参加態度を重視し,技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。欠席が4回を超える場合には評価の対象としない。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

授業外学習

【事前予習】十分な睡眠時間を確保し、朝食を摂り、運動できる体調を整えておく

【事後学修】実技を通じて体感した「気付き」を書き留め,自らの身体についての理解を深める

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定なし(必要に応じて推薦書を授業内に紹介)。

身体運動 科目名 担当教員名 扇原 淳 KKb223 ナンバリング 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動 年 ク ラ ス 2Qクラス 開講期 後期 必修・選択の別 選必,必修* 授業形態 位 (語) / 幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養 諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状 教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育) 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この授業は、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習します。なお、一部健康運動実 践指導者受験資格取得のための授業内容です。

科目の概要

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感(嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツの楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚)すべてで感じることを大切にします。加えて、仲間づくりやチームづくりの手段と方法や、体力づくりとしての補強運動の実践について学習します。

学修目標(=到達目標)

スポーツを通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになることを最終的な目標とします。

| 内容 | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション (準備運動種目の説明等) |
| 2 | 補強運動の基本的理論とその実際 |
| 3 | ウエイトトレーニング |
| 4 | 補強運動(アイソメトリック) |
| 5 | 補強運動(アイソトニック) |
| 6 | 補強運動(アイソキネティック) |
| 7 | 補強運動(フリーウエイト) |
| 8 | 補強運動(マシン) |
| 9 | 補強運動(サーキット) |
| 10 | 自然の中で体を動かす(フィールドアスレチック) |
| 11 | サッカー(基本技術・戦術) |
| 12 | サッカー(基本技術・戦術) |
| 13 | サッカー(基本技術・戦術) |
| 14 | スポーツ大会(1)(スポーツ種目の選定・チーム編成・ルールづくりを含む) |
| 15 | スポーツ大会(2)(スポーツ種目の選定・チーム編成・ルールづくりを含む) |

評価

平常点:60%(出席点が基本。時間厳守。20分以上の遅刻は欠席)レポート:40%とし、総合評価60点以上を合格

とする。

授業外学習

【事前準備】各種運動方法について調べておく。

【事後学修】各種運動方法をまとめておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

身体運動 科目名 担当教員名 扇原 淳 KKb223 ナンバリング 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動 年 ク ラ ス 2Pクラス 開講期 後期 必修・選択の別 選必,必修* 授業形態 位 (語) / 幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養 諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状 教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育) 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この授業は、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習します。なお、一部健康運動実 践指導者受験資格取得のための授業内容です。

科目の概要

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感(嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツの楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚)すべてで感じることを大切にします。加えて、仲間づくりやチームづくりの手段と方法や、体力づくりとしての補強運動の実践について学習します。

学修目標(=到達目標)

スポーツを通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになることを最終的な目標とします。

| 内容 | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション (準備運動種目の説明等) |
| 2 | 補強運動の基本的理論とその実際 |
| 3 | ウエイトトレーニング |
| 4 | 補強運動(アイソメトリック) |
| 5 | 補強運動(アイソトニック) |
| 6 | 補強運動(アイソキネティック) |
| 7 | 補強運動(フリーウエイト) |
| 8 | 補強運動(マシン) |
| 9 | 補強運動(サーキット) |
| 10 | 自然の中で体を動かす(フィールドアスレチック) |
| 11 | サッカー(基本技術・戦術) |
| 12 | サッカー(基本技術・戦術) |
| 13 | サッカー(基本技術・戦術) |
| 14 | スポーツ大会(1)(スポーツ種目の選定・チーム編成・ルールづくりを含む) |
| 15 | スポーツ大会(2)(スポーツ種目の選定・チーム編成・ルールづくりを含む) |

評価

平常点:60%(出席点が基本。時間厳守。20分以上の遅刻は欠席)レポート:40%とし、総合評価60点以上を合格

とする。

授業外学習

【事前準備】各種運動方法について調べておく。

【事後学修】各種運動方法をまとめておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科 目 名身体運動担当教員名山本 悟ナンバリングKKb223

学 年 1 20クラス

開講期後期 後期 必修・選択の別 必修*,選必

授業形態 単位数 1

人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

科

体育の実技科目であり、受講生それぞれが意欲や興味、能力に応じて「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。学科や学年を超えた多彩なクラス編成が本科目の特徴であり、スポーツや身体運動を通して学科や学年の異なる受講生の交流が深まることを期待している。教員免許や各種資格取得の必修科目にもなっている。

科目の概要

ボールを手や道具で打つ動作を主体にしたスポーツ種目を継続的に実施する。具体的には、ゴルフ・バドミントン・卓球・ソフトバレーボール等を3~5週間を単位にして行う予定である。

学修目標

- 1)クラス内の交流を基盤にして、身体を動かす積極的な姿勢を身につけること
- 2) 自らの意欲・能力に応じて、身体を動かすことの楽しみを見つけ、実技技能を高めること
- 3)運動を言葉で表現する活動により、スポーツの新しいとらえ方に気づき、理解すること

内容

「身体運動 : 2C」では、自らの身体を自由に動かす技能を高めることをテーマにして、「ゴルフ」、「バドミントン」、「ソフトバレーボール」、「卓球」に取り組んでみる。恐らく初めての経験となるゴルフの練習を通して、頭で考えながら身体を動かす習慣を身につけ、ある一定の動きや技ができるようになるプロセスを言葉で表現する意識を高めてほしいと考えている。

こうした活動を繰り返すことにより、目標とする動作がいつも同じタイミングやテンポでできるようになっていく。それには、動作のコツやポイントを探しながら考えて運動する習慣を身につけたり、仲間の運動の様子を観察したりする活動が 重要になる。将来、教職を希望する者には、指導することの意味を考える機会が提供できると考えている。

授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した活動を行い、その後で主とする運動種目(ゴルフ、バドミントンなど)を学習する形式で進めていく。天候に応じて、学習内容を入れ替える場合がある。

第1週 : オリエンテーション、ゴルフの基本

第2~6週:ゴルフ(基礎技術 ショートゲーム)

第7週:火気使用実習

第8~12週:ソフトバレーボール、卓球

第13~15週:バドミントン

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グランドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グランド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。見学者も運動着に着替えて出席すること。

授業ノートは授業担当者で用意する。筆記具を必ず用意すること。

履修人数の上限を40名程度とする。

評価

平常点(授業への取り組みで評価:運動量、協働性、意欲や関心など)70点、ノート整理(提出1~2回)およびレポート30点による評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業で紹介した文献や資料の自主的な講読。

【事後学修】毎回の授業内容をノートに整理する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に使用しないが、講義の中で随時、紹介する。

科 目 名 身体運動

担当教員名 山本 悟、飯田 路佳、平田 智秋、千足 耕一 他

ナンバリング KKb223

学 科 人間生活学部(K)-共通科目-身体運動

学 年 1 20クラス

|開|講|期||後期|||黒@,必修*

授業形態 単位数 1

保育士資格/健康運動実践指導者/高等学校教諭一種免許状(情報)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英 高)/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/栄養教諭二種免許状/小学校教諭一種免許状/高等学校教 諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(保健)/中学校教諭一種免許状(国語)/高等学校教諭一種免許状(国語)/中学校 教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

3泊4日の雪上実習と3回の事前オリエンテーションを通じて、スキーやスノーボードの基礎技術はもとより、集団生活を通じて自律した行動・態度を身につける。前期に行う身体運動の抽選登録の対象外とし、別の方法で履修登録を行う(読書入門・身体運動のパンフ参照)。

科目の概要

本学湯の丸山荘(長野県)に宿泊し、湯の丸スキー場においてスキーもしくはスノーボードの実習を行う。

学修目標

- a)自然との関わりの深いスキーやスノーボードの特性について理解し、その知識と技術を身につける。
- b)自然界のすばらしさと厳しさを味わい、生涯を通じて自然に親しむ態度を養う。
- c)健康管理への気付き、学年や学科を超えた交流の中から仲間意識を高める。

内容

実習を通じて、以下の技能を体得する;

スキー初級

雪や用具になれる:スキーの着脱、転倒起立、歩行、方向変換、推進滑降、登行

初歩的な滑降:直滑降、プルーク、プルーク・ボーゲン

スキー中級

基本的な構えとスキー操作を学ぶ:斜滑降、横滑り、山回り、プルーク・ターン リズムとバランス感覚を学ぶ:シュテム・ターンなど

スキー上級

スピードをコントロールし、回転動作を洗練する:パラレル・ステップターン制限コースや雪質,斜面などへの対応力を高める:制限滑降、深雪滑降

スノーボード初級

装備の着脱,転び方と起き方、スケーティング リフトの乗り降り,サイドスリップと木の葉落とし(かかと、つま先の両側で)

スノーボード中級

Jターン(かかと、つま先の両方で)。ノーズドロップ

ずらしを利用した連続ターン

スノーボード上級 カービングターン、大回りと小回り

評価

オリエンテーションへの参加と、実習における技能習得や生活態度およびレポートを総合して評価し,60%以上の評価を 合格とする。

授業外学習

【事前予習】事前オリエンテーションで紹介した推薦書の自主的講読。

【事後学修】実習のまとめとして指示したレポートの作成、提出。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】オリエンテーションで紹介し、推薦する。

【備 考】・実施時期:平成28年2月中旬に3泊4日で実施。履修人数を30~35名程度に制限する予定。上位学年の履修優先とし、繰り返し受講も可能。

- ・実施場所及び宿泊施設:湯の丸スキー場、本学湯の丸山荘。
- ・実習参加費(予定):35,000円程度(宿泊費・3泊9食、交通費、保険料、リフト代、用具レンタル代等) ~ ウエアのレンタルは無い(各自で準備)。
 - ・受講希望者は後期履修登録前に行うオリエンテーションに必ず参加すること。